

平成 27 年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査  
(平成 28 年度調査)

(1) 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の  
中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業

報 告 書



通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等への  
リハビリテーション内容等の実態把握調査事業

報 告 書

■ 目 次 ■

調査検討組織設置要綱

調査概要

第1章	調査実施概要	1
1.	調査の目的	1
2.	事業実施方法	1
(1)	調査検討組織の設置と開催状況	1
①	構成委員	1
②	開催状況	2
(2)	アンケート調査実施概要	3
①	調査対象	3
②	調査期間	3
③	主な調査項目	3
第2章	アンケート調査結果	4
第1節	回収結果	4
1.	回収状況	4
第2節	事業所調査票の結果	5
1.	事業所の概要等	5
(1)	事業所の基本情報	5
①	通所リハビリテーション事業所	5
②	訪問リハビリテーション事業所	12
③	訪問看護ステーション	16
(2)	同一法人（含同系列）の実施事業	27
①	通所リハビリテーション事業所	27
②	訪問リハビリテーション事業所	32
③	訪問看護ステーション	37
(3)	各種加算の届出状況	39
①	リハビリテーションマネジメント加算（通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション）	39
②	【通所リハ・訪問リハ】社会参加支援加算	49
③	【通所リハ】生活行為向上リハビリテーション加算	54
④	その他の加算（2016年10月分）	59
⑤	訪問看護ステーションの加算届出状況	72

(4) 職員体制 .....	75
(5) 【訪問看護】訪問看護ステーションの管理者について .....	80
(6) リハビリテーション計画書について .....	81
① リハビリテーション計画様式の活用状況 .....	81
② リハビリテーション計画作成支援ソフトの使用状況 .....	82
(7) 訪問看護計画書について .....	85
2. 地域との交流活動の実施状況・連携状況等 .....	87
(1) 地域との交流活動の実施状況 .....	87
① 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村、地区組織との連絡会議の開催 .....	87
② 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村の専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催 .....	90
③ 住民を対象とした講演会の開催 .....	93
④ 介護予防教室、サロンなどの地域の通いの場の支援等（通所リハビリテーション事業所のみ） .....	96
(2) 2015年4月以降の他の居宅サービス等との連携状況の変化（通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション） .....	102
① 居宅サービス計画（ケアプラン）との連動 .....	102
② かかりつけ医との情報共有 .....	105
③ 訪問看護事業所との情報共有 .....	108
④ 【通所リハ】訪問リハビリテーション事業所との情報共有 .....	110
⑤ 【訪問リハ】通所リハビリテーション事業所との情報共有 .....	111
⑥ 他の介護事業所との情報共有 .....	112
(3) 2016年4月以降の医療機関との連携状況の変化 .....	115
① 医療保険からのリハ移行者の状況 .....	115
② 医療機関からの利用開始前の相談 .....	117
③ 医療ニーズの高い人の利用 .....	119
3. 利用者の状況について .....	122
(1) 利用者数 .....	122
① 利用者数 .....	122
② 年齢構成 .....	127
③ 要介護度 .....	128
④ 障害高齢者の日常生活自立度（2016年10月5日時点） .....	130
⑤ 認知症高齢者の日常生活自立度（2016年10月5日時点） .....	131
⑥ 医療的ケアの状況（2016年10月5日時点） .....	132
(2) 利用時間・回数 .....	134
① 【通所リハ】利用時間（2016年10月分） .....	134
② 【訪問リハ】訪問回数（2016年10月1か月） .....	135
③ 【訪問看護】訪問回数（2016年10月分） .....	136

4. 【通所リハ】新規利用希望者の状況 .....	137
(1) 【通所リハ】新規利用者の状況 .....	137
(2) サービス提供できなかった場合の状況（複数回答） .....	137
5. 利用終了者の状況 .....	139
(1) 2015年7月～9月における利用終了者の状況 .....	139
① 通所リハビリテーション .....	139
② 訪問リハビリテーション .....	139
(2) 利用終了者の状況 .....	140
① 性別 .....	140
② 年齢構成 .....	141
③ 利用期間 .....	141
④ 利用開始時と終了時の要介護度 .....	142
⑤ 利用開始時と終了時の日常生活自立度 .....	145
⑥ 終了後の転帰 .....	149
⑦ 【通所リハ】病状悪化により通所リハビリテーション継続が難しくなり終了した人の状況 .....	154
第3節 利用者調査票の結果 .....	155
1. 本調査の回答者 .....	156
① 回答者 .....	156
② 回答者の経験年数 .....	157
2. 利用者の基本情報 .....	158
(1) 基本属性 .....	158
① 年齢 .....	158
② 性別 .....	159
(2) 心身の状態 .....	160
① リハビリが必要となった原因の傷病 .....	160
② 利用者が受けている医療的処置・ケア等 .....	168
③ 要介護度 .....	170
④ 障害高齢者の日常生活自立度 .....	176
⑤ 認知症高齢者の日常生活自立度（現状） .....	189
⑥ 居宅サービス計画の目標 .....	190
(3) 医療・介護サービスの利用状況等 .....	191
① 通院の有無 .....	191
② 【訪問リハ・訪問看護】訪問診療の有無 .....	192
③ 過去1年以内の入院の有無 .....	193
④ 過去1年以内の外来でのリハビリテーションの有無 .....	195
⑤ 過去1年以内に医療機関で実施したリハの種類 .....	196
⑥ 医療機関からの情報提供 .....	197
⑦ 他に利用している介護保険サービス .....	198

⑧ 【通所リハ・訪問看護】 訪問リハの利用理由.....	199
⑨ 【通所リハ・訪問リハ】 訪問看護ステーションからの理学療法士等訪問の有無.....	201
3. 通所リハビリテーションの利用状況.....	203
① 利用期間.....	203
② 利用回数.....	204
③ 算定した加算（2016年10月分）.....	205
4. 訪問リハビリテーションの提供状況.....	206
① 利用期間.....	206
② 訪問回数.....	207
③ 1回あたりの訪問時間.....	207
④ 算定した加算（2016年10月分）.....	208
5. 訪問看護ステーションからの理学療法士等訪問の提供状況.....	209
① 利用期間.....	209
② 適用保険（2016年10月分）.....	210
③ 訪問看護を提供した職員の職種（2016年10月の訪問分）.....	212
④ リハビリテーションを提供した職員の職種.....	214
⑤ （リハ職の）訪問回数.....	215
⑥ 看護職員の訪問.....	216
⑦ 緊急訪問の有無.....	216
⑧ 平日日中以外の計画的な訪問の有無.....	217
⑨ 訪問看護の加算等の状況（2016年10月分）.....	219
6. 医師（指示医）との連携状況.....	221
① 【訪問リハ】 利用者のリハビリテーションの指示を出している医師の所属.....	221
② 【訪問看護】 訪問看護指示書を交付する医師の所属.....	222
③ 【訪問リハ】 他の医療機関等の医師からの情報提供の有無.....	223
④ 指示医から受けた指示事項.....	224
⑤ 【訪問リハ・訪問看護】 リハの目標について指示医からの指示の有無.....	225
⑥ 【訪問リハ・訪問看護】 リハの頻度について指示医からの指示の有無.....	225
⑦ 指示医がリハビリの実施を指示した職種.....	226
⑧ 摂食嚥下障害への対応.....	227
⑨ 指示医への報告内容.....	231
7. 【訪問リハ・訪問看護】 他の職種との連携.....	232
(1) 訪問看護師との連携状況.....	232
① 訪問看護師へのリハビリの状況に関する連絡.....	232
② 訪問看護師からの病状や医療的処置の状況に関する報告.....	232
③ 訪問看護師とリハビリの方針等の共有.....	233
(2) 【訪問リハ・訪問看護】 訪問介護員への専門的見地からの助言の有無.....	233
8. リハビリテーションのマネジメント.....	234

(1) 【訪問リハ】リハ計画の作成者 .....	234
(2) 【通所リハ・訪問リハ】リハビリテーション会議 .....	235
① リハビリテーション会議開催の有無 .....	235
② 直近に開催したリハ会議の参加者 .....	236
(3) 【通所リハ・訪問リハ】目標 .....	238
① 短期目標 .....	238
② 長期目標 .....	239
(4) 希望の確認 .....	241
① 本人の希望の確認 .....	241
② 家族の希望の確認 .....	242
(5) アセスメント .....	243
① 心身機能 .....	243
② 認知機能の評価の有無 .....	244
③ Barthel Index での評価 .....	246
④ Frenchay Activity Index での評価 .....	251
(6) 計画 .....	253
① 設定した日常生活上の課題の領域 .....	253
② 最も優先順位が高い日常生活上の課題領域 .....	258
③ 最も優先順位が高い課題の達成期間 .....	268
④ 最も優先順位が高い課題に対して最も多く行っている訓練 .....	272
(7) 目標達成後のサービス移行予定 .....	278
① 短期目標達成後のサービス移行予定 .....	278
② 長期目標達成後のサービス移行予定 .....	279
(8) 他の事業所への指導・助言 .....	280
9. 【通所リハ・訪問リハ】指示医による指示の状況（指示医による回答） .....	281
① 指示医がリハの目標の指示をしているか .....	281
② 指示医がリハの頻度の指示をしているか .....	281
③ 指示医がリハの実施を指示した職種 .....	282
④ 指示医からの指示事項 .....	283
⑤ リハビリテーション職員から指示医への報告内容 .....	284

調査票

結果概要





# 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等への リハビリテーション内容等の実態把握調査事業の調査検討組織 設置要綱

## 1. 設置目的

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社は通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置する。

## 2. 実施体制

- (1) 本調査検討組織は、川越 雅弘（国立社会保障・人口問題研究所 社会保障基礎理論研究部長）を委員長とし、その他の委員は以下のとおりとする。
- (2) 委員長が必要があると認めるときは、本調査検討組織において、関係者から意見を聴くことができる。

## 3. 調査検討組織の運営

- (1) 調査検討組織の運営は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が行う。
- (2) 前号に定めるもののほか、本調査検討組織の運営に関する事項その他必要な事項については、本調査検討組織が定める。

通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等への  
リハビリテーション内容等の実態把握調査事業の調査検討組織 委員等

委員長	川越 雅弘（国立社会保障・人口問題研究所 社会保障基礎理論研究部長）
委員	香取 幹（一般社団法人日本在宅介護協会常任理事）
	川手 信行（学校法人昭和大学医学部リハビリテーション医学講座准教授）
	黒羽 真美（学校法人国際医療福祉大学介護老人保健施設マロニエ苑主任）
	小林 法一（公立大学法人首都大学東京人間健康科学研究科 作業療法学科学域教授）
	斉藤 秀之（公益社団法人日本理学療法士協会 副会長）
	斉藤 正身（一般社団法人全国デイ・ケア協会 会長）
	佐藤 美穂子（公益財団法人日本訪問看護財団 常務理事）
	中林 弘明（一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長）
	本間 達也（公益社団法人全国老人保健施設協会 副会長）
	宮田 昌司（一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会 会長）
	山鹿 眞紀夫（一般社団法人日本リハビリテーション病院・施設協会 副会長）

（敬称略、50音順）

### 【オブザーバー】

- 厚生労働省 老健局 老人保健課 室長 西嶋 康浩
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 課長補佐 井口 豪
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 同 佐々原 渉
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 看護専門官 後藤 友美
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 係長 長谷川 洋子
- 厚生労働省 老健局 振興課 課長補佐 井樋 一哉
- 厚生労働省 老健局 振興課 課長補佐 佐藤 美雄
- 厚生労働省 老健局 振興課 介護支援専門官 石山 麗子
- 厚生労働省 老健局 振興課 係長 田代 善行



(1) 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の  
中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業

1. 調査の目的

通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションについては、平成 27 年度介護報酬改定においてリハビリテーションの質の向上や社会参加を促すような評価がされたところである。

平成 28 年度調査においては、1) 通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションにおける介護報酬改定後の効果を検証するとともに、2) 維持期リハに関する平成 28 年度診療報酬改定も踏まえつつ、中重度者等に対するリハビリテーション内容の実態を把握し、診療報酬・介護報酬同時改定に向け、今後の通所リハビリテーション及び訪問リハビリテーションに関する検討の資料とする。

あわせて、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)が提供するサービス(訪問リハビリテーションと訪問看護ステーションの理学療法士等訪問)における機能と役割の違いについて検討する。

2. 調査客体

- ①通所リハビリテーション事業所 1,000 事業所
- ②訪問リハビリテーション事業所 1,500 事業所
- ③訪問看護ステーション(※理学療法士等訪問算定事業所) 1,000 事業所

3. 主な調査項目

- ①通所・訪問リハビリテーション等の事業所調査
  - 基本情報、職種別配置状況、利用登録者の情報(要介護度等)、
  - 各加算算定状況と加算要件の実施状況、医療的ケア提供状況、
  - リハ計画作成時間及びソフト利用状況、
  - サービス提供が困難であった事例、利用終了者の状況等
- ②理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が提供するサービスについての利用者調査
  - 利用者基本情報、利用状況、事業所・職種間の連携状況、
  - リハビリテーション計画(目標とその達成期間、実施内容と実施時間、
  - ADL/IADL の変化、訪問の有無等)、リハビリテーションの指示の状況、
  - リハビリテーションマネジメント加算に関するアセスメント等の収集、
  - 訪問看護ステーションにおける理学療法士等訪問の実態について等



# 第1章 調査実施概要

## 1. 調査の目的

通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションについては、平成27年度介護報酬改定においてリハビリテーションの質の向上や社会参加を促すような評価がされたところである。

平成28年度調査においては、1) 通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションにおける介護報酬改定後の効果を検証するとともに、2) 維持期リハに関する平成28年度診療報酬改定も踏まえつつ、中重度者等に対するリハビリテーション内容の実態を把握し、診療報酬・介護報酬同時改定に向け、今後の通所リハビリテーション及び訪問リハビリテーションに関する検討の資料とする。

あわせて、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)が提供するサービス（訪問リハビリテーションと訪問看護ステーションの理学療法士等訪問）における機能と役割の違いについて検討する。

## 2. 事業実施方法

### (1) 調査検討組織の設置と開催状況

通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置した。

調査検討組織の運営は、三菱UFJリサーチ&コンサルティングが行った。

#### ① 構成委員

##### ○委員長

川越 雅弘（国立社会保障・人口問題研究所 社会保障基礎理論研究部長）

##### ○委員（五十音順、敬称略）

香取 幹（一般社団法人日本在宅介護協会常任理事）

川手 信行（学校法人昭和大学医学部リハビリテーション医学講座准教授）

黒羽 真美（学校法人国際医療福祉大学介護老人保健施設マロニエ苑主任）

小林 法一（公立大学法人首都大学東京人間健康科学研究科  
作業療法学科学域教授）

斉藤 秀之（公益社団法人日本理学療法士協会 副会長）

斉藤 正身（一般社団法人全国デイ・ケア協会 会長）

佐藤 美穂子（公益財団法人日本訪問看護財団 常務理事）

## 2 事業実施方法

中林 弘明 (一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長)  
本間 達也 (公益社団法人全国老人保健施設協会 副会長)  
宮田 昌司 (一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会 会長)  
山鹿 眞紀夫 (一般社団法人日本リハビリテーション病院・施設協会 副会長)

### ○オブザーバー

厚生労働省	老健局	老人保健課	室長	西嶋	康浩
厚生労働省	老健局	老人保健課	課長補佐	井口	豪
厚生労働省	老健局	老人保健課	同	佐々原	渉
厚生労働省	老健局	老人保健課	看護専門官	後藤	友美
厚生労働省	老健局	老人保健課	係長	長谷川	洋子
厚生労働省	老健局	振興課	課長補佐	井樋	一哉
厚生労働省	老健局	振興課	課長補佐	佐藤	美雄
厚生労働省	老健局	振興課	介護支援専門官	石山	麗子
厚生労働省	老健局	振興課	係長	田代	善行

## ② 開催状況

### < 第1回 >

- 日時：平成 28 年 9 月 5 日 18 時 00 分～20 時 00 分
- 場所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 24 階大会議室
- 議題：
  - ・事業概要について
  - ・調査票案について
  - ・その他

### < 第2回 >

- 日時：平成 29 年 2 月 15 日 16 時 00 分～18 時 00 分
- 場所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 24 階中会議室
- 議題：
  - ・報告書案について

## (2) アンケート調査実施概要

### ① 調査対象

- 1) 通所リハビリテーション事業所 955 事業所
- 2) 訪問リハビリテーション事業所 1,500 事業所
- 3) 訪問看護ステーション（※理学療法士等訪問算定事業所）1,000 事業所

通所リハビリテーション事業所は、平成 27 年度介護報酬改定の効果検証および調査研究に係る調査（平成 28 年度調査）「リハビリテーションと機能訓練の機能分化とその在り方に関する調査研究事業」における通所リハビリテーション調査の結果と比較するため、同一の調査対象事業所に対する追跡調査として行った。

訪問リハビリテーション事業所は平成 28 年 5 月分の請求実績がある事業所から無作為に抽出した。訪問看護ステーションは、平成 28 年 5 月分において、理学療法士等による訪問の請求実績がある事業所から無作為に抽出した。

### ② 調査期間

平成 28 年 10 月 25 日～平成 28 年 11 月 18 日

ただし、回収状況を勘案し、12 月 20 日回収分までを有効票として取り扱った。

### ③ 主な調査項目

#### 1) 通所・訪問リハビリテーション等の事業所調査

基本情報、職種別配置状況、利用登録者の情報（要介護度等）、各加算算定状況と加算要件の実施状況、医療的ケア提供状況、リハ計画作成時間及びソフト利用状況、サービス提供が困難であった事例、利用終了者の状況等

#### 2) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が提供するサービスについての利用者調査

利用者基本情報、利用状況、事業所・職種間の連携状況、リハビリテーション計画（目標とその達成期間、実施内容と実施時間、ADL/IADL の変化、訪問の有無等）、リハビリテーションの指示の状況、リハビリテーションマネジメント加算に関するアセスメント等の収集、訪問看護ステーションにおける理学療法士等訪問の実態について等

## 第2章 アンケート調査結果

### 第1節 回収結果

#### 1. 回収状況

通所リハビリテーション事業所票の回収率は54.6%、訪問リハビリテーション事業所票は59.0%、訪問看護ステーション票は62.8%であった。

利用者票の回収数は、通所リハビリテーション事業所は2,181件、訪問リハビリテーション事業所は2,688件、訪問看護ステーションは2,684件であった。

図表 2-1-1 回収状況

調査票名	母集団	発出数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率	参考	
							回収事業所利用者総数(注2)	利用者総数に対する回収数の比率
通所リハビリテーション事業所票	7,047	955	521	54.6%	507	53.1%		
訪問リハビリテーション事業所票	3,871	1,500	885	59.0%	878	58.5%		
訪問看護ステーション票	4,489 注1)	1,000	628	62.8%	619	61.9%		
通所リハ利用者調査票	-	-	2,181	-	2,119	-	29,483	7.4%
訪問リハ利用者調査票	-	-	2,688	-	2,669	-	21,689	12.4%
訪問看護ステーション利用者調査票	-	-	2,684	-	2,564	-	32,577 注3)	8.2%

注1) 訪問看護ステーションのうち、理学療法士等による訪問の実施実績のあるステーションを母集団とした。

注2) 回収事業所利用者総数は事業所票に記載された利用者数の合計である。

注3) 訪問看護ステーションの回収事業所利用者総数は、回答事業所からの理学療法士等による訪問が実施された利用者数を集計した。



## 第2節 事業所調査票の結果

### 1. 事業所の概要等

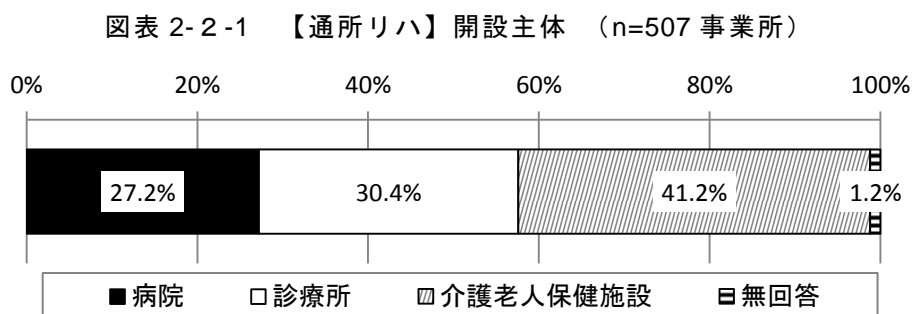
#### (1) 事業所の基本情報

##### ① 通所リハビリテーション事業所

本調査は、平成27年度介護報酬改定の効果検証および調査研究に係る調査（平成27年度調査）「リハビリテーションと機能訓練の機能分化とその在り方に関する調査研究事業」における通所リハビリテーション調査時点からの変化を把握するため、平成27年度調査対象として抽出された通所リハビリテーション事業所を調査客体としている。

#### 1) 開設主体

通所リハビリテーション事業所の開設主体は「介護老人保健施設」が41.2%、「診療所」が30.4%、「病院」が27.2%であった。



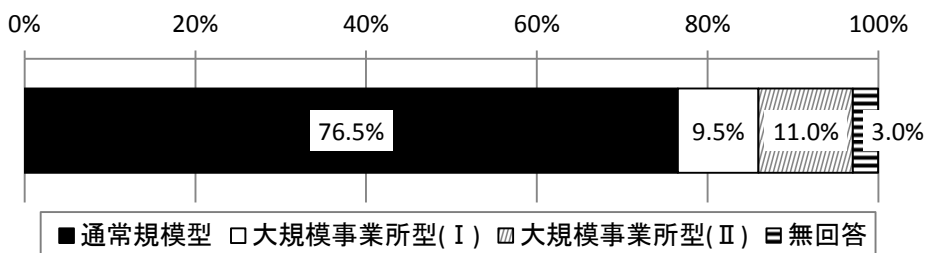
参考：介護給付費実態調査月報（平成28年11月審査分）との比較（開設主体の法人種別）

	病院又は診療所	介護老人保健施設	計
通所リハビリテーション	3,916 51.6%	3,679 48.4%	7,595 100.0%

2) 規模等

通所リハビリテーション事業所の規模は「通常規模型」が76.5%であった。

図表 2-2-2 【通所リハ】通所リハビリテーションの規模 (n=507 事業所)



図表 2-2-3 【通所リハ】開設主体別事業所規模

		合計	規模			無回答
			通常規模型	大規模事業所型 (I)	大規模事業所型 (II)	
全体		507 100.0%	388 76.5%	48 9.5%	56 11.0%	15 3.0%
開設主体	病院	138 100.0%	111 80.4%	10 7.2%	13 9.4%	4 2.9%
	診療所	154 100.0%	133 86.4%	9 5.8%	9 5.8%	3 1.9%
	介護老人保健施設	209 100.0%	140 67.0%	29 13.9%	32 15.3%	8 3.8%
届出の有無: リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	178 100.0%	117 65.7%	22 12.4%	33 18.5%	6 3.4%
	無	316 100.0%	260 82.3%	26 8.2%	22 7.0%	8 2.5%

注) リハビリテーションマネジメント加算Ⅱは、通所リハビリテーション事業所の医師・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士その他の職種のもの協働し、継続的にリハビリテーションの質を管理した場合に算定可能な加算であり、リハビリテーション会議開催が要件となっている。(加算の算定状況については「(3)各種加算の届出状況」に掲載)

参考：介護給付費実態調査月報（平成 28 年 11 月審査分）との比較（規模別）

	事業所数	%
通所リハビリテーション	7,631	100.0%
通常規模型	6,030	79.0%
大規模事業所 (I)	729	9.6%
大規模事業所 (II)	836	11.0%

3) 1日あたりの定員

1日あたりの定員の平均は38.1人であった。

図表 2-2-4 【通所リハ】 1日あたり定員

	回答事業所数	平均	標準偏差	中央値
1日あたりの定員	503	38.1人	21.5	39.0

4) 1か月の通所リハビリテーションの実施日数（2016年10月）

2016年10月の通所リハビリテーションの実施日数は24.1日であった。

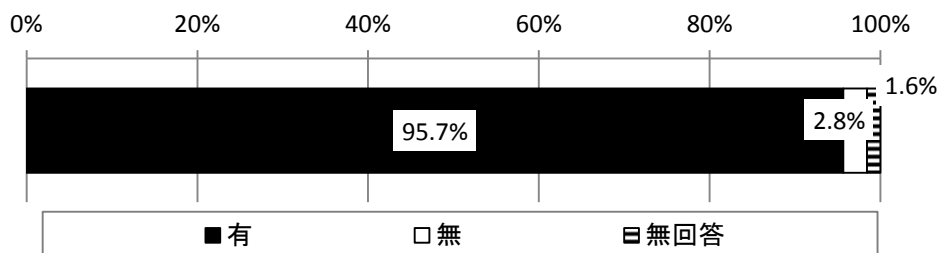
図表 2-2-5 【通所リハ】 2016年10月の通所リハビリテーションの実施日数

	回答事業所数	平均	標準偏差	中央値
2016年10月の通所リハビリテーションの実施日数	496	24.1日	3.1	25.0

5) 介護予防通所リハビリテーションの併設

介護予防通所リハビリテーションを併設している事業所は 95.7%であった。

図表 2-2-6 【通所リハ】 介護予防通所リハビリテーションの併設の有無 (n=507 事業所)



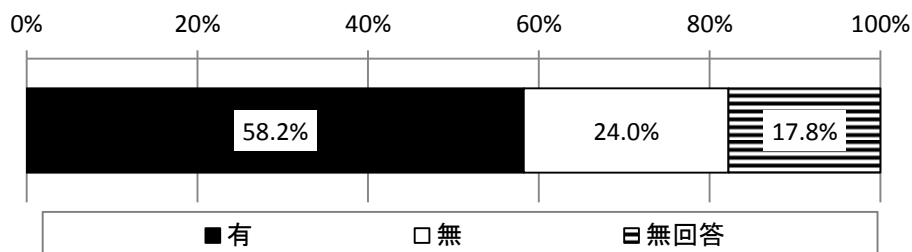
図表 2-2-7 【通所リハ】 開設主体別・規模別・加算有無別 介護予防通所リハビリテーションの併設の有無

		合計	介護予防通所リハビリテーションの併設		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	485 95.7	14 2.8	8 1.6
開設主体	病院	138 100.0%	132 95.7%	4 2.9%	2 1.4%
	診療所	154 100.0%	149 96.8%	4 2.6%	1 0.6%
	介護老人保健施設	209 100.0%	198 94.7%	6 2.9%	5 2.4%
規模	通常規模型	388 100.0%	374 96.4%	9 2.3%	5 1.3%
	大規模事業所型 (Ⅰ)	48 100.0%	47 97.9%	0 0.0%	1 2.1%
	大規模事業所型 (Ⅱ)	56 100.0%	52 92.9%	3 5.4%	1 1.8%
届出の有無：リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ	有	178 100.0%	169 94.9%	5 2.8%	4 2.2%
	無	316 100.0%	304 96.2%	8 2.5%	4 1.3%

6) 外来リハビリテーションの実施状況

開設主体が病院・診療所の場合、外来リハビリテーションを実施している事業所は、58.2%であった。

図表 2-2-8 【通所リハ】（開設主体が病院・診療所の場合）外来リハビリテーションの実施状況（n=292 事業所）



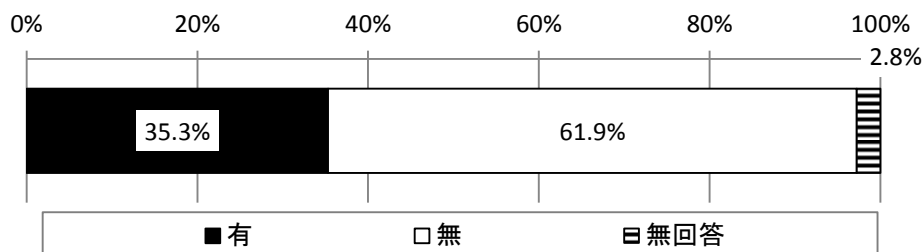
図表 2-2-9 【通所リハ】（開設主体が病院・診療所の場合）開設主体別・規模別・加算届出有無別 外来リハビリテーションの実施状況

		合計	開設主体での外来でのリハビリテーションの有無		
			有	無	無回答
全体		292 100.0%	170 58.2%	70 24.0%	52 17.8%
開設主体	病院	138 100.0%	99 71.7%	18 13.0%	21 15.2%
	診療所	154 100.0%	71 46.1%	52 33.8%	31 20.1%
規模	通常規模型	244 100.0%	142 58.2%	57 23.4%	45 18.4%
	大規模事業所型 (I)	19 100.0%	10 52.6%	7 36.8%	2 10.5%
	大規模事業所型 (II)	22 100.0%	14 63.6%	4 18.2%	4 18.2%
届出の有無： リハビリテーション マネジメント加算II	有	89 100.0%	59 66.3%	18 20.2%	12 13.5%
	無	194 100.0%	105 54.1%	51 26.3%	38 19.6%

7) 訪問リハビリテーションの実施状況

訪問リハビリテーションを実施している事業所は 35.3%であった。訪問リハビリテーション実施事業所のうち、通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションの両方を提供している利用者がある事業所は 58.1%であり、平均利用者数は 3.9 人であった。

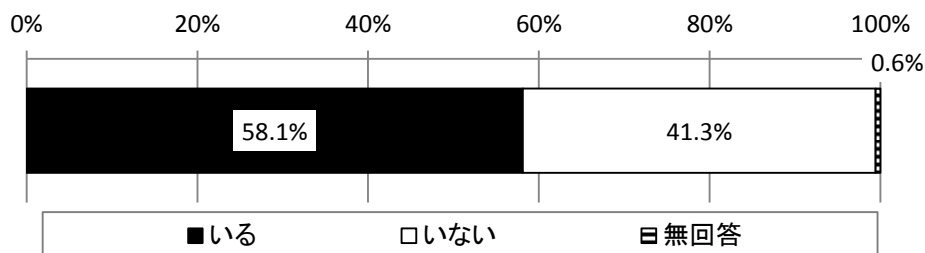
図表 2-2-10 【通所リハ】訪問リハビリテーションの実施状況 (n=507 事業所)



図表 2-2-11 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別 訪問リハビリテーションの実施状況

		合計	訪問リハビリテーションの実施の有無		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	179 35.3%	314 61.9%	14 2.8%
開設主体	病院	138 100.0%	66 47.8%	70 50.7%	2 1.4%
	診療所	154 100.0%	68 44.2%	82 53.2%	4 2.6%
	介護老人保健施設	209 100.0%	45 21.5%	156 74.6%	8 3.8%
規模	通常規模型	388 100.0%	141 36.3%	234 60.3%	13 3.4%
	大規模事業所型 (I)	48 100.0%	15 31.3%	33 68.8%	0 0.0%
	大規模事業所型 (II)	56 100.0%	20 35.7%	35 62.5%	1 1.8%
届出の有無:リハビリテーションマネジメント加算II	有	178 100.0%	64 36.0%	110 61.8%	4 2.2%
	無	316 100.0%	108 34.2%	200 63.3%	8 2.5%

図表 2-2-12 【通所リハ】（訪問リハビリテーション実施の事業所の場合）通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションを両方提供中の利用者がある事業所（n=179 事業所）



図表 2-2-13 【通所リハ】（訪問リハビリテーション実施の事業所の場合）開設主体別・規模別・加算届出有無別 通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションを両方提供中の利用者がある事業所

		合計	通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションの両方を提供している利用者の有無		
			いる	いない	無回答
全体		179 100.0%	104 58.1%	74 41.3%	1 0.6%
開設主体	病院	66 100.0%	45 68.2%	21 31.8%	0 0.0%
	診療所	68 100.0%	29 42.6%	38 55.9%	1 1.5%
	介護老人保健施設	45 100.0%	30 66.7%	15 33.3%	0 0.0%
規模	通常規模型	141 100.0%	76 53.9%	65 46.1%	0 0.0%
	大規模事業所型（Ⅰ）	15 100.0%	11 73.3%	3 20.0%	1 6.7%
	大規模事業所型（Ⅱ）	20 100.0%	16 80.0%	4 20.0%	0 0.0%
届出の有無： リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ	有	64 100.0%	45 70.3%	18 28.1%	1 1.6%
	無	108 100.0%	55 50.9%	53 49.1%	0 0.0%

図表 2-2-14 【通所リハ】（通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションの両方を提供している利用者がある事業所の場合）通所リハビリテーションと訪問リハビリテーション両方を提供中の利用者数

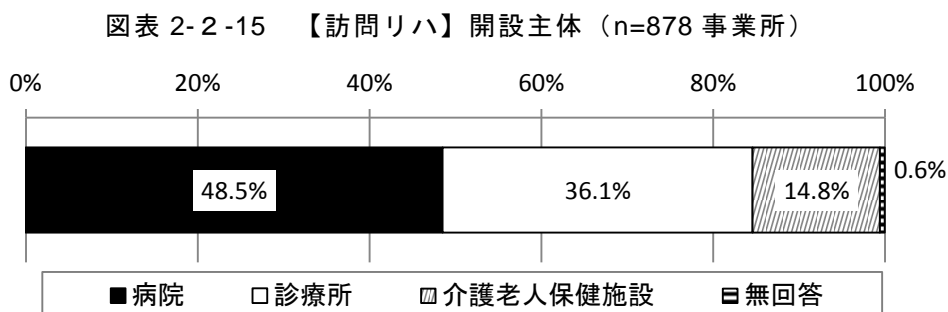
	事業所数	1事業所あたり平均利用者数（人）	標準偏差	中央値（人）
通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションの両方を提供している利用者数	99	3.9	3.1	3.0

1 事業所の概要等

② 訪問リハビリテーション事業所

1) 開設主体

訪問リハビリテーション事業所の開設主体は病院が 48.5%、診療所は 36.1%、介護老人保健施設が 14.8%であった。



参考：介護給付費実態調査月報（平成 28 年 11 月審査分）との比較（開設主体の法人種別）

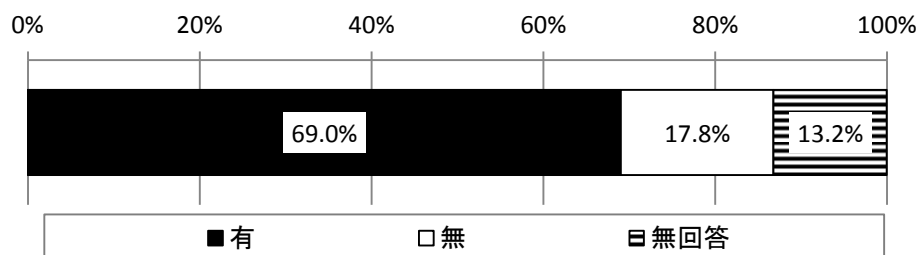
	病院又は診療所	介護老人保健施設	計
訪問リハビリテーション	3,362 83.9%	644 16.1%	4,006 100.0%



2) 外来リハビリテーションの実施状況

開設主体が病院・診療所の場合、外来リハビリテーションを実施している事業所は、69.0%であった。

図表 2-2-16 【訪問リハ】（開設主体が病院・診療所の場合）外来リハビリテーションの実施状況（n=743 事業所）



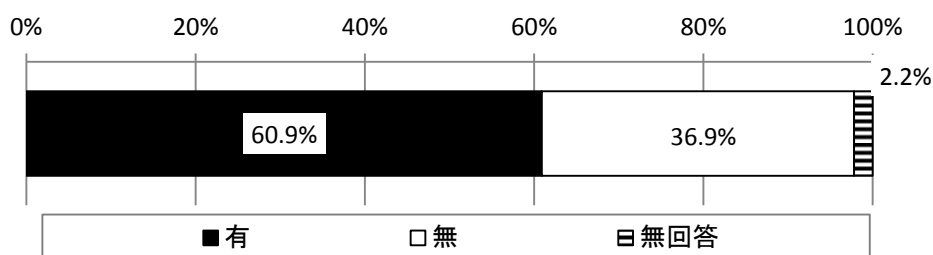
図表 2-2-17 【訪問リハ】開設主体別・リハビリテーションマネジメント加算届出有無別  
外来でのリハビリテーションの実施状況

		合計	開設主体での外来でのリハビリテーションの有無		
			有	無	無回答
全体		743 100.0%	513 69.0%	132 17.8%	98 13.2%
開設主体	病院	426 100.0%	344 80.8%	27 6.3%	55 12.9%
	診療所	317 100.0%	169 53.3%	105 33.1%	43 13.6%
	介護老人保健施設	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
届出の有無： リハビリテー ションマネジ メント加算Ⅱ	有	91 100.0%	64 70.3%	8 8.8%	19 20.9%
	無	636 100.0%	440 69.2%	123 19.3%	73 11.5%

### 3) 通所リハビリテーションの実施状況

通所リハビリテーションを実施している事業所は 60.9%であった。通所リハビリテーション実施事業所のうち、訪問リハビリテーションと通所リハビリテーションの両方を提供している利用者がある事業所は 62.8%であり、平均利用者数は 3.7 人であった。

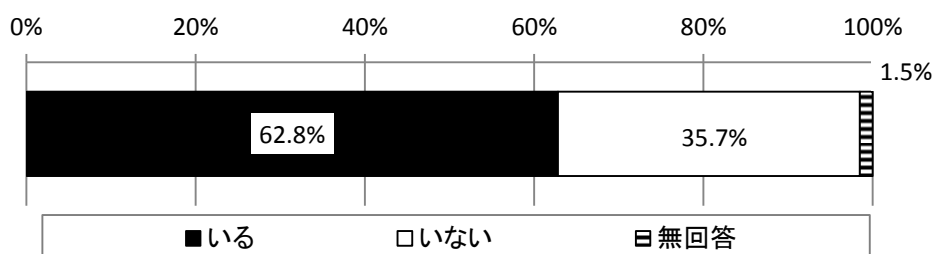
図表 2-2-18 【訪問リハ】通所リハビリテーションの実施事業所 (n=878 事業所)



図表 2-2-19 【訪問リハ】開設主体別・加算届出有無別 通所リハビリテーションの実施

		合計	通所リハビリテーションの実施の有無		
			無	有	無回答
全体		878 100.0%	324 36.9%	535 60.9%	19 2.2%
開設主体	病院	426 100.0%	185 43.4%	231 54.2%	10 2.3%
	診療所	317 100.0%	129 40.7%	181 57.1%	7 2.2%
	介護老人保健施設	130 100.0%	6 4.6%	122 93.8%	2 1.5%
届出の有無： リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	124 100.0%	24 19.4%	97 78.2%	3 2.4%
	無	732 100.0%	294 40.2%	422 57.7%	16 2.2%

図表 2-2-20 【訪問リハ】(通所リハビリテーション実施の事業所の場合) 訪問リハビリテーションと通所リハビリテーション両方を提供中の利用者がある事業所 (n=535 事業所)



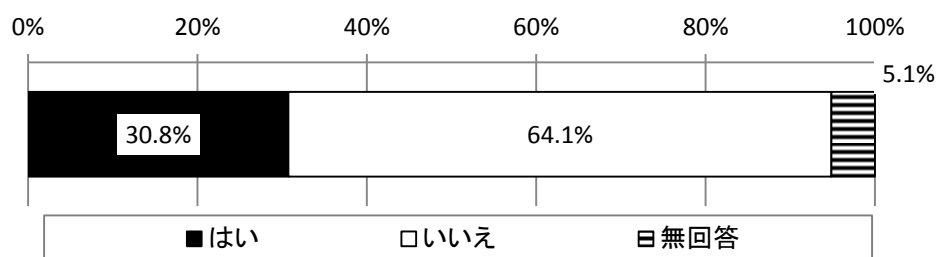
図表 2-2-21 【訪問リハ】（訪問リハビリテーションと通所リハビリテーションの両方を提供している利用者がある事業所の場合）訪問リハビリテーションと通所リハビリテーション両方を提供中の利用者数（307事業所の平均）

	事業所数	1事業所あたり平均利用者数（人）	標準偏差	中央値
通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションの両方を提供している利用者数	307	3.7	4.3	2.0

#### 4) 利用者が急性増悪した場合の方針

利用者が急性増悪した場合、原則医療保険に切り替える方針の事業所は 30.8%であった。

図表 2-2-22 【訪問リハ】 利用者が急性増悪した場合、原則医療保険に切り替える方針である（n=878事業所）



図表 2-2-23 【訪問リハ】 開設主体別・加算届出有無別 利用者が急性増悪した場合、原則医療保険に切り替える方針である

		合計	利用者が急性増悪した場合、原則、医療保険に切り替える方針か		
			はい	いいえ	無回答
全体		878	270	563	45
		100.0%	30.8%	64.1%	5.1%
開設主体	病院	426	126	283	17
		100.0%	29.6%	66.4%	4.0%
	診療所	317	103	192	22
		100.0%	32.5%	60.6%	6.9%
	介護老人保健施設	130	41	85	4
		100.0%	31.5%	65.4%	3.1%
届出の有無：リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ	有	124	43	75	6
		100.0%	34.7%	60.5%	4.8%
	無	732	218	476	38
		100.0%	29.8%	65.0%	5.2%

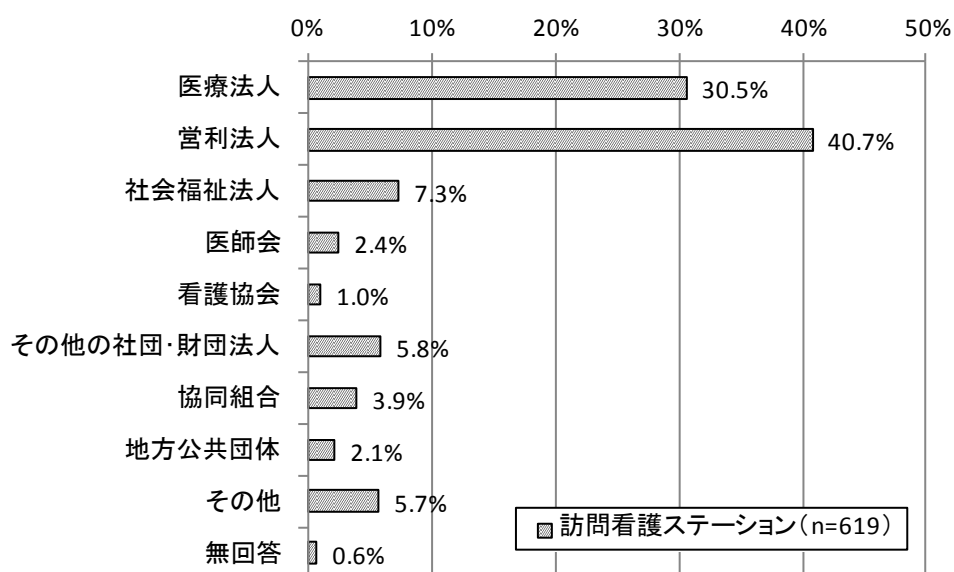
### ③ 訪問看護ステーション

本調査においては、平成28年5月に理学療法士等訪問の請求実績がある訪問看護ステーションを調査対象としている。

#### 1) 開設主体

訪問看護ステーションの開設主体は営利法人が40.7%、医療法人が30.5%であった。

図表 2-2-24 【訪問看護】開設主体 (n=619ステーション)



参考：平成27年介護サービス施設・事業所調査結果との比較（開設主体の法人種別）

合計	医療法人	営利法人	社会福祉法人	医師会	看護協会	その他の社団・財団法人	協同組合	地方公共団体	その他
7,897	2,389	3,464	571	273	136	336	190	182	356
100.0%	30.3%	43.9%	7.2%	3.5%	1.7%	4.3%	2.4%	2.3%	4.5%

※厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査結果」における開設種別を以下の通りまとめた。

社会福祉法人：「社会福祉協議会」「社会福祉法人（社会福祉協議会以外）」の合計

その他の社団・財団法人：「公益社団・財団法人（医師会・看護協会以外）」「一般社団・財団法人（医師会・看護協会以外）」の合計

協同組合：「農業協同組合及び連合会」「消費生活協同組合及び連合会」の合計

地方公共団体：「市町村」「広域連合・一部事務組合」の合計

その他：「独立行政法人」「日本赤十字社」「特定非営利法人」「その他法人」の合計

図表 2-2-25 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 開設主体

	合計	開設主体							
		医療法人	営利法人	社会福祉法人	医師会	看護協会	その他の社団・財団法人	協同組合	地方公共団体
全体	619 100.0%	189 30.5%	252 40.7%	45 7.3%	15 2.4%	6 1.0%	36 5.8%	24 3.9%	13 2.1%
看護師多数型	473 100.0%	156 33.0%	165 34.9%	41 8.7%	14 3.0%	6 1.3%	32 6.8%	24 5.1%	10 2.1%
リハ職多数型	86 100.0%	13 15.1%	62 72.1%	3 3.5%	1 1.2%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	11 21.2%	33 63.5%	3 5.8%	1 1.9%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	2 5.9%	29 85.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

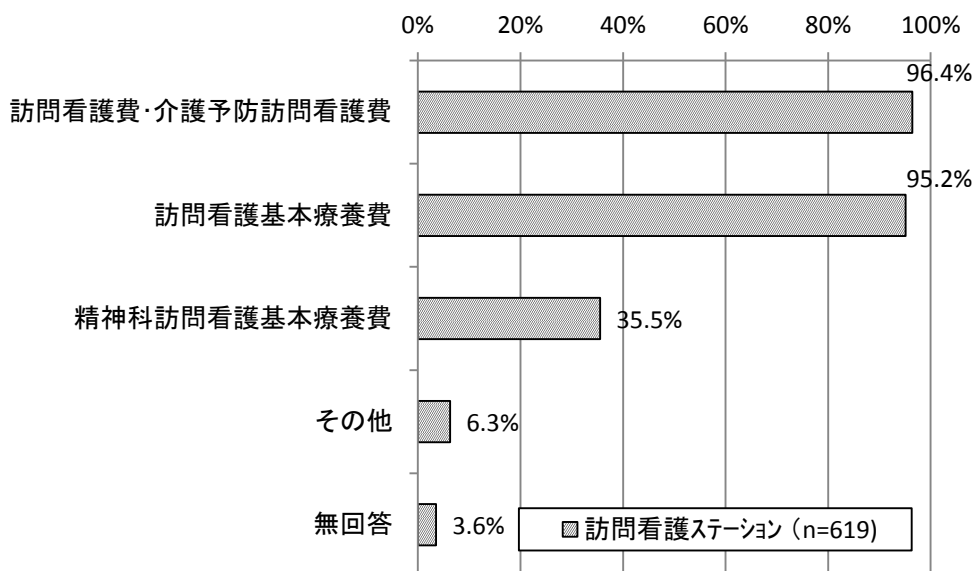
	合計	開設主体	
		その他	無回答
全体	619 100.0%	35 5.7%	4 0.6%
看護師多数型	473 100.0%	22 4.7%	3 0.6%
リハ職多数型	86 100.0%	6 7.0%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	3 5.8%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	3 8.8%	0 0.0%

注1) 看護職多数型：看護職員数（常勤換算数）がリハ職員数（常勤換算数）以上の場合  
 リハ職多数型：リハ職員数（常勤換算数）が看護職員数（常勤換算数）より多い場合  
 注2) 看護職員とリハ職員の配置状況は、(4)職員体制参照

2) 実施している訪問看護の種別（訪問看護ステーション）

訪問看護ステーションが実施している訪問看護は、訪問看護費・介護予防訪問看護費（介護保険）が 96.4%、訪問看護基本療養費（医療保険）が 95.2%、精神科訪問看護基本療養費（医療保険）が 35.5%であった。

図表 2-2-26 【訪問看護】実施している訪問看護の種類（n=619 ステーション）



3) リハ職による訪問に関する指示を受けている医療機関等

リハ職による訪問に関する指示を受けている医療機関数の 1 ステーションあたり平均は、病院 11.2 施設、診療所 13.4 施設、介護老人保健施設 0.0 施設、合計 24.6 件であった。

指示を受けている施設数別の分布をみると、0～9 施設のステーションが 27.5%、10～19 施設が 26.8%であった。

図表 2-2-27 【訪問看護】リハ職による訪問に関する指示を受けている医療機関等の施設数（n=567 ステーションの平均）

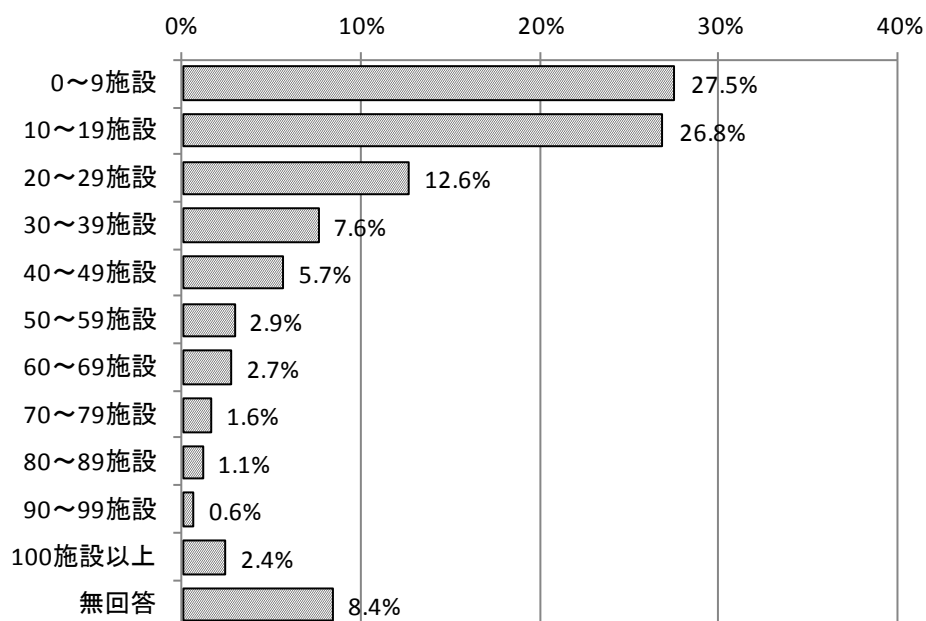
	平均	標準偏差	中央値
指示を受けている病院数	11.2 施設	13.9	8.0 施設
指示を受けている診療所数	13.4 施設	17.7	8.0 施設
指示を受けている介護老人保健施設	0.0 施設	0.3	0.0 施設
計	24.6 施設	27.9	16.0 施設

図表 2-2-28 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 リハ職訪問に関する指示を受けている医療機関等の施設数

	ステーション数	指示を受けている医療機関等平均値	標準偏差	中央値
全体	567 ステーション	24.6 施設	27.9	16.0 施設
看護師多数型	434 ステーション	18.0 施設	16.5	13.0 施設
リハ職多数型	79 ステーション	63.8 施設	44.9	57.0 施設
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	48 ステーション	47.8 施設	26.9	45.5 施設
うち、リハ職が看護職の2倍以上	31 ステーション	88.5 施設	55.4	86.0 施設

注) 平均施設数は病院、診療所、介護老人保健施設の合計

図表 2-2-29 【訪問看護】リハ職による訪問に関する指示を受けている医療機関等の施設数の分布 (n=567 ステーション)



4) 看護職員とリハ職の連携状況

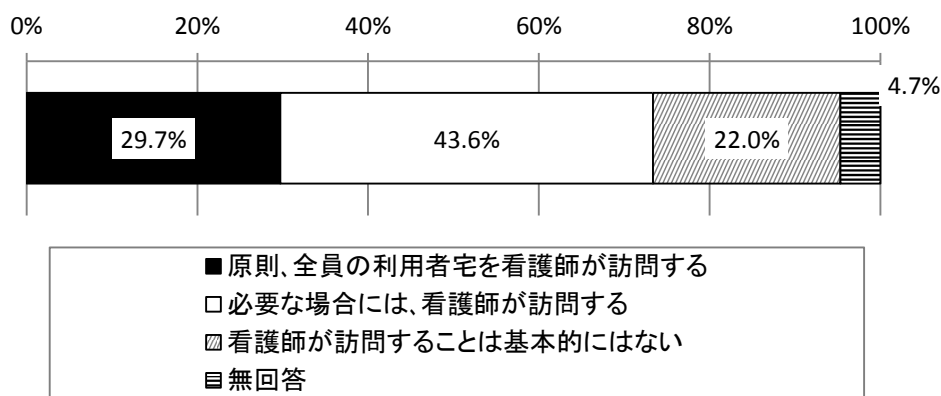
i) 看護師によるアセスメント等の実施状況

リハ職による訪問のみを提供している利用者に対する、看護師による「利用者の状況を確認したり、アセスメントをするための訪問」については、「原則、全員の利用者宅を看護師が訪問してアセスメントをする」ステーションが 29.7%、「必要な場合には、看護師が利用者宅を訪問し、アセスメントをする」ステーションが 43.6%であった。

「原則、全員の利用者宅を看護師が訪問してアセスメントする」ステーションにおける訪問タイミング（複数回答）は、「初回」が 82.6%、「定期的」が 29.9%、「事業所のリハ職が必要と判断した時」が 47.8%、介護支援専門員から相談があった時」が 44.0%、「利用者や家族から相談があった時」が 40.2%であった。定期的に訪問している場合の月あたり平均訪問回数は 1.3 回であった。

「必要な場合には、看護師が利用者宅を訪問し、アセスメントをする」ステーションにおける訪問タイミング（複数回答）は、「事業所のリハ職が必要と考えた時」88.5%、「利用者や家族から相談があった時」76.3%、「介護支援専門員から相談があった時」75.6%であった。

図表 2-2-30 【訪問看護】リハ職による訪問のみを提供している利用者について、看護師が利用者の状況を確認したり、アセスメントをするために利用者宅を訪問するか  
(n=619 ステーション)

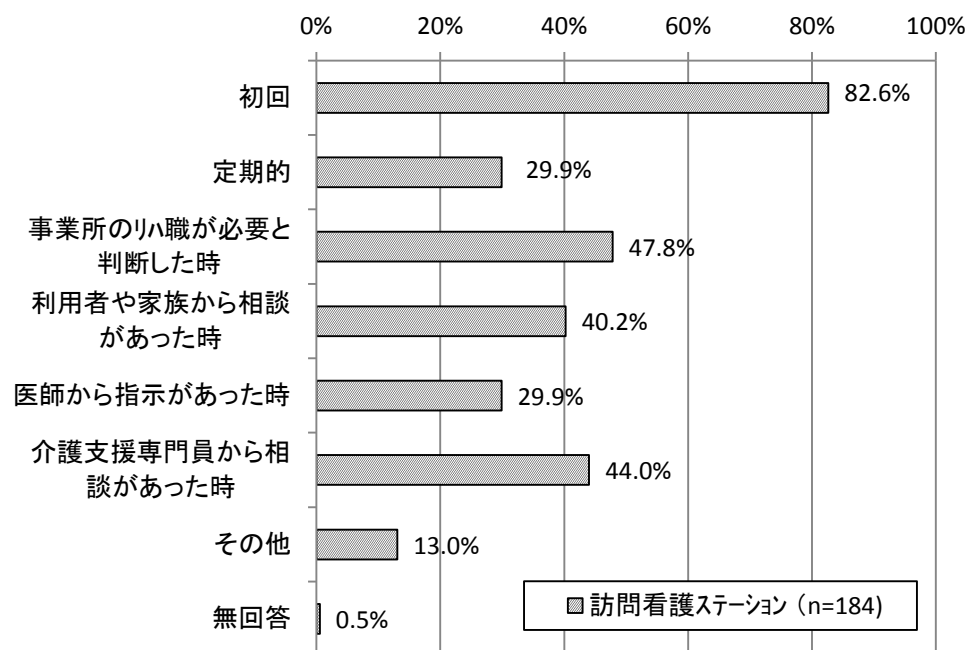




図表 2-2-31 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 リハ職による訪問のみを提供している利用者について、看護師が利用者の状況を確認したり、アセスメントをするために利用者宅を訪問するか

	合計	看護師が利用者の状況確認、アセスメントをするために利用者宅を訪問すること			
		原則、全員の利用者宅を看護師が訪問する	必要な場合には、看護師が訪問する	看護師が訪問することは基本的にはない	無回答
全体	619 100.0%	184 29.7%	270 43.6%	136 22.0%	29 4.7%
看護師多数型	473 100.0%	150 31.7%	194 41.0%	103 21.8%	26 5.5%
リハ職多数型	86 100.0%	15 17.4%	57 66.3%	14 16.3%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	8 15.4%	31 59.6%	13 25.0%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	7 20.6%	26 76.5%	1 2.9%	0 0.0%

図表 2-2-32 【訪問看護】原則、全員の利用者宅を看護師が訪問する事業所における訪問のタイミング（複数回答、n=184 ステーション）



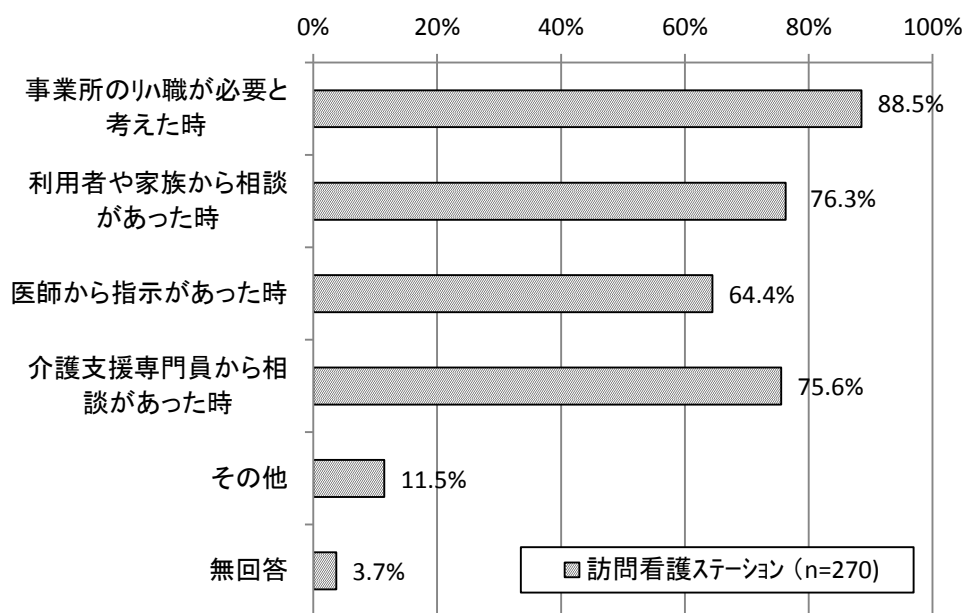
図表 2-2-33 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 原則、全員の利用者宅を看護師が訪問する事業所における訪問のタイミング（複数回答）

	合計	全利用者宅を看護師が訪問：訪問のタイミング							
		初回	定期的	事業所のリハ職が必要と判断した時	利用者や家族から相談があった時	医師から指示があった時	介護支援専門員から相談があった時	その他	無回答
全体	184 100.0%	152 82.6%	55 29.9%	88 47.8%	74 40.2%	55 29.9%	81 44.0%	24 13.0%	1 0.5%
看護師多数型	150 100.0%	124 82.7%	48 32.0%	69 46.0%	57 38.0%	43 28.7%	61 40.7%	16 10.7%	1 0.7%
リハ職多数型	15 100.0%	12 80.0%	2 13.3%	7 46.7%	9 60.0%	5 33.3%	9 60.0%	6 40.0%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	8 100.0%	5 62.5%	2 25.0%	2 25.0%	4 50.0%	1 12.5%	3 37.5%	2 25.0%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	7 100.0%	7 100.0%	0 0.0%	5 71.4%	5 71.4%	4 57.1%	6 85.7%	4 57.1%	0 0.0%

図表 2-2-34 【訪問看護】定期的に訪問する場合の訪問頻度

	事業所数	平均回数/月(回)	標準偏差	中央値
全利用者宅を看護師が訪問：訪問の頻度	52	1.3	0.8	1.0

図表 2-2-35 【訪問看護】必要な場合に看護師が訪問する事業所における訪問のタイミング（複数回答、n=270 ステーション）



図表 2-2 -36 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 必要な場合に看護師が  
訪問する事業所における訪問のタイミング（複数回答）

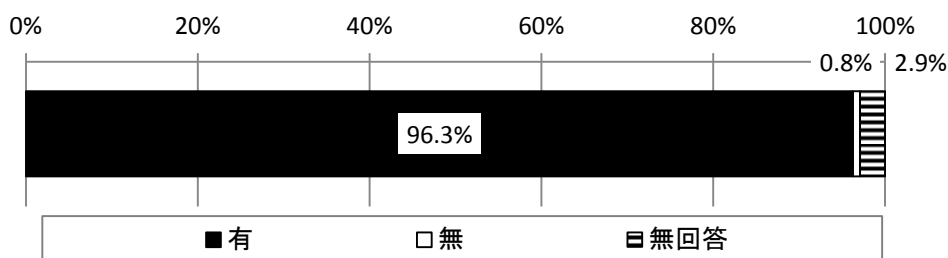
	合計	必要な場合には看護師が訪問：訪問のタイミング					
		事業所のリハ職が必要と考えた時	利用者や家族から相談があった時	医師から指示があった時	介護支援専門員から相談があった時	その他	無回答
全体	270 100.0%	239 88.5%	206 76.3%	174 64.4%	204 75.6%	31 11.5%	10 3.7%
看護師多数型	194 100.0%	169 87.1%	147 75.8%	124 63.9%	139 71.6%	22 11.3%	8 4.1%
リハ職多数型	57 100.0%	53 93.0%	48 84.2%	43 75.4%	53 93.0%	7 12.3%	1 1.8%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	31 100.0%	27 87.1%	25 80.6%	25 80.6%	27 87.1%	3 9.7%	1 3.2%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	26 100.0%	26 100.0%	23 88.5%	18 69.2%	26 100.0%	4 15.4%	0 0.0%

ii) リハ職から看護職への相談、報告の状況

リハ職による訪問を提供している利用者について、「リハ職が病状や状態について看護師に相談すること」がある事業所は 96.3%であった。

リハ職が相談するタイミング(複数回答)は、「病状や状態に変化があった時」89.6%、「初回の訪問後」38.1%、「原則、毎回の訪問後」30.4%、「定期的に報告」13.1%であった。定期的に報告する場合の月あたり平均回数は 1.4 回であった。

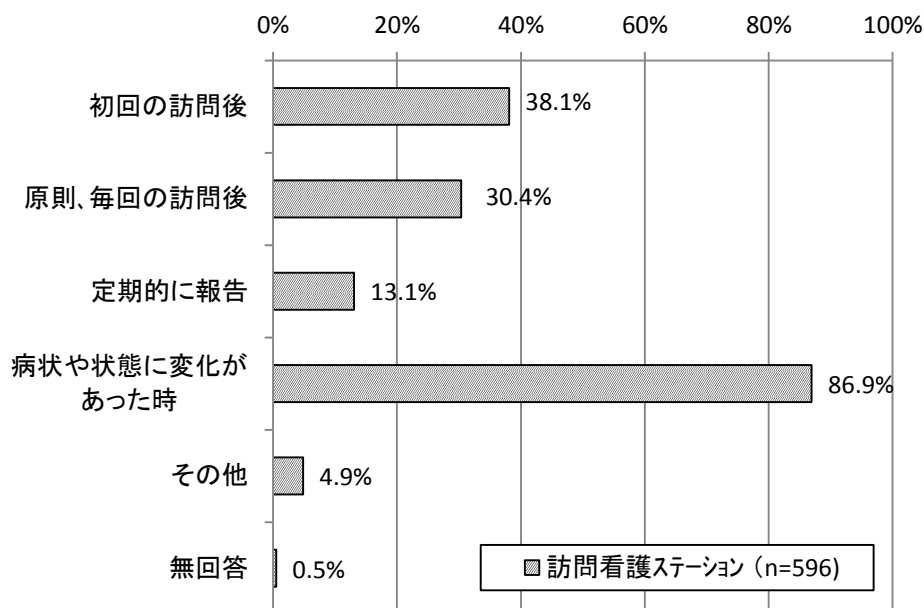
図表 2-2-37 【訪問看護】リハ職による訪問を提供している利用者についてのリハ職から看護師への報告 (n=619 ステーション)



図表 2-2-38 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 リハ職による訪問を提供している利用者についてのリハ職から看護師への報告 (n=619 ステーション)

	合計	リハ職が病状や状態について看護師に相談、報告することの有無		
		有	無	無回答
全体	619 100.0%	596 96.3%	5 0.8%	18 2.9%
看護師多数型	473 100.0%	454 96.0%	3 0.6%	16 3.4%
リハ職多数型	86 100.0%	86 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	52 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	34 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 2-2-39 【訪問看護】（報告することがある事業所の場合）リハ職が看護師に病状や状態について相談するタイミング\*（複数回答、n=596 ステーション）



図表 2-2-40 【訪問看護】（報告することがある事業所の場合）看護職員とリハ職員の配置状況別 リハ職が看護師に病状や状態について相談するタイミング（複数回答）

	合計	看護師に相談、報告するタイミング					
		初回の訪問後	原則、毎回の訪問後	定期的に報告	病状や状態に変化があった時	その他	無回答
全体	596 100.0%	227 38.1%	181 30.4%	78 13.1%	518 86.9%	29 4.9%	3 0.5%
看護師多数型	454 100.0%	168 37.0%	150 33.0%	61 13.4%	386 85.0%	21 4.6%	3 0.7%
リハ職多数型	86 100.0%	35 40.7%	14 16.3%	7 8.1%	81 94.2%	7 8.1%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	17 32.7%	8 15.4%	2 3.8%	47 90.4%	4 7.7%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	18 52.9%	6 17.6%	5 14.7%	34 100.0%	3 8.8%	0 0.0%

図表 2-2-41 【訪問看護】定期的に報告する場合の報告頻度

（単位：回/月）

	事業所数	平均値	標準偏差	中央値
報告の頻度	74	1.4	1.5	1.0

図表 2-2-42 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 定期的に報告する場合の報告頻度

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	74	1.4	1.5	1.0
看護師多数型	57	1.3	1.2	1.0
リハ職多数型	7	1.1	0.4	1.0
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	2	1.0		1.0
うち、リハ職が看護職の2倍以上	5	1.2	0.4	1.0

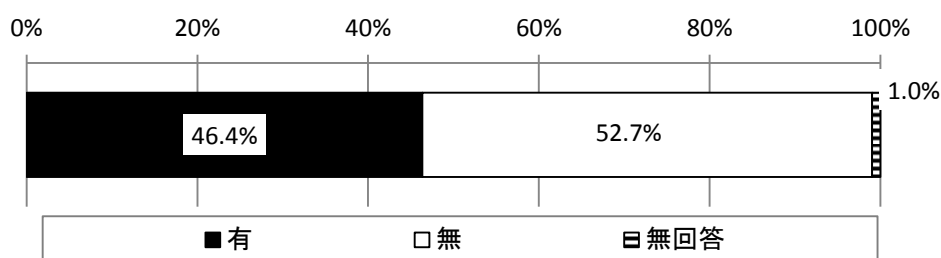
## (2) 同一法人（合同系列）の実施事業

### ① 通所リハビリテーション事業所

#### 1) 訪問看護ステーションの開設状況

同一法人（同系列を含む）において、訪問看護ステーションを開設している事業所は235事業所(46.4%)であった。このうち、リハ職の配置があるのは140事業所(59.6%)であり、理学療法士の配置がある事業所が131事業所(55.7%)であった。

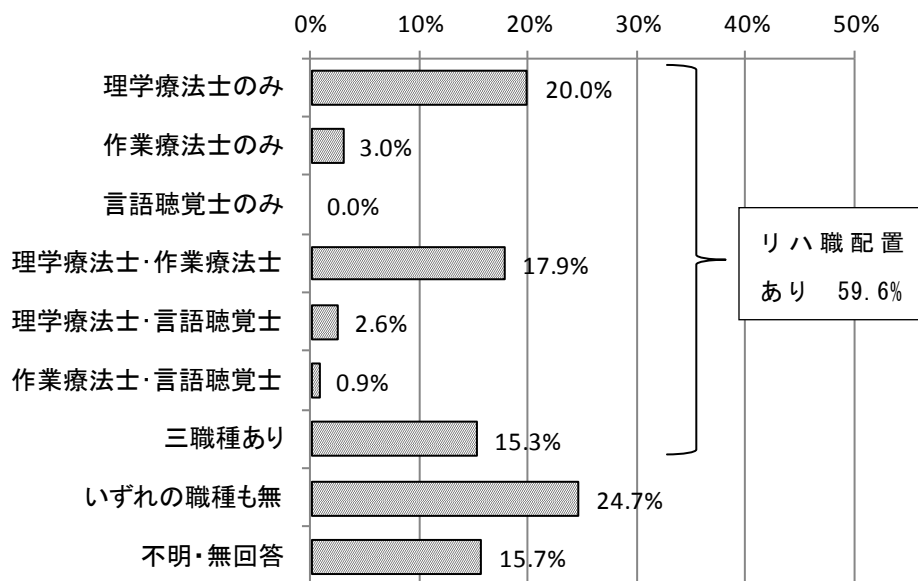
図表 2-2-43 【通所リハ】同一法人（同系列を含む）の訪問看護ステーションの有無（n=507事業所）



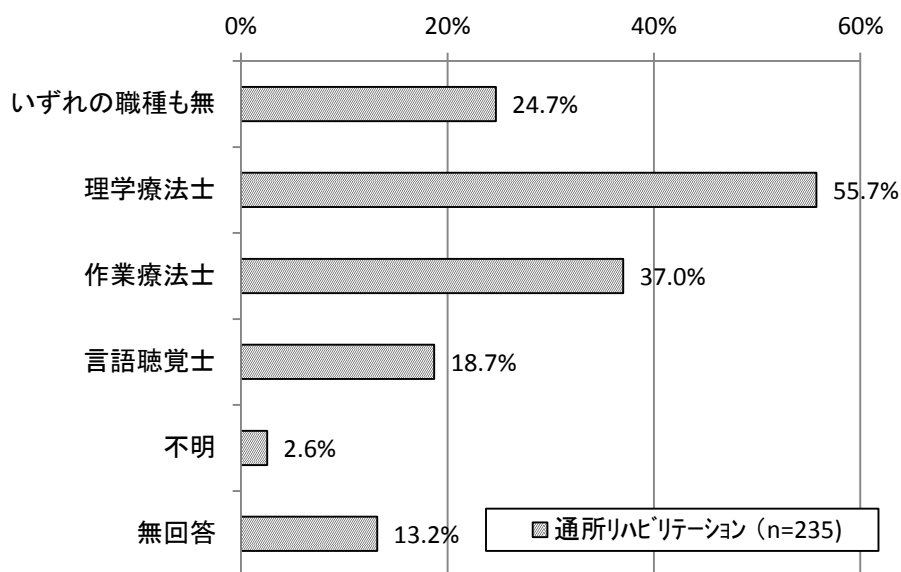
図表 2-2-44 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別 同一法人（同系列を含む）の訪問看護ステーションの有無

		合計	同一法人での訪問看護ステーションの有無		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	235 46.4%	267 52.7%	5 1.0%
開設主体	病院	138 100.0%	82 59.4%	55 39.9%	1 0.7%
	診療所	154 100.0%	47 30.5%	105 68.2%	2 1.3%
	介護老人保健施設	209 100.0%	103 49.3%	104 49.8%	2 1.0%
規模	通常規模型	388 100.0%	154 39.7%	229 59.0%	5 1.3%
	大規模事業所型（Ⅰ）	48 100.0%	32 66.7%	16 33.3%	0 0.0%
	大規模事業所型（Ⅱ）	56 100.0%	42 75.0%	14 25.0%	0 0.0%
届出の有無： リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	178 100.0%	97 54.5%	81 45.5%	0 0.0%
	無	316 100.0%	137 43.4%	174 55.1%	5 1.6%

図表 2-2-45 【通所リハ】（同一法人に訪問看護ステーションがある場合）同一法人の訪問看護ステーションにおけるリハビリ職員の配置の組み合わせ（n=235 事業所）



図表 2-2-46 【通所リハ】（同一法人に訪問看護ステーションがある場合）訪問看護ステーションにおけるリハビリ職員の配置（複数回答）（n=235 事業所）





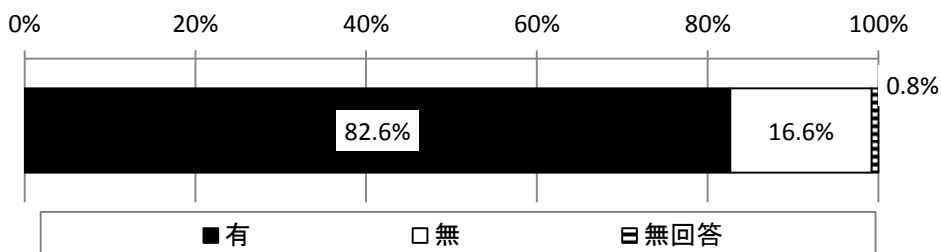
図表 2-2-47 【通所リハ】（同一法人に訪問看護ステーションがある場合）開設主体別・規模別・加算届出有無別 同一法人（同系列を含む）の訪問看護ステーションにおける  
リハビリ職員の配置

		合計	リハビリ職員の配置					無回答
			いずれの職種も無	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	不明	
全体		235 100.0%	58 24.7%	131 55.7%	87 37.0%	44 18.7%	6 2.6%	31 13.2%
開設主体	病院	82 100.0%	22 26.8%	49 59.8%	23 28.0%	16 19.5%	2 2.4%	7 8.5%
	診療所	47 100.0%	9 19.1%	30 63.8%	22 46.8%	8 17.0%	1 2.1%	4 8.5%
	介護老人保健施設	103 100.0%	26 25.2%	52 50.5%	42 40.8%	20 19.4%	2 1.9%	19 18.4%
規模	通常規模型	154 100.0%	45 29.2%	77 50.0%	41 26.6%	21 13.6%	5 3.2%	21 13.6%
	大規模事業所型（Ⅰ）	32 100.0%	6 18.8%	22 68.8%	20 62.5%	8 25.0%	0 0.0%	2 6.3%
	大規模事業所型（Ⅱ）	42 100.0%	7 16.7%	28 66.7%	23 54.8%	15 35.7%	1 2.4%	5 11.9%
届出の有無： リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ	有	97 100.0%	24 24.7%	51 52.6%	36 37.1%	26 26.8%	5 5.2%	14 14.4%
	無	137 100.0%	33 24.1%	80 58.4%	51 37.2%	18 13.1%	1 0.7%	17 12.4%

2) 居宅介護支援事業所の開設状況

同一法人（同系列を含む）において、居宅介護支援事業所を開設している事業所は82.6%であった。

図表 2-2-48 【通所リハ】同一法人（同系列を含む）の居宅介護支援事業所の有無（n=507事業所）



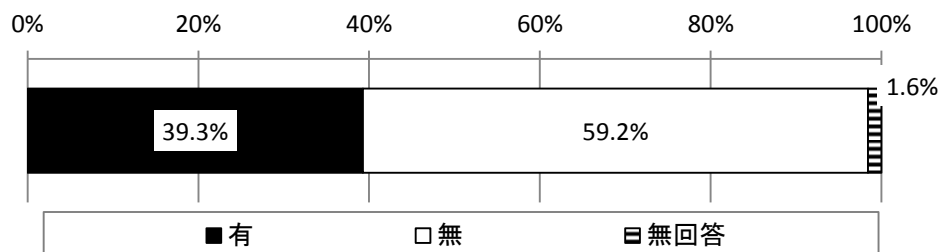
図表 2-2-49 【通所リハ】開設主体・規模・加算届出有無別 同一法人（同系列を含む）の居宅介護支援事業所の有無（n=507事業所）

		合計	同一法人での居宅介護支援事業所の有無		
			有	無	無回答
開設主体	全体	507 100.0%	419 82.6%	84 16.6%	4 0.8%
	病院	138 100.0%	118 85.5%	18 13.0%	2 1.4%
	診療所	154 100.0%	107 69.5%	46 29.9%	1 0.6%
	介護老人保健施設	209 100.0%	188 90.0%	20 9.6%	1 0.5%
規模	通常規模型	388 100.0%	308 79.4%	77 19.8%	3 0.8%
	大規模事業所型（Ⅰ）	48 100.0%	44 91.7%	4 8.3%	0 0.0%
	大規模事業所型（Ⅱ）	56 100.0%	53 94.6%	2 3.6%	1 1.8%
届出の有無： リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	178 100.0%	153 86.0%	24 13.5%	1 0.6%
	無	316 100.0%	258 81.6%	55 17.4%	3 0.9%

### 3) 通所介護事業所の開設状況

同一法人（同系列を含む）において、通所介護事業所を開設している事業所は 39.3%であった。

図表 2-2-50 【通所リハ】同一法人（同系列を含む）での通所介護事業所の有無（n=507 事業所）



図表 2-2-51 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別 同一法人（同系列を含む）の通所介護事業所の有無（n=507 事業所）

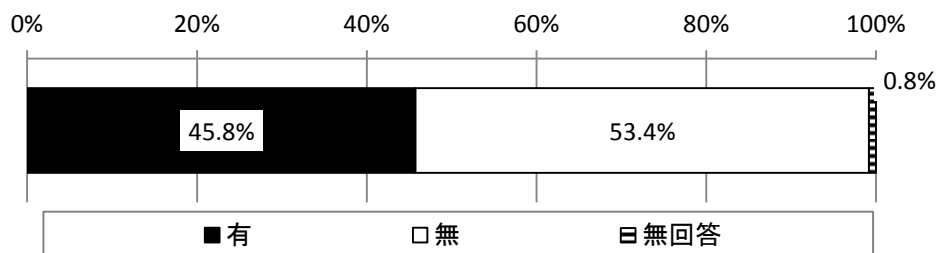
		合計	同一法人での通所介護事業所の有無		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	199 39.3%	300 59.2%	8 1.6%
開設主体	病院	138 100.0%	48 34.8%	88 63.8%	2 1.4%
	診療所	154 100.0%	54 35.1%	97 63.0%	3 1.9%
	介護老人保健施設	209 100.0%	96 45.9%	110 52.6%	3 1.4%
規模	通常規模型	388 100.0%	143 36.9%	238 61.3%	7 1.8%
	大規模事業所型（Ⅰ）	48 100.0%	23 47.9%	25 52.1%	0 0.0%
	大規模事業所型（Ⅱ）	56 100.0%	29 51.8%	26 46.4%	1 1.8%
届出の有無： リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	178 100.0%	76 42.7%	99 55.6%	3 1.7%
	無	316 100.0%	121 38.3%	190 60.1%	5 1.6%

② 訪問リハビリテーション事業所

1) 訪問看護ステーションの開設状況

同一法人（同系列を含む）において、訪問看護ステーションを開設している事業所は402事業所(45.8%)であった。このうち、リハ職の配置があるのは219事業所(53.0%)であり理学療法士の配置がある事業所が203事業所で、全体の50.5%であった。

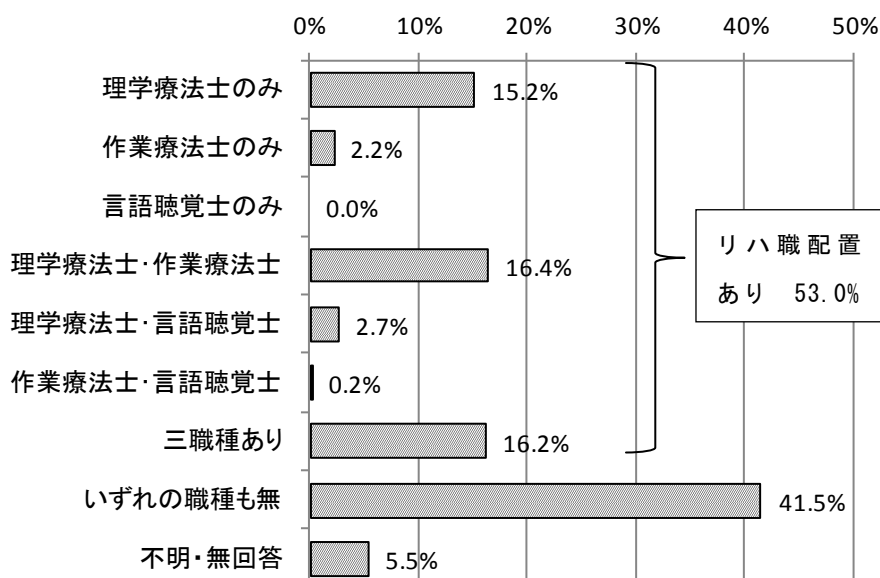
図表 2-2-52 【訪問リハ】同一法人（同系列を含む）の訪問看護ステーションの有無（n=878事業所）



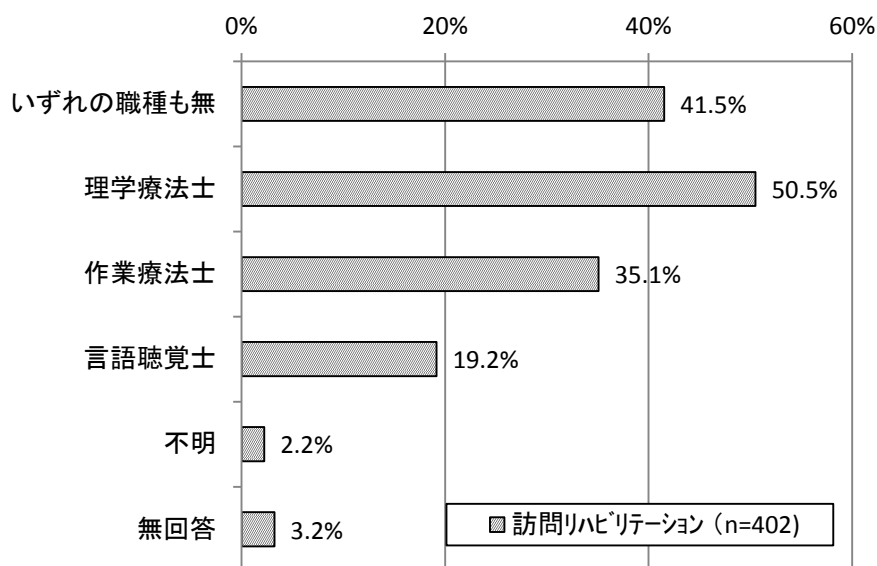
図表 2-2-53 【訪問リハ】開設主体別・加算届出有無別 同一法人での訪問看護ステーションの有無

		合計	同一法人での訪問看護ステーションの有無		
			有	無	無回答
全体		878 100.0%	402 45.8%	469 53.4%	7 0.8%
開設主体	病院	426 100.0%	247 58.0%	177 41.5%	2 0.5%
	診療所	317 100.0%	101 31.9%	212 66.9%	4 1.3%
	介護老人保健施設	130 100.0%	53 40.8%	76 58.5%	1 0.8%
届出の有無： リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	124 100.0%	61 49.2%	63 50.8%	0 0.0%
	無	732 100.0%	333 45.5%	392 53.6%	7 1.0%

図表 2-2-54 【訪問リハ】（同一法人に訪問看護ステーションがある場合）同一法人の訪問看護ステーションにおけるリハビリ職員の配置の組み合わせ（n=402 事業所）



図表 2-2-55 【訪問リハ】（同一法人に訪問看護ステーションがある場合）同一法人の訪問看護ステーションにおけるリハビリ職員の配置（複数回答）（n=402 事業所）



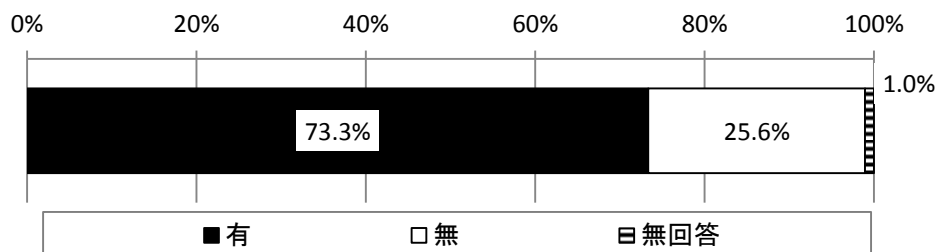
図表 2-2-56 【訪問リハ】（同一法人に訪問看護ステーションがある場合）開設主体別・  
加算届出有無別 同一法人の訪問看護ステーションにおけるリハビリ職員の配置

		合計	リハビリ職員の配置					無回答
			いずれの 職種も無	理学療法 士	作業療法 士	言語聴覚 士	不明	
全体		402 100.0%	167 41.5%	203 50.5%	141 35.1%	77 19.2%	9 2.2%	13 3.2%
開設主体	病院	247 100.0%	100 40.5%	128 51.8%	84 34.0%	45 18.2%	5 2.0%	7 2.8%
	診療所	101 100.0%	47 46.5%	48 47.5%	36 35.6%	21 20.8%	3 3.0%	2 2.0%
	介護老人 保健施設	53 100.0%	20 37.7%	26 49.1%	20 37.7%	10 18.9%	1 1.9%	4 7.5%
届出の有無： リハビリテー ションマネジ メント加算Ⅱ	有	61 100.0%	23 37.7%	35 57.4%	26 42.6%	14 23.0%	1 1.6%	2 3.3%
	無	333 100.0%	141 42.3%	164 49.2%	112 33.6%	62 18.6%	8 2.4%	11 3.3%

2) 居宅介護支援事業所の開設状況

同一法人（同系列を含む）において、居宅介護支援事業所を開設している事業所は73.3%であった。

図表 2-2 -57 【訪問リハ】同一法人（同系列を含む）での居宅介護支援事業所の有無（n=878 事業所）



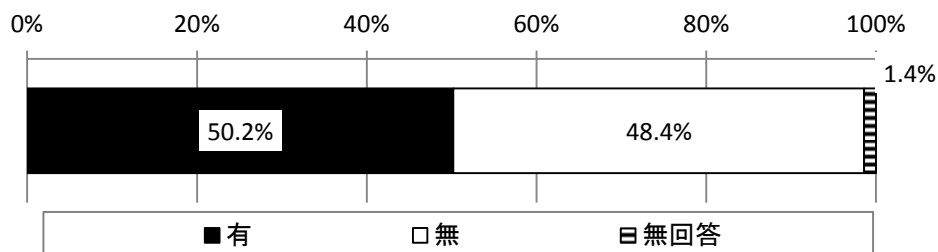
図表 2-2 -58 【訪問リハ】開設主体別・加算届出有無別 同一法人（同系列を含む）での居宅介護支援事業所の有無

		合計	同一法人での居宅介護支援事業所の有無		
			有	無	無回答
全体		878 100.0%	644 73.3%	225 25.6%	9 1.0%
開設主体	病院	426 100.0%	336 78.9%	85 20.0%	5 1.2%
	診療所	317 100.0%	183 57.7%	130 41.0%	4 1.3%
	介護老人保健施設	130 100.0%	124 95.4%	6 4.6%	0 0.0%
届出の有無： リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	124 100.0%	98 79.0%	26 21.0%	0 0.0%
	無	732 100.0%	531 72.5%	193 26.4%	8 1.1%

3) 通所介護事業所の開設状況

同一法人（同系列を含む）において、通所介護事業所を開設している事業所は 50.2%であった。

図表 2-2-59 【訪問リハ】同一法人（同系列を含む）での通所介護事業所の有無  
(n=878 事業所)



図表 2-2-60 【訪問リハ】開設主体別・加算届出有無別 同一法人（同系列を含む）での通所介護事業所の有無

		合計	同一法人での通所介護事業所の有無		
			有	無	無回答
全体		878	441	425	12
		100.0%	50.2%	48.4%	1.4%
開設主体	病院	426	230	192	4
		100.0%	54.0%	45.1%	0.9%
	診療所	317	127	186	4
		100.0%	40.1%	58.7%	1.3%
	介護老人保健施設	130	82	44	4
		100.0%	63.1%	33.8%	3.1%
届出の有無： リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	124	59	64	1
		100.0%	47.6%	51.6%	0.8%
	無	732	376	347	9
		100.0%	51.4%	47.4%	1.2%

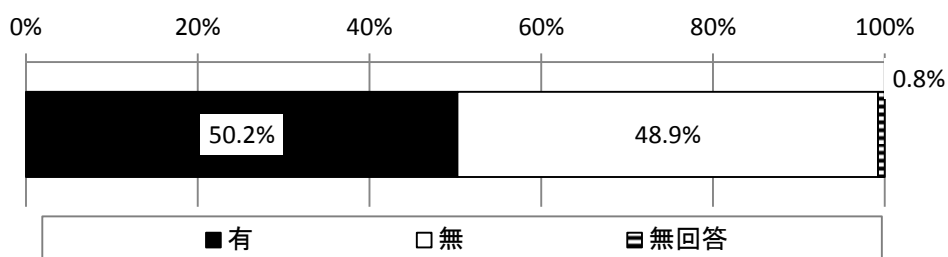


③ 訪問看護ステーション

1) 病院・診療所の開設状況

同一法人（同系列を含む）において、病院または診療所を開設しているステーションは311ステーション（50.2%）であった。

図表 2-2-61 【訪問看護】同一法人（同系列を含む）での病院・診療所の有無  
(n=619ステーション)



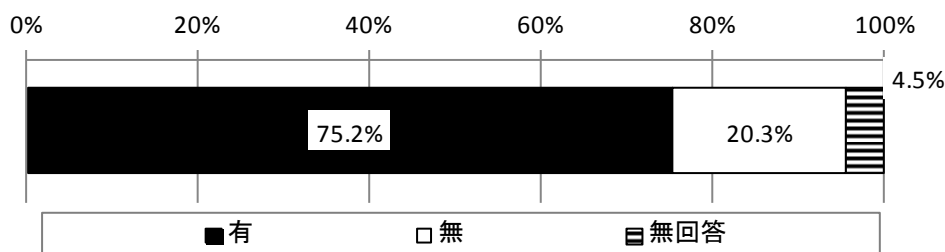
図表 2-2-62 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 同一法人の病院・診療所の有無

	合計	同一法人の病院、診療所の有無		
		有	無	無回答
全体	619 100.0%	311 50.2%	303 48.9%	5 0.8%
看護師多数型	473 100.0%	254 53.7%	216 45.7%	3 0.6%
リハ職多数型	86 100.0%	21 24.4%	64 74.4%	1 1.2%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	16 30.8%	36 69.2%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	5 14.7%	28 82.4%	1 2.9%

2) (病院・診療所のある場合) 外来リハビリテーションの実施の有無

同一法人(同系列を含む)の病院又は診療所において、外来リハビリテーションを実施しているステーションは234ステーション(75.2%)であった。

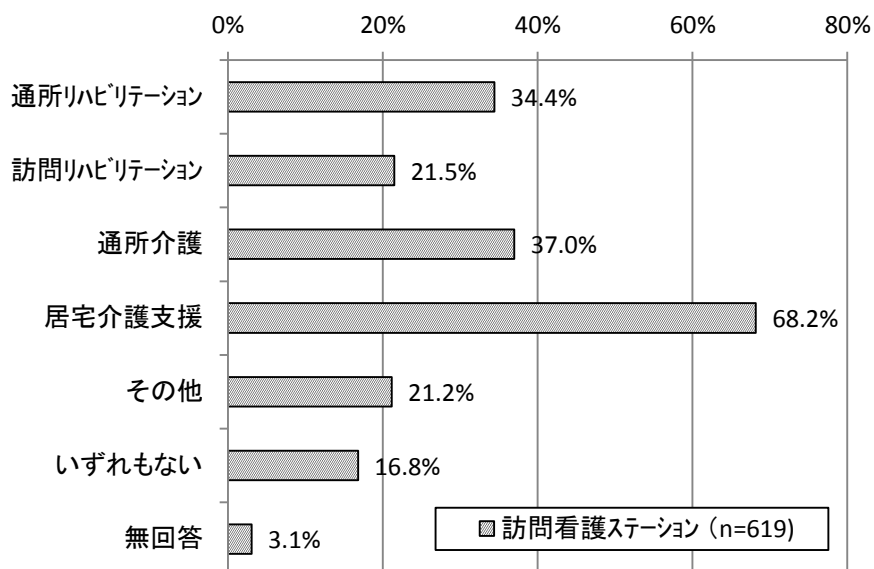
図表 2-2-63 【訪問看護】(同一法人(同系列を含む)に病院・診療所がある場合)  
病院・診療所の外来でのリハビリテーションの実施状況 (n=311ステーション)



3) 同一法人(同系列を含む)で実施しているその他の事業(複数回答)

同一法人(同系列を含む)で実施しているその他の事業は、居宅介護支援が68.2%、通所介護が37.0%、通所リハビリテーションが34.4%、訪問リハビリテーションが21.5%であった。

図表 2-2-64 【訪問看護】同一法人(同系列を含む)で実施している事業(複数回答)  
(n=619ステーション)



### (3) 各種加算の届出状況

#### ① リハビリテーションマネジメント加算（通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション）

##### 1) 加算届出状況（2016年10月分）

###### i) 通所リハビリテーション事業所

2016年10月分の通所リハビリテーション事業所では、リハビリテーションマネジメント加算Ⅰの届出事業所は92.5%、リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの届出事業所は35.1%であった。届出有の事業所における平均算定人数は、リハビリテーションマネジメント加算Ⅰは平均57.1人、リハビリテーションマネジメント加算Ⅱは平均23.2人であった。

なお、平成27年度の調査結果における通所リハビリテーション事業所のリハビリテーション加算Ⅱ届出は37.7%であった。

また、平成27年度調査と平成28年度調査両方に回答した337事業所についてみると、リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの届出は平成27年度は38.0%、平成28年度は37.1%であった。

注) リハビリテーションマネジメント加算について

リハビリテーションマネジメント加算は、通所リハビリテーション事業所の医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士その他の職種の者が協働し、継続的にリハビリテーションの質を管理した場合の加算である。

##### ※単位数

イ) リハビリテーションマネジメント加算(Ⅰ) 230単位

ロ) リハビリテーションマネジメント加算(Ⅱ)

(1) 通所リハビリテーション計画を利用者又はその家族に説明し、利用者の同意を得た日の属する月から起算して6月以内の期間のリハビリテーションの質を管理した場合 1,020単位

(2) 当該日の属する月から起算して6月を超えた期間のリハビリテーションの質を管理した場合 700単位

##### ※算定要件等

○リハビリテーションマネジメント加算(Ⅰ)

次に掲げる基準のいずれにも適合すること。

(1) 通所リハビリテーション計画の進捗状況を定期的に評価し、必要に応じて当該計画を見直していること。

(2) 指定通所リハビリテーション事業所の理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が、介護支援専門員を通じて、指定訪問介護の事業その他の指定居宅サービスに該当する事業に係る従業者に対し、リハビリテーションの観点から、日常生活上の留意点、介護の工夫等の情報を伝達していること。

(3) 新規に通所リハビリテーション計画を作成した利用者に対して、指定通所リハビリテーション事業所の医師又は医師の指示を受けた理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が、当該計画に従い、指定通所リハビリテーションの実施を開始した日から起算して一月以内に、当該利用者の居宅を訪問し、診療、運動機能検査、作業能力検査等を行っていること。

○リハビリテーションマネジメント加算(Ⅱ)

次に掲げる基準のいずれにも適合すること。

(1) リハビリテーション会議を開催し、リハビリテーションに関する専門的な見地から利用者の状況等に関する情報を構成員と共有し、当該リハビリテーション会議の内容を記録すること。

(2) 通所リハビリテーション計画について、医師が利用者又はその家族に対して説明し、利用者の同意を得ること。

(3) 通所リハビリテーション計画の作成に当たって、当該計画の同意を得た日の属する月から起算して六月以内の場合にあっては一月に一回以上、六月を超えた場合にあっては三月に一回以上、リハビリ

1 事業所の概要等

テーション会議を開催し、利用者の状態の変化に応じ、通所リハビリテーション計画を見直していること。

(4) 指定通所リハビリテーション事業所の理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が、介護支援専門員に対し、リハビリテーションに関する専門的な見地から、利用者の有する能力、自立のために必要な支援方法及び日常生活上の留意点に関する情報提供を行うこと。

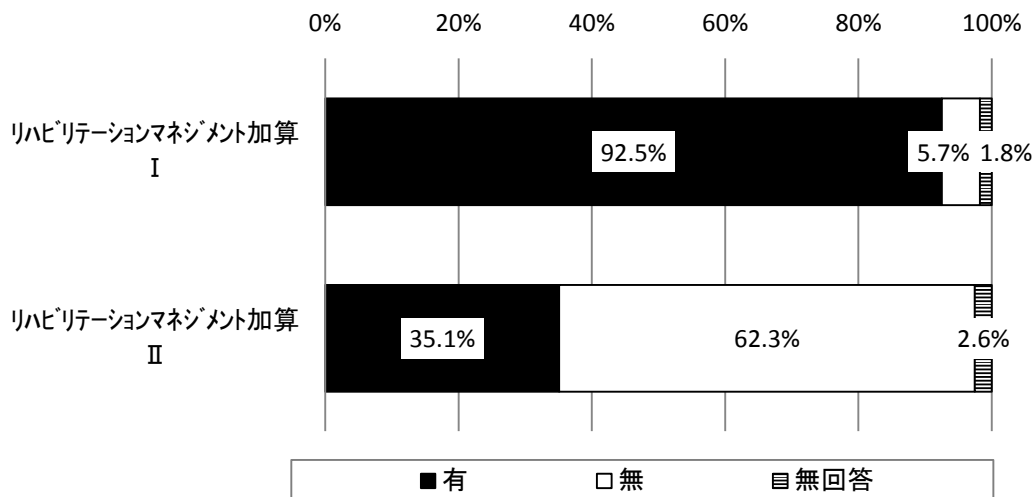
(5) 以下のいずれかに適合すること。

1) 指定通所リハビリテーション事業所の理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が、居宅サービス計画に位置付けた指定訪問介護の事業その他の指定居宅サービスに該当する事業に係る従業者と指定通所リハビリテーションの利用者の居宅を訪問し、当該従業者に対し、リハビリテーションに関する専門的な見地から、介護の工夫に関する指導及び日常生活上の留意点に関する助言を行うこと。

2) 指定通所リハビリテーション事業所の理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が、指定通所リハビリテーションの利用者の居宅を訪問し、その家族に対し、リハビリテーションに関する専門的な見地から、介護の工夫に関する指導及び日常生活上の留意点に関する助言を行うこと。

(6) (1)から(5)までに適合することを確認し、記録すること。

図表 2-2-65 【通所リハ】リハビリテーションマネジメント加算の届出状況  
(2016年10月分) (n=507事業所)



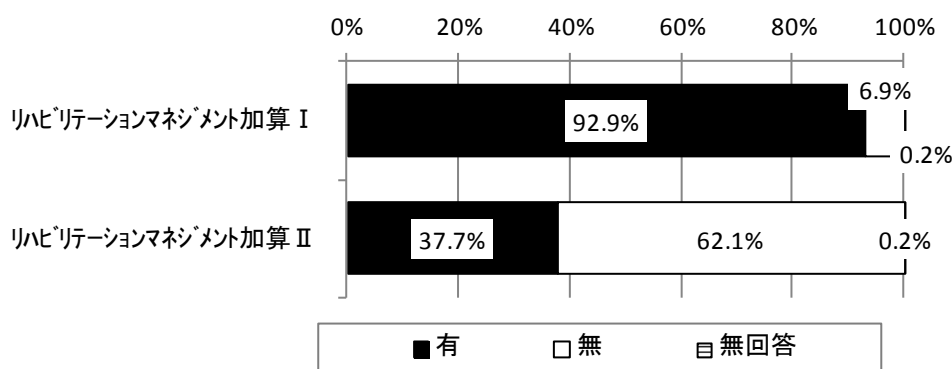
図表 2-2-66 【通所リハ】開設主体・規模別 リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの届出状況（2016年10月分）

		合計	届出の有無：リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	178 35.1%	316 62.3%	13 2.6%
開設主体	病院	138 100.0%	42 30.4%	93 67.4%	3 2.2%
	診療所	154 100.0%	47 30.5%	101 65.6%	6 3.9%
	介護老人保健施設	209 100.0%	87 41.6%	119 56.9%	3 1.4%
規模	通常規模型	388 100.0%	117 30.2%	260 67.0%	11 2.8%
	大規模事業所型（Ⅰ）	48 100.0%	22 45.8%	26 54.2%	0 0.0%
	大規模事業所型（Ⅱ）	56 100.0%	33 58.9%	22 39.3%	1 1.8%

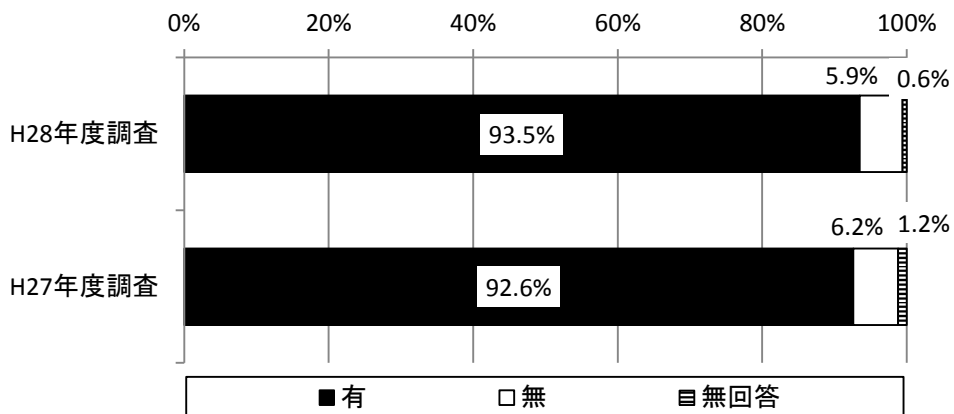
図表 2-2-67 【通所リハ】平均算定人数（2016年10月分）（回答事業所の平均値）

各加算の算定人数	事業所数	1事業所あたり平均算定人数	標準偏差	中央値
リハビリテーションマネジメント加算Ⅰ	398	57.1人	53.0	46.0人
リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ	155	23.2人	28.3	10.0人

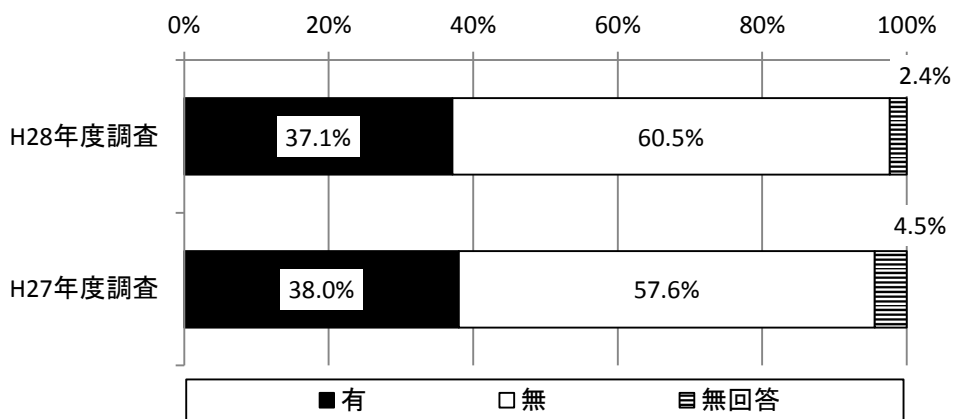
参考：【平成27年度調査結果】【通所リハ】リハビリテーションマネジメント加算の届出状況（n=467事業所）



図表 2-2-68 【通所リハ】リハビリテーションマネジメント加算Ⅰの届出状況  
 (H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所) (n=337事業所)



図表 2-2-69 【通所リハ】リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの届出状況  
 (H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所) (n=337事業所)

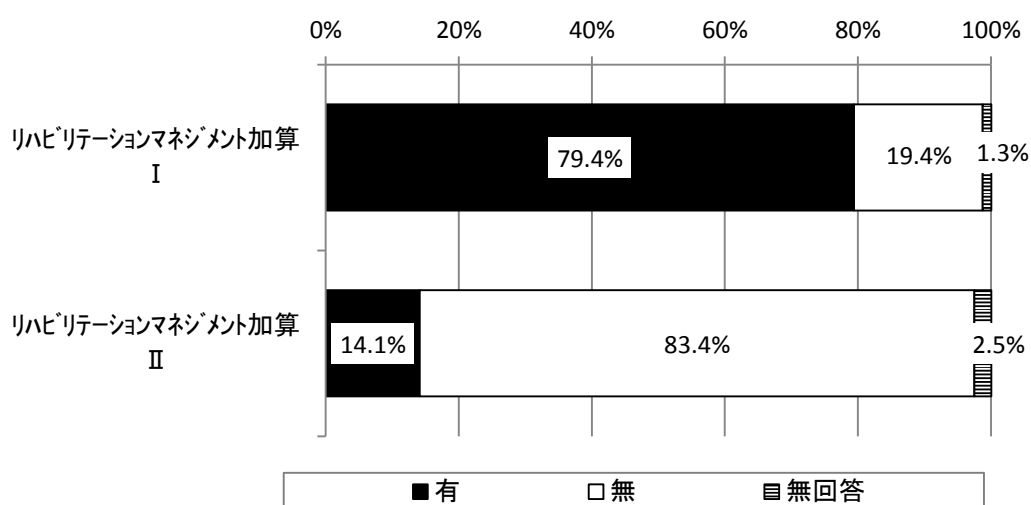


ii) 訪問リハビリテーション事業所

訪問リハビリテーション事業所では、リハビリテーションマネジメント加算Ⅰの届出事業所は79.4%、リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの届出事業所は14.1%であった。

届出有の事業所における平均算定人数は、リハビリテーションマネジメント加算Ⅰは平均23.7人、リハビリテーションマネジメント加算Ⅱは平均9.7人であった。

図表 2-2-70 【訪問リハ】リハビリテーションマネジメント加算の届出状況  
(2016年10月分) (n=878事業所)



注) リハビリテーションマネジメント加算について

リハビリテーションマネジメント加算は、訪問リハビリテーション事業所の医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士その他の職種の者が協働し、継続的にリハビリテーションの質を管理した場合の加算である。

※ 単位数

イリハビリテーションマネジメント加算(Ⅰ) 60 単位

ロリハビリテーションマネジメント加算(Ⅱ) 150 単位

※ 算定要件等

○リハビリテーションマネジメント加算(Ⅰ)の基準

次に掲げる基準のいずれにも適合すること。

- (1) 訪問リハビリテーション計画の進捗状況を定期的に評価し、必要に応じて当該計画を見直していること。
- (2) 指定訪問リハビリテーション事業所の理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が、介護支援専門員を通じて、指定訪問介護の事業その他の指定居宅サービスに該当する事業に係る従業者に対し、リハビリテーションの観点から、日常生活上の留意点、介護の工夫等の情報を伝達していること。

○リハビリテーションマネジメント加算(Ⅱ)の基準

次に掲げる基準のいずれにも適合すること。

- (1) リハビリテーション会議を開催し、リハビリテーションに関する専門的な見地から利用者の状況等に関する情報を構成員と共有し、当該リハビリテーション会議の内容を記録すること。
- (2) 訪問リハビリテーション計画について、医師が利用者又はその家族に対して説明し、利用者の同意を得ること。

1 事業所の概要等

- (3) 三月に一回以上、リハビリテーション会議を開催し、利用者の状態の変化に応じ、訪問リハビリテーション計画を見直していること。
- (4) 指定訪問リハビリテーション事業所の理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が、介護支援専門員に対し、リハビリテーションに関する専門的な見地から、利用者の有する能力、自立のために必要な支援方法及び日常生活上の留意点に関する情報提供を行うこと。
- (5) 以下のいずれかに適合すること。
- 1) 指定訪問リハビリテーション事業所の理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が、居宅サービス計画に位置付けた指定訪問介護の事業その他の指定居宅サービスに該当する事業に係る従業者と指定訪問リハビリテーションの利用者の居宅を訪問し、当該従業者に対し、リハビリテーションに関する専門的な見地から、介護の工夫に関する指導及び日常生活上の留意点に関する助言を行うこと。
  - 2) 指定訪問リハビリテーション事業所の理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が、指定訪問リハビリテーションの利用者の居宅を訪問し、その家族に対し、リハビリテーションに関する専門的な見地から、介護の工夫に関する指導及び日常生活上の留意点に関する助言を行うこと。
- (6) (1)から(5)までに適合することを確認し、記録すること。

図表 2-2-71 【訪問リハ】開設主体別・加算届出別 リハビリテーションマネジメント加算 I の届出状況 2016 年 10 月分

		合計	届出の有無:リハビリテーション マネジメント加算 I		
			有	無	無回答
全体		878 100.0%	697 79.4%	170 19.4%	11 1.3%
開設主体	病院	426 100.0%	353 82.9%	67 15.7%	6 1.4%
	診療所	317 100.0%	226 71.3%	87 27.4%	4 1.3%
	介護老人保健施設	130 100.0%	115 88.5%	14 10.8%	1 0.8%
届出の有無: リハビリテー ションマネジ メント加算 II	有	124 100.0%	90 72.6%	32 25.8%	2 1.6%
	無	732 100.0%	589 80.5%	138 18.9%	5 0.7%

図表 2-2-72 【訪問リハ】開設主体別・加算届出別 リハビリテーションマネジメント加算 II の届出状況 2016 年 10 月分

		合計	リハビリテーションマネジメント 加算 II 届出		
			有	無	無回答
全体		878 100.0%	124 14.1%	732 83.4%	22 2.5%
開設主体	病院	426 100.0%	53 12.4%	363 85.2%	10 2.3%
	診療所	317 100.0%	38 12.0%	273 86.1%	6 1.9%
	介護老人保健施設	130 100.0%	33 25.4%	92 70.8%	5 3.8%



図表 2-2-73 【訪問リハ】平均算定人数 2016年10月分（回答事業所の平均値）

	算定事業件数	1事業所あたり 平均算定人数 (人)	標準偏差	中央値
リハビリテーションマネジメント加算Ⅰ	653	23.7	29.9	15.0
リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ	114	9.7	17.3	4.0

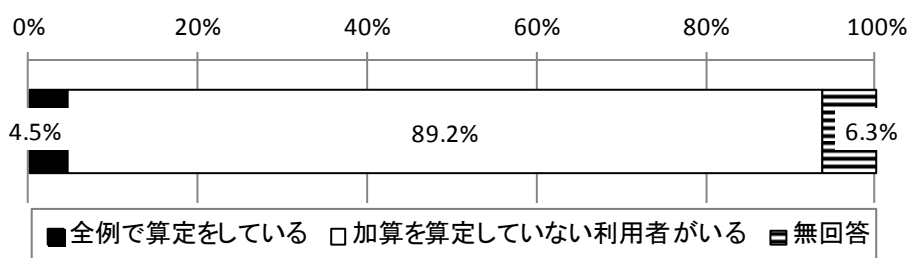
2) リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの算定状況と全例で算定していない理由

i) 通所リハビリテーション事業所

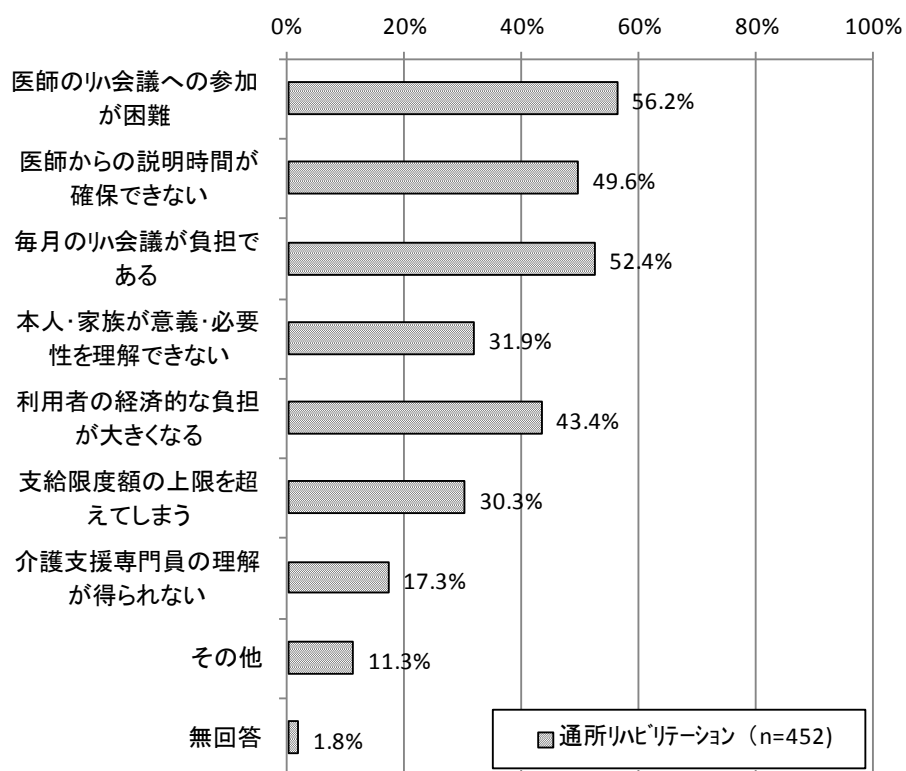
通所リハビリテーション事業所で、リハビリテーションマネジメント加算Ⅱを算定していない利用者がある事業所（加算届出有の事業者で、算定していない利用者がある場合を含む）は89.2%であった。

算定をしていないその主な理由は「医師のリハ会議への参加が困難」が56.2%、「毎月のリハ会議が負担である」が52.4%、「医師からの説明時間が確保できない」が49.6%であった。「その他」の主な内容は「施設の人員体制上の都合」、「必要のない利用者もいるため」等であった。

図表 2-2-74 【通所リハ】リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの算定状況  
(2016年10月分) (n=507事業所)



図表 2-2-75 【通所リハ】リハビリテーションマネジメント加算Ⅱを算定していない利用者がある理由 (2016年10月分) (複数回答、n=452事業所)



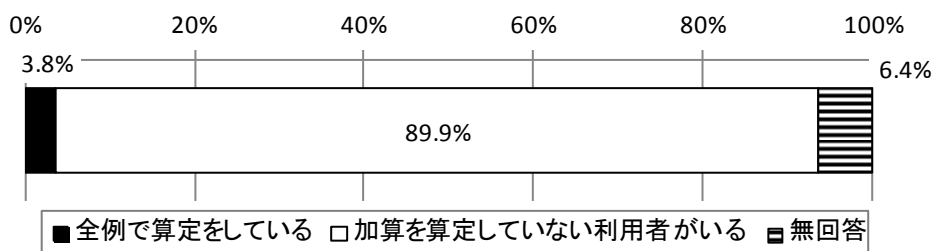
図表 2-2-76 【通所リハ】リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの届出の有無別  
リハビリテーションマネジメント加算Ⅱを算定していない利用者がある理由  
(2016年10月分)(複数回答)

	合計	医師のリハ会議への参加が困難	医師からの説明時間が確保できない	毎月のリハ会議が負担である	本人・家族が意義・必要性を理解できない	利用者の経済的な負担が大きくなる	支給限度額の上限を超えてしまう	介護支援専門員の理解が得られない	その他	無回答
全体	452 100.0%	254 56.2%	224 49.6%	237 52.4%	144 31.9%	196 43.4%	137 30.3%	78 17.3%	51 11.3%	8 1.8%
有	154 100.0%	57 37.0%	41 26.6%	71 46.1%	71 46.1%	87 56.5%	68 44.2%	45 29.2%	23 14.9%	3 1.9%
無	291 100.0%	191 65.6%	177 60.8%	162 55.7%	71 24.4%	107 36.8%	66 22.7%	33 11.3%	28 9.6%	5 1.7%

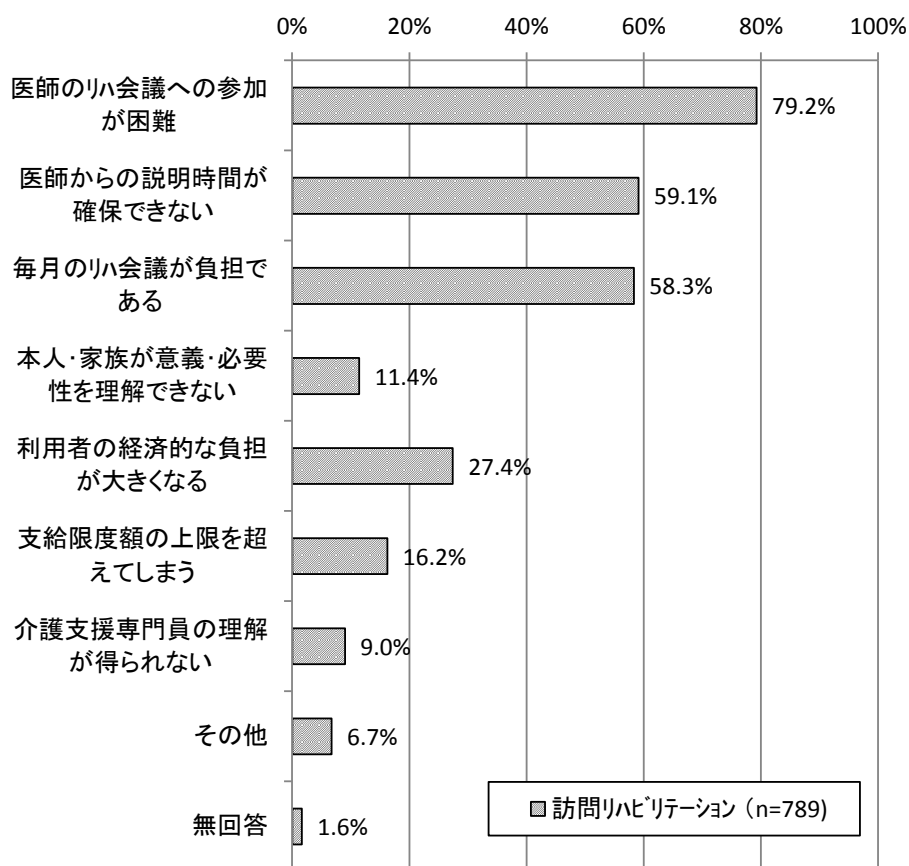
ii) 訪問リハビリテーション事業所

訪問リハビリテーション事業所で、リハビリテーションマネジメント加算Ⅱを算定していない利用者がある事業所（加算届出有の事業者で、算定していない利用者がある場合を含む）は 89.9%であり、算定をしていないその主な理由は「医師のリハ会議への参加が困難」が 79.2%、「医師からの説明時間が確保できない」が 59.1%、「毎月のリハ会議が負担である」が 58.3%であった。「その他」の主な内容は「職員体制の不足」、「算定の労力に対し単位数が少ない」等であった。

図表 2-2-77 【訪問リハ】リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの算定状況  
(2016年10月分)(n=878事業所)



図表 2-2-78 【訪問リハ】（リハビリテーションマネジメント加算Ⅱを算定していない利用者がある場合）リハビリテーションマネジメント加算Ⅱを算定していない利用者がある理由（2016年10月分）（複数回答）（n=789事業所）



図表 2-2-79 【訪問リハ】リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの届出の有無別リハビリテーションマネジメント加算を算定していない利用者がある理由（2016年10月分）（複数回答）

	合計	医師のリハ会議への参加が困難	医師からの説明時間が確保できない	毎月のリハ会議が負担である	本人・家族が意義・必要性を理解できない	利用者の経済的な負担が大きくなる	支給限度額の上限を超えてしまう	介護支援専門員の理解が得られない	その他	無回答
全体	789 100.0%	625 79.2%	466 59.1%	460 58.3%	90 11.4%	216 27.4%	128 16.2%	71 9.0%	53 6.7%	13 1.6%
有	87 100.0%	54 62.1%	40 46.0%	33 37.9%	25 28.7%	23 26.4%	15 17.2%	13 14.9%	12 13.8%	0 0.0%
無	684 100.0%	562 82.2%	418 61.1%	416 60.8%	60 8.8%	186 27.2%	110 16.1%	57 8.3%	40 5.8%	11 1.6%

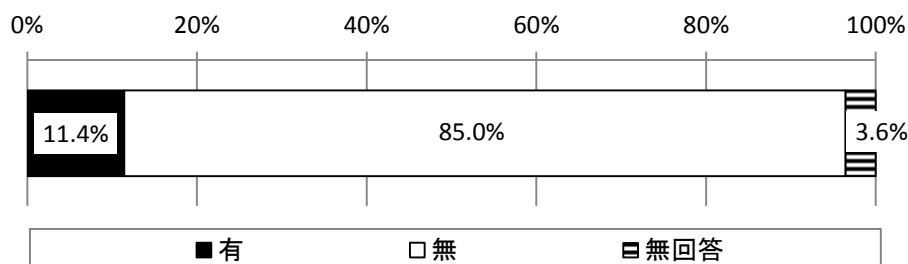
② 【通所リハ・訪問リハ】社会参加支援加算

1) 加算届出状況（2016年10月分）

i) 通所リハビリテーション

通所リハビリテーション事業所における2016年10月分の社会参加支援加算の届出事業所は、11.4%であった。

図表 2-2-80 【通所リハ】社会参加支援加算の届出状況（2016年10月分）（n=507事業所）



図表 2-2-81 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出別 社会参加支援加算の届出状況（2016年10月分）（n=507事業所）

		合計	届出の有無:社会参加支援加算		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	58 11.4%	431 85.0%	18 3.6%
開設主体	病院	138 100.0%	22 15.9%	112 81.2%	4 2.9%
	診療所	154 100.0%	11 7.1%	136 88.3%	7 4.5%
	介護老人保健施設	209 100.0%	25 12.0%	178 85.2%	6 2.9%
規模	通常規模型	388 100.0%	44 11.3%	330 85.1%	14 3.6%
	大規模事業所型 (Ⅰ)	48 100.0%	6 12.5%	42 87.5%	0 0.0%
	大規模事業所型 (Ⅱ)	56 100.0%	8 14.3%	45 80.4%	3 5.4%
届出の有無: リハビリテー ションマネジ メント加算Ⅱ	有	178 100.0%	36 20.2%	135 75.8%	7 3.9%
	無	316 100.0%	22 7.0%	291 92.1%	3 0.9%

1 事業所の概要等

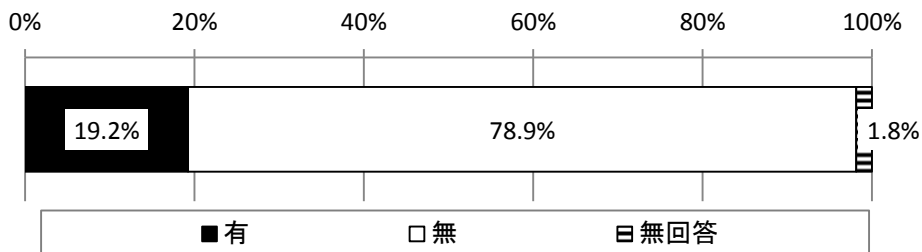
注) 社会参加支援加算について  
 社会参加支援加算：通所リハビリテーションの利用により ADL・IADL が向上し、社会参加を維持できる他のサービス等に移行できるなど、質の高い通所リハビリテーションを提供する事業所の体制を評価する加算である。

※算定要件等  
 ○指定通所リハビリテーション事業所において、評価対象期間の次の年度内に限り 1 日につき 12 単位を所定の単位数に加算する。  
 ○次に掲げる基準のいずれにも適合すること。  
 (1) 評価対象期間において指定通所リハビリテーションの提供を終了した者(生活行為向上リハビリテーション実施加算を算定した者を除く。)のうち、指定通所介護、指定認知症対応型通所介護、通所事業その他社会参加に資する取組を実施した者の占める割合が 100 分の 5 を超えていること。  
 (2) 評価対象期間中に指定通所リハビリテーションの提供を終了した日から起算して 14 日以降 44 日以内に、指定通所リハビリテーション事業所の従業者が、リハビリテーションの提供を終了した者に対して、その居宅を訪問すること又は介護支援専門員から居宅サービス計画に関する情報提供を受けることにより、指定通所介護、指定認知症対応型通所介護、通所事業その他社会参加に資する取組の実施状況が、居宅訪問等をした日から起算して、3 月以上継続する見込みであることを確認し、記録していること。  
 ○12 月を当該指定通所リハビリテーション事業所の利用者の平均利用月数で除して得た数が 100 分の 25 以上であること。

ii) 訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーション事業所における 2016 年 10 月分の社会参加支援加算届出事業所は 19.2%であった。

図表 2-2 -82 【訪問リハ】社会参加支援加算の届出状況 (2016 年 10 月分) (n=878 事業所)



図表 2-2-83 【訪問リハ】開設主体別・加算届出有無別 社会参加支援加算の届出状況  
(2016年10月分)

		合計	届出の有無:社会参加支援加算		
			有	無	無回答
全体		878 100.0%	169 19.2%	693 78.9%	16 1.8%
開設主体	病院	426 100.0%	104 24.4%	315 73.9%	7 1.6%
	診療所	317 100.0%	33 10.4%	279 88.0%	5 1.6%
	介護老人保健施設	130 100.0%	30 23.1%	97 74.6%	3 2.3%
届出の有無:リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ	有	124 100.0%	44 35.5%	77 62.1%	3 2.4%
	無	732 100.0%	123 16.8%	608 83.1%	1 0.1%

注) 社会参加支援加算について

社会参加支援加算:訪問リハビリテーションの利用によりADL・IADLが向上し、社会参加を維持できる他のサービス等に移行できるなど、質の高い訪問リハビリテーションを提供する事業所の体制を評価する。

○指定訪問リハビリテーション事業所において評価対象期間の次の年度内に限り1日につき17単位を所定の単位数に加算する。

○次に掲げる基準のいずれにも適合すること。

(1)評価対象期間において指定訪問リハビリテーションの提供を終了した者のうち、指定通所介護、指定通所リハビリテーション、指定認知症対応型通所介護、通所事業その他社会参加に資する取組を実施した者の占める割合が、100分の5を超えていること。

(2)評価対象期間中に指定訪問リハビリテーションの提供を終了した日から起算して14日以降44日以内に、指定訪問リハビリテーション事業所の従業者が、リハビリテーションの提供を終了した者に対して、その居宅を訪問すること又は介護支援専門員から居宅サービス計画に関する情報提供を受けることにより、指定通所介護、指定通所リハビリテーション、指定認知症対応型通所介護、通所事業その他社会参加に資する取組の実施状況が、居宅訪問等をした日から起算して、3月以上継続する見込みであることを確認し、記録していること。

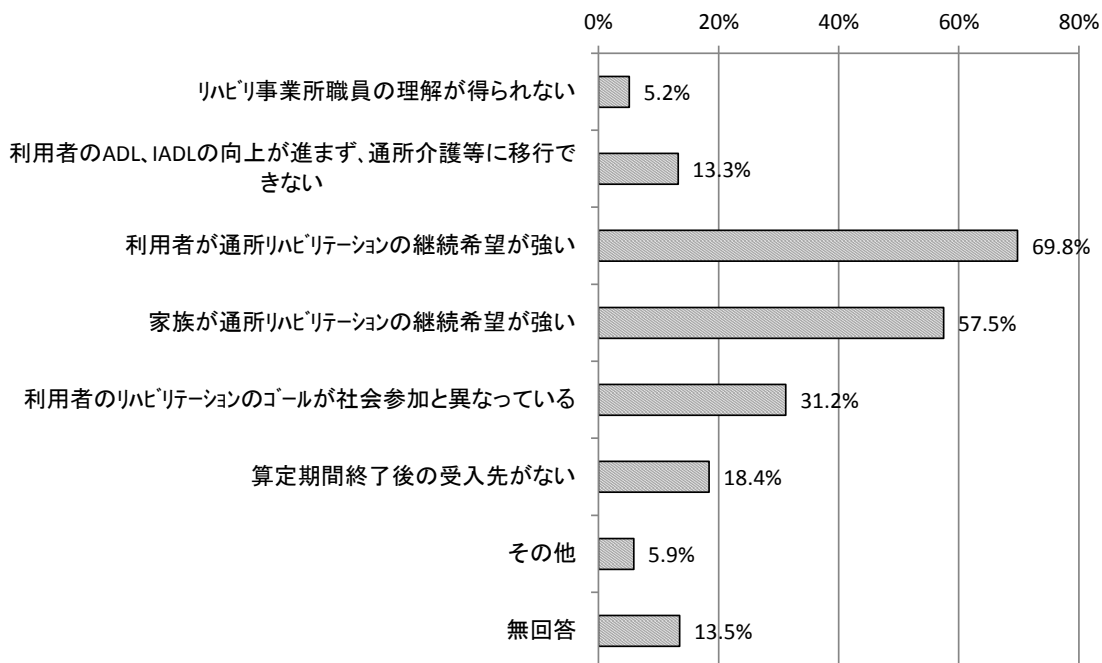
○12月を指定訪問リハビリテーション事業所の利用者の平均利用月数で除して得た数が100分の25以上であること。

2) 社会参加支援加算の届出をしていない理由

i) 通所リハビリテーション事業所

当該加算の届出をしていない主な理由は、通所リハビリテーション事業所では「利用者が通所リハビリテーションの継続希望が強い」が 69.8%、「家族が通所リハビリテーションの継続希望が強い」が 57.5%、「利用者のリハビリテーションのゴールが、社会参加と異なっている」が 31.2%であった。

図表 2-2-84 【通所リハ】社会参加支援加算届出をしていない理由(2016年10月分)(n=407)

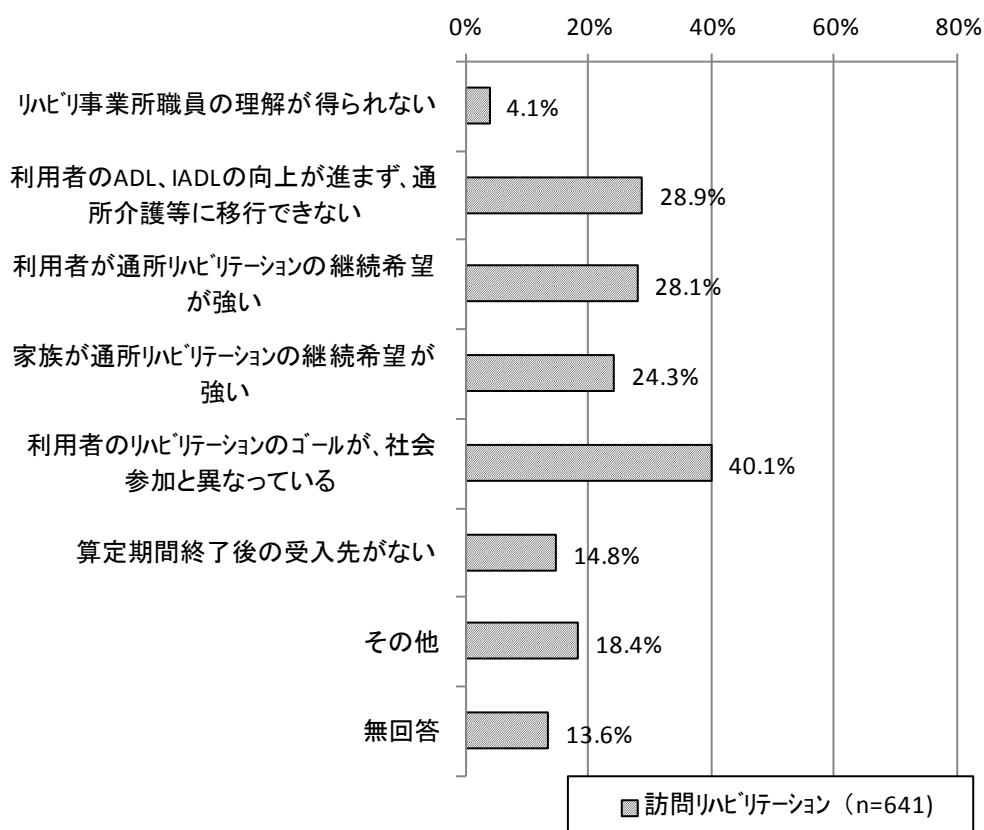




ii) 訪問リハビリテーション事業所

訪問リハビリテーション事業所では、「利用者のリハビリテーションのゴールが、社会参加と異なっている」が40.1%、「利用者のADL、IADLの向上が進まず、通所介護等に移行できない」が28.9%であった。

図表 2-2-85 【訪問リハ】社会参加支援加算届出をしていない理由（2016年10月分）（n=641事業所）



注) 当設問は調査票上で選択肢について「訪問リハビリテーション」とする予定であったところ、「通所リハビリテーション」となる誤植があった。

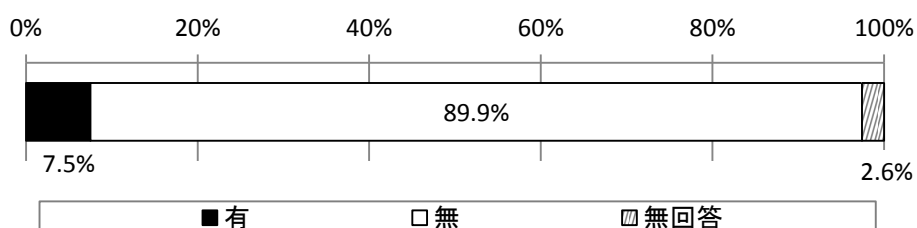
③ 【通所リハ】生活行為向上リハビリテーション加算

1) 加算届出状況（2016年10月分）

通所リハビリテーション事業所のうち、2016年10月分の生活行為向上リハビリテーション加算の届出をしている事業所は7.5%、38事業所であった。届出をしている事業所で、算定実績がある場合における平均算定数は1.4人であった。

生活行為向上リハビリテーション加算実施後に継続利用する場合の減算を算定した事業所は3事業所で、対象となった利用者は各1人であった。

図表 2-2-86 【通所リハ】生活行為向上リハビリテーション加算の届出状況  
(2016年10月分) (n=507事業所)



図表 2-2-87 【通所リハ】開設主体別・規模別別

生活行為向上リハビリテーション実施加算の届出状況（2016年10月分）

		合計	届出の有無：生活行為向上リハビリテーション 実施加算		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	38 7.5%	456 89.9%	13 2.6%
開設主体	病院	138 100.0%	10 7.2%	125 90.6%	3 2.2%
	診療所	154 100.0%	9 5.8%	139 90.3%	6 3.9%
	介護老人保健施設	209 100.0%	19 9.1%	187 89.5%	3 1.4%
規模	通常規模型	388 100.0%	21 5.4%	356 91.8%	11 2.8%
	大規模事業所型 (Ⅰ)	48 100.0%	3 6.3%	45 93.8%	0 0.0%
	大規模事業所型 (Ⅱ)	56 100.0%	12 21.4%	43 76.8%	1 1.8%

図表 2-2-88 【通所リハ】算定人数（2016年10月分）（1人以上あった場合）

各加算の算定人数	事業所数	1事業所あたり 平均算定人数	標準偏差	中央値
生活行為向上リハビリテーション実施加算	10	1.4	1.0	1.0
生活行為向上リハビリテーション加算 実施後に継続利用する場合の減算	3	1.0	0.0	1.0

注) 生活行為向上リハビリテーション実施加算について

生活行為向上リハビリテーション実施加算：ADL・IADL、社会参加などの生活行為の向上に焦点を当てた新たな生活行為向上リハビリテーションとして、居宅などの実際の生活場面における具体的な指導などにおいて、訪問と通所を組み合わせることが可能となる加算。

※ 単位数

開始月から起算して3月以内の期間に行われた場合 2,000 単位/月

開始月から起算して3月超6月以内の期間に行われた場合 1,000 単位/月

※ 算定要件等

○ 指定通所リハビリテーション事業所が、生活行為の内容の充実を図るための目標及び当該目標を踏まえたリハビリテーションの実施内容等をリハビリテーション実施計画にあらかじめ定めて、利用者に対してリハビリテーションを計画的に行い、指定通所リハビリテーションの利用者の有する能力の向上を支援した場合には加算する。

○ 次に掲げる基準のいずれにも適合すること。

(1) 生活行為の内容の充実を図るための専門的な知識若しくは経験を有する作業療法士又は生活行為の内容の充実を図るための研修を修了した理学療法士若しくは言語聴覚士が配置されていること。

(2) 生活行為の内容の充実を図るための目標及び当該目標を踏まえたリハビリテーションの実施頻度、実施場所及び実施時間等が記載されたリハビリテーション実施計画をあらかじめ定めて、リハビリテーションを提供すること。

(3) 当該計画で定めた指定通所リハビリテーションの実施期間中に指定通所リハビリテーションの提供を終了した日前1月以内に、リハビリテーション会議を開催し、リハビリテーションの目標の達成状況及び実施結果を報告すること。

(4) 通所リハビリテーション費におけるリハビリテーションマネジメント加算(Ⅱ)を算定していること。

○ ただし、短期集中個別リハビリテーション実施加算又は認知症短期集中リハビリテーション実施加算を算定している場合は、算定しない。

生活行為向上リハビリテーション実施加算の実施後に通所リハビリテーションを継続した場合の減算：生活行為向上リハビリテーションの提供終了後の翌月から6月間に限り1日につき所定単位数の100分の15に相当する単位数を所定単位数から減算する。

※ 算定要件等

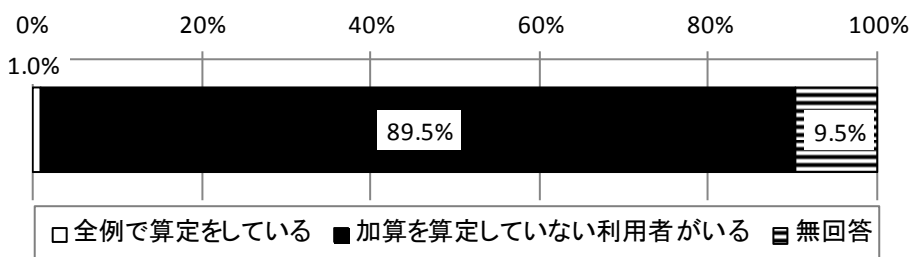
○ 生活行為向上リハビリテーション実施加算を算定し、当該加算を算定するために作成したリハビリテーション実施計画書で定めた実施期間の翌月以降に、同一の利用者に対して、指定通所リハビリテーションを行った場合は、6月間に限り減算する。

2) 生活行為向上リハビリテーション実施加算の算定状況と全例で算定していない理由

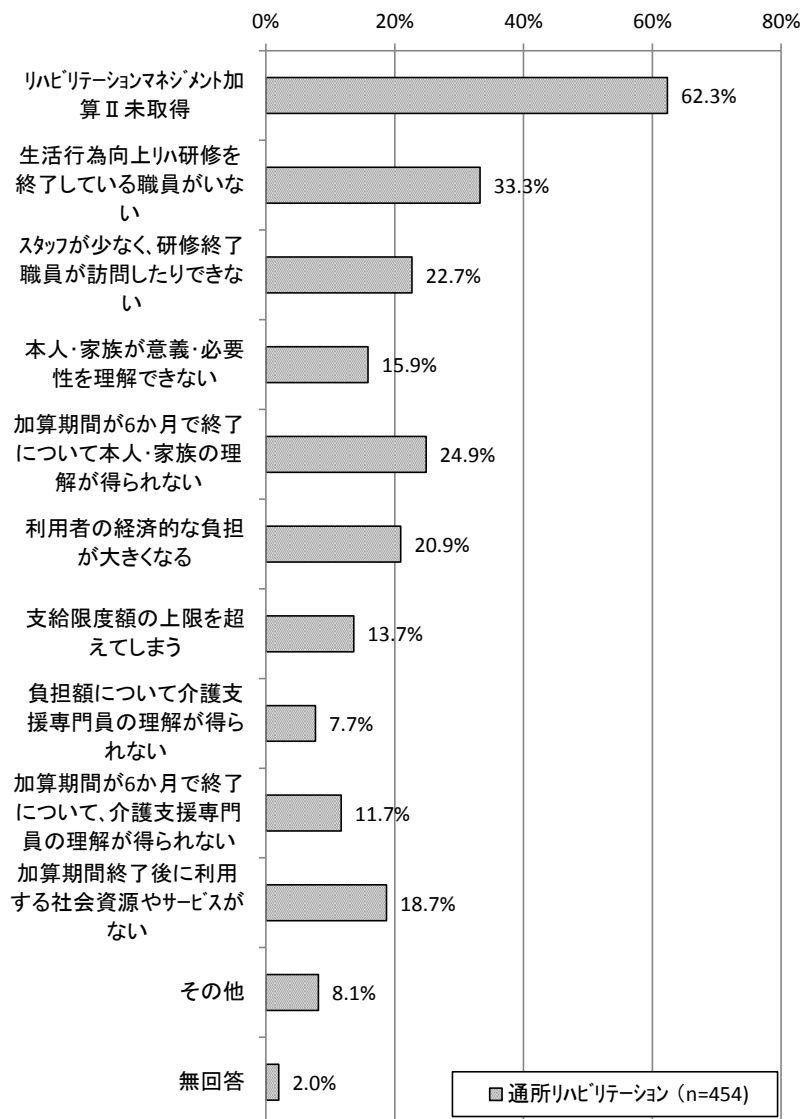
生活行為向上リハビリテーション実施加算を算定していない利用者がある事業所（加算届出有事業者で、算定していない利用者がある事業所を含む）は 89.5%であり、算定をしていないその主な理由は「リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ未取得」が 62.3%、「生活行為向上リハ研修を終了している職員がいない」が 33.3%であった。

平成 27 年度調査、28 年度調査の両方に回答した事業所において平成 27 年度の生活行為向上リハビリテーション加算届出は 12.8%、平成 28 年度は、10.7%であった。

図表 2-2-89 【通所リハ】生活行為向上リハビリテーション実施加算の算定状況  
(2016 年 10 月分) (n=507 事業所)



図表 2-2-90 【通所リハ】（生活行為向上リハビリテーション実施加算を算定していない利用者がある場合）生活行為向上リハビリテーション実施加算を算定していない利用者がある理由（複数回答）（2016年10月分）（n=454事業所）



1 事業所の概要等

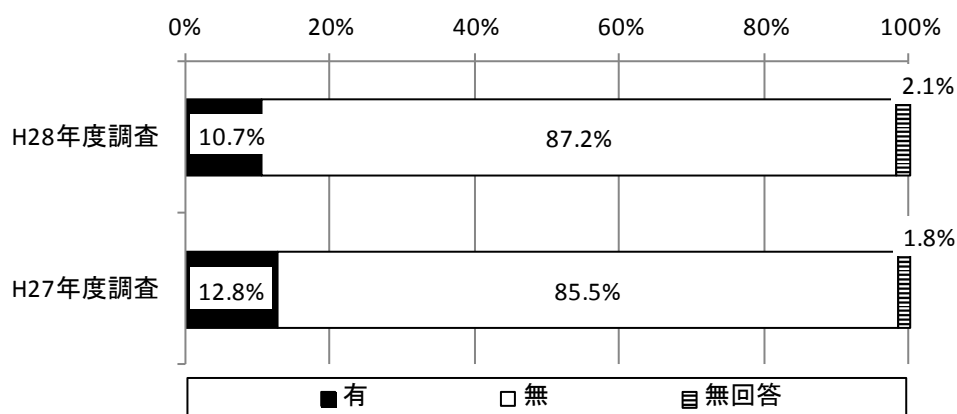
生活行為向上リハビリテーション実施加算を届け出ていると回答し、加算を算定していない利用者がある事業所は、35 事業所であり、算定していない理由は「リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ未取得」、「利用者の経済的な負担が大きくなる」がそれぞれ 37.1% 「加算期間が 6 か月で終了について本人・家族の理解が得られない」が 34.3%であった。

図表 2-2-91 【通所リハ】(生活行為向上リハビリテーション実施加算を届け出ている事業所で、算定していない利用者がある場合)生活行為向上リハビリテーション実施加算を算定していない利用者がある理由(複数回答)(2016年10月分)(n=35事業所)

全体	リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ未取得	生活行為向上リハ研修を終了している職員がいない	スタッフが少なく、研修終了職員が訪問しにくい	本人・家族が意義・必要性を理解できない	加算期間が6か月で終了について本人・家族の理解が得られない	利用者の経済的な負担が大きくなる	支給限度額の上限を超えてしまう	負担額について介護支援専門員の理解が得られない	加算期間が6か月で終了について、介護支援専門員の理解が得られない	加算期間終了後に利用する社会資源やサービスがない	その他
35 100.0%	13 37.1%	5 14.3%	5 14.3%	10 28.6%	12 34.3%	13 37.1%	6 17.1%	10 28.6%	8 22.9%	7 20.0%	6 17.1%

注1) 35 事業所での回答であり、結果について注意が必要である。

図表 2-2-92 【通所リハ】生活行為向上リハビリテーション実施加算の届出状況(H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所)(n=337事業所)



### 3) 生活行為向上リハビリテーション実施加算の算定状況と全例で算定していない理由

生活行為向上リハビリテーション加算実施後に継続利用する場合の減算を算定している事業所は3事業所であり、その理由は、全て、「利用者の通所リハ継続希望」であった。

#### ④ その他の加算（2016年10月分）

##### 1) 通所リハビリテーション

認知症短期集中リハビリテーション実施加算Ⅰの届出をしている事業所は9.1%、認知症短期集中リハビリテーション実施加算Ⅱの届出をしている事業所は4.1%であった。届出をしている事業所における平均算定人数は、認知症短期集中リハビリテーション実施加算Ⅰは1.4人、認知症短期集中リハビリテーション実施加算Ⅱは2.8人であった。

若年性認知症利用者受入加算の届出をしている事業所は4.5%であり、届出をしている事業所における平均算定人数は1.0人であった。

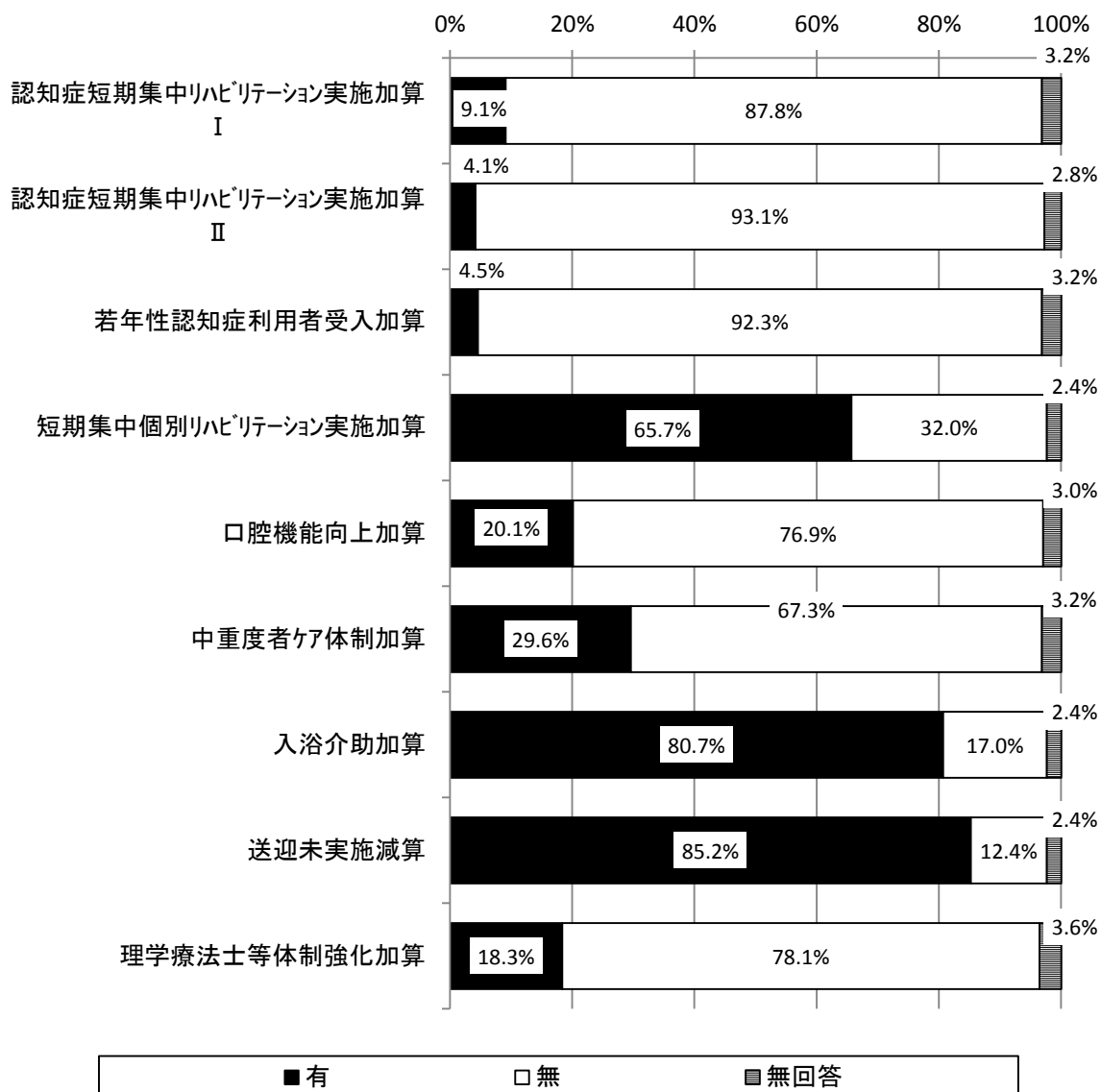
短期集中個別リハビリテーション実施加算の届出をしている事業所は65.7%であり、届出をしている事業所における平均算定人数は7.5人であった。

口腔機能向上加算の届出をしている事業所は20.1%であり、届出をしている事業所における平均算定人数は13.7人であった。

中重度者ケア体制加算の届出をしている事業所は29.6%であった。

入浴介助加算の届出をしている事業所は80.7%であり、平均算定人数は96.3人であった。

図表 2-2-93 【通所リハ】各種加算の届出状況（2016年10月分）（n=507事業所）





図表 2-2-94 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別  
認知症短期集中リハビリテーション実施加算Ⅰの届出状況（2016年10月分）

		合計	届出の有無：認知症短期集中リハビリテーション実施加算Ⅰ		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	46 9.1%	445 87.8%	16 3.2%
開設主体	病院	138 100.0%	8 5.8%	126 91.3%	4 2.9%
	診療所	154 100.0%	7 4.5%	142 92.2%	5 3.2%
	介護老人保健施設	209 100.0%	31 14.8%	172 82.3%	6 2.9%
規模	通常規模型	388 100.0%	23 5.9%	353 91.0%	12 3.1%
	大規模事業所型（Ⅰ）	48 100.0%	7 14.6%	40 83.3%	1 2.1%
	大規模事業所型（Ⅱ）	56 100.0%	14 25.0%	40 71.4%	2 3.6%
届出の有無： リハビリテーションマネ ジメント加算Ⅱ	有	178 100.0%	26 14.6%	146 82.0%	6 3.4%
	無	316 100.0%	19 6.0%	296 93.7%	1 0.3%

図表 2-2-95 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別  
 認知症短期集中リハビリテーション実施加算Ⅱの届出状況（2016年10月分）

		合計	届出の有無：認知症短期集中リハビリテーション実施加算Ⅱ		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	21 4.1%	472 93.1%	14 2.8%
開設主体	病院	138 100.0%	4 2.9%	131 94.9%	3 2.2%
	診療所	154 100.0%	2 1.3%	147 95.5%	5 3.2%
	介護老人保健施設	209 100.0%	15 7.2%	189 90.4%	5 2.4%
規模	通常規模型	388 100.0%	14 3.6%	364 93.8%	10 2.6%
	大規模事業所型（Ⅰ）	48 100.0%	1 2.1%	46 95.8%	1 2.1%
	大規模事業所型（Ⅱ）	56 100.0%	6 10.7%	48 85.7%	2 3.6%
届出の有無：リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ	有	178 100.0%	17 9.6%	157 88.2%	4 2.2%
	無	316 100.0%	3 0.9%	312 98.7%	1 0.3%

図表 2-2-96 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別  
若年性認知症利用者受入加算の届出状況（2016年10月分）

		合計	届出の有無:若年性認知症利用者受入加算		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	23 4.5%	468 92.3%	16 3.2%
開設主体	病院	138 100.0%	2 1.4%	133 96.4%	3 2.2%
	診療所	154 100.0%	7 4.5%	141 91.6%	6 3.9%
	介護老人保健施設	209 100.0%	14 6.7%	189 90.4%	6 2.9%
規模	通常規模型	388 100.0%	15 3.9%	359 92.5%	14 3.6%
	大規模事業所型(I)	48 100.0%	3 6.3%	45 93.8%	0 0.0%
	大規模事業所型(II)	56 100.0%	4 7.1%	51 91.1%	1 1.8%
届出の有無:リハビリテーションマネジメント加算II	有	178 100.0%	10 5.6%	163 91.6%	5 2.8%
	無	316 100.0%	13 4.1%	302 95.6%	1 0.3%

図表 2-2-97 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別  
短期集中個別リハビリテーション実施加算の届出状況（2016年10月分）

		合計	届出の有無：短期集中個別リハビリテーション実施加算		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	333 65.7%	162 32.0%	12 2.4%
開設主体	病院	138 100.0%	98 71.0%	40 29.0%	0 0.0%
	診療所	154 100.0%	79 51.3%	69 44.8%	6 3.9%
	介護老人保健施設	209 100.0%	151 72.2%	53 25.4%	5 2.4%
規模	通常規模型	388 100.0%	233 60.1%	146 37.6%	9 2.3%
	大規模事業所型（Ⅰ）	48 100.0%	40 83.3%	8 16.7%	0 0.0%
	大規模事業所型（Ⅱ）	56 100.0%	51 91.1%	3 5.4%	2 3.6%
届出の有無：リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	178 100.0%	146 82.0%	28 15.7%	4 2.2%
	無	316 100.0%	181 57.3%	134 42.4%	1 0.3%

図表 2-2-98 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別

口腔機能向上加算の届出状況（2016年10月分）

		合計	届出の有無：口腔機能向上加算		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	102 20.1%	390 76.9%	15 3.0%
開設主体	病院	138 100.0%	23 16.7%	113 81.9%	2 1.4%
	診療所	154 100.0%	28 18.2%	121 78.6%	5 3.2%
	介護老人保健施設	209 100.0%	51 24.4%	151 72.2%	7 3.3%
規模	通常規模型	388 100.0%	59 15.2%	316 81.4%	13 3.4%
	大規模事業所型（Ⅰ）	48 100.0%	17 35.4%	31 64.6%	0 0.0%
	大規模事業所型（Ⅱ）	56 100.0%	25 44.6%	30 53.6%	1 1.8%
届出の有無：リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	178 100.0%	55 30.9%	119 66.9%	4 2.2%
	無	316 100.0%	44 13.9%	268 84.8%	4 1.3%

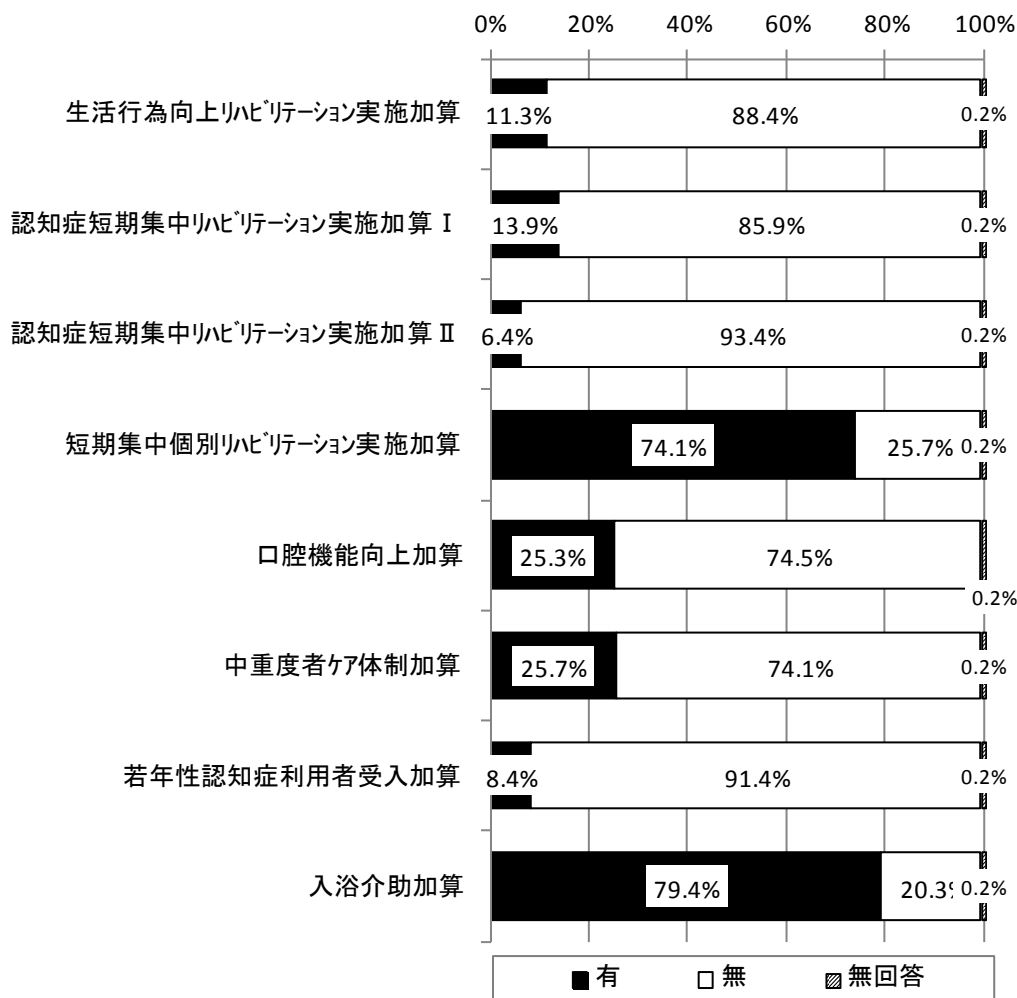
図表 2-2-99 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別  
中重度者ケア体制加算の届出状況（2016年10月分）

		合計	届出の有無:中重度者ケア体制加算		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	150 29.6%	341 67.3%	16 3.2%
開設主体	病院	138 100.0%	43 31.2%	91 65.9%	4 2.9%
	診療所	154 100.0%	21 13.6%	127 82.5%	6 3.9%
	介護老人保健施設	209 100.0%	84 40.2%	120 57.4%	5 2.4%
規模	通常規模型	388 100.0%	92 23.7%	282 72.7%	14 3.6%
	大規模事業所型(Ⅰ)	48 100.0%	21 43.8%	27 56.3%	0 0.0%
	大規模事業所型(Ⅱ)	56 100.0%	34 60.7%	21 37.5%	1 1.8%
届出の有無:リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	178 100.0%	66 37.1%	110 61.8%	2 1.1%
	無	316 100.0%	81 25.6%	230 72.8%	5 1.6%

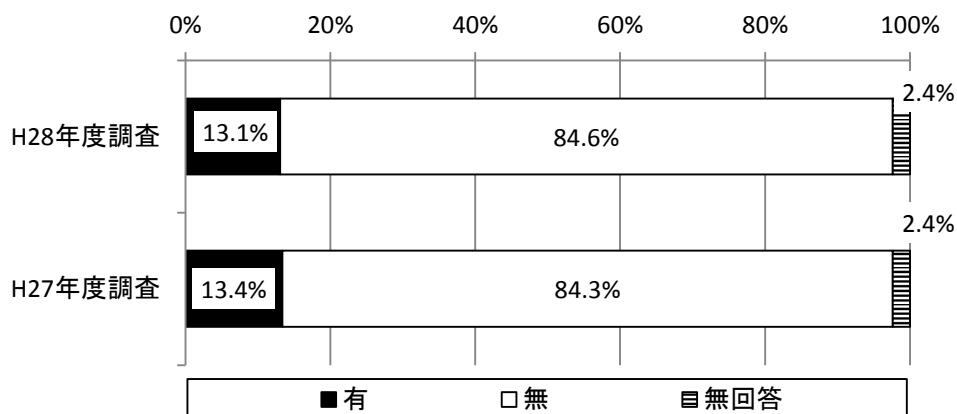
図表 2-2-100 【通所リハ】平均算定人数（2016年10月分）

各加算の算定人数	算定事業所数	1事業所あたり平均算定人数	標準偏差	中央値
認知症短期集中リハビリテーション実施加算Ⅰ	13	1.4	0.7	1.0
認知症短期集中リハビリテーション実施加算Ⅱ	5	2.8	2.0	3.0
若年性認知症利用者受入加算	5	1.0	0.0	1.0
短期集中個別リハビリテーション実施加算	279	7.5	16.0	3.0
口腔機能向上加算	88	13.7	15.7	7.0
重度療養管理加算	97	3.5	7.1	2.0
入浴介助加算	343	96.3	185.8	49.0
送迎未実施減算	364	12.8	28.9	6.0

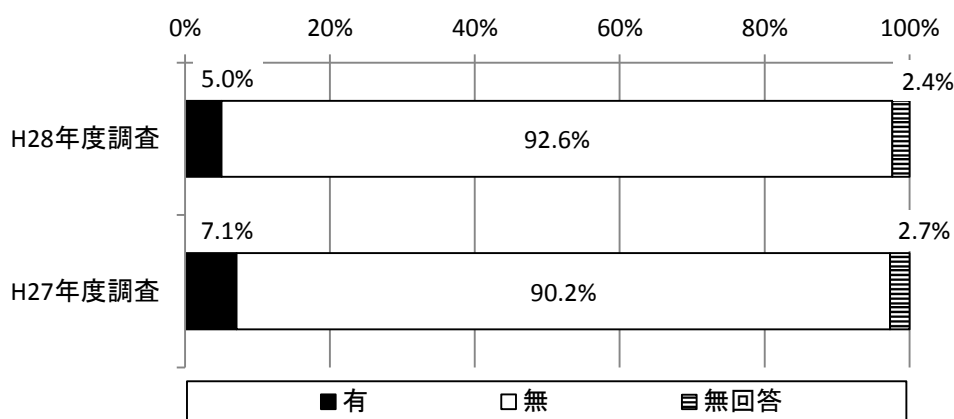
参考：【平成27年度調査結果】【通所リハ】各種加算の届出状況（要介護）（n=467事業所）



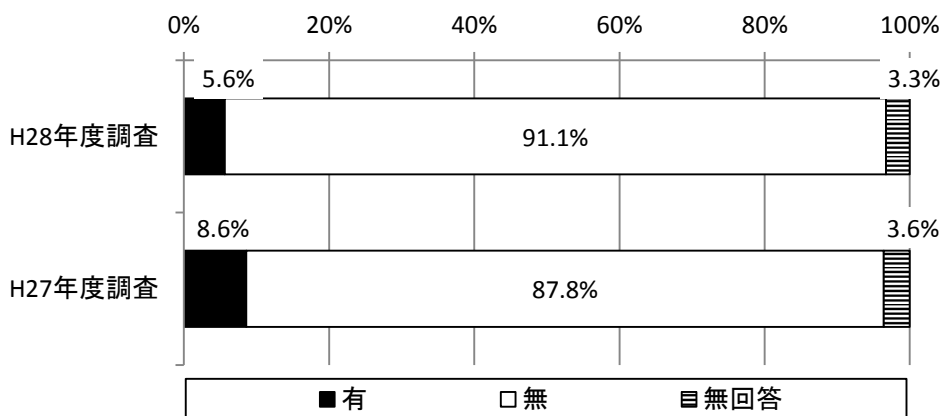
図表 2-2-101 【通所リハ】各種加算の届出状況（認知症短期集中リハビリテーション実施加算Ⅰ）（H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所）（n=337事業所）



図表 2-2-102 【通所リハ】各種加算の届出状況（認知症短期集中リハビリテーション実施加算Ⅱ）（H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所）（n=337事業所）

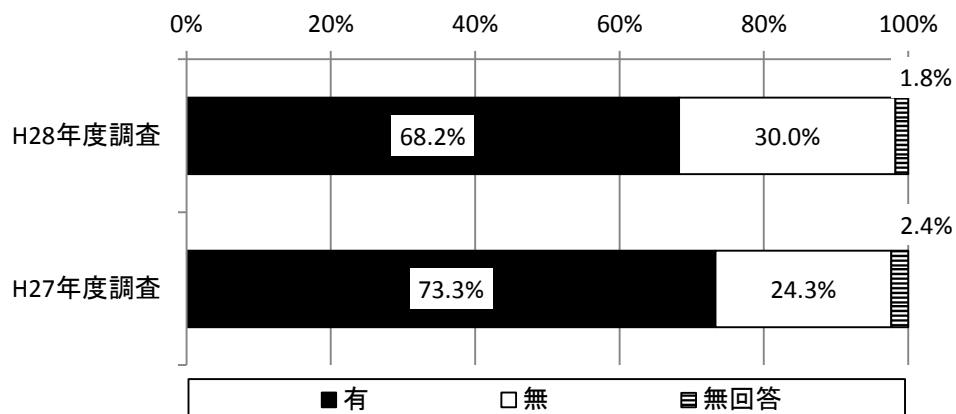


図表 2-2-103 【通所リハ】各種加算の届出状況（若年性認知症利用者受入加算）（H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所）（n=337事業所）

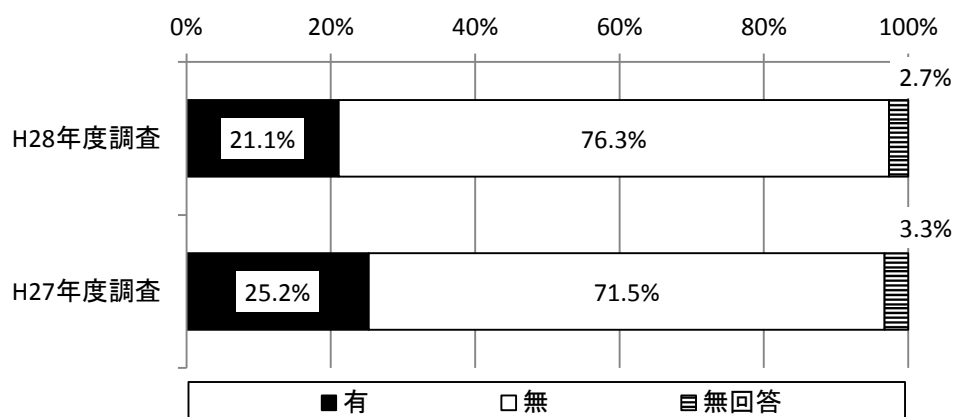




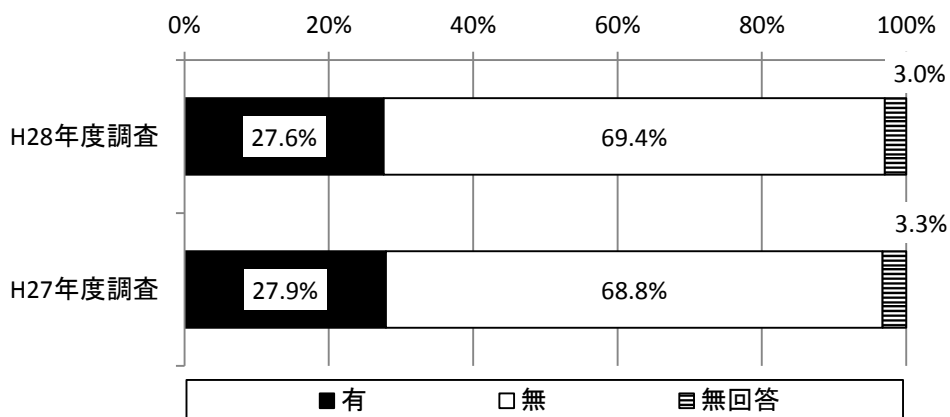
図表 2-2-104 【通所リハ】各種加算の届出状況（短期集中個別リハビリテーション実施加算）  
（H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所）（n=337事業所）



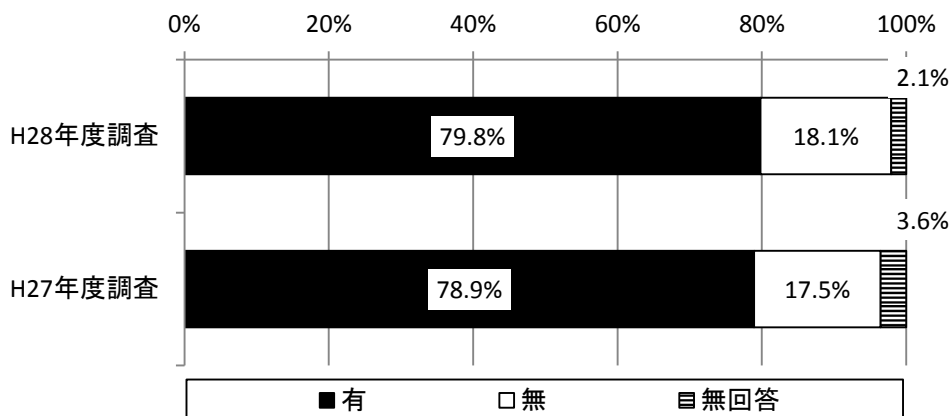
図表 2-2-105 【通所リハ】各種加算の届出状況（口腔機能向上加算）（H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所）（n=337事業所）



図表 2-2-106 【通所リハ】各種加算の届出状況（中重度者ケア体制加算）（H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所）（n=337事業所）



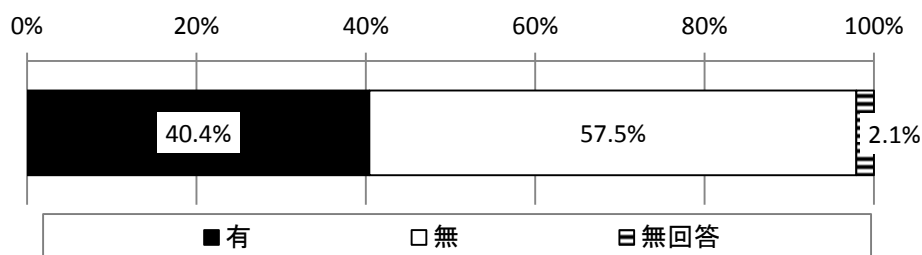
図表 2-2-107 【通所リハ】各種加算の届出状況（入浴介助加算）（H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所）（n=337事業所）



## 2) 訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーション事業所のうち、短期集中リハビリテーション実施加算の届出をしている事業所は 40.4%であった。届出をしている事業所における平均算定人数は 3.5 人であった。

図表 2-2-108 【訪問リハ】短期集中リハビリテーション実施加算の届出状況  
(2016年10月分) (n=878事業所)



図表 2-2-109 【訪問リハ】開設主体別・加算届出有無別 短期集中リハビリテーション実施加算の届出状況 (2016年10月分)

		合計	届出の有無:短期集中リハビリテーション実施加算		
			有	無	無回答
全体		878 100.0%	355 40.4%	505 57.5%	18 2.1%
開設主体	病院	426 100.0%	230 54.0%	186 43.7%	10 2.3%
	診療所	317 100.0%	72 22.7%	242 76.3%	3 0.9%
	介護老人保健施設	130 100.0%	51 39.2%	74 56.9%	5 3.8%
届出の有無:リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ	有	124 100.0%	67 54.0%	55 44.4%	2 1.6%
	無	732 100.0%	286 39.1%	440 60.1%	6 0.8%

図表 2-2-110 【訪問リハ】平均算定人数 (2016年10月分)

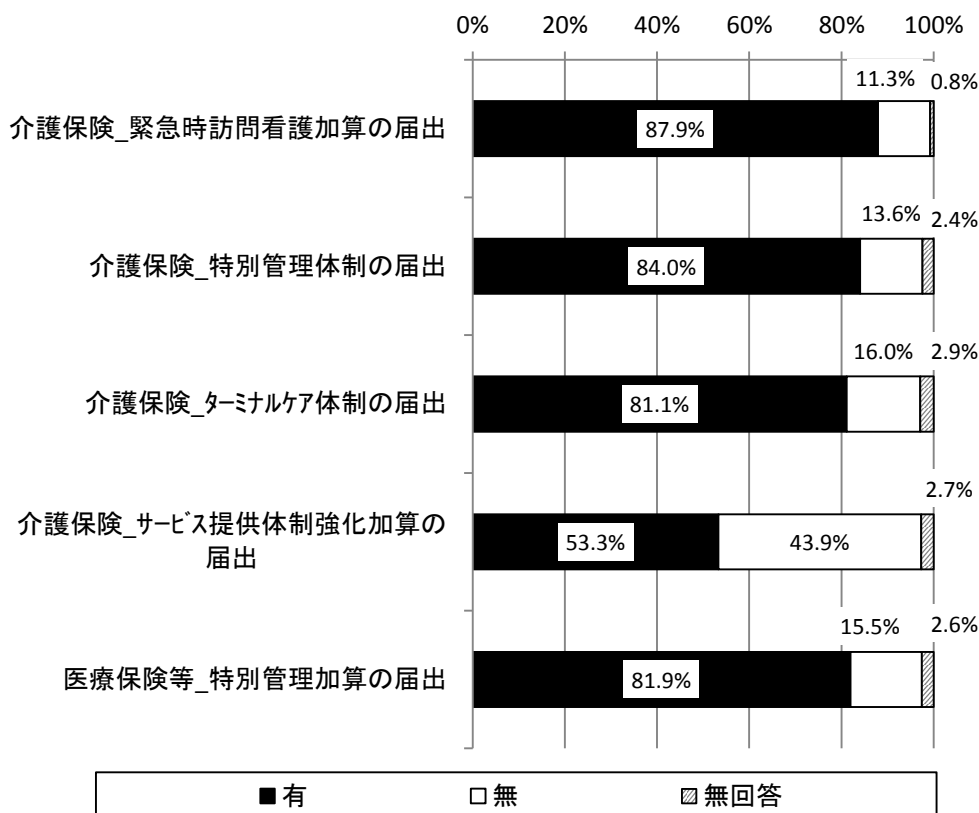
	算定事業件数	1事業所あたり平均算定人数(人)	標準偏差	中央値
短期集中リハビリテーション実施加算	332	3.5	5.3	2.0

⑤ 訪問看護ステーションの加算届出状況

介護保険による加算の2016年10月の届出状況は、緊急時訪問看護加算の届出をしているステーションが87.9%、特別管理体制の届出をしているステーションが84.0%、ターミナルケア体制の届出をしているステーションが81.1%、サービス体制提供体制強化加算の届出をしているステーションが53.3%であった。

医療保険による特別管理加算の届出をしているステーションは81.9%であった。

図表 2-2-111 【訪問看護】各種加算の届出状況（2016年10月）（n=619ステーション）



図表 2-2-112 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 各種加算の届出状況（2016年10月）

	合計	介護保険_緊急時訪問看護加算の届出		
		有	無	無回答
全体	619 100.0%	544 87.9%	70 11.3%	5 0.8%
看護師多数型	473 100.0%	433 91.5%	35 7.4%	5 1.1%
リハ職多数型	86 100.0%	59 68.6%	27 31.4%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の1倍超~2倍未満	52 100.0%	40 76.9%	12 23.1%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	19 55.9%	15 44.1%	0 0.0%

	合計	介護保険_特別管理体制の届出		
		有	無	無回答
全体	619 100.0%	520 84.0%	84 13.6%	15 2.4%
看護師多数型	473 100.0%	415 87.7%	48 10.1%	10 2.1%
リハ職多数型	86 100.0%	60 69.8%	24 27.9%	2 2.3%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	37 71.2%	14 26.9%	1 1.9%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	23 67.6%	10 29.4%	1 2.9%

	合計	介護保険_ターミナルケア体制の届出		
		有	無	無回答
全体	619 100.0%	502 81.1%	99 16.0%	18 2.9%
看護師多数型	473 100.0%	405 85.6%	54 11.4%	14 3.0%
リハ職多数型	86 100.0%	53 61.6%	31 36.0%	2 2.3%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	37 71.2%	15 28.8%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	16 47.1%	16 47.1%	2 5.9%

	合計	介護保険_サービス提供体制強化加算の届出		
		有	無	無回答
全体	619 100.0%	330 53.3%	272 43.9%	17 2.7%
看護師多数型	473 100.0%	268 56.7%	191 40.4%	14 3.0%
リハ職多数型	86 100.0%	36 41.9%	50 58.1%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	21 40.4%	31 59.6%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	15 44.1%	19 55.9%	0 0.0%

1 事業所の概要等

	合計	医療保険等_24時間対応体制加算・24時間連絡体制加算の届出			
		24時間対応体制加算	24時間連絡体制加算	なし	無回答
全体	619 100.0%	512 82.7%	42 6.8%	55 8.9%	10 1.6%
看護師多数型	473 100.0%	412 87.1%	24 5.1%	29 6.1%	8 1.7%
リハ職多数型	86 100.0%	53 61.6%	11 12.8%	20 23.3%	2 2.3%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	35 67.3%	7 13.5%	9 17.3%	1 1.9%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	18 52.9%	4 11.8%	11 32.4%	1 2.9%

	合計	医療保険等_特別管理加算の届出		
		有	無	無回答
全体	619 100.0%	507 81.9%	96 15.5%	16 2.6%
看護師多数型	473 100.0%	404 85.4%	58 12.3%	11 2.3%
リハ職多数型	86 100.0%	56 65.1%	27 31.4%	3 3.5%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	36 69.2%	14 26.9%	2 3.8%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	20 58.8%	13 38.2%	1 2.9%

	合計	医療保険等_機能強化型訪問看護療養費の届出			
		機能強化型訪問看護管理療養費1	機能強化型訪問看護管理療養費2	なし	無回答
全体	619 100.0%	20 3.2%	22 3.6%	547 88.4%	30 4.8%
看護師多数型	473 100.0%	17 3.6%	21 4.4%	415 87.7%	20 4.2%
リハ職多数型	86 100.0%	1 1.2%	0 0.0%	82 95.3%	3 3.5%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	1 1.9%	0 0.0%	49 94.2%	2 3.8%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	33 97.1%	1 2.9%

#### (4) 職員体制

##### i) 通所リハビリテーション事業所（2016年10月5日時点）

通所リハビリテーション事業所に配置されているリハ職員（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）は常勤換算で1事業所あたり平均2.6人であった。リハ職員の配置パターンは、理学療法士・作業療法士が33.3%、理学療法士のみが31.0%、全てのリハ職が22.9%であった。

##### ii) 訪問リハビリテーション事業所（2016年10月24日～30日の1週間に従事した職員）

訪問リハビリテーション事業所に配置されているリハ職員は常勤換算で1事業所あたり平均2.3人であった。リハ職員の配置パターンは、理学療法士のみが40.4%、理学療法士・作業療法士が25.5%、全てのリハ職が14.5%であった。

##### iii) 訪問看護ステーション（2016年10月5日時点）

訪問看護ステーションに配置されている理学療法士・作業療法士・言語聴覚士は常勤換算で1事業所あたり平均2.8人であった。リハ職員の配置パターンは、理学療法士のみが31.5%、理学療法士・作業療法士が27.3%、全てのリハ職が16.2%であった。

なお、訪問看護ステーションについては、常勤換算職員に占める看護職員と理学療法士・作業療法士・言語聴覚士（リハ職）の割合により①看護師多数型（常勤換算職員数における看護職員数がリハ職以上の場合）、②リハ職多数型（常勤換算職員数におけるリハ職員数が看護職員数より多い場合）として分類したところ、看護師多数型が76.4%、リハ職多数型が13.9%であった。また、リハ職多数型のうち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満のステーションは8.4%、リハ職が看護職の2倍以上の事業所は5.5%であった。

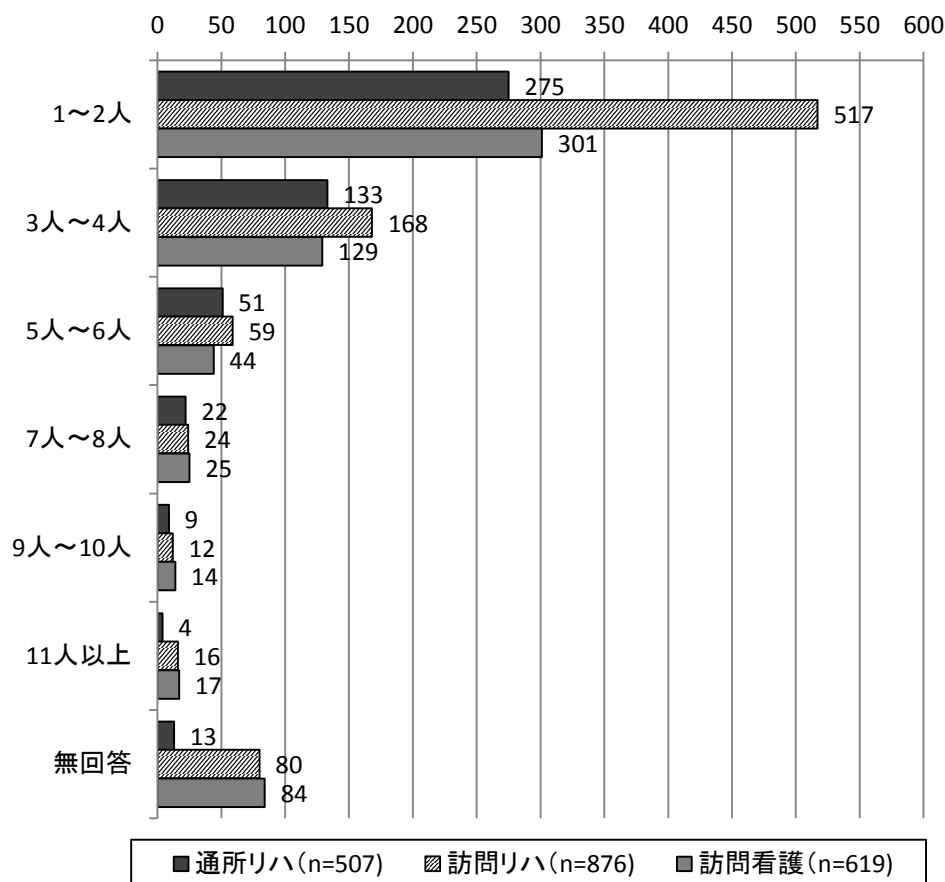
図表 2-2-113 職員体制（常勤換算数）（回答事業所の平均）

	通所 リハビリテーション	訪問 リハビリテーション	訪問看護 ステーション	
調査時点	2016年10月5日時点 の配置職員	2016年10月24日～ 30日の1週間に訪問 リハビリテーション に従事した職員	2016年10月5日時 点の配置職員	
事業所数	500 事業所	798 事業所	559 事業所	
常勤換算数（人）	医師	0.8		
	歯科医師	0.0		
	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士（小計）	2.6	2.3	2.8
	理学療法士（再掲）	1.6	1.6	1.8
	作業療法士（再掲）	0.8	0.5	0.8
	言語聴覚士（再掲）	0.2	0.1	0.2
	看護職員	1.5		5.6
	介護職員	7.0		
	柔道整復師	0.0		
	あん摩マッサージ指圧師	0.0		
	歯科衛生士	0.0		
	その他の職員	1.5		0.6
	合計	13.4	2.3	8.9

注) 通所リハビリテーション事業所、訪問看護ステーションは配置状況、訪問リハビリテーション事業所は、実際には従事した職員数を質問しており、比較にあたっては、注意が必要である。



図表 2-2-114 リハ職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）常勤換算数別  
事業所数の分布



注) 調査時点は、「通所リハ」及び「訪問看護」は2016年10月5日時点、「訪問リハ」は2016年10月24日～30日の1週間に訪問リハビリテーションに従事した職員

図表 2-2-115 【通所リハ】リハ職のうち常勤・専従の職員数（実人数）  
(2016年10月5日時点) (429事業所の平均)

実人数(人)	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	計
常勤・専従	2.2人	1.1人	0.2人	3.5人

注) 常勤換算職員数とは回答事業所数が異なる

図表 2-2-116 【訪問リハ】職員体制（実人数）(2016年10月24日～30日の1週間に訪問リハビリテーションに従事した職員) (798事業所の平均)

実人数(人)	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	計
常勤専従	0.8人	0.3人	0.0人	1.1人
常勤兼務	1.6人	0.5人	0.2人	2.3人
非常勤	0.3人	0.1人	0.0人	0.4人

図表 2-2-117 【訪問看護】職員体制（実人数）（2016年10月5日時点）（612事業所の平均）

(人)		保健師・助産師・看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	その他の職員	計	うち、
									理学療法士・作業療法士・言語聴覚士計
実人数	常勤専従	3.3人	0.2人	1.4人	0.5人	0.1人	0.3人	5.9人	2.1人
	常勤兼務	0.8人	0.0人	0.4人	0.2人	0.1人	0.1人	1.8人	1.1人
	非常勤	2.6人	0.2人	1.0人	0.4人	0.1人	0.3人	4.7人	1.8人
	計	6.8人	0.5人	2.9人	1.2人	0.3人	0.7人	12.3人	5.1人

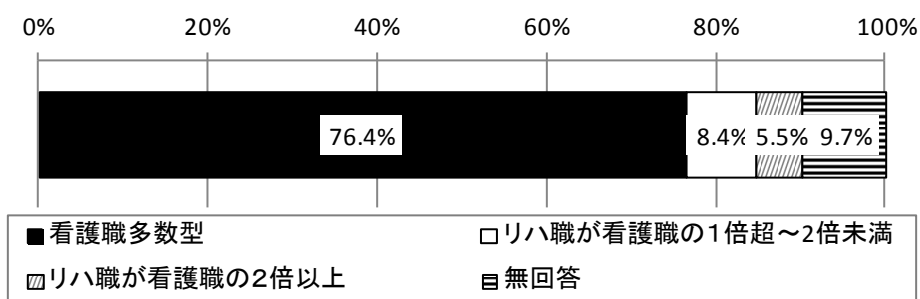
図表 2-2-118 【通所リハ】開設主体・規模・加算届出の有無別 職員の組み合わせ（2016年10月5日時点）

		合計	リハ職員パターン							全てのリハ職	無回答
			理学療法士のみ	作業療法士のみ	言語聴覚士のみ	理学・作業療法士	理学療法士・言語聴覚士	作業療法士・言語聴覚士			
開設主体	全体	507 100.0%	157 31.0%	33 6.5%	0 0.0%	169 33.3%	22 4.3%	3 0.6%	116 22.9%	7 1.4%	
	病院	138 100.0%	44 31.9%	5 3.6%	0 0.0%	40 29.0%	8 5.8%	0 0.0%	36 26.1%	5 3.6%	
	診療所	154 100.0%	73 47.4%	15 9.7%	0 0.0%	44 28.6%	8 5.2%	0 0.0%	14 9.1%	0 0.0%	
	介護老人保健施設	209 100.0%	39 18.7%	11 5.3%	0 0.0%	83 39.7%	6 2.9%	3 1.4%	65 31.1%	2 1.0%	
規模	通常規模型	388 100.0%	133 34.3%	31 8.0%	0 0.0%	131 33.8%	17 4.4%	3 0.8%	68 17.5%	5 1.3%	
	大規模事業所型（Ⅰ）	48 100.0%	13 27.1%	1 2.1%	0 0.0%	17 35.4%	1 2.1%	0 0.0%	15 31.3%	1 2.1%	
	大規模事業所型（Ⅱ）	56 100.0%	5 8.9%	1 1.8%	0 0.0%	18 32.1%	4 7.1%	0 0.0%	28 50.0%	0 0.0%	
届出の有無：リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ	有	178 100.0%	42 23.6%	6 3.4%	0 0.0%	58 32.6%	8 4.5%	0 0.0%	62 34.8%	2 1.1%	
	無	316 100.0%	110 34.8%	26 8.2%	0 0.0%	107 33.9%	14 4.4%	2 0.6%	52 16.5%	5 1.6%	

図表 2-2-119 【訪問リハ】開設主体・加算届出の有無別 職員の組み合わせ  
(2016年10月24日～30日の1週間に訪問リハビリテーションに従事した職員)

		合計	リハ職員パターン							無回答
			理学療法士のみ	作業療法士のみ	言語聴覚士のみ	理学・作業療法士	理学療法士・言語聴覚士	作業療法士・言語聴覚士	全てのリハ職	
全体		878 100.0%	355 40.4%	52 5.9%	2 0.2%	224 25.5%	37 4.2%	1 0.1%	127 14.5%	80 9.1%
開設主体	病院	426 100.0%	143 33.6%	18 4.2%	0 0.0%	122 28.6%	26 6.1%	0 0.0%	80 18.8%	37 8.7%
	診療所	317 100.0%	172 54.3%	22 6.9%	1 0.3%	59 18.6%	8 2.5%	1 0.3%	24 7.6%	30 9.5%
	介護老人保健施設	130 100.0%	38 29.2%	12 9.2%	1 0.8%	43 33.1%	2 1.5%	0 0.0%	22 16.9%	12 9.2%
届出の有無:リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ	有	124 100.0%	38 30.6%	6 4.8%	1 0.8%	35 28.2%	4 3.2%	1 0.8%	29 23.4%	10 8.1%
	無	732 100.0%	306 41.8%	44 6.0%	1 0.1%	184 25.1%	33 4.5%	0 0.0%	98 13.4%	66 9.0%

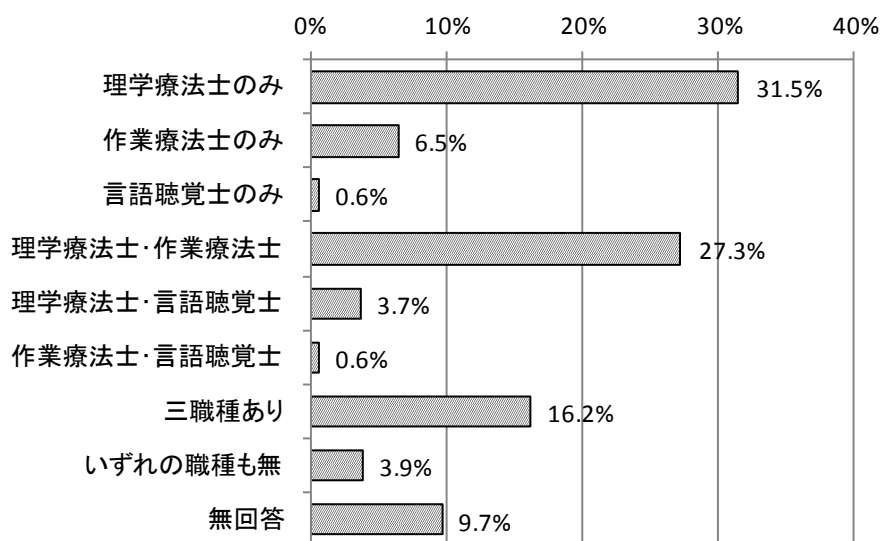
図表 2-2-120 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況 (2016年10月5日時点)  
(n=619ステーション)



No.		事業所数	割合
1	看護師多数型	473	76.4%
2	リハ職多数型	86	13.9%
3	うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52	8.4%
4	うち、リハ職が看護職の2倍以上	34	5.5%
	無回答	60	9.7%
	全体	619	100.0%

注) 看護職多数型: 看護職員数(常勤換算数)がリハ職員数(常勤換算数)以上の場合  
リハ職多数型: リハ職員数(常勤換算数)が看護職員数(常勤換算数)より多い場合

図表 2-2-121 【訪問看護】リハビリ職員の組み合わせ（2016年10月5日時点）  
（n=619ステーション）



図表 2-2-122 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 リハビリ職員の組み合わせ  
（2016年10月5日時点）

	合計	リハ職員パターン								無回答
		理学療法士のみ	作業療法士のみ	言語聴覚士のみ	理学・作業療法士	理学療法士・言語聴覚士	作業療法士・言語聴覚士	全てのリハ職	いずれの職種も無	
全体	619	195	40	4	169	23	4	100	24	60
	100.0%	31.5%	6.5%	0.6%	27.3%	3.7%	0.6%	16.2%	3.9%	9.7%
看護師多数型	473	181	40	4	138	20	4	62	24	0
	100.0%	38.3%	8.5%	0.8%	29.2%	4.2%	0.8%	13.1%	5.1%	0.0%
リハ職多数型	86	14	0	0	31	3	0	38	0	0
	100.0%	16.3%	0.0%	0.0%	36.0%	3.5%	0.0%	44.2%	0.0%	0.0%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52	11	0	0	21	2	0	18	0	0
	100.0%	21.2%	0.0%	0.0%	40.4%	3.8%	0.0%	34.6%	0.0%	0.0%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34	3	0	0	10	1	0	20	0	0
	100.0%	8.8%	0.0%	0.0%	29.4%	2.9%	0.0%	58.8%	0.0%	0.0%

(5) 【訪問看護】訪問看護ステーションの管理者について

訪問看護ステーションの管理者について、過去1年で看護師・保健師以外が管理者であった期間の有無、職種、期間をたずねたところ、該当した事業所はなかった。

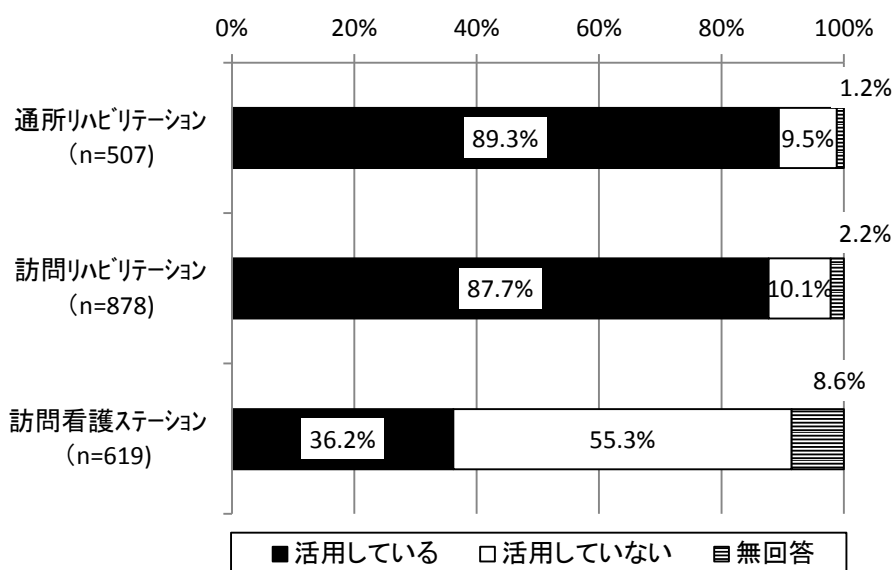
(6) リハビリテーション計画書について

① リハビリテーション計画様式の活用状況

厚生労働省が提示しているリハビリテーション計画様式を活用している事業所は、通所リハビリテーションは 89.3%、訪問リハビリテーションは 87.7%、訪問看護ステーションは 36.2%であった。

リハビリテーション計画様式を活用していない理由は、通所リハビリテーションおよび訪問リハビリテーション事業所では「記入欄が多く負担である」、「独自の様式を利用している」等であった。訪問看護ステーションでは、「訪問看護計画と一体で作成しているため」等であった。

図表 2-2-123 厚生労働省の提示しているリハビリテーション計画の様式の活用



※指定訪問看護の提供にあたってリハビリテーション計画に関する規定および様式はない。

図表 2-2-124 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 厚生労働省の提示しているリハビリテーション計画の様式の活用

	合計	厚生労働省の提示しているリハビリテーション計画の様式の活用状況		
		活用している	活用していない	無回答
全体	619 100.0%	224 36.2%	342 55.3%	53 8.6%
看護師多数型	473 100.0%	160 33.8%	271 57.3%	42 8.9%
リハ職多数型	86 100.0%	36 41.9%	45 52.3%	5 5.8%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	19 36.5%	30 57.7%	3 5.8%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	17 50.0%	15 44.1%	2 5.9%

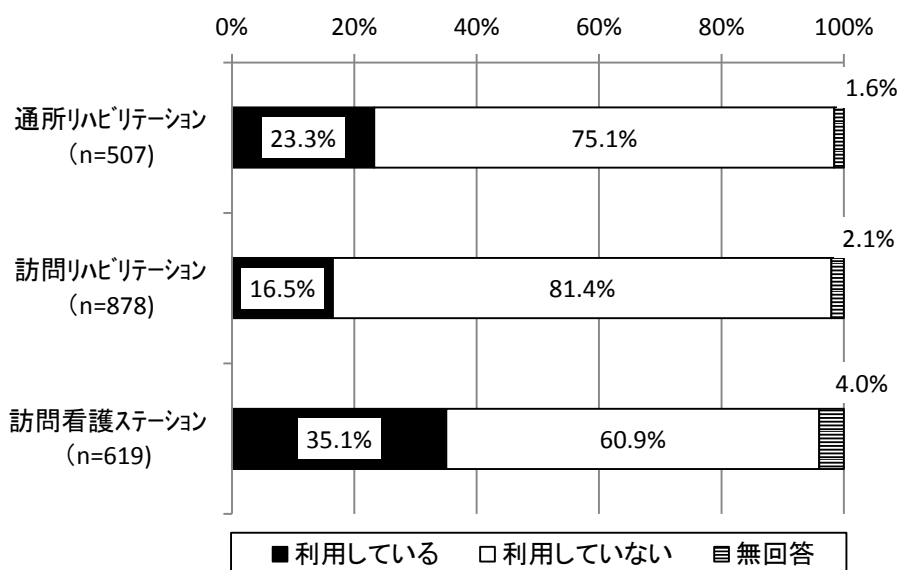
② リハビリテーション計画作成支援ソフトの使用状況

リハビリテーション計画の作成に支援ソフトを利用している事業所は、通所リハビリテーションは 23.3%、訪問リハビリテーションは 16.5%、訪問看護ステーションは 35.1%であった。

リハビリテーション計画作成支援ソフトの利用効果としては、通所リハビリテーション事業所および訪問リハビリテーション事業所では「記載内容や形式が統一できる」（通所リハ 68.6%、訪問リハ 83.4%）、訪問看護ステーションでは「複数の職員で情報共有ができる」（75.1%）が最も多かった。

リハビリテーション計画作成支援ソフトを使用していない事業所のうち、今後導入意向がある事業所は、通所リハビリテーションで 44.4%、訪問リハビリテーションで 43.5%、訪問看護ステーションで 34.7%であった。

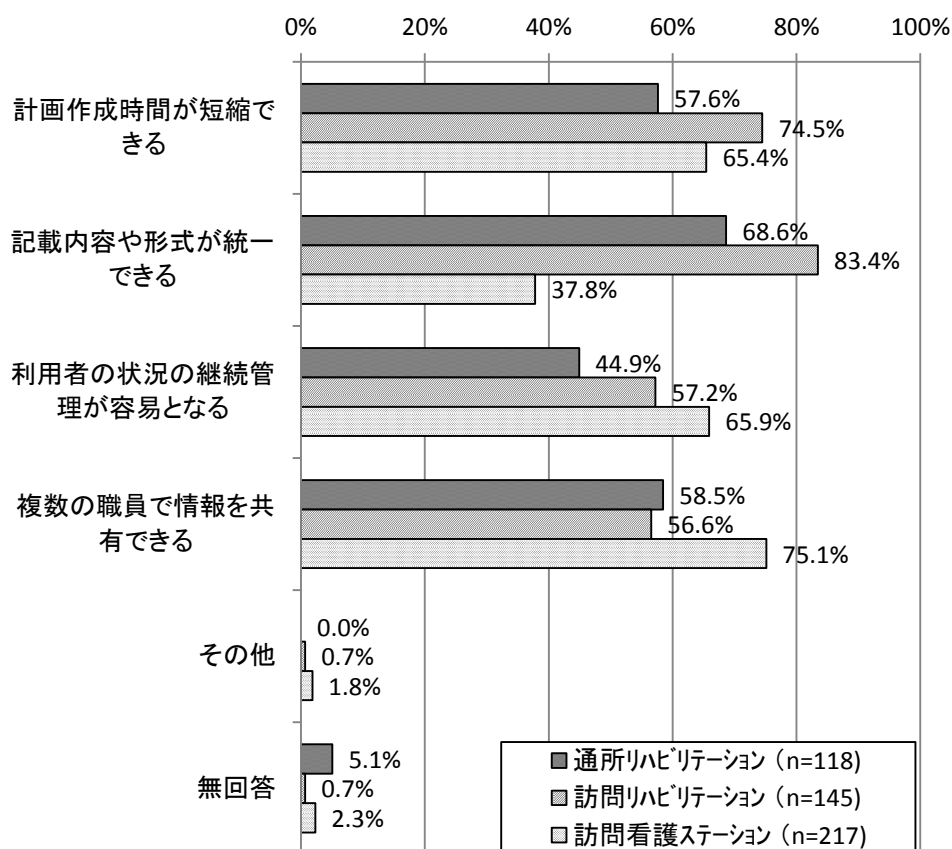
図表 2-2-125 リハビリテーション計画書作成支援ソフトの利用



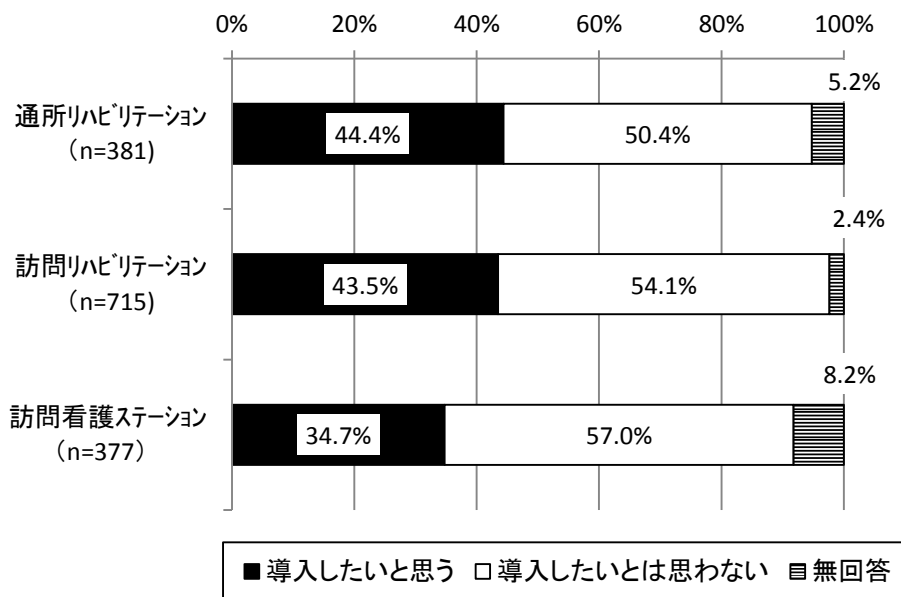
図表 2-2-126 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 リハビリテーション計画書作成支援ソフトの利用

	合計	リハビリテーション計画書の作成時の支援ソフト利用状況		
		利用している	利用していない	無回答
全体	619 100.0%	217 35.1%	377 60.9%	25 4.0%
看護師多数型	473 100.0%	151 31.9%	300 63.4%	22 4.7%
リハ職多数型	86 100.0%	44 51.2%	40 46.5%	2 2.3%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	28 53.8%	22 42.3%	2 3.8%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	16 47.1%	18 52.9%	0 0.0%

図表 2-2-127 リハビリテーション計画作成支援ソフトの利用効果



図表 2-2-128 リハビリテーション計画作成支援ソフトを利用していない場合の  
今後の導入意向



図表 2-2-129 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 リハビリテーション計画作成  
支援ソフトを利用していない場合の今後の導入意向

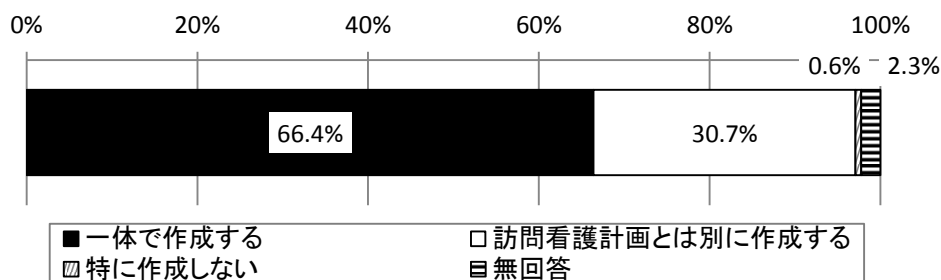
	合計	支援ソフトの今後の導入意向		
		導入したいと思う	導入したいとは思わない	無回答
全体	377 100.0%	131 34.7%	215 57.0%	31 8.2%
看護師多数型	300 100.0%	99 33.0%	177 59.0%	24 8.0%
リハ職多数型	40 100.0%	17 42.5%	21 52.5%	2 5.0%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	22 100.0%	11 50.0%	11 50.0%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	18 100.0%	6 33.3%	10 55.6%	2 11.1%



(7) 訪問看護計画書について

訪問看護ステーションにおいて、リハビリテーション計画と訪問看護計画を一体的に作成するとする事業所は 66.4%であった。また、利用者が看護職員による訪問を受けていない場合の計画策定者は、80.1%のステーションでリハ職のみであった。看護師とリハ職の組み合わせによるステーションは 5.5%、看護師のみのステーションは 4.8%であった。

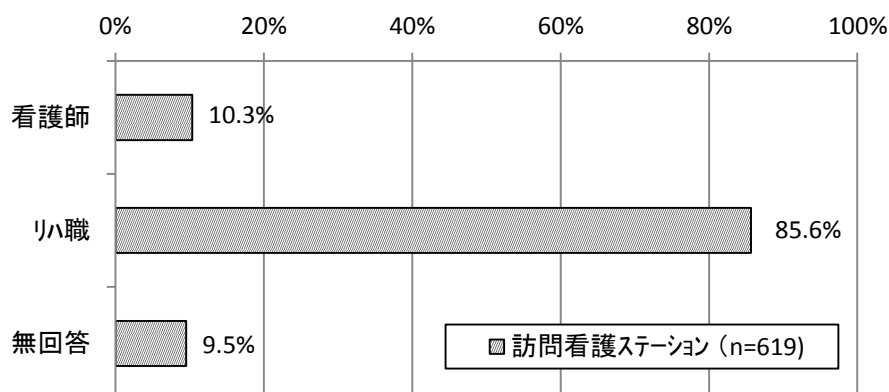
図表 2-2-130 【訪問看護】リハビリテーションの計画と訪問看護計画書の作成方法 (n=619)



図表 2-2-131 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 リハビリテーションの計画と訪問看護計画書の作成方法

	合計	リハビリテーションの計画は、訪問看護計画書と一体で作成しているか			
		一体で作成する	訪問看護計画とは別に作成する	特に作成しない	無回答
全体	619 100.0%	411 66.4%	190 30.7%	4 0.6%	14 2.3%
看護師多数型	473 100.0%	308 65.1%	152 32.1%	3 0.6%	10 2.1%
リハ職多数型	86 100.0%	67 77.9%	15 17.4%	1 1.2%	3 3.5%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	40 76.9%	10 19.2%	0 0.0%	2 3.8%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	27 79.4%	5 14.7%	1 2.9%	1 2.9%

図表 2-2-132 【訪問看護】利用者が看護職員による訪問を受けていない場合の訪問看護計画書作成者（複数回答）（n=619 事業所）



図表 2-2-133 【訪問看護】計画策定者の組み合わせ（n=619 ステーション）

	n	%
看護師のみ	30	4.8%
リハ職のみ	496	80.1%
看護師+リハ職	34	5.5%
無回答	59	9.5%
全体	619	100.0%

図表 2-2-134 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 利用者が看護職員による訪問を受けていない場合の訪問看護計画書作成者パターン

	合計	訪問看護計画書の作成者パターン			
		看護師のみ	リハ職のみ	看護師+リハ職	無回答
全体	619	30	496	34	59
	100.0%	4.8%	80.1%	5.5%	9.5%
看護師多数型	473	22	373	28	50
	100.0%	4.7%	78.9%	5.9%	10.6%
リハ職多数型	86	2	77	4	3
	100.0%	2.3%	89.5%	4.7%	3.5%
うち、リハ職が看護職の1倍超~2倍未満	52	1	48	1	2
	100.0%	1.9%	92.3%	1.9%	3.8%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34	1	29	3	1
	100.0%	2.9%	85.3%	8.8%	2.9%

## 2. 地域との交流活動の実施状況・連携状況等

### (1) 地域との交流活動の実施状況

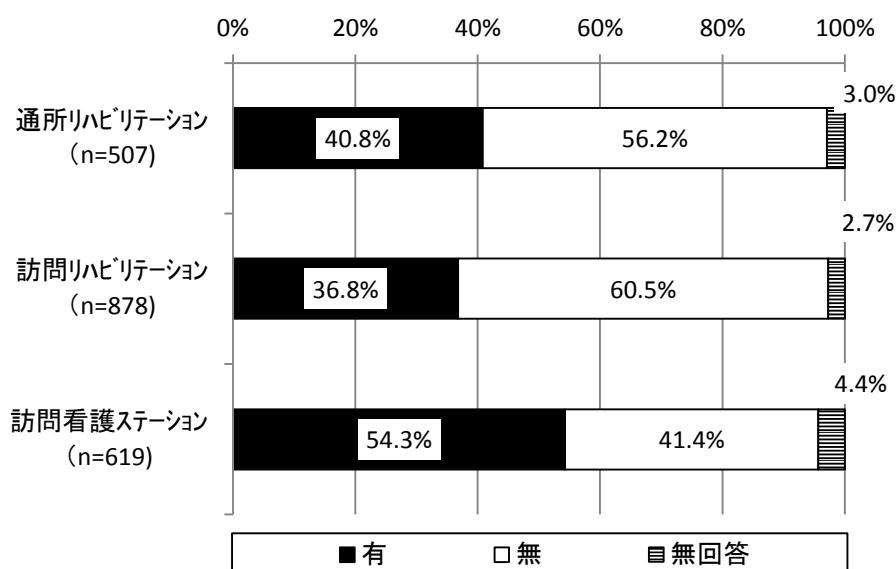
#### ① 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村、地区組織との連絡会議の開催

介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村、地区組織との連絡会議の開催を実施している事業所は、通所リハビリテーション事業所で 40.8%、訪問リハビリテーション事業所で 36.8%、訪問看護ステーションで 54.3%であった。

なお、平成 27 年度の調査結果における通所リハビリテーション回答において、実施有の事業所は 41.5%であった。

また、平成 27 年度調査と平成 28 年度調査両方に回答した 337 事業所についてみると、実施ありは平成 27 年度は 43.3%、平成 28 年度は 39.2%であった。

図表 2-2-135 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村、地区組織との連絡会議の開催の有無



図表 2-2-136 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村、地区組織との連絡会議の開催

		合計	実施の有無:介護支援専門員や事業所等との連絡会議の開催		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	207 40.8%	285 56.2%	15 3.0%
開設主体	病院	138 100.0%	51 37.0%	84 60.9%	3 2.2%
	診療所	154 100.0%	63 40.9%	88 57.1%	3 1.9%
	介護老人保健施設	209 100.0%	91 43.5%	109 52.2%	9 4.3%
規模	通常規模型	388 100.0%	162 41.8%	213 54.9%	13 3.4%
	大規模事業所型(I)	48 100.0%	18 37.5%	30 62.5%	0 0.0%
	大規模事業所型(II)	56 100.0%	18 32.1%	36 64.3%	2 3.6%
届出の有無: リハビリテーションマネジメント加算II	有	178 100.0%	83 46.6%	90 50.6%	5 2.8%
	無	316 100.0%	118 37.3%	189 59.8%	9 2.8%

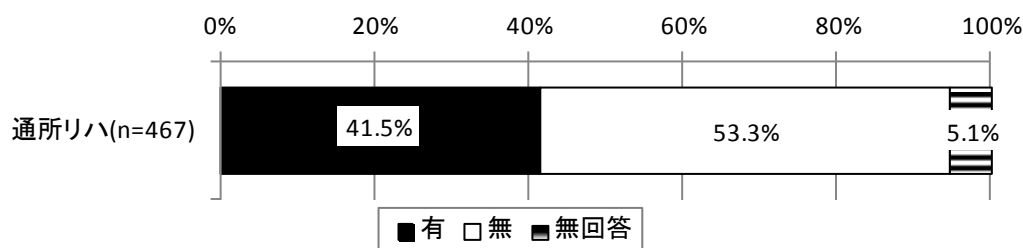
図表 2-2-137 【訪問リハ】開設主体別・加算届出有無別 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村、地区組織との連絡会議の開催

		合計	実施の有無:介護支援専門員や事業所等との連絡会議の開催		
			有	無	無回答
全体		878 100.0%	323 36.8%	531 60.5%	24 2.7%
開設主体	病院	426 100.0%	162 38.0%	253 59.4%	11 2.6%
	診療所	317 100.0%	104 32.8%	205 64.7%	8 2.5%
	介護老人保健施設	130 100.0%	54 41.5%	71 54.6%	5 3.8%
届出の有無: リハビリテーションマネジメント加算II	有	124 100.0%	44 35.5%	76 61.3%	4 3.2%
	無	732 100.0%	271 37.0%	444 60.7%	17 2.3%

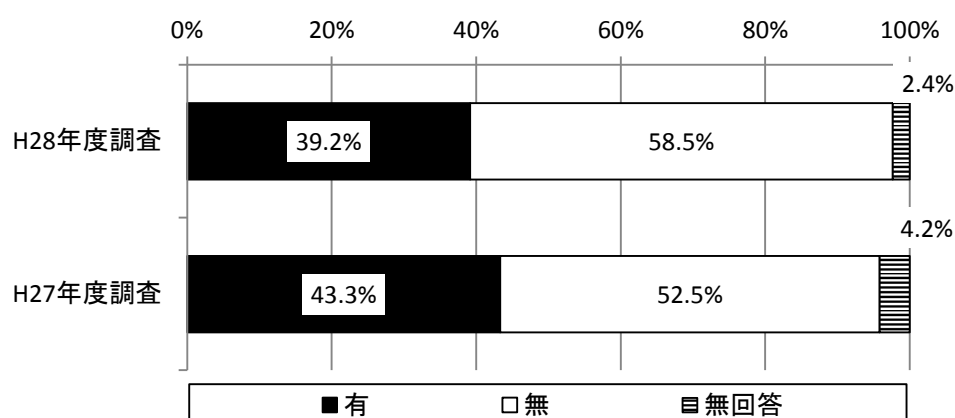
図表 2-2-138 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 介護支援専門員や  
介護サービス事業所、市町村、地区組織との連絡会議の開催

	合計	実施の有無:介護支援専門員や事業所等との連絡会議の開催		
		有	無	無回答
全体	619 100.0%	336 54.3%	256 41.4%	27 4.4%
看護師多数型	473 100.0%	270 57.1%	182 38.5%	21 4.4%
リハ職多数型	86 100.0%	35 40.7%	47 54.7%	4 4.7%
うち、リハ職が看護職の1倍超~2倍未満	52 100.0%	20 38.5%	29 55.8%	3 5.8%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	15 44.1%	18 52.9%	1 2.9%

参考:【平成27年度調査】介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村、地区組織との連絡会議の開催



図表 2-2-139 【通所リハ】介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村、地区組織との連絡会議の開催 (H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所) (n=337)



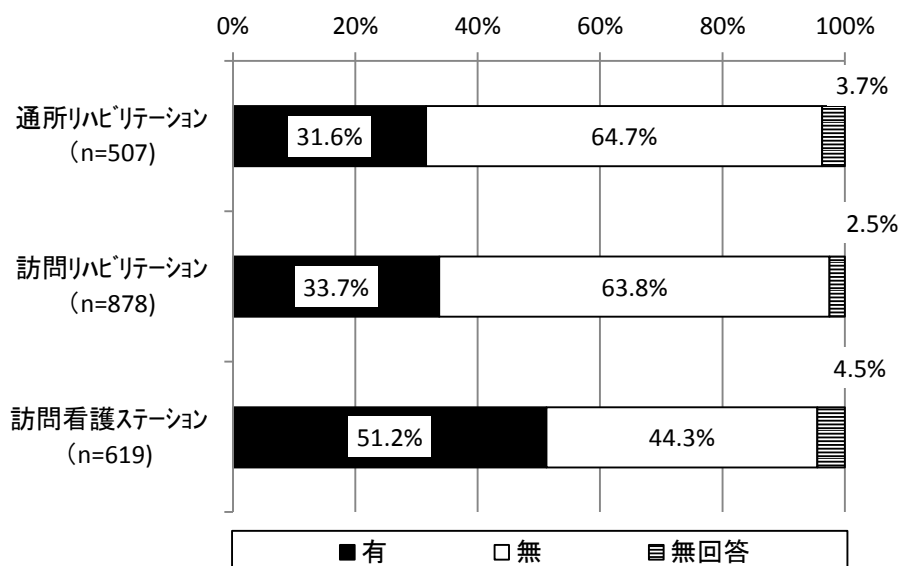
② 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村の専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催

介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村の専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催を実施している事業所は、通所リハビリテーション事業所で 31.6%、訪問リハビリテーション事業所で 33.7%、訪問看護ステーションで 51.2%であった。

なお、平成 27 年度の調査結果における通所リハビリテーション回答において、実施有の事業所は 36.2%であった。

また、平成 27 年度調査と平成 28 年度調査両方に回答した 337 事業所についてみると、実施ありは、平成 27 年度は 38.0%、平成 28 年度は 30.0%であった。

図表 2-2-140 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村の専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催



図表 2-2-141 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村の専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催

		合計	実施の有無:専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	160 31.6%	328 64.7%	19 3.7%
開設主体	病院	138 100.0%	50 36.2%	85 61.6%	3 2.2%
	診療所	154 100.0%	42 27.3%	107 69.5%	5 3.2%
	介護老人保健施設	209 100.0%	67 32.1%	131 62.7%	11 5.3%
規模	通常規模型	388 100.0%	116 29.9%	256 66.0%	16 4.1%
	大規模事業所型(I)	48 100.0%	16 33.3%	32 66.7%	0 0.0%
	大規模事業所型(II)	56 100.0%	22 39.3%	33 58.9%	1 1.8%
届出の有無: リハビリテーションマネジメント加算II	有	178 100.0%	58 32.6%	111 62.4%	9 5.1%
	無	316 100.0%	97 30.7%	210 66.5%	9 2.8%

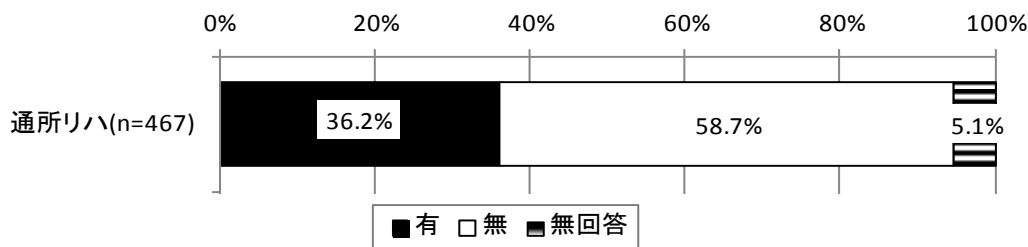
図表 2-2-142 【訪問リハ】開設主体別・加算届出有無別 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村の専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催

		合計	実施の有無:専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催		
			有	無	無回答
全体		878 100.0%	296 33.7%	560 63.8%	22 2.5%
開設主体	病院	426 100.0%	138 32.4%	279 65.5%	9 2.1%
	診療所	317 100.0%	103 32.5%	206 65.0%	8 2.5%
	介護老人保健施設	130 100.0%	53 40.8%	72 55.4%	5 3.8%
届出の有無: リハビリテーションマネジメント加算II	有	124 100.0%	44 35.5%	77 62.1%	3 2.4%
	無	732 100.0%	245 33.5%	471 64.3%	16 2.2%

図表 2-2-143 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村の専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催

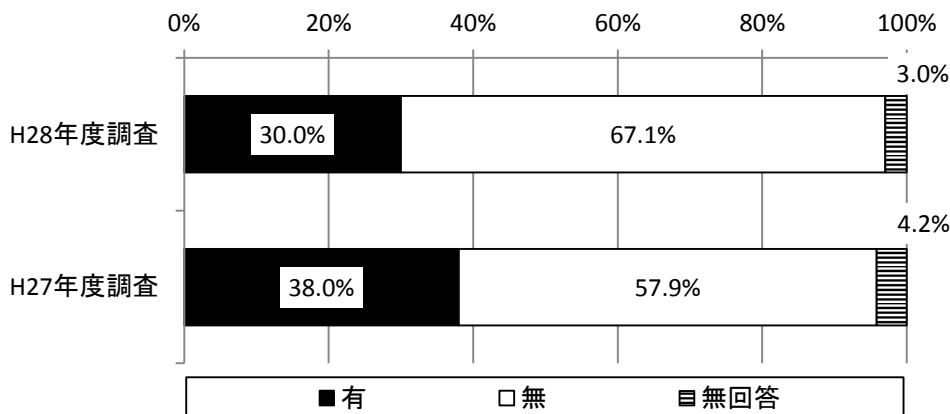
	合計	実施の有無: 専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催		
		有	無	無回答
全体	619 100.0%	317 51.2%	274 44.3%	28 4.5%
看護師多数型	473 100.0%	244 51.6%	206 43.6%	23 4.9%
リハ職多数型	86 100.0%	41 47.7%	42 48.8%	3 3.5%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	23 44.2%	27 51.9%	2 3.8%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	18 52.9%	15 44.1%	1 2.9%

参考：【平成 27 年度調査】介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村の専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催



図表 2-2-144 【通所リハ】介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村の専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催

(H27 年度、H28 年度ともに調査回答した事業所) (n=337)





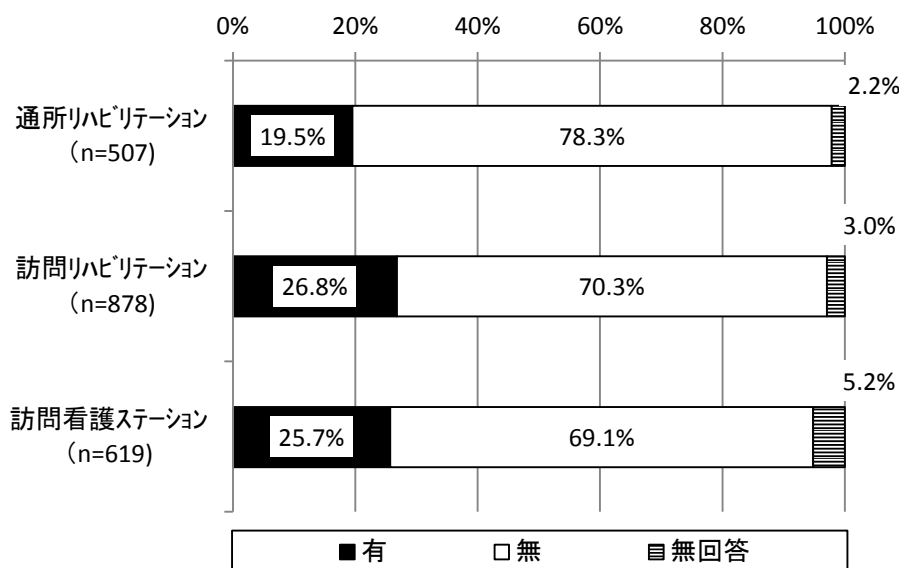
### ③ 住民を対象とした講演会の開催

住民を対象とした講演会の開催を実施している事業所は、通所リハビリテーション事業所で 19.5%、訪問リハビリテーション事業所で 26.8%、訪問看護ステーションで 25.7%であった。

なお、平成 27 年度の調査結果における通所リハビリテーション回答において、実施有の事業所は 17.1%であった。

また、平成 27 年度調査と平成 28 年度調査両方に回答した 337 事業所についてみると、実施ありは、平成 27 年度は 16.6%、平成 28 年度は 19.9%であった。

図表 2-2-145 住民を対象とした講演会の開催の有無



図表 2-2-146 【通所リハ】開設主体・規模・加算届出有無別 住民を対象とした講演会の開催の有無

		合計	実施の有無:住民を対象とした講演会の開催		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	99 19.5%	397 78.3%	11 2.2%
開設主体	病院	138 100.0%	30 21.7%	107 77.5%	1 0.7%
	診療所	154 100.0%	23 14.9%	126 81.8%	5 3.2%
	介護老人保健施設	209 100.0%	45 21.5%	159 76.1%	5 2.4%
規模	通常規模型	388 100.0%	67 17.3%	312 80.4%	9 2.3%
	大規模事業所型(I)	48 100.0%	11 22.9%	37 77.1%	0 0.0%
	大規模事業所型(II)	56 100.0%	17 30.4%	38 67.9%	1 1.8%
届出の有無:リハビリテーションマネジメント加算II	有	178 100.0%	42 23.6%	132 74.2%	4 2.2%
	無	316 100.0%	55 17.4%	256 81.0%	5 1.6%

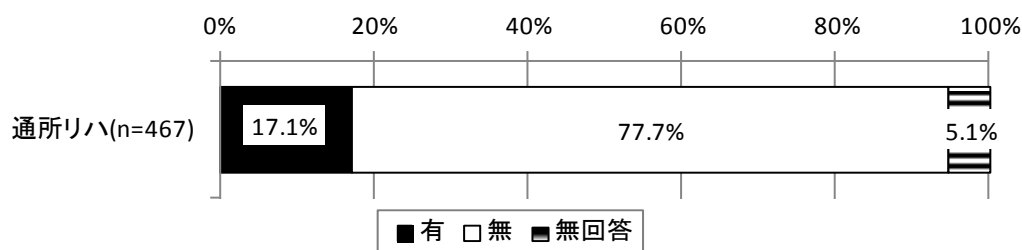
図表 2-2-147 【訪問リハ】開設主体・加算届出有無別 住民を対象とした講演会の開催の有無

		合計	実施の有無:住民を対象とした講演会の開催		
			有	無	無回答
全体		878 100.0%	235 26.8%	617 70.3%	26 3.0%
開設主体	病院	426 100.0%	125 29.3%	291 68.3%	10 2.3%
	診療所	317 100.0%	68 21.5%	240 75.7%	9 2.8%
	介護老人保健施設	130 100.0%	39 30.0%	84 64.6%	7 5.4%
届出の有無:リハビリテーションマネジメント加算II	有	124 100.0%	37 29.8%	83 66.9%	4 3.2%
	無	732 100.0%	195 26.6%	518 70.8%	19 2.6%

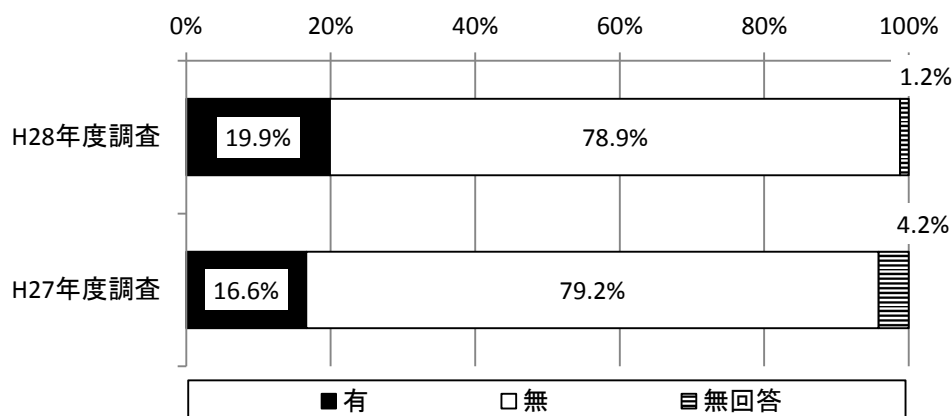
図表 2-2-148 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 住民を対象とした講演会の開催の有無

	合計	実施の有無:住民を対象とした講演会の開催		
		有	無	無回答
全体	619 100.0%	159 25.7%	428 69.1%	32 5.2%
看護師多数型	473 100.0%	116 24.5%	332 70.2%	25 5.3%
リハ職多数型	86 100.0%	26 30.2%	57 66.3%	3 3.5%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	13 25.0%	37 71.2%	2 3.8%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	13 38.2%	20 58.8%	1 2.9%

参考：【平成 27 年度調査】住民を対象とした講演会の開催の有無



図表 2-2-149 【通所リハ】住民を対象とした講演会の開催の有無 (H27 年度、H28 年度ともに調査回答した事業所) (n=337)

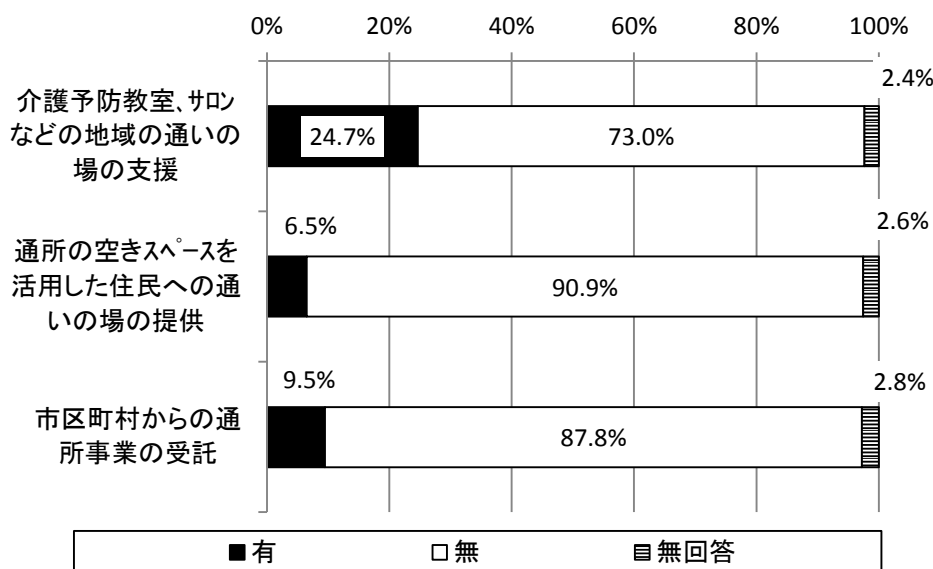


④ 介護予防教室、サロンなどの地域の通いの場の支援等（通所リハビリテーション事業所のみ）

介護予防教室、サロンなどの地域の通いの場の支援を実施している事業所は、通所リハビリテーション事業所で 24.7%であった。なお、平成 27 年度の調査における実施有の事業所は 19.9%であった。また、平成 27 年度調査と平成 28 年度調査両方に回答した 337 事業所についてみると、実施ありは、平成 27 年度は 19.6%、平成 28 年度は 25.2%であった。

通所の空きスペースを活用した住民への通いの場の提供を実施している事業所は、6.5%であった。なお、平成 27 年度の調査における実施有の事業所は 5.8%であった。また、平成 27 年度調査と平成 28 年度調査両方に回答した 337 事業所についてみると、実施ありは、平成 27 年度は 4.7%、平成 28 年度は 6.2%であった。

図表 2-2-150 【通所リハ】介護予防教室、サロンなどの地域の通いの場の支援（n=507）



図表 2-2-151 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別 介護予防教室、サロンなどの地域の通いの場の支援

		合計	実施の有無:介護予防教室、サロンなどの地域の通いの場の支援		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	125 24.7%	370 73.0%	12 2.4%
開設主体	病院	138 100.0%	32 23.2%	105 76.1%	1 0.7%
	診療所	154 100.0%	31 20.1%	118 76.6%	5 3.2%
	介護老人保健施設	209 100.0%	62 29.7%	141 67.5%	6 2.9%
規模	通常規模型	388 100.0%	81 20.9%	297 76.5%	10 2.6%
	大規模事業所型 (Ⅰ)	48 100.0%	16 33.3%	32 66.7%	0 0.0%
	大規模事業所型 (Ⅱ)	56 100.0%	23 41.1%	32 57.1%	1 1.8%
届出の有無: リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	178 100.0%	55 30.9%	119 66.9%	4 2.2%
	無	316 100.0%	66 20.9%	244 77.2%	6 1.9%

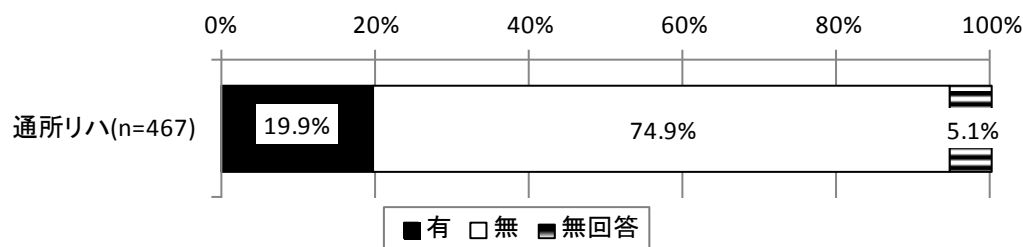
図表 2-2-152 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別 通所の空きスペースを活用した住民への通いの場の提供

		合計	実施の有無:通所の空きスペースを活用した住民への通いの場の提供		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	33 6.5%	461 90.9%	13 2.6%
開設主体	病院	138 100.0%	7 5.1%	129 93.5%	2 1.4%
	診療所	154 100.0%	11 7.1%	138 89.6%	5 3.2%
	介護老人保健施設	209 100.0%	15 7.2%	188 90.0%	6 2.9%
規模	通常規模型	388 100.0%	19 4.9%	358 92.3%	11 2.8%
	大規模事業所型 (Ⅰ)	48 100.0%	6 12.5%	42 87.5%	0 0.0%
	大規模事業所型 (Ⅱ)	56 100.0%	7 12.5%	48 85.7%	1 1.8%
届出の有無: リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	178 100.0%	11 6.2%	163 91.6%	4 2.2%
	無	316 100.0%	22 7.0%	287 90.8%	7 2.2%

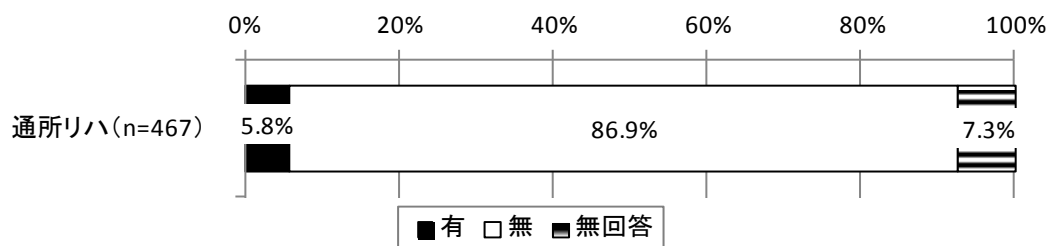
図表 2-2-153 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別 市区町村からの通所事業の受託

		合計	実施の有無:市区町村からの通所事業の受託		
			有	無	無回答
全体		507 100.0%	48 9.5%	445 87.8%	14 2.8%
開設主体	病院	138 100.0%	13 9.4%	124 89.9%	1 0.7%
	診療所	154 100.0%	16 10.4%	132 85.7%	6 3.9%
	介護老人保健施設	209 100.0%	18 8.6%	184 88.0%	7 3.3%
規模	通常規模型	388 100.0%	37 9.5%	340 87.6%	11 2.8%
	大規模事業所型(I)	48 100.0%	2 4.2%	46 95.8%	0 0.0%
	大規模事業所型(II)	56 100.0%	9 16.1%	45 80.4%	2 3.6%
届出の有無: リハビリテーション マネジメント加算II	有	178 100.0%	15 8.4%	156 87.6%	7 3.9%
	無	316 100.0%	32 10.1%	278 88.0%	6 1.9%

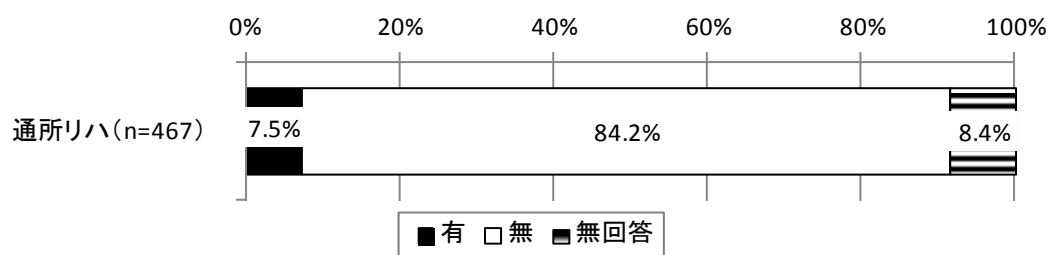
参考：【平成 27 年度調査】介護予防教室、サロンなどの地域の通いの場の支援



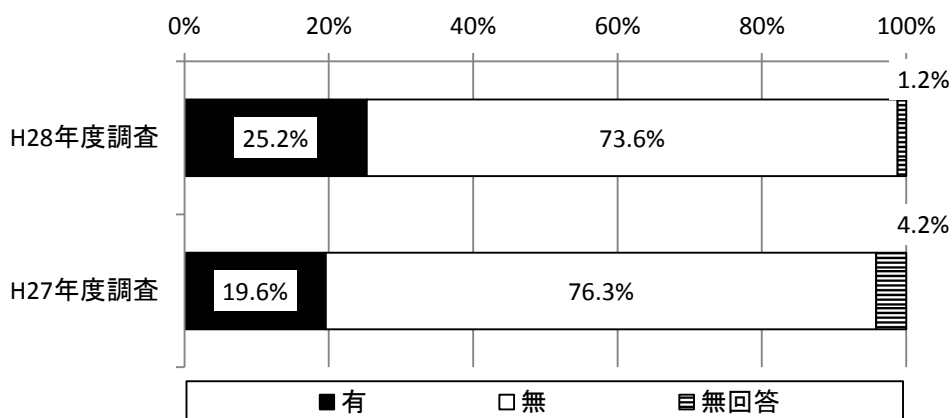
図表 2-2-154 【平成 27 年度調査】通所の空きスペースを活用した住民への通いの場の提供



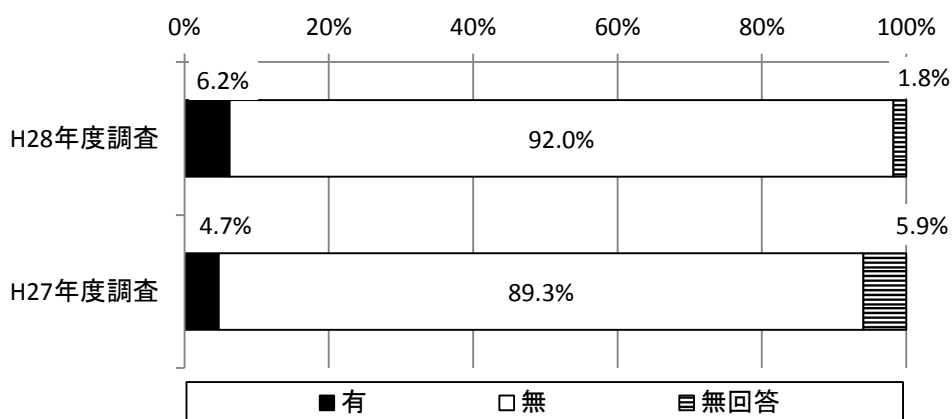
参考：【平成 27 年度調査】市区町村からの通所事業の受託



図表 2-2-155【通所リハ】介護予防教室、サロンなどの地域の通いの場の支援（H27 年度、H28 年度ともに調査回答した事業所）（n=337）

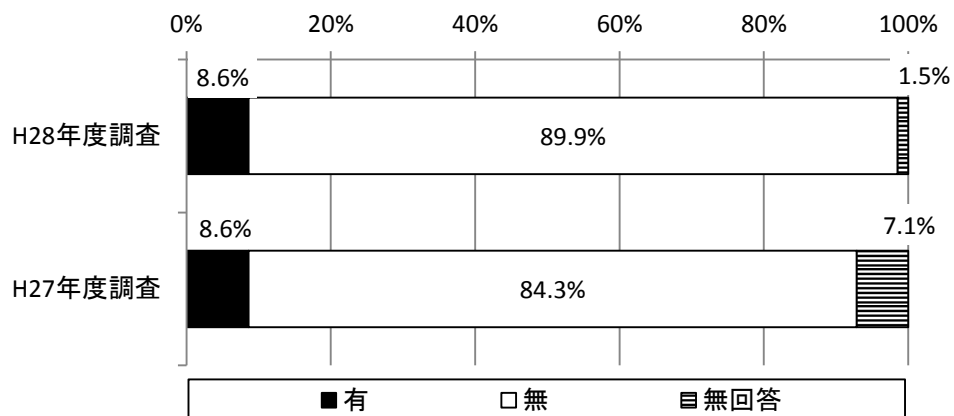


図表 2-2-156【通所リハ】通所の空きスペースを活用した住民への通いの場の提供（H27 年度、H28 年度ともに調査回答した事業所）（n=337 事業所）





図表 2-2-157 【通所リハ】市区町村からの通所事業の受託（H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所）（n=337 事業所）



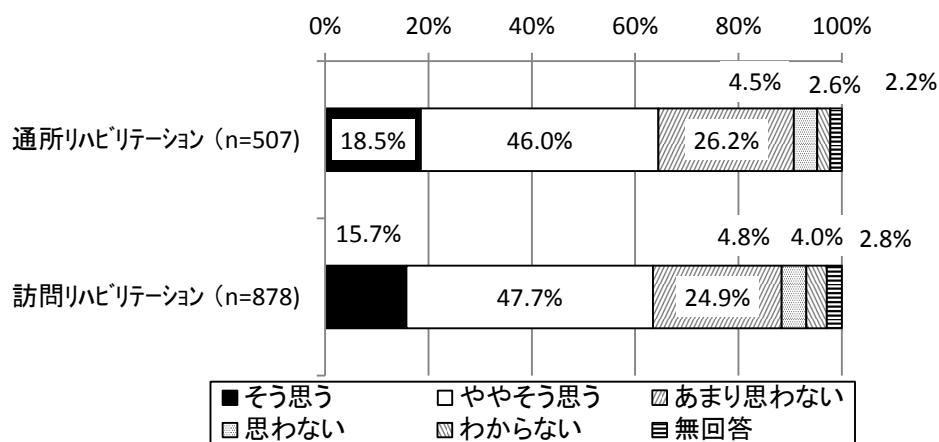
(2) 2015 年 4 月以降の他の居宅サービス等との連携状況の変化（通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション）

① 居宅サービス計画（ケアプラン）との連動

2015 年 4 月と比較し、「居宅サービス計画（ケアプラン）との連動ができるようになった」については、「そう思う」「ややそう思う」と回答した事業所が、通所リハビリテーション事業所で 64.5%、訪問リハビリテーション事業所で 63.4%であった。

なお、平成 27 年度調査と平成 28 年度調査両方に回答した 337 事業所についてみると、「そう思う」「ややそう思う」と回答した事業所が、27 年度は 60.8%、平成 28 年度は 64.7%であった。

図表 2-2-158 居宅サービス計画（ケアプラン）と連動できるようになった



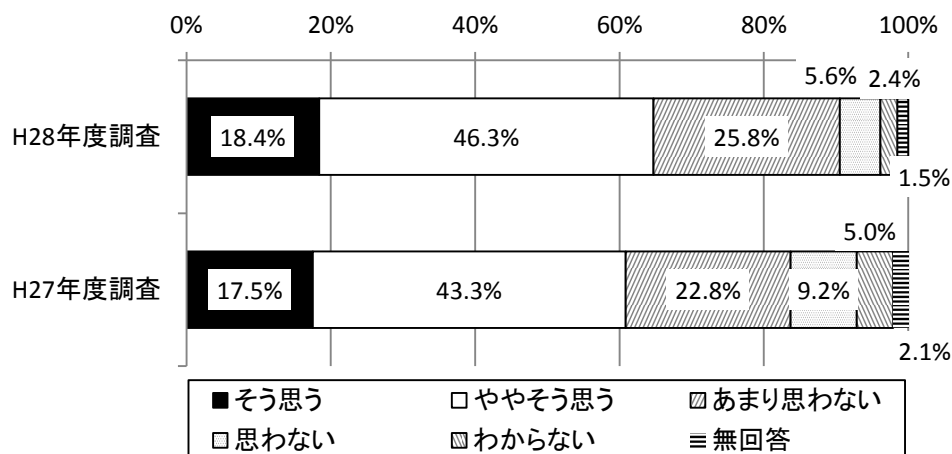
図表 2-2-159 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別 居宅サービス計画と連動  
できるようになった

		合計	2015年4月以降の連携状況変化:居宅サービス計画と連動できるようになった					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		507 100.0%	94 18.5%	233 46.0%	133 26.2%	23 4.5%	13 2.6%	11 2.2%
開設主体	病院	138 100.0%	22 15.9%	62 44.9%	41 29.7%	7 5.1%	4 2.9%	2 1.4%
	診療所	154 100.0%	33 21.4%	72 46.8%	36 23.4%	6 3.9%	4 2.6%	3 1.9%
	介護老人保健施設	209 100.0%	37 17.7%	99 47.4%	52 24.9%	10 4.8%	5 2.4%	6 2.9%
規模	通常規模型	388 100.0%	68 17.5%	178 45.9%	102 26.3%	19 4.9%	11 2.8%	10 2.6%
	大規模事業所型(I)	48 100.0%	12 25.0%	23 47.9%	10 20.8%	1 2.1%	2 4.2%	0 0.0%
	大規模事業所型(II)	56 100.0%	9 16.1%	26 46.4%	18 32.1%	2 3.6%	0 0.0%	1 1.8%
届出の有無: リハビリテーションマネジメント加算II	有	178 100.0%	46 25.8%	81 45.5%	36 20.2%	9 5.1%	4 2.2%	2 1.1%
	無	316 100.0%	47 14.9%	147 46.5%	92 29.1%	13 4.1%	9 2.8%	8 2.5%

図表 2-2-160 【訪問リハ】開設主体別・加算届出有無別 居宅サービス計画と連動できるようになった

		合計	2015年4月以降の連携状況変化:居宅サービス計画と連動できるようになった					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		878 100.0%	138 15.7%	419 47.7%	219 24.9%	42 4.8%	35 4.0%	25 2.8%
開設主体	病院	426 100.0%	64 15.0%	205 48.1%	111 26.1%	19 4.5%	14 3.3%	13 3.1%
	診療所	317 100.0%	52 16.4%	143 45.1%	83 26.2%	16 5.0%	16 5.0%	7 2.2%
	介護老人保健施設	130 100.0%	22 16.9%	67 51.5%	24 18.5%	7 5.4%	5 3.8%	5 3.8%
届出の有無: リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ	有	124 100.0%	24 19.4%	68 54.8%	21 16.9%	2 1.6%	5 4.0%	4 3.2%
	無	732 100.0%	111 15.2%	339 46.3%	192 26.2%	40 5.5%	30 4.1%	20 2.7%

図表 2-2-161 【通所リハ】居宅サービス計画と連動できるようになった（H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所）（n=337事業所）

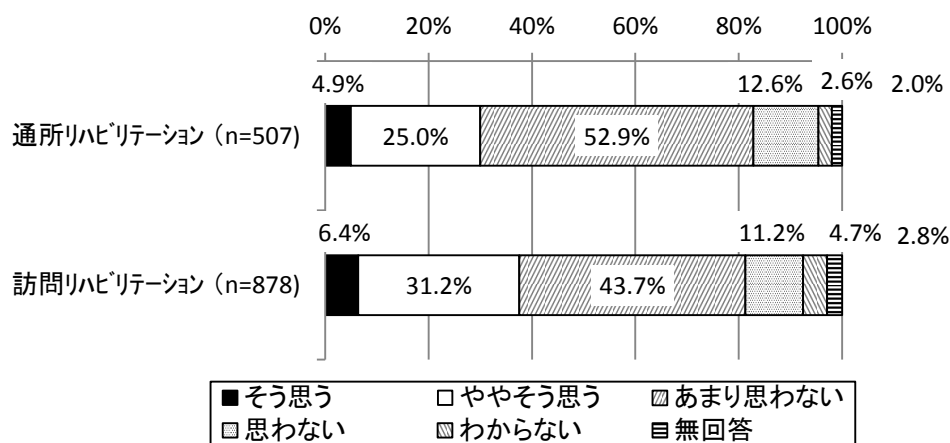


② かかりつけ医との情報共有

2015年4月と比較し、「かかりつけ医との情報共有が進んだ」については、「そう思う」「ややそう思う」と回答した事業所が、通所リハビリテーション事業所で29.9%、訪問リハビリテーション事業所で37.6%であった。

なお、平成27年度調査と平成28年度調査両方に回答した337事業所についてみると、「そう思う」「ややそう思う」と回答した事業所が、27年度は49.8%、平成28年度は30.5%であった。

図表 2-2-162 かかりつけ医との情報共有が進んだ



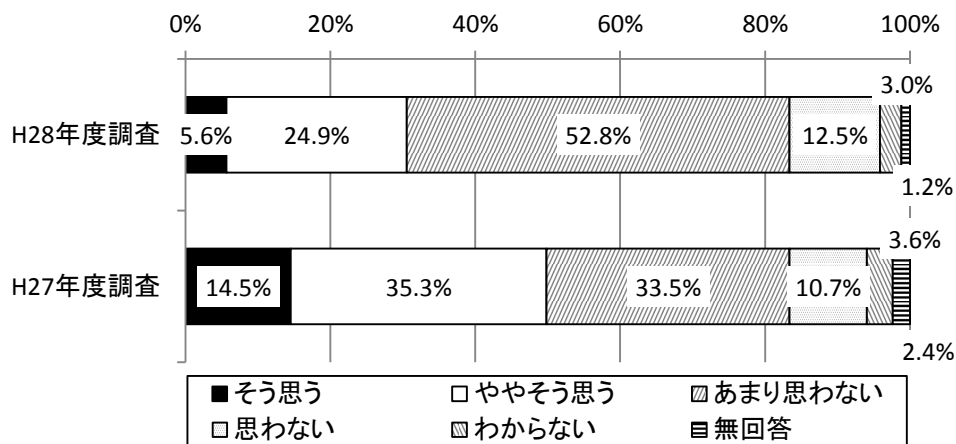
図表 2-2-163 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別 かかりつけ医との情報共有が進んだ

		合計	2015年4月以降の連携状況変化:かかりつけ医との情報共有が進んだ					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		507 100.0%	25 4.9%	127 25.0%	268 52.9%	64 12.6%	13 2.6%	10 2.0%
開設主体	病院	138 100.0%	4 2.9%	30 21.7%	79 57.2%	21 15.2%	3 2.2%	1 0.7%
	診療所	154 100.0%	14 9.1%	51 33.1%	64 41.6%	19 12.3%	3 1.9%	3 1.9%
	介護老人保健施設	209 100.0%	7 3.3%	44 21.1%	122 58.4%	23 11.0%	7 3.3%	6 2.9%
規模	通常規模型	388 100.0%	24 6.2%	102 26.3%	196 50.5%	46 11.9%	11 2.8%	9 2.3%
	大規模事業所型(I)	48 100.0%	0 0.0%	14 29.2%	26 54.2%	6 12.5%	2 4.2%	0 0.0%
	大規模事業所型(II)	56 100.0%	0 0.0%	7 12.5%	39 69.6%	9 16.1%	0 0.0%	1 1.8%
届出の有無: リハビリテーションマネジメント加算II	有	178 100.0%	12 6.7%	46 25.8%	95 53.4%	19 10.7%	4 2.2%	2 1.1%
	無	316 100.0%	12 3.8%	80 25.3%	166 52.5%	42 13.3%	9 2.8%	7 2.2%

図表 2-2-164 【訪問リハ】開設主体別・加算届出有無別 かかりつけ医との情報共有が進んだ

		合計	2015年4月以降の連携状況変化:かかりつけ医との情報共有が進んだ					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		878 100.0%	56 6.4%	274 31.2%	384 43.7%	98 11.2%	41 4.7%	25 2.8%
開設主体	病院	426 100.0%	23 5.4%	120 28.2%	196 46.0%	57 13.4%	17 4.0%	13 3.1%
	診療所	317 100.0%	27 8.5%	111 35.0%	131 41.3%	24 7.6%	17 5.4%	7 2.2%
	介護老人保健施設	130 100.0%	5 3.8%	42 32.3%	55 42.3%	17 13.1%	6 4.6%	5 3.8%
届出の有無: リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	124 100.0%	10 8.1%	45 36.3%	51 41.1%	8 6.5%	6 4.8%	4 3.2%
	無	732 100.0%	45 6.1%	218 29.8%	326 44.5%	88 12.0%	35 4.8%	20 2.7%

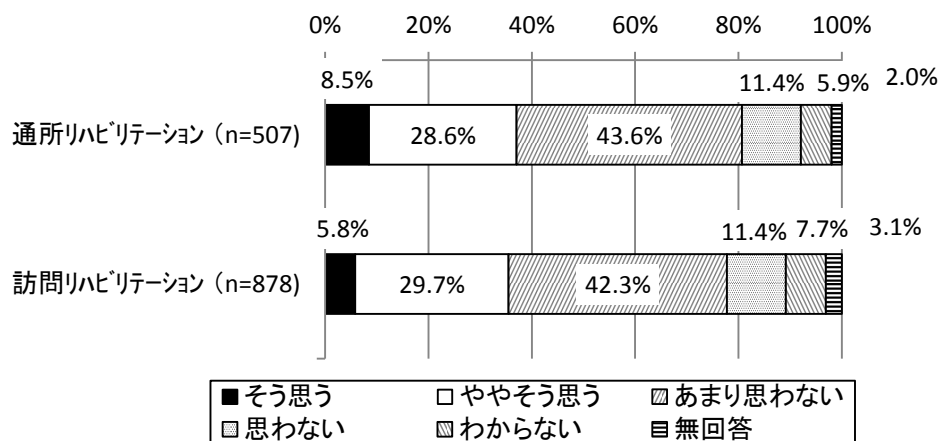
図表 2-2-165 【通所リハ】かかりつけ医との情報共有が進んだ（H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所）（n=337事業所）



③ 訪問看護事業所との情報共有

2015年4月と比較し、「訪問看護事業所との情報共有が進んだ」については、「そう思う」「ややそう思う」と回答した事業所が、通所リハビリテーション事業所で37.1%、訪問リハビリテーション事業所で35.5%であった。

図表 2-2-166 訪問看護事業所との情報共有が進んだ





図表 2-2-167 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別 訪問看護事業所との情報共有が進んだ

		合計	2015年4月以降の連携状況変化:訪問看護事業所との情報共有が進んだ					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		507 100.0%	43 8.5%	145 28.6%	221 43.6%	58 11.4%	30 5.9%	10 2.0%
開設主体	病院	138 100.0%	11 8.0%	34 24.6%	68 49.3%	14 10.1%	10 7.2%	1 0.7%
	診療所	154 100.0%	16 10.4%	42 27.3%	61 39.6%	22 14.3%	10 6.5%	3 1.9%
	介護老人保健施設	209 100.0%	16 7.7%	67 32.1%	89 42.6%	21 10.0%	10 4.8%	6 2.9%
規模	通常規模型	388 100.0%	32 8.2%	97 25.0%	180 46.4%	45 11.6%	25 6.4%	9 2.3%
	大規模事業所型(Ⅰ)	48 100.0%	5 10.4%	19 39.6%	15 31.3%	5 10.4%	4 8.3%	0 0.0%
	大規模事業所型(Ⅱ)	56 100.0%	4 7.1%	24 42.9%	20 35.7%	7 12.5%	0 0.0%	1 1.8%
届出の有無: リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	178 100.0%	24 13.5%	62 34.8%	63 35.4%	21 11.8%	6 3.4%	2 1.1%
	無	316 100.0%	19 6.0%	81 25.6%	151 47.8%	34 10.8%	24 7.6%	7 2.2%

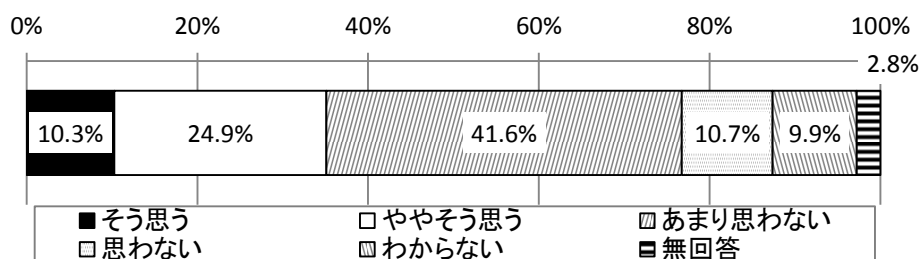
図表 2-2-168 【訪問リハ】開設主体別・加算届出有無別 訪問看護事業所との情報共有が進んだ

		合計	2015年4月以降の連携状況変化:訪問看護事業所との情報共有が進んだ					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		878 100.0%	51 5.8%	261 29.7%	371 42.3%	100 11.4%	68 7.7%	27 3.1%
開設主体	病院	426 100.0%	31 7.3%	134 31.5%	179 42.0%	46 10.8%	22 5.2%	14 3.3%
	診療所	317 100.0%	17 5.4%	82 25.9%	143 45.1%	34 10.7%	33 10.4%	8 2.5%
	介護老人保健施設	130 100.0%	3 2.3%	44 33.8%	46 35.4%	20 15.4%	12 9.2%	5 3.8%
届出の有無: リハビリテーション マネジメント加算Ⅱ	有	124 100.0%	7 5.6%	47 37.9%	49 39.5%	9 7.3%	8 6.5%	4 3.2%
	無	732 100.0%	44 6.0%	208 28.4%	310 42.3%	89 12.2%	60 8.2%	21 2.9%

④ 【通所リハ】訪問リハビリテーション事業所との情報共有

2015年4月と比較し、「訪問リハビリテーションとの情報共有が進んだ」について、「そう思う」「ややそう思う」と回答した通所リハビリテーション事業所は35.2%であった。

図表 2-2-169 【通所リハ】訪問リハビリテーション事業所との情報共有が進んだ (n=507)



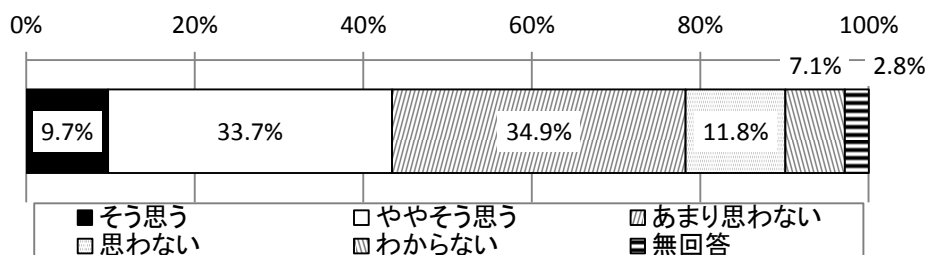
図表 2-2-170 【通所リハ】開設主体別・規模別・加算届出有無別 訪問リハビリテーション事業所との情報共有が進んだ

		合計	2015年4月以降の連携状況変化:訪問リハビリテーション事業所との情報共有が進んだ					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		507 100.0%	52 10.3%	126 24.9%	211 41.6%	54 10.7%	50 9.9%	14 2.8%
開設主体	病院	138 100.0%	19 13.8%	31 22.5%	60 43.5%	14 10.1%	13 9.4%	1 0.7%
	診療所	154 100.0%	18 11.7%	36 23.4%	61 39.6%	18 11.7%	17 11.0%	4 2.6%
	介護老人保健施設	209 100.0%	15 7.2%	57 27.3%	87 41.6%	21 10.0%	20 9.6%	9 4.3%
規模	通常規模型	388 100.0%	37 9.5%	79 20.4%	173 44.6%	43 11.1%	43 11.1%	13 3.4%
	大規模事業所型(I)	48 100.0%	6 12.5%	19 39.6%	14 29.2%	3 6.3%	6 12.5%	0 0.0%
	大規模事業所型(II)	56 100.0%	6 10.7%	24 42.9%	19 33.9%	5 8.9%	1 1.8%	1 1.8%
届出の有無: リハビリテーション マネジメント加算II	有	178 100.0%	27 15.2%	61 34.3%	59 33.1%	14 7.9%	14 7.9%	3 1.7%
	無	316 100.0%	25 7.9%	64 20.3%	144 45.6%	37 11.7%	36 11.4%	10 3.2%

⑤ 【訪問リハ】通所リハビリテーション事業所との情報共有

2015年4月と比較し、「通所リハビリテーションとの情報共有が進んだ」について、「そう思う」「ややそう思う」と回答した訪問リハビリテーション事業所は43.4%であった。

図表 2-2-171 【訪問リハ】通所リハビリテーションとの情報共有が進んだ (n=878)



図表 2-2-172 【訪問リハ】開設主体別・加算届出有無別 通所リハビリテーション事業所との情報共有が進んだ

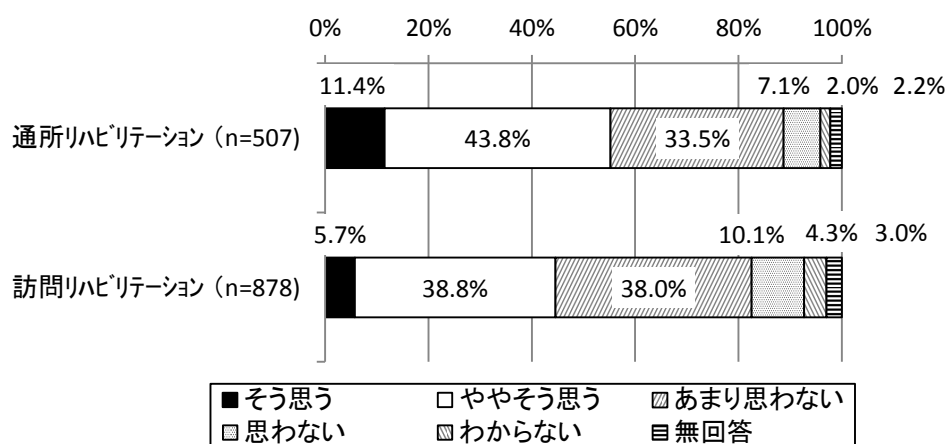
		合計	2015年4月以降の連携状況変化:通所リハビリテーション事業所との情報共有が進んだ					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		878 100.0%	85 9.7%	296 33.7%	306 34.9%	104 11.8%	62 7.1%	25 2.8%
開設主体	病院	426 100.0%	40 9.4%	136 31.9%	157 36.9%	52 12.2%	28 6.6%	13 3.1%
	診療所	317 100.0%	30 9.5%	101 31.9%	113 35.6%	38 12.0%	28 8.8%	7 2.2%
	介護老人保健施設	130 100.0%	15 11.5%	59 45.4%	32 24.6%	13 10.0%	6 4.6%	5 3.8%
届出の有無:リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ	有	124 100.0%	28 22.6%	51 41.1%	31 25.0%	4 3.2%	6 4.8%	4 3.2%
	無	732 100.0%	57 7.8%	233 31.8%	267 36.5%	100 13.7%	55 7.5%	20 2.7%

⑥ 他の介護事業所との情報共有

2015年4月と比較し、「他の介護事業所との情報共有が進んだ」については、「そう思う」「ややそう思う」と回答した事業所が、通所リハビリテーション事業所で55.2%、訪問リハビリテーション事業所で44.5%であった。

なお、平成27年度調査と平成28年度調査両方に回答した337事業所についてみると、「そう思う」「ややそう思う」と回答した事業所が、27年度は51.9%、平成28年度は56.7%であった。なお、平成27年度調査においては「訪問看護事業所」および「訪問リハビリテーション」との情報共有に関する設問が設定されておらず、「他の訪問介護事業所」に包括される設問になっている。

図表 2-2-173 【通所リハ・訪問リハ】他の介護事業所との情報共有が進んだ



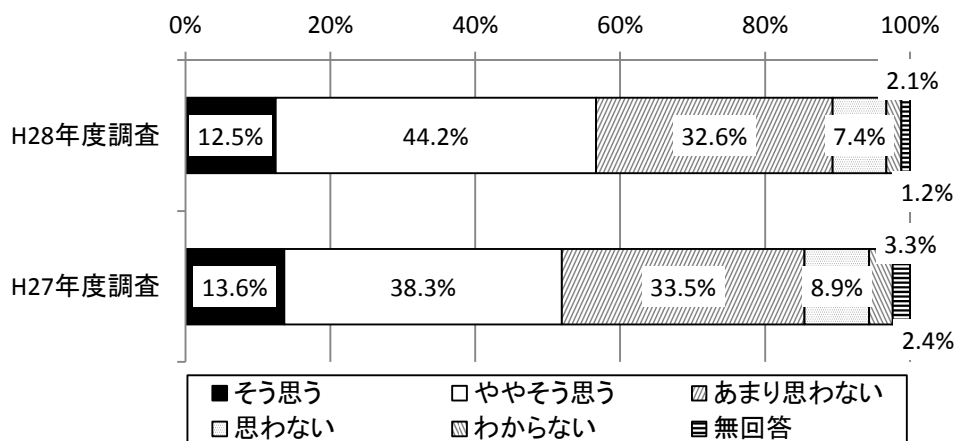
図表 2-2-174 【通所リハ】開設主体・規模・加算届出有無別 他の介護事業所との情報共有が進んだ

		合計	2015年4月以降の連携状況変化:他の介護事業所との情報共有が進んだ					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		507 100.0%	58 11.4%	222 43.8%	170 33.5%	36 7.1%	10 2.0%	11 2.2%
開設主体	病院	138 100.0%	17 12.3%	53 38.4%	54 39.1%	11 8.0%	2 1.4%	1 0.7%
	診療所	154 100.0%	20 13.0%	69 44.8%	44 28.6%	13 8.4%	4 2.6%	4 2.6%
	介護老人保健施設	209 100.0%	21 10.0%	96 45.9%	71 34.0%	11 5.3%	4 1.9%	6 2.9%
規模	通常規模型	388 100.0%	42 10.8%	165 42.5%	134 34.5%	27 7.0%	10 2.6%	10 2.6%
	大規模事業所型(I)	48 100.0%	8 16.7%	28 58.3%	10 20.8%	2 4.2%	0 0.0%	0 0.0%
	大規模事業所型(II)	56 100.0%	5 8.9%	23 41.1%	21 37.5%	6 10.7%	0 0.0%	1 1.8%
届出の有無: リハビリテーションマネジメント加算II	有	178 100.0%	29 16.3%	91 51.1%	40 22.5%	13 7.3%	2 1.1%	3 1.7%
	無	316 100.0%	29 9.2%	128 40.5%	123 38.9%	21 6.6%	8 2.5%	7 2.2%

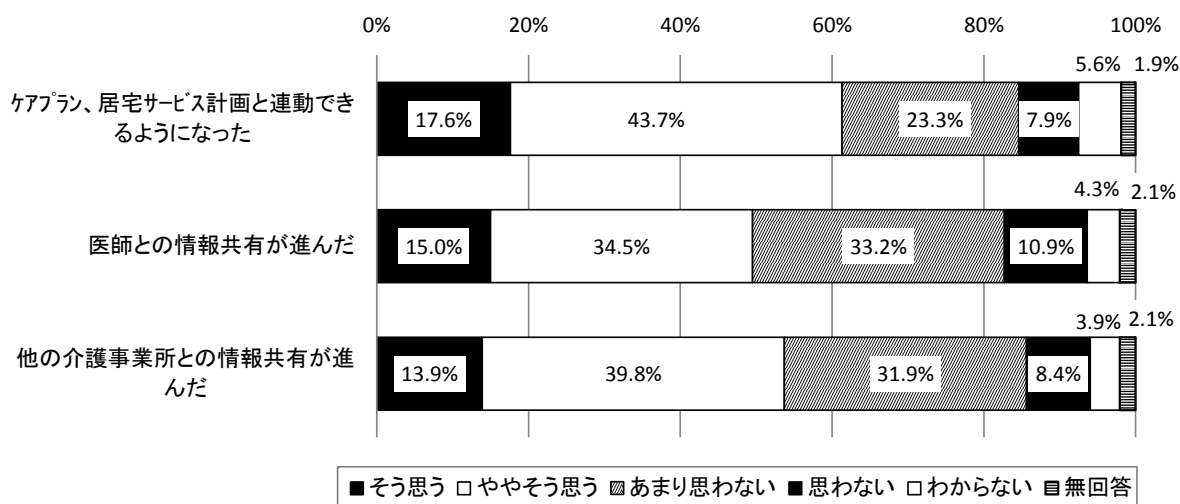
図表 2-2-175 【訪問リハ】開設主体別・加算届出有無別 他の介護事業所との情報共有が進んだ

		合計	2015年4月以降の連携状況変化:他の介護事業所との情報共有が進んだ					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		878 100.0%	50 5.7%	341 38.8%	334 38.0%	89 10.1%	38 4.3%	26 3.0%
開設主体	病院	426 100.0%	23 5.4%	167 39.2%	166 39.0%	40 9.4%	17 4.0%	13 3.1%
	診療所	317 100.0%	21 6.6%	120 37.9%	122 38.5%	32 10.1%	15 4.7%	7 2.2%
	介護老人保健施設	130 100.0%	6 4.6%	52 40.0%	44 33.8%	17 13.1%	5 3.8%	6 4.6%
届出の有無: リハビリテーションマネジメント加算II	有	124 100.0%	11 8.9%	62 50.0%	36 29.0%	6 4.8%	5 4.0%	4 3.2%
	無	732 100.0%	39 5.3%	268 36.6%	291 39.8%	81 11.1%	32 4.4%	21 2.9%

図表 2-2-176 【通所リハ】他の介護事業所との情報共有が進んだ  
(H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所) (n=337)



参考：【平成 27 年度調査】【通所リハ】他の居宅サービス等との連携の状況の変化 (n=467)



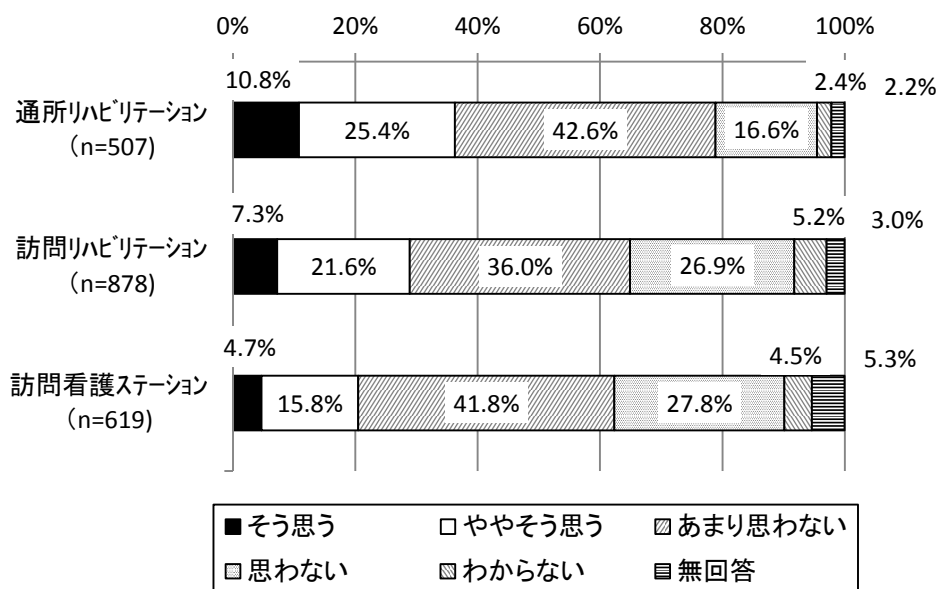
### (3) 2016年4月以降の医療機関との連携状況の変化

2016年4月以降の医療機関との連携状況の変化について、「医療保険のリハからの移行者」、「医療機関からの利用開始前の相談」、「医療ニーズの高い人の利用」について調査した。

#### ① 医療保険からのリハ移行者の状況

「医療保険のリハからの移行者が増えた」については、「そう思う」「ややそう思う」と回答した事業所が、通所リハビリテーション事業所で36.2%、訪問リハビリテーション事業所で28.9%、訪問看護ステーションで20.5%であった。

図表 2-2-177 医療保険のリハからの移行者が増えた



図表 2-2-178 【通所リハ】開設主体・規模・加算届出有無別 医療保険のリハからの  
移行者が増えた

		合計	2016年4月以降の連携状況変化:医療保険のリハからの移行者が増えた					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		507 100.0%	55 10.8%	129 25.4%	216 42.6%	84 16.6%	12 2.4%	11 2.2%
開設主体	病院	138 100.0%	26 18.8%	39 28.3%	49 35.5%	21 15.2%	1 0.7%	2 1.4%
	診療所	154 100.0%	17 11.0%	46 29.9%	59 38.3%	28 18.2%	1 0.6%	3 1.9%
	介護老人保健施設	209 100.0%	12 5.7%	44 21.1%	105 50.2%	32 15.3%	10 4.8%	6 2.9%
規模	通常規模型	388 100.0%	42 10.8%	95 24.5%	168 43.3%	67 17.3%	6 1.5%	10 2.6%
	大規模事業所型(I)	48 100.0%	6 12.5%	12 25.0%	15 31.3%	10 20.8%	5 10.4%	0 0.0%
	大規模事業所型(II)	56 100.0%	7 12.5%	17 30.4%	25 44.6%	5 8.9%	1 1.8%	1 1.8%
届出の有無: リハビリテーションマネジメント加算II	有	178 100.0%	29 16.3%	38 21.3%	78 43.8%	23 12.9%	8 4.5%	2 1.1%
	無	316 100.0%	25 7.9%	89 28.2%	129 40.8%	61 19.3%	4 1.3%	8 2.5%

図表 2-2-179 【訪問リハ】開設主体・加算届出有無別 医療保険のリハからの移行者が増えた

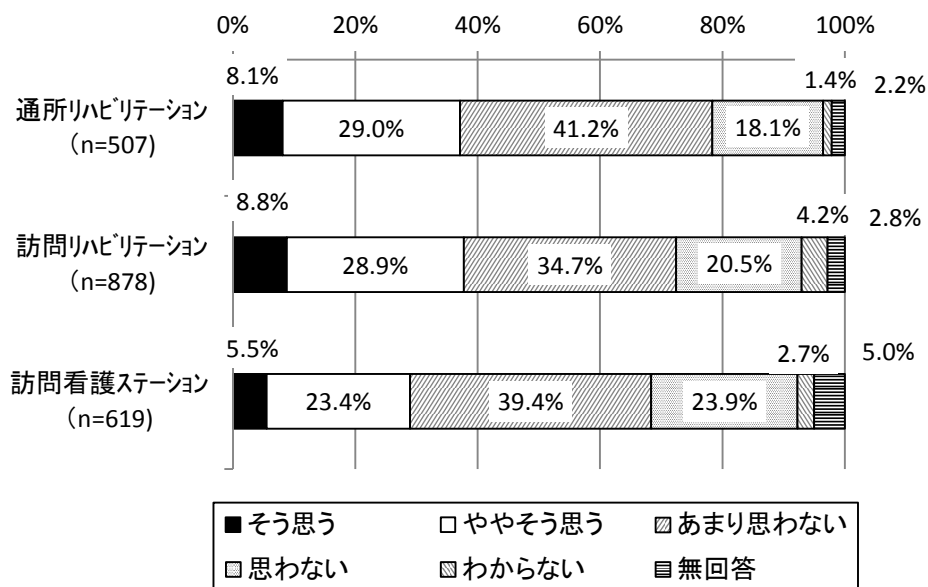
		合計	2016年4月以降の連携状況変化:医療保険のリハからの移行者が増えた					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		878 100.0%	64 7.3%	190 21.6%	316 36.0%	236 26.9%	46 5.2%	26 3.0%
開設主体	病院	426 100.0%	35 8.2%	103 24.2%	145 34.0%	116 27.2%	17 4.0%	10 2.3%
	診療所	317 100.0%	23 7.3%	68 21.5%	122 38.5%	76 24.0%	19 6.0%	9 2.8%
	介護老人保健施設	130 100.0%	5 3.8%	18 13.8%	47 36.2%	43 33.1%	10 7.7%	7 5.4%
届出の有無: リハビリテーションマネジメント加算II	有	124 100.0%	11 8.9%	25 20.2%	53 42.7%	26 21.0%	4 3.2%	5 4.0%
	無	732 100.0%	52 7.1%	158 21.6%	256 35.0%	205 28.0%	41 5.6%	20 2.7%



② 医療機関からの利用開始前の相談

「医療機関からの利用開始前の相談が増えた」については、「そう思う」「ややそう思う」と回答した事業所が、通所リハビリテーション事業所で 37.1%、訪問リハビリテーション事業所で 37.7%、訪問看護ステーションで 28.9%であった。

図表 2-2-180 医療機関からの利用開始前の相談が増えた



図表 2-2-181 【通所リハ】開設主体・規模・加算届出有無別 医療機関からの利用開始前の相談が増えた

		合計	2016年4月以降の連携状況変化:医療機関からの利用開始前の相談が増えた					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		507 100.0%	41 8.1%	147 29.0%	209 41.2%	92 18.1%	7 1.4%	11 2.2%
開設主体	病院	138 100.0%	18 13.0%	46 33.3%	50 36.2%	22 15.9%	0 0.0%	2 1.4%
	診療所	154 100.0%	9 5.8%	44 28.6%	64 41.6%	31 20.1%	3 1.9%	3 1.9%
	介護老人保健施設	209 100.0%	14 6.7%	55 26.3%	95 45.5%	35 16.7%	4 1.9%	6 2.9%
規模	通常規模型	388 100.0%	33 8.5%	108 27.8%	157 40.5%	74 19.1%	6 1.5%	10 2.6%
	大規模事業所型(I)	48 100.0%	5 10.4%	11 22.9%	22 45.8%	9 18.8%	1 2.1%	0 0.0%
	大規模事業所型(II)	56 100.0%	3 5.4%	21 37.5%	24 42.9%	7 12.5%	0 0.0%	1 1.8%
届出の有無: リハビリテーション マネジメント加算II	有	178 100.0%	19 10.7%	48 27.0%	76 42.7%	31 17.4%	2 1.1%	2 1.1%
	無	316 100.0%	22 7.0%	93 29.4%	127 40.2%	61 19.3%	5 1.6%	8 2.5%

図表 2-2-182 【訪問リハ】開設主体・加算届出有無別 医療機関からの利用開始前の相談が増えた

		合計	2016年4月以降の連携状況変化:医療機関からの利用開始前の相談が増えた					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		878 100.0%	77 8.8%	254 28.9%	305 34.7%	180 20.5%	37 4.2%	25 2.8%
開設主体	病院	426 100.0%	44 10.3%	139 32.6%	138 32.4%	83 19.5%	12 2.8%	10 2.3%
	診療所	317 100.0%	28 8.8%	80 25.2%	123 38.8%	60 18.9%	18 5.7%	8 2.5%
	介護老人保健施設	130 100.0%	4 3.1%	32 24.6%	43 33.1%	37 28.5%	7 5.4%	7 5.4%
届出の有無: リハビリテーション マネジメント加算II	有	124 100.0%	12 9.7%	35 28.2%	48 38.7%	19 15.3%	4 3.2%	6 4.8%
	無	732 100.0%	63 8.6%	213 29.1%	247 33.7%	158 21.6%	32 4.4%	19 2.6%

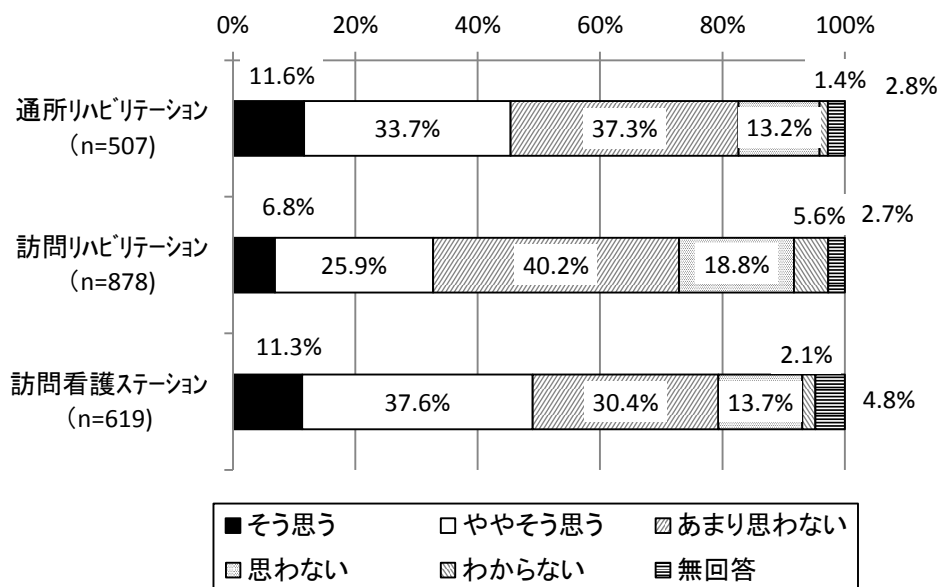
図表 2-2-183 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 医療機関からの利用開始前の相談が増えた

	合計	2016年4月以降の連携状況変化:医療機関からの利用開始前の相談が増えた					
		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	無回答
全体	619 100.0%	34 5.5%	145 23.4%	244 39.4%	148 23.9%	17 2.7%	31 5.0%
看護師多数型	473 100.0%	25 5.3%	103 21.8%	195 41.2%	113 23.9%	12 2.5%	25 5.3%
リハ職多数型	86 100.0%	3 3.5%	22 25.6%	32 37.2%	22 25.6%	3 3.5%	4 4.7%
うち、リハ職が看護職の1倍超~2倍未満	52 100.0%	3 5.8%	13 25.0%	19 36.5%	15 28.8%	0 0.0%	2 3.8%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	0 0.0%	9 26.5%	13 38.2%	7 20.6%	3 8.8%	2 5.9%

### ③ 医療ニーズの高い人の利用

「医療ニーズの高い人の利用が増えた」については、「そう思う」「ややそう思う」と回答した事業所が、通所リハビリテーション事業所で45.3%、訪問リハビリテーション事業所で32.7%、訪問看護ステーションで48.9%であった。

図表 2-2-184 医療ニーズの高い人の利用が増えた



図表 2-2-185 【通所リハ】開設主体・規模・加算届出有無別 医療ニーズが高い人の利用が増えた

		合計	2016年4月以降の連携状況変化:医療ニーズが高い人の利用が増えた					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		507 100.0%	59 11.6%	171 33.7%	189 37.3%	67 13.2%	7 1.4%	14 2.8%
開設主体	病院	138 100.0%	20 14.5%	38 27.5%	53 38.4%	23 16.7%	1 0.7%	3 2.2%
	診療所	154 100.0%	14 9.1%	57 37.0%	55 35.7%	21 13.6%	3 1.9%	4 2.6%
	介護老人保健施設	209 100.0%	24 11.5%	75 35.9%	79 37.8%	21 10.0%	3 1.4%	7 3.3%
規模	通常規模型	388 100.0%	39 10.1%	127 32.7%	144 37.1%	59 15.2%	7 1.8%	12 3.1%
	大規模事業所型(I)	48 100.0%	4 8.3%	25 52.1%	16 33.3%	3 6.3%	0 0.0%	0 0.0%
	大規模事業所型(II)	56 100.0%	13 23.2%	15 26.8%	23 41.1%	3 5.4%	0 0.0%	2 3.6%
届出の有無: リハビリテーション マネジメント加算II	有	178 100.0%	19 10.7%	62 34.8%	69 38.8%	20 11.2%	3 1.7%	5 2.8%
	無	316 100.0%	39 12.3%	103 32.6%	116 36.7%	46 14.6%	4 1.3%	8 2.5%

図表 2-2-186 【訪問リハ】開設主体・加算届出有無別 医療ニーズが高い人の利用が増えた

		合計	2016年4月以降の連携状況変化:医療ニーズが高い人の利用が増えた					無回答
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
全体		878 100.0%	60 6.8%	227 25.9%	353 40.2%	165 18.8%	49 5.6%	24 2.7%
開設主体	病院	426 100.0%	30 7.0%	106 24.9%	188 44.1%	76 17.8%	17 4.0%	9 2.1%
	診療所	317 100.0%	23 7.3%	84 26.5%	117 36.9%	64 20.2%	21 6.6%	8 2.5%
	介護老人保健施設	130 100.0%	7 5.4%	35 26.9%	46 35.4%	25 19.2%	10 7.7%	7 5.4%
届出の有無: リハビリテーション マネジメント加算II	有	124 100.0%	6 4.8%	24 19.4%	60 48.4%	23 18.5%	6 4.8%	5 4.0%
	無	732 100.0%	53 7.2%	197 26.9%	281 38.4%	140 19.1%	42 5.7%	19 2.6%

図表 2-2-187 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 医療ニーズが高い人の利用が増えた

	合計	2016年4月以降の連携状況変化:医療ニーズが高い人の利用が増えた					
		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	無回答
全体	619 100.0%	70 11.3%	233 37.6%	188 30.4%	85 13.7%	13 2.1%	30 4.8%
看護師多数型	473 100.0%	54 11.4%	180 38.1%	140 29.6%	65 13.7%	11 2.3%	23 4.9%
リハ職多数型	86 100.0%	6 7.0%	34 39.5%	29 33.7%	13 15.1%	0 0.0%	4 4.7%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52 100.0%	4 7.7%	20 38.5%	18 34.6%	8 15.4%	0 0.0%	2 3.8%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34 100.0%	2 5.9%	14 41.2%	11 32.4%	5 14.7%	0 0.0%	2 5.9%

## 3. 利用者の状況について

## (1) 利用者数

## ① 利用者数

2016年10月5日時点の一事業所当たり平均利用者数は、通所リハビリテーション事業所 59.0人、訪問リハビリテーション事業所 25.3人であった。2016年10月分の訪問看護ステーションの平均利用者数は 55.1人（リハ職訪問利用者）であった。

保険別内訳は、訪問リハビリテーションは介護保険 23.9人、医療保険 1.4人、訪問看護ステーションは介護保険 41.3人、医療保険 13.8人であった。

利用者数別の事業所数分布をみると、通所リハビリテーションは 21人～30人が 14.8%、訪問リハビリテーションは 1人～10人が 39.4%、訪問看護ステーションは 11人～21人が 15.3%であった。

図表 2-2-188 利用者数

	回答事業所数	平均値	標準偏差	中央値
通所リハビリテーション	500 事業所	59.0 人	51.0	42.5 人
訪問リハビリテーション	863 事業所	25.3 人	35.3	13.0 人
訪問看護ステーション	599 ステーション	55.1 人	55.4	38.0 人

注1) 訪問リハビリテーションは医療保険利用者も含む

注2) 訪問看護ステーションはリハ職訪問利用者（介護保険・医療保険）のみを集計

注3) 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションは 10月5日時点、訪問看護ステーションは 2016年10月分の利用者数

図表 2-2-189 【訪問リハ】保険別利用者数（2016年10月5日時点）（863事業所の平均）

	平均値	標準偏差	中央値
介護保険	23.9 人	32.6	13.0 人
医療保険	1.4 人	7.9	0.0 人
合計	25.3 人	35.3	13.0 人

図表 2-2-190 【訪問看護】保険別利用者数（2016年10月分）（599ステーションの平均）

	平均値	標準偏差	中央値
介護保険	41.3 人	44.9	27.0 人
医療保険	13.8 人	17.0	9.0 人
合計	55.1 人	55.4	38.0 人

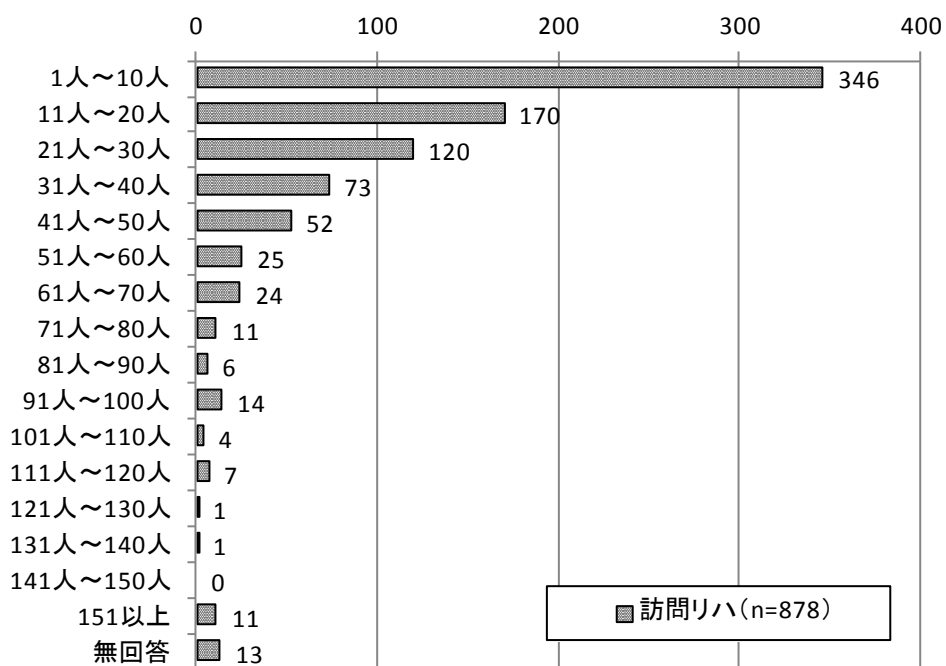
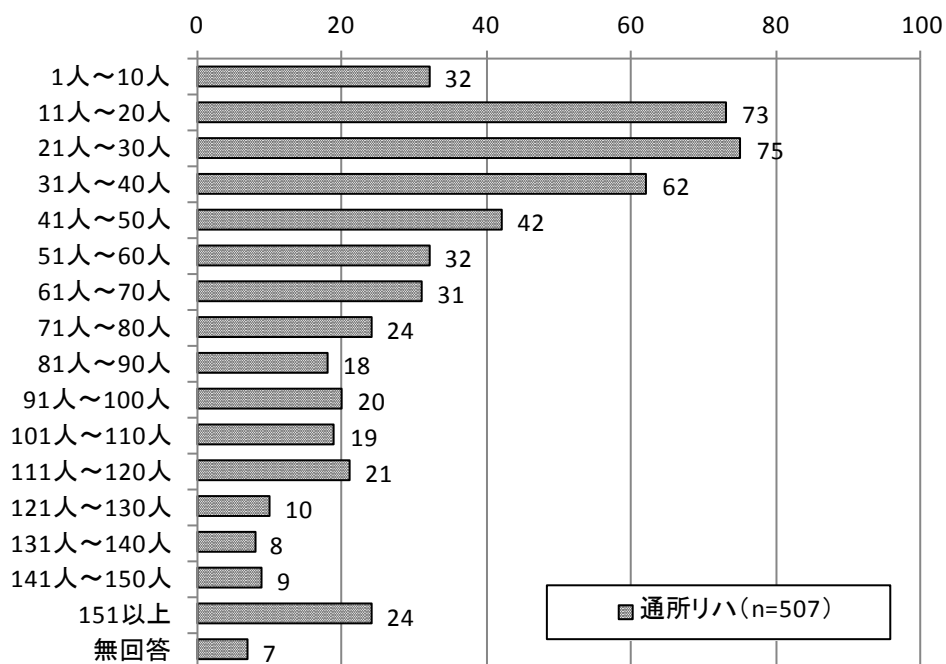
図表 2-2-191 利用者数別事業所分布

利用者数	通所リハビリテーション		訪問リハビリテーション		訪問看護ステーション	
	事業所数	%	事業所数	%	ステーション数	%
1人～10人	32	6.3%	346	39.4%	79	12.8%
11人～20人	73	14.4%	170	19.4%	95	15.3%
21人～30人	75	14.8%	120	13.7%	80	12.9%
31人～40人	62	12.2%	73	8.3%	58	9.4%
41人～50人	42	8.3%	52	5.9%	58	9.4%
51人～60人	32	6.3%	25	2.8%	39	6.3%
61人～70人	31	6.1%	24	2.7%	45	7.3%
71人～80人	24	4.7%	11	1.3%	23	3.7%
81人～90人	18	3.6%	6	0.7%	14	2.3%
91人～100人	20	3.9%	14	1.6%	16	2.6%
101人～110人	19	3.7%	4	0.5%	11	1.8%
111人～120人	21	4.1%	7	0.8%	11	1.8%
121人～130人	10	2.0%	1	0.1%	8	1.3%
131人～140人	8	1.6%	1	0.1%	13	2.1%
141人～150人	9	1.8%	0	0.0%	8	1.3%
151以上	24	4.7%	11	1.3%	41	6.6%
無回答	7	1.4%	13	1.5%	20	3.2%
全体	507	100.0%	878	100.0%	619	100.0%

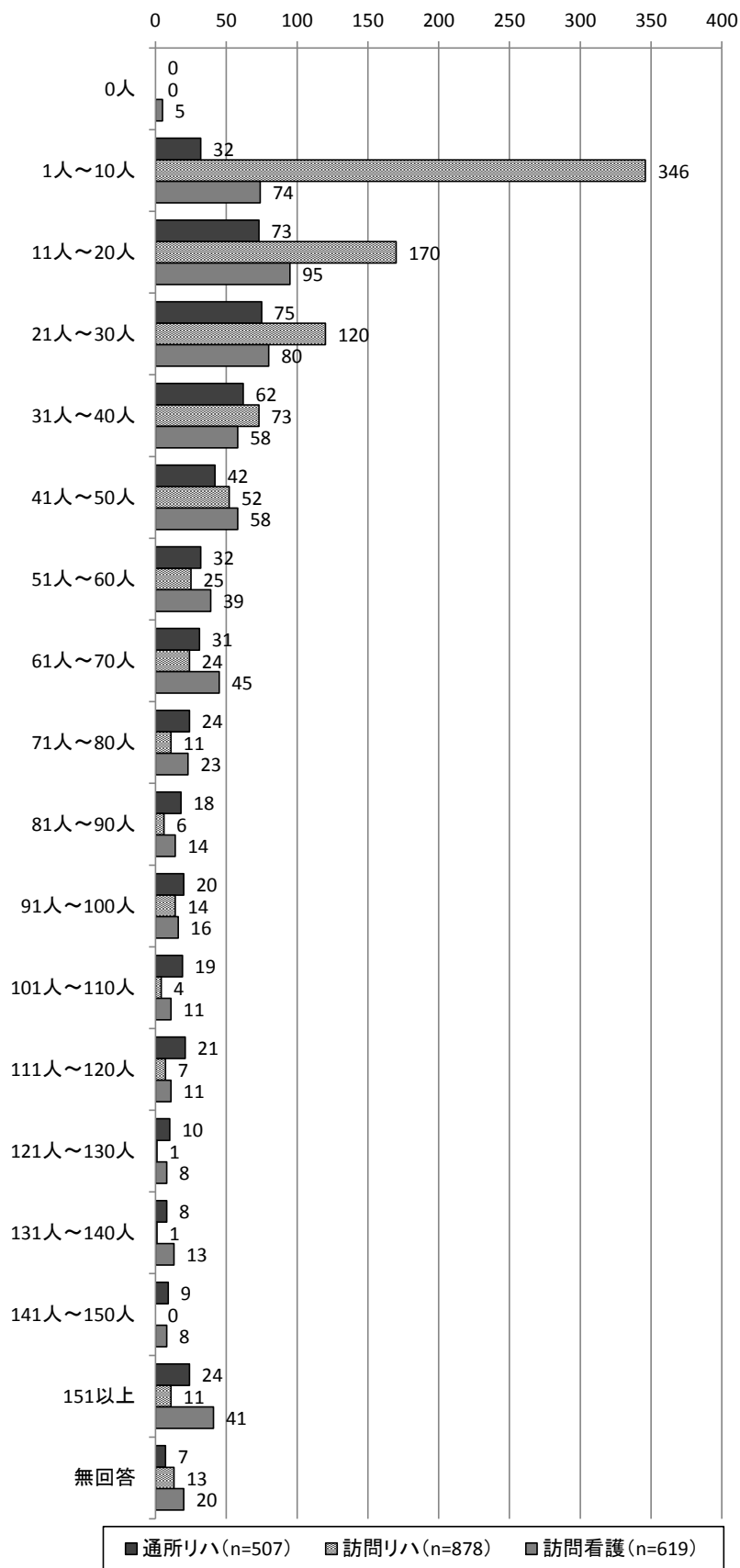
注) 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションは10月5日時点。訪問看護ステーションは2016年10月分の利用者数

3 利用者の状況について

図表 2-2-192 利用者数別事業所数分布







注) 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションは10月5日時点。訪問看護ステーションは2016年10月分の利用者数

図表 2-2-193 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 利用者数別事業所分布  
(2016年10月分)

利用者数	計		看護師多数型		リハ職多数型		うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満		うち、リハ職が看護職の2倍以上	
	事業所数	%	事業所数	%	事業所数	%	事業所数	%	事業所数	%
0人	5	0.9%	5	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1人～10人	64	11.5%	63	13.3%	1	1.2%	0	0.0%	1	2.9%
11人～20人	91	16.3%	91	19.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
21人～30人	72	12.9%	72	15.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
31人～40人	54	9.7%	50	10.6%	4	4.7%	4	7.7%	0	0.0%
41人～50人	57	10.2%	56	11.8%	1	1.2%	1	1.9%	0	0.0%
51人～60人	38	6.8%	34	7.2%	4	4.7%	4	7.7%	0	0.0%
61人～70人	37	6.6%	29	6.1%	8	9.3%	8	15.4%	0	0.0%
71人～80人	14	2.5%	11	2.3%	3	3.5%	2	3.8%	1	2.9%
81人～90人	16	2.9%	10	2.1%	6	7.0%	3	5.8%	3	8.8%
91人～100人	12	2.1%	8	1.7%	4	4.7%	1	1.9%	3	8.8%
101人～110人	12	2.1%	3	0.6%	9	10.5%	6	11.5%	3	8.8%
111人～120人	8	1.4%	4	0.8%	4	4.7%	2	3.8%	2	5.9%
121人～130人	8	1.4%	3	0.6%	5	5.8%	3	5.8%	2	5.9%
131人～140人	10	1.8%	3	0.6%	7	8.1%	5	9.6%	2	5.9%
141人～150人	7	1.3%	3	0.6%	4	4.7%	1	1.9%	3	8.8%
151人以上	37	6.6%	12	2.5%	25	29.1%	12	23.1%	13	38.2%
無回答	17	3.0%	16	3.4%	1	1.2%	0	0.0%	1	2.9%
計	560	100.0%	473	100.0%	86	100.0%	52	100.0%	34	100.0%

② 年齢構成

2016年10月5日時点の利用者の年齢構成は、通所リハビリテーションは75歳～84歳が39.8%、85歳以上が38.1%であった。訪問リハビリテーションの2016年10月分の利用者の年齢構成は75歳～84歳が36.8%、85歳以上が33.3%であった。

2016年10月分の訪問看護ステーションにおけるリハ職訪問の利用者の年齢構成は、75歳～84歳が33.7%、85歳以上が30.3%であった。

図表 2-2-194 【通所リハ】利用者の年齢構成（495事業所の合計）（2016年10月5日時点）

(人)	40～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	合計
合計	1,458 5.0%	5,009 17.2%	11,608 39.8%	11,105 38.1%	29,181 100.0%
要支援	290 3.9%	1,127 15.2%	3,358 45.4%	2,619 35.4%	7,394 100.0%
要介護	1,168 5.4%	3,882 17.8%	8,250 37.9%	8,486 39.0%	21,786 100.0%

図表 2-2-195 【訪問リハ】利用者の年齢構成

(862事業所の合計) (2016年10月5日時点)

(人)	40～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	合計
合計	2,007 9.0%	4,656 20.9%	8,196 36.8%	7,431 33.3%	22,291 100.0%
要支援	294 8.7%	691 20.3%	1,347 39.6%	1,066 31.4%	3,398 100.0%
要介護	1,713 9.1%	3,965 21.0%	6,849 36.3%	6,365 33.7%	18,892 100.0%

図表 2-2-196 【訪問看護】リハ職による訪問の利用者の年齢構成

(599ステーションの合計) (2016年10月分)

	15歳未満	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	合計
訪問看護計	633 1.9%	825 2.5%	3,840 11.6%	6,578 19.9%	11,113 33.7%	9,995 30.3%	32,984 100.0%
介護保険			1,811 7.3%	4,796 19.4%	9,010 36.5%	9,098 36.8%	24,715 100.0%
医療保険	633 9.3%	825 12.1%	2,029 29.8%	1,782 26.2%	2,103 30.9%	897 13.2%	6,811 100.0%

3 利用者の状況について

③ 要介護度

利用者の要介護度は、2016年10月5日時点では、通所リハビリテーションは要介護1が24.4%、要介護2が24.7%であった。

訪問リハビリテーションは2016年10月5日時点では、要介護2が23.3%、要介護1が15.8%であった。

2016年10月分の訪問看護ステーションにおける利用者は、要介護2が22.4%、要介護1が17.8%であった。

図表 2-2-197 要介護度別利用者数

	通所リハビリテーション (500事業所分合計)		訪問リハビリテーション (865事業所分合計)		訪問看護ステーション (600ステーション分合計)	
	合計値(人)	構成比	合計値(人)	構成比	合計値(人)	構成比
要支援1	2,999	10.2%	876	4.0%	1,990	4.5%
要支援2	4,400	14.9%	2,289	10.5%	4,183	9.5%
要介護1	7,180	24.4%	3,433	15.8%	7,817	17.8%
要介護2	7,269	24.7%	5,064	23.3%	9,843	22.4%
要介護3	4,042	13.7%	3,792	17.5%	6,822	15.5%
要介護4	2,435	8.3%	3,303	15.2%	6,405	14.6%
要介護5	1,082	3.7%	2,896	13.3%	6,562	15.0%
申請中	76	0.3%	54	0.2%	257	0.6%
合計	29,483	100.0%	21,707	100.0%	43,879	100.0%
平均要介護度		1.85		2.55		2.55

注1) 訪問看護ステーションは介護保険利用者のみ掲載している。

注2) 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションは10月5日時点。訪問看護ステーションは2016年10月分の利用者数

図表 2-2-198 【訪問看護】訪問者職種別・要介護度別・保険別利用者数  
(2016年10月分)(600ステーションの平均)

(人)	①リハ職+看護職の訪問		②看護職のみの訪問		③看護職+他事業所リハ職		④リハ職のみの訪問		⑤リハ職+他事業所看護職		計		うち、回答事業のリハ職訪問利用者(再掲:①+④+⑤)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
利用者数(合計)	24.0	100.0%	43.9	100.0%	1.6	100.0%	27.3	100.0%	1.7	100.0%	98.5	100.0%	53.0	100.0%
うち介護保険	16.7	69.6%	33.0	75.2%	1.1	70.1%	22.2	81.4%	1.1	65.2%	74.1	75.3%	40.0	75.5%
要支援1	0.5	1.9%	1.5	3.3%	0.0	1.0%	1.4	5.0%	0.0	0.9%	3.3	3.4%	1.8	3.5%
要支援2	1.3	5.4%	2.5	5.8%	0.0	2.2%	3.1	11.3%	0.0	2.6%	7.0	7.1%	4.4	8.3%
要介護1	2.3	9.5%	6.5	14.9%	0.1	8.0%	4.0	14.7%	0.1	4.3%	13.0	13.2%	6.4	12.0%
要介護2	3.4	14.0%	6.9	15.7%	0.2	11.5%	5.8	21.3%	0.2	8.8%	16.4	16.7%	9.3	17.6%
要介護3	2.6	10.7%	4.8	10.9%	0.2	13.1%	3.6	13.4%	0.2	10.3%	11.4	11.5%	6.4	12.0%
要介護4	2.8	11.6%	4.8	10.9%	0.2	13.2%	2.6	9.7%	0.2	14.0%	10.7	10.8%	5.7	10.7%
要介護5	3.1	13.0%	5.5	12.4%	0.3	17.6%	1.7	6.1%	0.4	25.3%	10.9	11.1%	5.2	9.8%
申請中	0.1	0.3%	0.3	0.6%	0.0	0.5%	0.1	0.3%	0.0	0.8%	0.4	0.4%	0.2	0.3%
うち医療保険	7.0	29.3%	10.5	23.8%	0.5	34.7%	4.6	17.0%	0.6	33.5%	23.3	23.6%	12.2	23.1%

注) 上表の「利用者数(合計)」欄は、各事業所が記載した調査票記入欄の回答を集計しているため、介護保険利用者数と医療保険利用者数の合計とは一致しない。(％表示も同様であり、各欄の合計が100%とならない場合がある)

3 利用者の状況について

④ 障害高齢者の日常生活自立度（2016年10月5日時点）

2016年10月5日時点の利用者の障害高齢者の日常生活自立度は、通所リハビリテーションはA1が26.9%、J2が20.9%であった。

訪問リハビリテーションはA1が24.4%、A2が20.5%であった。

図表 2-2-199 【通所リハ】障害高齢者の日常生活自立度別利用者数(2016年10月5日時点)  
(422事業所分合計)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
合計	834 3.7%	2,290 10.1%	4,724 20.9%	6,075 26.9%	4,396 19.4%	2,132 9.4%	1,504 6.7%	293 1.3%	355 1.6%	22,603 100.0%
要支援	525 9.5%	1,278 23.1%	1,945 35.2%	1,201 21.7%	508 9.2%	55 1.0%	8 0.1%	3 0.1%	1 0.0%	5,524 100.0%
要介護	309 1.8%	1,012 5.9%	2,779 16.3%	4,874 28.5%	3,888 22.8%	2,077 12.2%	1,496 8.8%	290 1.7%	354 2.1%	17,079 100.0%

図表 2-2-200 【訪問リハ】障害高齢者の日常生活自立度別利用者数  
(2016年10月5日時点)(801事業所分合計)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
合計	299 1.5%	1,105 5.6%	2,321 11.8%	4,820 24.4%	4,055 20.5%	2,625 13.3%	2,055 10.4%	812 4.1%	1,641 8.3%	19,733 100.0%
要支援	152 5.2%	558 19.2%	895 30.7%	815 28.0%	384 13.2%	72 2.5%	19 0.7%	0 0.0%	18 0.6%	2,913 100.0%
要介護	147 0.9%	547 3.3%	1,426 8.5%	4,005 23.8%	3,671 21.8%	2,553 15.2%	2,036 12.1%	812 4.8%	1,623 9.6%	16,820 100.0%

⑤ 認知症高齢者の日常生活自立度（2016年10月5日時点）

2016年10月5日時点の利用者の認知症高齢者の日常生活自立度は、通所リハビリテーションは自立が33.8%、Iが27.8%であった。

訪問リハビリテーションは自立が34.3%、Iが24.9%であった。

図表 2-2-201 【通所リハ】 認知症高齢者の日常生活自立度別利用者数  
(2016年10月5日時点) (428事業所分合計)

	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
合計	7,644 33.8%	6,300 27.8%	3,081 13.6%	3,199 14.1%	1,460 6.4%	425 1.9%	435 1.9%	96 0.4%	22,640 100.0%
要支援	3,477 63.9%	1,964 36.1%							5,441 100.0%
要介護	4,167 24.2%	4,336 25.2%	3,081 17.9%	3,199 18.6%	1,460 8.5%	425 2.5%	435 2.5%	96 0.6%	17,199 100.0%

図表 2-2-202 【訪問リハ】 認知症高齢者の日常生活自立度別利用者数  
(2016年10月5日時点) (793事業所分合計)

	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
訪問リハ計	6,590 34.3%	4,778 24.9%	2,083 10.9%	2,530 13.2%	1,407 7.3%	496 2.6%	1,007 5.2%	305 1.6%	19,196 100.0%
要支援	1,718 63.7%	980 36.3%							2,698 100.0%
要介護	4,872 29.5%	3,798 23.0%	2,083 12.6%	2,530 15.3%	1,407 8.5%	496 3.0%	1,007 6.1%	305 1.8%	16,498 100.0%

3 利用者の状況について

⑥ 医療的ケアの状況（2016年10月5日時点）

2016年10月5日時点の医療ケアを実施している利用者は、回答事業所全体で、通所リハビリテーションは、経鼻胃管や胃瘻等の経腸栄養が189人、褥瘡治療が140人であった。

訪問リハビリテーションは、経鼻胃管や胃瘻等の経腸栄養が829人、褥瘡治療が529人、常時頻回の喀痰吸引実施が535人であった。

図表 2-2-203 【通所リハ・訪問リハ】医療ケアを実施している利用者数  
(2016年10月5日時点)

医療的ケアの内容	通所リハビリテーション (424業所の合計) (人)							
	要支援		要介護1～2		要介護3～5		合計	
利用者合計	6,342	100.0%	12,732	100.0%	6,701	100.0%	25,775	100.0%
常時頻回の喀痰吸引実施	0	0.00%	1	0.01%	42	0.63%	43	0.17%
人工呼吸器	1	0.02%	2	0.02%	2	0.03%	5	0.02%
中心静脈注射	0	0.00%	0	0.00%	3	0.04%	3	0.01%
人工腎臓かつ、重篤な合併症を有する状態	6	0.09%	10	0.08%	14	0.21%	30	0.12%
重篤な心機能障害、呼吸障害等により常時モニター測定	0	0.00%	5	0.04%	2	0.03%	7	0.03%
身体障害者等級4級以上で、ストーマ処置	12	0.19%	42	0.33%	40	0.60%	94	0.36%
経鼻胃管や胃瘻等の経腸栄養	1	0.02%	4	0.03%	184	2.75%	189	0.73%
褥瘡治療	1	0.02%	28	0.22%	111	1.66%	140	0.54%
気管切開	2	0.03%	4	0.03%	18	0.27%	24	0.09%



医療的ケアの内容	訪問リハビリテーション (752 事業所の合計) (人)							
	要支援		要介護1～2		要介護3～5		合計	
利用者合計	2,923	100.0%	7,873	100.0%	9,330	100.0%	20,126	100.0%
常時頻回の喀痰吸引実施	0	0.00%	3	0.04%	532	5.70%	535	2.66%
人工呼吸器	3	0.10%	9	0.11%	166	1.78%	178	0.88%
中心静脈注射	0	0.00%	6	0.08%	58	0.62%	64	0.32%
人工腎臓かつ、重篤な合併症を有する状態	8	0.27%	37	0.47%	101	1.08%	146	0.73%
重篤な心機能障害、呼吸障害等により常時モニター測定	0	0.00%	4	0.05%	55	0.59%	59	0.29%
身体障害者等級4級以上で、ストーマ処置	4	0.14%	30	0.38%	112	1.20%	146	0.73%
経鼻胃管や胃瘻等の経腸栄養	2	0.07%	10	0.13%	817	8.76%	829	4.12%
褥瘡治療	5	0.17%	35	0.44%	489	5.24%	529	2.63%
気管切開	0	0.00%	7	0.09%	270	2.89%	277	1.38%

(2) 利用時間・回数

① 【通所リハ】利用時間（2016年10月分）

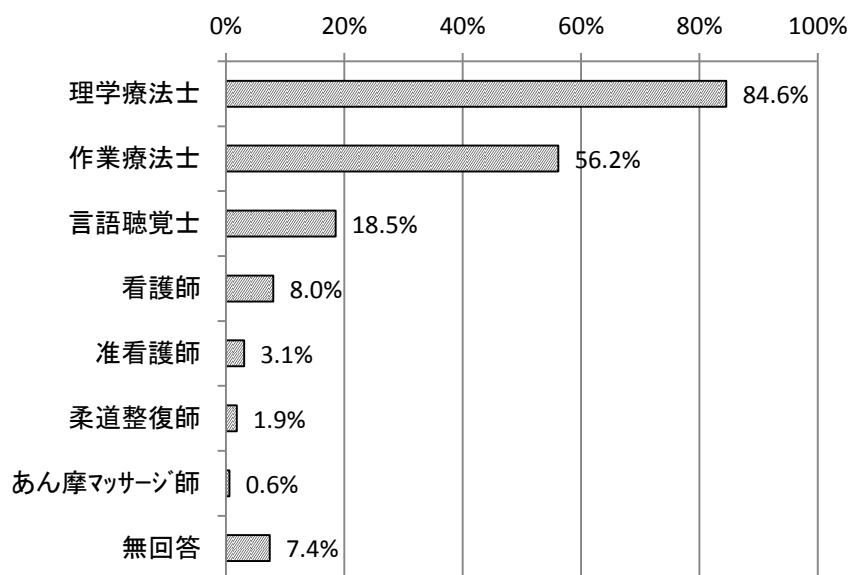
通所リハビリテーションの利用者の利用時間は、「6時間以上8時間未満」で延べ利用回数が177,435回、利用者数が21,680人、1人あたり平均利用回数が8.2回/月であった。

また、1時間以上2時間未満の通所リハビリテーションを実施している事業所でリハビリテーションを提供している職種は、「理学療法士」が84.6%であった。

図表 2-2-204 【通所リハ】利用時間別延べ利用回数・利用人数（2016年10月分）  
(n=448事業所)

利用時間	延べ回数		利用者数（人）	1人あたり平均回数（回/月）
	（回）	（%）		
1時間以上2時間未満	17,444	7.4%	3,042	5.7
2時間以上3時間未満	4,175	1.8%	767	5.4
3時間以上4時間未満	11,569	4.9%	2,228	5.2
4時間以上6時間未満	23,355	9.9%	3,680	6.3
6時間以上8時間未満	177,435	75.3%	21,680	8.2
8時間以上	1,733	0.7%	588	2.9
合計	235,711			

図表 2-2-205 【通所リハ】（1時間以上2時間未満の通所リハビリテーションを実施している場合）1時間以上2時間未満のリハビリテーションを提供している職種（2016年10月分）（162事業所）



② 【訪問リハ】訪問回数（2016年10月1か月）

2016年10月1か月の延べ訪問回数は145,698回、利用者数は20,566人、1人あたり平均回数は7.1回/月であった。

医療保険への切替を行った利用者は55人、延べ訪問回数は6.4回/月であった。

図表 2-2-206 【訪問リハ】利用者要介護度別訪問延べ回数（2016年10月1か月間）  
（840事業所分の合計）

	利用者数（人）	延べ訪問回数（回）	1人あたり平均回数（回/月）
要支援1	825	4,394	5.3
要支援2	2,152	14,291	6.6
要介護1	3,201	22,365	7.0
要介護2	4,835	34,530	7.1
要介護3	3,590	26,159	7.3
要介護4	3,155	23,063	7.3
要介護5	2,774	20,562	7.4
申請中	52	362	7.0
合計	20,566	145,698	7.1

図表 2-2-207 【訪問リハ】医療保険への切替を行った利用者数（2016年10月1か月）  
（758事業所分の合計）

	利用者数（人）	構成比	延べ訪問回数（回）	1人あたり平均値（回/月）
要支援1	4	7.3%	15	3.8
要支援2	6	10.9%	23	3.8
要介護1	6	10.9%	35	5.8
要介護2	14	25.5%	84	6.0
要介護3	8	14.5%	32	4.0
要介護4	10	18.2%	52	5.2
要介護5	7	12.7%	7	1.0
申請中	0	0.0%	0	-
合計	55	100.0%	351	6.4

3 利用者の状況について

③ 【訪問看護】訪問回数（2016年10月分）

2016年10月分の訪問看護ステーションにおけるリハ職の延べ訪問回数の平均は、「介護保険」が527.2回、医療保険が199.5回であった。

図表 2-2-208 【訪問看護】保険別リハ職の延べ訪問回数（2016年10月分）  
（595ステーションの平均）

	平均値（回）	標準偏差	中央値
介護保険	527.2	521.7	387.0
医療保険	199.5	194.8	145.0
合計	728.2	618.3	543

図表 2-2-209 【訪問看護】利用者数及びリハ職による延べ訪問回数（2016年10月分）  
（567ステーションの合計）

	①リハ職 +看護職 の訪問	②看護職 のみの訪 問	③看護 職+他 事業所 リハ職	④リハ職 のみの訪 問	⑤リハ職 +他事業 所看護職	計	うち、回答 事業のリハ 職訪問利用 者 (再掲：① +④+⑤)	リハ職の延 べ訪問回数	リハ職 の1 人あ たり 平均訪 問回数
利用者数 (合計)	14,460人	25,762人	876人	15,723人	1,001人	57,822人 (100%)	31,184人 (53.9%)	271,479回	8.7回
うち 介護保険	10,012人	19,332人	585人	12,880人	662人	43,471人 (100%)	23,554人 (54.2%)	214,122回	9.1回
要支援 1	253人	835人	7人	787人	9人	1,891人 (100%)	1,049人 (55.5%)	7,403回	7.1回
要支援 2	726人	1,444人	18人	1,796人	27人	4,011人 (100%)	2,549人 (63.6%)	22,431回	8.8回
要介護 1	1,273人	3,704人	65人	2,327人	43人	7,412人 (100%)	3,643人 (49.2%)	35,157回	9.7回
要介護 2	1,931人	3,960人	98人	3,358人	89人	9,436人 (100%)	5,378人 (57.0%)	52,032回	9.7回
要介護 3	1,557人	2,837人	115人	2,109人	104人	6,722人 (100%)	3,770人 (56.1%)	35,958回	9.5回
要介護 4	1,736人	2,904人	117人	1,530人	144人	6,431人 (100%)	3,410人 (53.0%)	31,772回	9.3回
要介護 5	2,045人	3,406人	160人	962人	258人	6,831人 (100%)	3,265人 (47.8%)	27,906回	8.5回
申請中	40人	149人	5人	53人	7人	254人 (100%)	100人 (39.4%)	618回	6.2回
うち 医療保険	4,280人	6,174人	300人	2,684人	334人	13,772人 (100%)	7,298人 (53.0%)	51,538回	7.1回

注) 上表の「利用者数(合計)」欄および「うち介護保険」欄は、各事業所が記載した調査票記入欄の回答を集計しているため、要介護度別平均利用者数の合計とは一致しない。

#### 4. 【通所リハ】新規利用希望者の状況

##### (1) 【通所リハ】新規利用者の状況

通所リハビリテーションの新規利用者の状況は、平均で2015年4月～9月は15.1人、2016年4月～9月は15.8人であった。

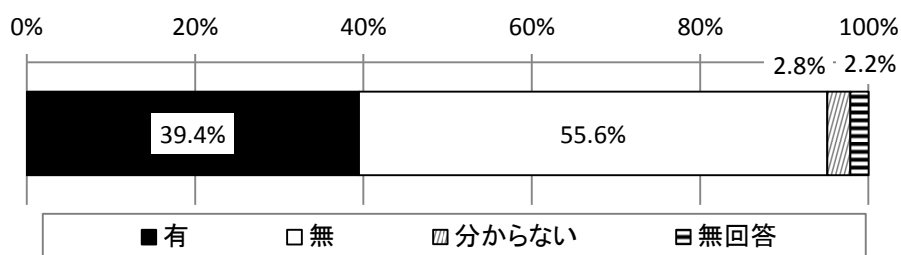
図表 2-2-210 【通所リハ】2015年と2016年の新規利用者状況  
(各年4月～9月、436事業所の平均)

	新規利用者数 (人)	うち、退院直後の 利用開始者				うち、外来リハ(医療保険) 利用後の利用開始者			
		脳血管 疾患等リ ハ	廃用 症候 群リハ	運動 器リハ	その 他	脳血管 疾患等リ ハ	廃用 症候 群リハ	運動 器リハ	その他
2015年 4月～9月	15.1	1.8	0.7	2.0	0.6	0.2	0.1	0.7	0.3
2016年 4月～9月	15.8	1.9	0.8	2.1	0.7	0.3	0.1	1.1	0.3

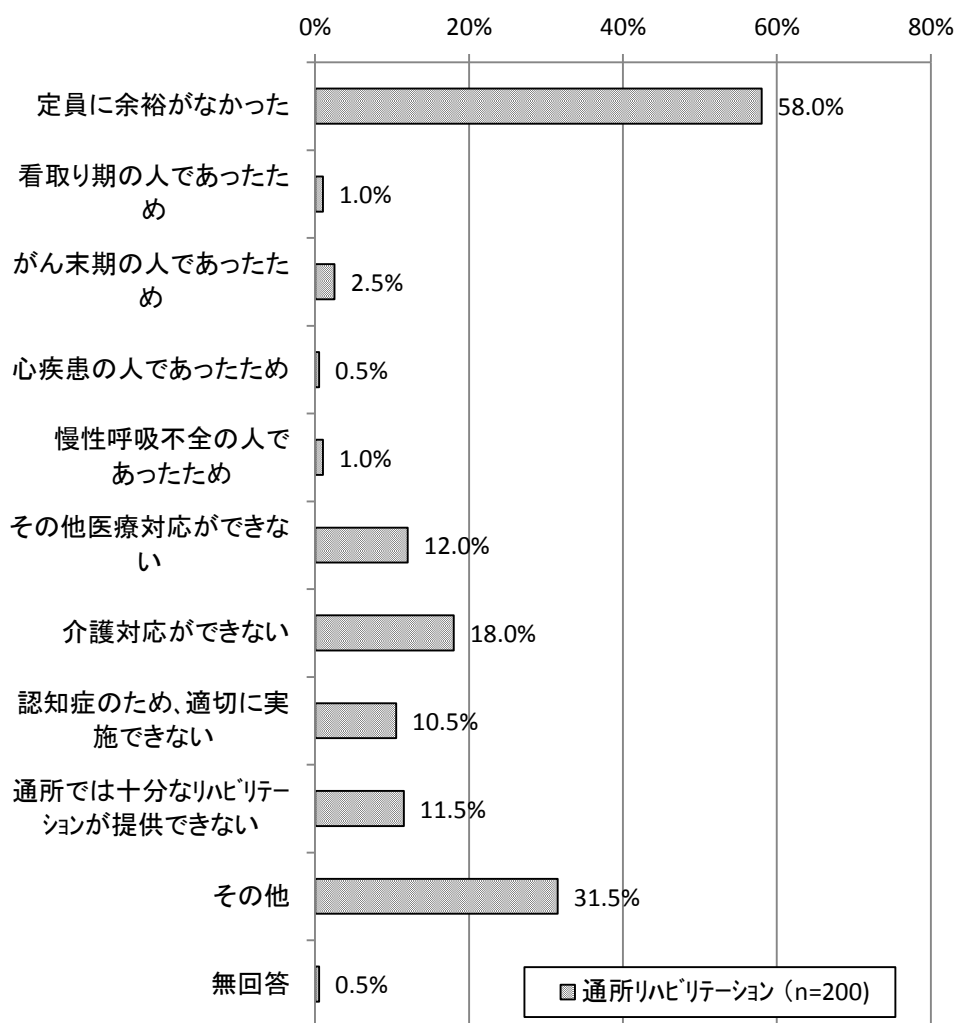
##### (2) サービス提供できなかった場合の状況(複数回答)

2016年4月～9月の間に新規利用希望者がいたが、受入ができなかった事業所は39.4%であった。受入できなかった主な理由は「定員に余裕がなかった」が最も高く58.0%であった。

図表 2-2-211 【通所リハ】2016年4月～9月に利用を希望したが、サービス提供できなかった者の有無(n=507)



図表 2-2-212 【通所リハ】(2016年4月～9月に利用を希望したが、サービス提供できなかった者がいた場合) サービスを提供できなかった理由 (n=200)



## 5. 利用終了者の状況

### (1) 2015年7月～9月における利用終了者の状況

#### ① 通所リハビリテーション

2015年7月～9月における利用終了者の平均は、要支援が1.2人、要介護が5.7人であった。

図表 2-2-213 【通所リハ】2015年7月～9月における利用終了者の状況  
(436事業所の平均)

	要支援	要介護
① 2015年7月～9月の利用終了者数	1.2人	5.7人
①のうち、終了後、介護保険等のサービスは利用していない人数	0.5人	1.6人
①のうち、終了後、通所介護等の通所・訪問系サービス（訪問リハは除く）を利用している人数	0.4人	1.6人
①のうち、終了後、介護予防事業等地域支援事業を利用している人数	0.1人	0.1人

#### ② 訪問リハビリテーション

2015年4月～9月における利用終了者の平均は、要支援が1.0人、要介護が7.6人であった。

図表 2-2-214 【訪問リハ】2015年7月～9月における利用終了者の状況  
(677事業所の平均)

	要支援	要介護
① 2015年7月～9月の利用終了者数	1.0人	7.6人
①のうち、終了後、介護保険等のサービスは利用していない人数	0.4人	2.3人
①のうち、終了後、通所リハビリテーションを利用している人数	0.1人	1.0人
①のうち、終了後、通所介護等の通所・訪問系サービス（通所リハは除く）を利用している人数	0.3人	1.9人
①のうち、終了後、介護予防事業等地域支援事業を利用している人数	0.0人	0.1人

(2) 利用終了者の状況

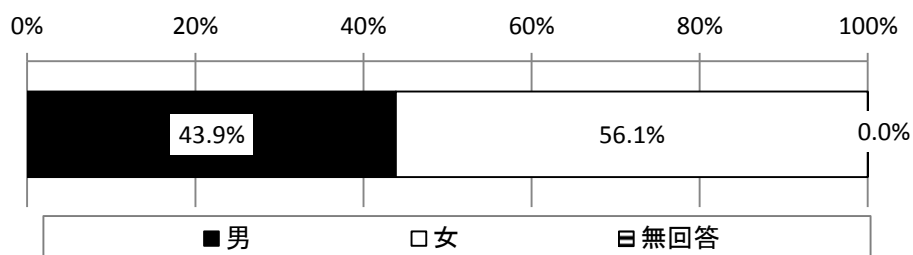
① 性別

2016年7月～9月における利用終了者の性別は、通所リハビリテーションでは、「男」が43.9%、「女」が56.1%であった。

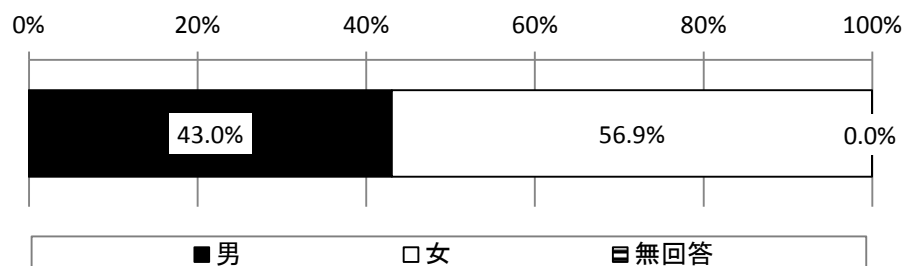
2016年4月～9月における利用終了者の性別は、訪問リハビリテーションでは、「男」が43.0%、「女」が56.9%であった。

また、訪問看護ステーションでは、「男」が46.5%、「女」が53.3%であった。

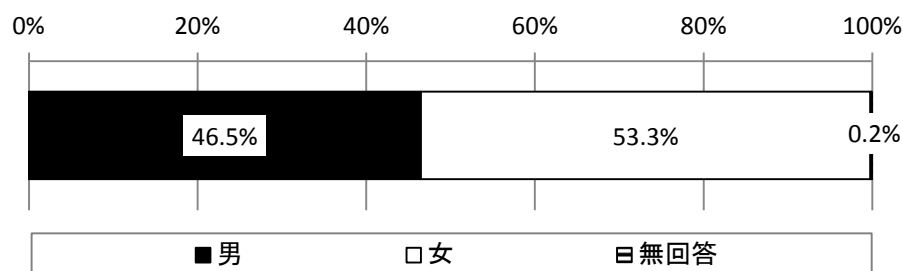
図表 2-2-215 【通所リハ】2016年7月～9月の利用終了者の性別 (n=2,740人)



図表 2-2-216 【訪問リハ】2016年4月～9月の利用終了者の性別 (n=5,261人)



図表 2-2-217 【訪問看護】2016年4月～9月の利用終了者の性別 (n=4,731人)





### ② 年齢構成

2016年7月～9における通所リハビリテーション利用終了者の平均年齢は82.3歳、2016年4月～9月における訪問リハビリテーションは80.8歳、訪問看護ステーションは80.2歳であった。

図表 2-2-218 2016年の利用終了者の年齢構成

	通所 リハビリテーション		訪問 リハビリテーション		訪問看護 ステーション	
	(人)	%	(人)	%	(人)	%
対象期間(終了時期)	2016年7月～9月		2016年4月～9月		2016年4月～9月	
事業所数	448事業所の合計		705事業所の合計		529事業所の合計	
年齢	(人)	%	(人)	%	(人)	%
39歳以下					48	1.0%
40～64歳	95	3.5%	313	5.9%	291	6.2%
65～74歳	400	14.6%	883	16.8%	806	17.0%
75～84歳	989	36.1%	1,965	37.4%	1,720	36.4%
85～94歳	1,118	40.8%	1,862	35.4%	1,642	34.7%
95歳以上	130	4.7%	217	4.1%	219	4.6%
無回答	8	0.3%	21	0.4%	5	0.1%
計	2,740	100.0%	5,261	100.0%	4,731	100.0%
平均年齢	82.3歳		80.8歳		80.2歳	

### ③ 利用期間

利用期間は、通所リハビリテーションでは、「2年以上」が36.2%、「1年以上～2年未満」が19.6%であった。

訪問リハビリテーションでは、「3か月未満」が25.3%、「2年以上」が20.1%であった。

訪問看護ステーションでは、「2年以上」が25.2%、「3か月未満」が21.2%であった。

図表 2-2-219 2016年の利用終了者の利用期間別構成

	通所 リハビリテーション		訪問 リハビリテーション		訪問看護 ステーション	
	n	%	n	%	n	%
対象期間(終了時期)	2016年7月～9月		2016年4月～9月		2016年4月～9月	
事業所数	448事業所の合計		705事業所の合計		529事業所の合計	
利用期間	n	%	n	%	n	%
3か月未満	423	15.4%	1,330	25.3%	1,003	21.2%
3か月以上～6か月未満	354	12.9%	932	17.7%	712	15.0%
6か月以上～1年未満	378	13.8%	874	16.6%	852	18.0%
1年以上～2年未満	538	19.6%	975	18.5%	841	17.8%
2年以上	993	36.2%	1,059	20.1%	1,190	25.2%
無回答	54	2.0%	91	1.7%	133	2.8%
全体	2,740	100.0%	5,261	100.0%	4,731	100.0%

## ④ 利用開始時と終了時の要介護度

利用開始時と終了時の要介護度の変化は、通所リハビリテーションでは、「向上」が10.1%、「変化なし」が62.9%、「低下」が26.2%であった。

訪問リハビリテーションでは、「向上」が8.7%、「変化なし」が74.7%、「低下」が14.8%であった。

訪問看護ステーションでは、「向上」が8.1%、「変化なし」が65.2%、「低下」が19.8%であった。

図表 2-2-220 利用開始時の要介護度

	通所 リハビリテーション		訪問 リハビリテーション		訪問看護 ステーション	
	n	%	n	%	n	%
対象期間（終了時期）	2016年7月～9月		2016年4月～9月		2016年4月～9月	
事業所数	448事業所の合計		705事業所の合計		529事業所の合計	
要介護度	n	%	n	%	n	%
要支援1	313	11.4%	270	5.1%	260	5.5%
要支援2	332	12.1%	554	10.5%	539	11.4%
要介護1	703	25.7%	945	18.0%	756	16.0%
要介護2	556	20.3%	1,155	22.0%	972	20.5%
要介護3	438	16.0%	943	17.9%	735	15.5%
要介護4	257	9.4%	783	14.9%	615	13.0%
要介護5	125	4.6%	545	10.4%	550	11.6%
無回答	16	0.6%	66	1.3%	304	6.4%
全体	2,740	100.0%	5,261	100.0%	4,731	100.0%

図表 2-2-221 利用終了時の要介護度

	通所 リハビリテーション		訪問 リハビリテーション		訪問看護 ステーション	
	n	%	n	%	n	%
対象期間（終了時期）	2016年7月～9月		2016年4月～9月		2016年4月～9月	
事業所数	448事業所の合計		705事業所の合計		529事業所の合計	
要介護度	n	%	n	%	n	%
要支援1	222	8.1%	242	4.6%	201	4.2%
要支援2	314	11.5%	499	9.5%	478	10.1%
要介護1	567	20.7%	894	17.0%	638	13.5%
要介護2	608	22.2%	1,167	22.2%	960	20.3%
要介護3	500	18.2%	927	17.6%	777	16.4%
要介護4	331	12.1%	830	15.8%	667	14.1%
要介護5	182	6.6%	666	12.7%	742	15.7%
無回答	16	0.6%	36	0.7%	268	5.7%
全体	2,740	100.0%	5,261	100.0%	4,731	100.0%

図表 2-2 -222 利用開始時と終了時の要介護度の変化

	通所 リハビリテーション		訪問 リハビリテーション		訪問看護 ステーション	
	n	%	n	%	n	%
対象期間(終了時期)	2016年7月～9月		2016年4月～9月		2016年4月～9月	
事業所数	448事業所の合計		705事業所の合計		529事業所の合計	
要介護度の変化	n	%	n	%	n	%
向上	276	10.1%	458	8.7%	381	8.1%
変化なし	1,723	62.9%	3,931	74.7%	3,083	65.2%
低下	719	26.2%	779	14.8%	936	19.8%
無回答	22	0.8%	93	1.8%	331	7.0%
全体	2,740	100.0%	5,261	100.0%	4,731	100.0%

図表 2-2 -223 【通所リハ】利用開始時と終了時の要介護度 (2016年7月～9月)  
(n=2,740人)

		終了時の要介護度								無回答
		合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
全体		2,740	222	314	567	608	500	331	182	16
		100.0%	8.1%	11.5%	20.7%	22.2%	18.2%	12.1%	6.6%	0.6%
利用開始時の要介護度	要支援1	313	191	38	44	15	13	5	2	5
		100.0%	61.0%	12.1%	14.1%	4.8%	4.2%	1.6%	0.6%	1.6%
	要支援2	332	11	198	48	45	18	6	5	1
		100.0%	3.3%	59.6%	14.5%	13.6%	5.4%	1.8%	1.5%	0.3%
	要介護1	703	12	39	404	113	86	36	13	0
		100.0%	1.7%	5.5%	57.5%	16.1%	12.2%	5.1%	1.8%	0.0%
	要介護2	556	7	13	30	376	64	55	11	0
	100.0%	1.3%	2.3%	5.4%	67.6%	11.5%	9.9%	2.0%	0.0%	
要介護3	438	1	13	29	35	289	53	18	0	
	100.0%	0.2%	3.0%	6.6%	8.0%	66.0%	12.1%	4.1%	0.0%	
要介護4	257	0	11	10	17	23	165	31	0	
	100.0%	0.0%	4.3%	3.9%	6.6%	8.9%	64.2%	12.1%	0.0%	
要介護5	125	0	2	1	7	6	9	100	0	
	100.0%	0.0%	1.6%	0.8%	5.6%	4.8%	7.2%	80.0%	0.0%	

図表 2-2-224 【訪問リハ】利用開始時と終了時の要介護度（2016年4月～9月）

(n=5,261人)

		合計	終了時の要介護度							無回答
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
全体		5,261	242	499	894	1,167	927	830	666	36
		100.0%	4.6%	9.5%	17.0%	22.2%	17.6%	15.8%	12.7%	0.7%
利用開始時の要介護度	要支援1	270	198	20	26	7	7	8	1	3
		100.0%	73.3%	7.4%	9.6%	2.6%	2.6%	3.0%	0.4%	1.1%
	要支援2	554	20	395	47	38	26	14	14	0
		100.0%	3.6%	71.3%	8.5%	6.9%	4.7%	2.5%	2.5%	0.0%
	要介護1	945	12	33	692	100	51	29	26	2
		100.0%	1.3%	3.5%	73.2%	10.6%	5.4%	3.1%	2.8%	0.2%
	要介護2	1,155	8	22	61	879	87	63	33	2
	100.0%	0.7%	1.9%	5.3%	76.1%	7.5%	5.5%	2.9%	0.2%	
	要介護3	943	2	9	37	76	691	77	45	6
		100.0%	0.2%	1.0%	3.9%	8.1%	73.3%	8.2%	4.8%	0.6%
	要介護4	783	2	8	19	40	54	594	60	6
		100.0%	0.3%	1.0%	2.4%	5.1%	6.9%	75.9%	7.7%	0.8%
	要介護5	545	0	3	3	11	6	32	482	8
		100.0%	0.0%	0.6%	0.6%	2.0%	1.1%	5.9%	88.4%	1.5%

図表 2-2-225 【訪問看護】利用開始時と終了時の要介護度（2016年4月～9月）

(n=4,731人)

		合計	終了時の要介護度							無回答
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
全体		4,731	201	478	638	960	777	667	742	268
		100.0%	4.2%	10.1%	13.5%	20.3%	16.4%	14.1%	15.7%	5.7%
利用開始時の要介護度	要支援1	260	157	31	25	27	9	6	4	1
		100.0%	60.4%	11.9%	9.6%	10.4%	3.5%	2.3%	1.5%	0.4%
	要支援2	539	20	368	57	43	24	13	12	2
		100.0%	3.7%	68.3%	10.6%	8.0%	4.5%	2.4%	2.2%	0.4%
	要介護1	756	12	33	455	119	65	42	26	4
		100.0%	1.6%	4.4%	60.2%	15.7%	8.6%	5.6%	3.4%	0.5%
	要介護2	972	7	23	45	664	105	67	54	7
	100.0%	0.7%	2.4%	4.6%	68.3%	10.8%	6.9%	5.6%	0.7%	
	要介護3	735	1	11	34	54	511	62	56	6
		100.0%	0.1%	1.5%	4.6%	7.3%	69.5%	8.4%	7.6%	0.8%
	要介護4	615	1	5	10	32	41	435	89	2
		100.0%	0.2%	0.8%	1.6%	5.2%	6.7%	70.7%	14.5%	0.3%
	要介護5	550	2	0	3	8	13	26	493	5
		100.0%	0.4%	0.0%	0.5%	1.5%	2.4%	4.7%	89.6%	0.9%

⑤ 利用開始時と終了時の日常生活自立度

利用開始時と終了時の日常生活自立度の変化は、通所リハビリテーションでは、「向上」が7.9%、「変化なし」が56.2%、「低下」が20.8%であった。

訪問リハビリテーションでは、「向上」が21.6%、「変化なし」が56.8%、「低下」が14.5%であった。

訪問看護ステーションでは、「向上」が11.7%、「変化なし」が57.4%、「低下」が19.3%であった。

図表 2-2-226 利用開始時の日常生活自立度

	通所 リハビリテーション		訪問 リハビリテーション		訪問看護 ステーション	
対象期間(終了時期)	2016年7月～9月		2016年4月～9月		2016年4月～9月	
事業所数	448事業所の合計		705事業所の合計		529事業所の合計	
日常生活自立度	n	%	n	%	n	%
自立	136	5.0%	91	1.7%	119	2.5%
J1	243	8.9%	194	3.7%	270	5.7%
J2	374	13.6%	442	8.4%	407	8.6%
A1	588	21.5%	1,207	22.9%	804	17.0%
A2	495	18.1%	1,132	21.5%	833	17.6%
B1	269	9.8%	693	13.2%	620	13.1%
B2	175	6.4%	563	10.7%	549	11.6%
C1	46	1.7%	273	5.2%	280	5.9%
C2	48	1.8%	323	6.1%	354	7.5%
無回答	366	13.4%	343	6.5%	495	10.5%
全体	2,740	100.0%	5,261	100.0%	4,731	100.0%

図表 2-2-227 終了時の日常生活自立度

	通所 リハビリテーション		訪問 リハビリテーション		訪問看護 ステーション	
対象期間(終了時期)	2016年7月～9月		2016年4月～9月		2016年4月～9月	
事業所数	448事業所の合計		705事業所の合計		529事業所の合計	
日常生活自立度	n	%	n	%	n	%
自立	129	4.7%	152	2.9%	116	2.5%
J1	183	6.7%	311	5.9%	280	5.9%
J2	295	10.8%	604	11.5%	402	8.5%
A1	525	19.2%	1,053	20.0%	699	14.8%
A2	497	18.1%	828	15.7%	691	14.6%
B1	267	9.7%	604	11.5%	553	11.7%
B2	262	9.6%	551	10.5%	570	12.0%
C1	83	3.0%	310	5.9%	348	7.4%
C2	97	3.5%	485	9.2%	579	12.2%
無回答	402	14.7%	363	6.9%	493	10.4%
全体	2,740	100.0%	5,261	100.0%	4,731	100.0%

図表 2-2-228 利用開始時と終了時の日常生活自立度の変化

	通所 リハビリテーション		訪問 リハビリテーション		訪問看護 ステーション	
	n	%	n	%	n	%
対象期間(終了時期)	2016年7月～9月		2016年4月～9月		2016年4月～9月	
事業所数	448事業所の合計		705事業所の合計		529事業所の合計	
日常生活自立度	n	%	n	%	n	%
向上	217	7.9%	1,135	21.6%	554	11.7%
変化なし	1,540	56.2%	2,990	56.8%	2,716	57.4%
低下	571	20.8%	765	14.5%	915	19.3%
無回答	412	15.0%	371	7.1%	546	11.5%
全体	2,740	100.0%	5,261	100.0%	4,731	100.0%

図表 2-2-229 【通所リハ】利用開始時と終了時の日常生活自立度(2016年7月～9月)  
(n=2,470人)

	合計	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	無回答
全体	2,740 100.0%	129 4.7%	183 6.7%	295 10.8%	525 19.2%	497 18.1%	267 9.7%	262 9.6%	83 3.0%	97 3.5%	402 14.7%
自立	136 100.0%	91 66.9%	3 2.2%	5 3.7%	7 5.1%	7 5.1%	3 2.2%	4 2.9%	3 2.2%	2 1.5%	11 8.1%
J1	243 100.0%	19 7.8%	148 60.9%	18 7.4%	22 9.1%	14 5.8%	8 3.3%	3 1.2%	2 0.8%	4 1.6%	5 2.1%
J2	374 100.0%	8 2.1%	15 4.0%	224 59.9%	49 13.1%	42 11.2%	15 4.0%	11 2.9%	6 1.6%	2 0.5%	2 0.5%
A1	588 100.0%	6 1.0%	8 1.4%	29 4.9%	393 66.8%	75 12.8%	28 4.8%	25 4.3%	9 1.5%	5 0.9%	10 1.7%
A2	495 100.0%	5 1.0%	3 0.6%	15 3.0%	35 7.1%	326 65.9%	49 9.9%	37 7.5%	9 1.8%	9 1.8%	7 1.4%
B1	269 100.0%	0 0.0%	5 1.9%	3 1.1%	13 4.8%	22 8.2%	155 57.6%	41 15.2%	9 3.3%	12 4.5%	9 3.3%
B2	175 100.0%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	3 1.7%	7 4.0%	4 2.3%	130 74.3%	17 9.7%	10 5.7%	2 1.1%
C1	46 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	3 6.5%	8 17.4%	28 60.9%	6 13.0%	0 0.0%
C2	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	45 93.8%	0 0.0%

図表 2-2-230 【訪問リハ】利用開始時と終了時の日常生活自立度（2016年4月～9月）

(n=5,261人)

	合計	自立	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	無回答
全体	5,261 100.0%	152 2.9%	311 5.9%	604 11.5%	1,053 20.0%	828 15.7%	604 11.5%	551 10.5%	310 5.9%	485 9.2%	363 6.9%
自立	91 100.0%	77 84.6%	2 2.2%	0 0.0%	3 3.3%	1 1.1%	2 2.2%	3 3.3%	0 0.0%	1 1.1%	2 2.2%
J 1	194 100.0%	27 13.9%	130 67.0%	9 4.6%	9 4.6%	6 3.1%	2 1.0%	2 1.0%	4 2.1%	3 1.5%	2 1.0%
J 2	442 100.0%	18 4.1%	71 16.1%	273 61.8%	30 6.8%	16 3.6%	14 3.2%	5 1.1%	7 1.6%	5 1.1%	3 0.7%
A 1	1,207 100.0%	21 1.7%	68 5.6%	218 18.1%	699 57.9%	79 6.5%	32 2.7%	35 2.9%	21 1.7%	28 2.3%	6 0.5%
A 2	1,132 100.0%	5 0.4%	28 2.5%	83 7.3%	207 18.3%	611 54.0%	71 6.3%	61 5.4%	26 2.3%	34 3.0%	6 0.5%
B 1	693 100.0%	3 0.4%	7 1.0%	11 1.6%	62 8.9%	79 11.4%	387 55.8%	63 9.1%	31 4.5%	45 6.5%	5 0.7%
B 2	563 100.0%	0 0.0%	3 0.5%	8 1.4%	31 5.5%	25 4.4%	66 11.7%	352 62.5%	37 6.6%	40 7.1%	1 0.2%
C 1	273 100.0%	0 0.0%	1 0.4%	2 0.7%	9 3.3%	8 2.9%	23 8.4%	18 6.6%	173 63.4%	38 13.9%	1 0.4%
C 2	323 100.0%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	3 0.9%	2 0.6%	4 1.2%	12 3.7%	11 3.4%	288 89.2%	2 0.6%

図表 2-2-231 【訪問看護】利用開始時と終了時の日常生活自立度（2016年4月～9月）

(n=4,731人)

	合計	自立	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	無回答
全体	4,731 100.0%	116 2.5%	280 5.9%	402 8.5%	699 14.8%	691 14.6%	553 11.7%	570 12.0%	348 7.4%	579 12.2%	493 10.4%
自立	119 100.0%	73 61.3%	9 7.6%	2 1.7%	3 2.5%	5 4.2%	5 4.2%	5 4.2%	5 4.2%	9 7.6%	3 2.5%
J 1	270 100.0%	16 5.9%	185 68.5%	13 4.8%	13 4.8%	14 5.2%	8 3.0%	7 2.6%	7 2.6%	5 1.9%	2 0.7%
J 2	407 100.0%	8 2.0%	35 8.6%	268 65.8%	34 8.4%	27 6.6%	15 3.7%	6 1.5%	2 0.5%	8 2.0%	4 1.0%
A 1	804 100.0%	7 0.9%	31 3.9%	61 7.6%	498 61.9%	85 10.6%	41 5.1%	28 3.5%	18 2.2%	22 2.7%	13 1.6%
A 2	833 100.0%	3 0.4%	9 1.1%	30 3.6%	101 12.1%	475 57.0%	60 7.2%	68 8.2%	31 3.7%	44 5.3%	12 1.4%
B 1	620 100.0%	3 0.5%	4 0.6%	11 1.8%	27 4.4%	46 7.4%	354 57.1%	74 11.9%	41 6.6%	53 8.5%	7 1.1%
B 2	549 100.0%	2 0.4%	5 0.9%	5 0.9%	13 2.4%	22 4.0%	40 7.3%	351 63.9%	42 7.7%	61 11.1%	8 1.5%
C 1	280 100.0%	2 0.7%	2 0.7%	5 1.8%	4 1.4%	6 2.1%	14 5.0%	14 5.0%	187 66.8%	45 16.1%	1 0.4%
C 2	354 100.0%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.6%	0 0.0%	5 1.4%	10 2.8%	10 2.8%	325 91.8%	1 0.3%



⑥ 終了後の転帰

終了後の転帰は、通所リハビリテーションは「医療機関への入院、外来リハビリテーション」が 27.1%、「通所介護等の通所・訪問系サービス」が 17.7%、「介護老人保健施設」が 13.0%であった。

訪問リハビリテーションは「通所介護等の通所・訪問系サービス」が 22.2%、「医療機関への入院、外来リハビリテーション」が 20.8%、「死亡」が 15.0%、「通所リハビリテーション」が 13.2%であった。

訪問看護ステーションは「医療機関への入院、外来リハビリテーション」が 24.2%、「死亡」が 23.0%であった。

図表 2-2-232 終了後の転帰

終了後の転帰	通所リハビリテーション		訪問リハビリテーション		訪問看護ステーション	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
対象期間（終了時期）	2016年7月～9月		2016年4月～9月		2016年4月～9月	
事業所数	448事業所の合計		705事業所の合計		529事業所の合計	
訪問リハビリテーション	45	1.6%			74	1.6%
通所リハビリテーション			695	13.2%	179	3.8%
通所介護等の通所・訪問系サービス	484	17.7%	1,167	22.2%	408	8.6%
介護老人保健施設	356	13.0%	196	3.7%	198	4.2%
居住・入所系サービス	273	10.0%	320	6.1%	391	8.3%
介護予防事業等地域支援事業	22	0.8%	31	0.6%	16	0.3%
医療機関への入院、外来リハビリテーション	742	27.1%	1,092	20.8%	1,146	24.2%
死亡	320	11.7%	788	15.0%	1,089	23.0%
その他	137	5.0%	316	6.0%	546	11.5%
不明	78	2.8%	56	1.1%	152	3.2%
サービス利用なし	262	9.6%	547	10.4%	480	10.1%
無回答	21	0.8%	53	1.0%	52	1.1%
全体	2,740	100.0%	5,261	100.0%	4,731	100.0%

図表 2-2-233 【通所リハ】2016年7月～9月における利用終了者の状況  
(443事業所の平均)

(単位：人)

	要支援	要介護
① 2016年7月～9月の利用終了者数	1.2	4.9
①のうち、終了後、介護保険等のサービスは利用していない人数	0.3	0.3
①のうち、終了後、通所介護等の通所・訪問系サービス（訪問リハは除く）を利用している人数	0.3	0.8
①のうち、終了後、介護予防事業等地域支援事業を利用している人数	0.0	0.0

図表 2-2-234 【訪問リハ】2016年4月～9月における利用終了者の状況  
(705事業所の平均)

(単位：人)

	要支援	要介護
① 2016年4月～9月の利用終了者数	1.1	6.4
①のうち、終了後、介護保険等のサービスは利用していない人数	0.3	0.5
①のうち、終了後、通所リハビリテーションを利用している人数	0.2	0.8
①のうち、終了後、通所介護等の通所・訪問系サービス（通所リハは除く）を利用している人数	0.2	1.4
①のうち、終了後、介護予防事業等地域支援事業を利用している人数	0.0	0.0

図表 2-2-235 【通所リハ】要介護度の変化別終了後の転帰（2016年7月～9月）  
(n=2,740人)

	合計	終了後の転帰											
		訪問リハビリテーション	通所介護等の通所・訪問系サービス	介護老人保健施設	居住・入所系サービス	介護予防事業等地域支援事業	医療機関への入院、外来リハビリテーション	死亡	その他	不明	サービス利用なし	無回答	
全体	2,740 100.0%	45 1.6%	484 17.7%	356 13.0%	273 10.0%	22 0.8%	742 27.1%	320 11.7%	137 5.0%	78 2.8%	262 9.6%	21 0.8%	
要介護度の変化	向上	276 100.0%	2 0.7%	63 22.8%	30 10.9%	13 4.7%	7 2.5%	66 23.9%	32 11.6%	25 9.1%	6 2.2%	32 11.6%	0 0.0%
	変化なし	1,723 100.0%	31 1.8%	307 17.8%	217 12.6%	145 8.4%	12 0.7%	468 27.2%	186 10.8%	85 4.9%	53 3.1%	202 11.7%	17 1.0%
	低下	719 100.0%	12 1.7%	114 15.9%	108 15.0%	112 15.6%	2 0.3%	206 28.7%	94 13.1%	26 3.6%	18 2.5%	24 3.3%	3 0.4%

図表 2-2-236 【訪問リハ】要介護度の変化別終了後の転帰（2016年4月～9月）  
(n=5,261人)

	合計	終了後の転帰											
		訪問リハビリテーション	通所リハビリテーション	通所介護の通所・訪問サービス	介護老人保健施設	居住・入居系サービス	介護予防事業等域支援業	介護予防事業等域支援業	医療機関への入院、外来リハビリテーション	死亡	その他	不明	サービス利用なし
全体	5,261 100.0%	695 13.2%	1,167 22.2%	196 3.7%	320 6.1%	31 0.6%	1,092 20.8%	788 15.0%	316 6.0%	56 1.1%	547 10.4%	53 1.0%	
変化 要介護度の	向上	458 100.0%	72 15.7%	147 32.1%	14 3.1%	20 4.4%	2 0.4%	67 14.6%	37 8.1%	38 8.3%	6 1.3%	55 12.0%	0 0.0%
	変化なし	3,931 100.0%	551 14.0%	885 22.5%	134 3.4%	214 5.4%	29 0.7%	802 20.4%	568 14.4%	229 5.8%	39 1.0%	459 11.7%	21 0.5%
	低下	779 100.0%	63 8.1%	128 16.4%	44 5.6%	83 10.7%	0 0.0%	208 26.7%	165 21.2%	45 5.8%	6 0.8%	29 3.7%	8 1.0%

図表 2-2-237 【訪問看護】要介護度の変化別終了後の転帰（2016年4月～9月）  
(n=4,731人)

	合計	終了後の転帰												
		訪問リハビリテーション	通所リハビリテーション	通所介護の通所・訪問サービス	介護老人保健施設	居住・入居系サービス	介護予防事業等域支援業	介護予防事業等域支援業	医療機関への入院、外来リハビリテーション	死亡	その他	不明	サービス利用なし	無回答
全体	4,731 100.0%	74 1.6%	179 3.8%	408 8.6%	198 4.2%	391 8.3%	16 0.3%	1,146 24.2%	1,089 23.0%	546 11.5%	152 3.2%	480 10.1%	52 1.1%	
変化 要介護度の	向上	381 100.0%	6 1.6%	30 7.9%	43 11.3%	11 2.9%	25 6.6%	2 0.5%	82 21.5%	64 16.8%	40 10.5%	18 4.7%	56 14.7%	4 1.0%
	変化なし	3,083 100.0%	52 1.7%	121 3.9%	293 9.5%	125 4.1%	221 7.2%	10 0.3%	751 24.4%	655 21.2%	368 11.9%	109 3.5%	354 11.5%	24 0.8%
	低下	936 100.0%	11 1.2%	18 1.9%	62 6.6%	49 5.2%	133 14.2%	2 0.2%	251 26.8%	268 28.6%	86 9.2%	20 2.1%	29 3.1%	7 0.7%

図表 2-2-238 【通所リハ】日常生活自立度の変化別 終了後の転帰（2016年7月～9月）  
(n=2,740人)

		合計	終了後の転帰										
			訪問リハビリテーション	通所介護の通所・訪問サービス	介護老人保健施設	居住・入所サービス	介護予防事業等域援業	医療機関への入院、外来リハビリテーション	死亡	その他	不明	サービス利用なし	無回答
全体		2,740 100.0%	45 1.6%	484 17.7%	356 13.0%	273 10.0%	22 0.8%	742 27.1%	320 11.7%	137 5.0%	78 2.8%	262 9.6%	21 0.8%
の日常生活自立度の変化	向上	217 100.0%	2 0.9%	61 28.1%	17 7.8%	13 6.0%	8 3.7%	35 16.1%	20 9.2%	9 4.1%	3 1.4%	49 22.6%	0 0.0%
	変化なし	1,540 100.0%	27 1.8%	299 19.4%	207 13.4%	136 8.8%	14 0.9%	413 26.8%	149 9.7%	71 4.6%	53 3.4%	169 11.0%	2 0.1%
	低下	571 100.0%	15 2.6%	88 15.4%	76 13.3%	83 14.5%	0 0.0%	182 31.9%	92 16.1%	15 2.6%	6 1.1%	14 2.5%	0 0.0%

図表 2-2-239 【訪問リハ】日常生活自立度の変化別 終了後の転帰（2016年4月～9月）  
(n=5,261人)

		合計	終了後の転帰										
			訪問リハビリテーション	通所介護の通所・訪問サービス	介護老人保健施設	居住・入所サービス	介護予防事業等域援業	医療機関への入院、外来リハビリテーション	死亡	その他	不明	サービス利用なし	無回答
の日常生活自立度の変化	全体	5,261 100.0%	695 13.2%	1,167 22.2%	196 3.7%	320 6.1%	31 0.6%	1,092 20.8%	788 15.0%	316 6.0%	56 1.1%	547 10.4%	53 1.0%
	向上	1,135 100.0%	252 22.2%	383 33.7%	15 1.3%	28 2.5%	16 1.4%	100 8.8%	38 3.3%	56 4.9%	10 0.9%	235 20.7%	2 0.2%
	変化なし	2,990 100.0%	388 13.0%	661 22.1%	124 4.1%	215 7.2%	13 0.4%	668 22.3%	434 14.5%	179 6.0%	34 1.1%	267 8.9%	7 0.2%
	低下	765 100.0%	28 3.7%	68 8.9%	42 5.5%	60 7.8%	1 0.1%	268 35.0%	241 31.5%	36 4.7%	1 0.1%	18 2.4%	2 0.3%

図表 2-2-240 【訪問看護】日常生活自立度の変化別 終了後の転帰（2016年4月～9月）  
(n=4,731人)

	合計	終了後の転帰												
		訪問 リハ ビリ テー ション	通所 リハ ビリ テー ション	通所 介護 等の 通所・ 訪問 系サ ービス	介護 老人 保健 施設	居住・ 入所 系サ ービス	介護 予防 事業 等 地域 支援 事業	医療 機関 への 入院、 外来 リハ ビリ テー ション	死亡	その他	不明	サー ビス 利用 なし	無回 答	
全体	4,731 100.0%	74 1.6%	179 3.8%	408 8.6%	198 4.2%	391 8.3%	16 0.3%	1,146 24.2%	1,089 23.0%	546 11.5%	152 3.2%	480 10.1%	52 1.1%	
度 の 変 化 日 常 生 活 自 立	向上	554 100.0%	13 2.3%	50 9.0%	85 15.3%	19 3.4%	22 4.0%	6 1.1%	81 14.6%	52 9.4%	68 12.3%	12 2.2%	142 25.6%	4 0.7%
	変化なし	2,716 100.0%	41 1.5%	102 3.8%	258 9.5%	126 4.6%	247 9.1%	7 0.3%	678 25.0%	530 19.5%	337 12.4%	94 3.5%	286 10.5%	10 0.4%
	低下	915 100.0%	10 1.1%	13 1.4%	37 4.0%	30 3.3%	88 9.6%	2 0.2%	277 30.3%	372 40.7%	57 6.2%	10 1.1%	18 2.0%	1 0.1%

【平成27年度調査結果】利用終了者の転帰（2014年度、回答事業所の合計人数）

	通所リハビリテーション			
	要支援 (介護予防通所リハ)		要介護 (通所リハ)	
	合計	構成比	合計	構成比
入院	445	23.7%	2,529	28.1%
入所	154	8.2%	2,242	24.9%
死亡	138	7.4%	1,292	14.4%
外来リハ	40	2.1%	39	0.4%
通所介護	176	9.4%	577	6.4%
通所リハ				
訪問リハ	16	0.9%	84	0.9%
その他の 介護サービス	187	10.0%	738	8.2%
介護予防事業等 地域支援事業	39	2.1%	50	0.6%
その他・不明	680	36.3%	1,442	16.0%
合計	1,875	100.0%	8,993	100.0%

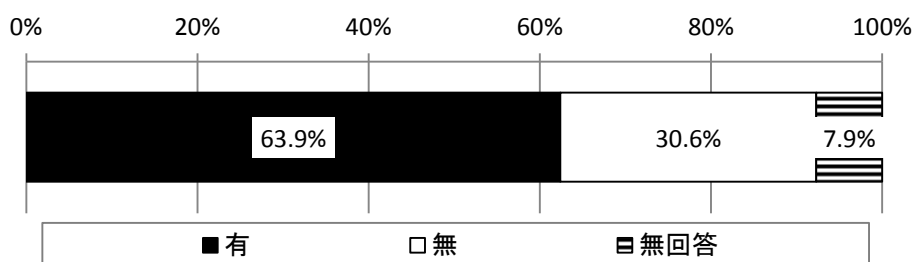
⑦ 【通所リハ】病状悪化により通所リハビリテーション継続が難しくなり終了した人の状況

病状悪化により通所リハビリテーション継続が難しくなったことによる終了者がいた事業所は 63.9%であった。

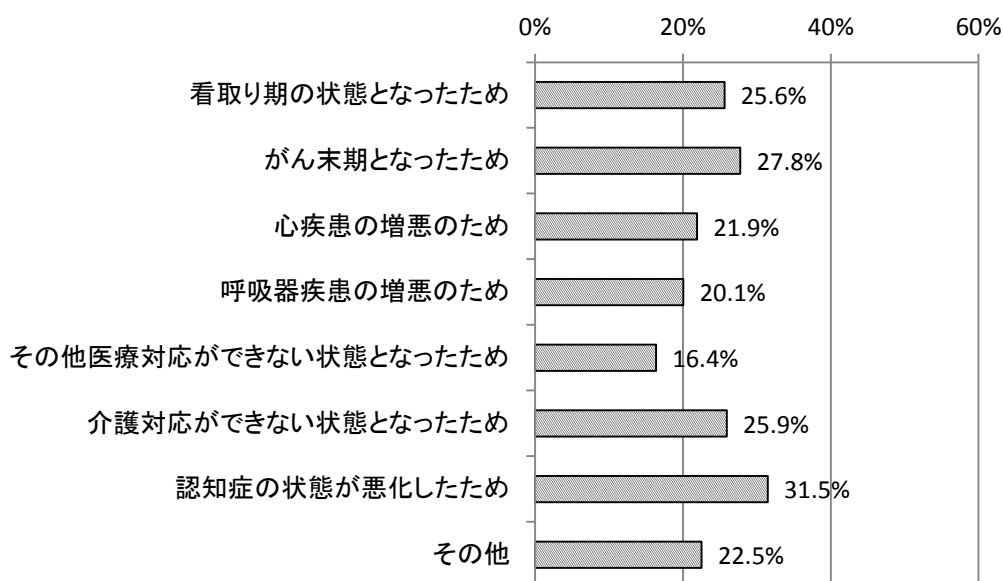
継続困難となった状況は、「認知症の状態が悪化したため」31.5%、「がん末期となったため」27.8%、「介護対応ができない状態となったため」25.9%であった。

「その他」は「死亡」、「転居」等であった。

図表 2-2-241 【通所リハ】病状悪化のために通所リハビリテーションの継続が難しくなり終了した人の有無 (n=507)



図表 2-2-242 【通所リハ】(病状悪化のため通所リハビリテーションの継続が難しくなり終了した人がいる場合) 終了した人の状況 (n=324 事業所) (複数回答)



### 第3節 利用者調査票の結果

本調査においては、利用者票の調査対象の抽出について、次の2段階の方法を設定した。まず、①調査日（原則、平成28年10月5日）の利用者のうち、10分の1の抽出率で無作為に選んだ利用者を対象とした。この結果をもとに、利用者の全体的な傾向を分析することとした。なお、訪問看護ステーションの利用者は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がリハビリテーションを実施している利用者から抽出した。

また、①に該当しない人で、②平成28年7月の1か月間に利用を開始した人全員を対象とした。これは、特に、利用開始後から短期間の利用者について、自立度の変化の状況等を詳しく分析するために調査することとした。

以下では、基本的には、①の調査日の利用者から抽出したデータをもとに分析を進め、自立度等の変化等については、①のうちの平成28年7月の利用開始者と、②の平成28年7月の利用開始者全員のデータを合算したデータをもとに分析した。

#### ①調査日の利用者からの抽出

図表 2-3-1 抽出方法：調査日の利用者

	合計	調査日（10月5日）のサービス利用者で、利用開始が7月でない利用者	調査日（10月5日）のサービス利用者で、利用開始が7月の利用者
通所リハ	1,464 100.0%	1,373 93.8%	91 6.2%
訪問リハ	1,966 100.0%	1,865 94.9%	101 5.1%
訪問看護	2,053 100.0%	1,989 96.9%	64 3.1%

#### ②7月の利用開始者

図表 2-3-2 抽出方法：7月の利用開始者

	合計	調査日の利用者からの抽出に該当した利用者	調査日の利用者からの抽出に該当しなかった利用者
通所リハ（7月開始）	635 100.0%	91 14.3%	544 85.7%
訪問リハ（7月開始）	638 100.0%	101 15.8%	537 84.2%
訪問看護（7月開始）	323 100.0%	64 19.8%	259 80.2%

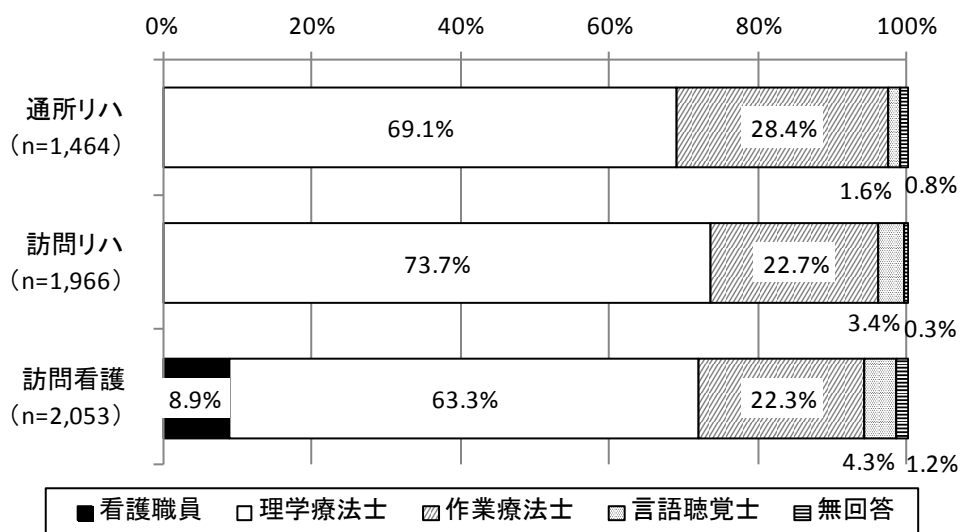
### 1. 本調査の回答者

#### ① 回答者

回答者は、通所リハビリテーションは「理学療法士」が 69.1%、「作業療法士」が 28.4%であった。

訪問リハビリテーションでは「理学療法士」が 73.7%、「作業療法士」が 22.7%であった。訪問看護ステーションでは「看護職員」が 8.9%、「理学療法士」が 63.3%、「作業療法士」が 22.3%であった。

図表 2-3-3 回答者



注) 「看護職員」は訪問看護ステーションのみ選択肢を設けた。



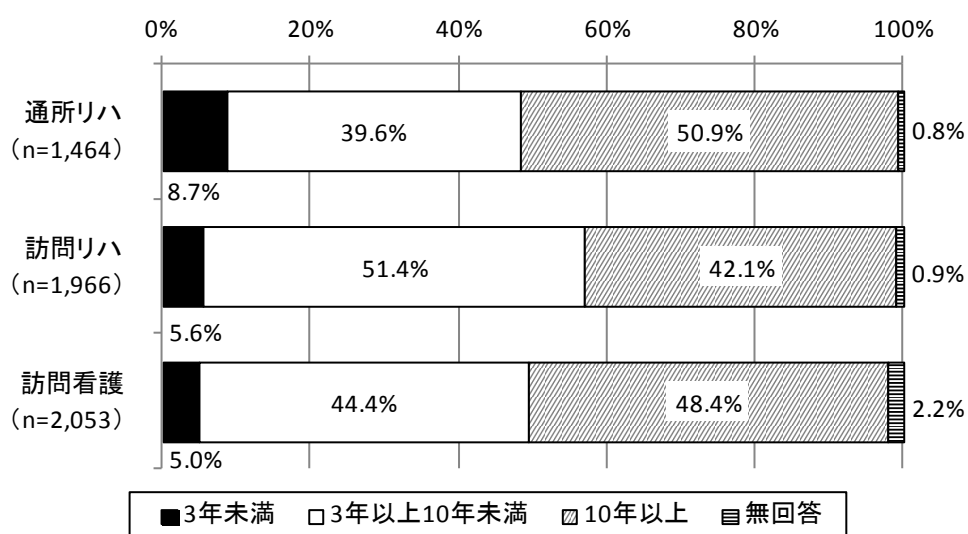
② 回答者の経験年数

回答者の経験年数は、「通所リハ」では「3年未満」が8.7%、「3年以上10年未満」が39.6%、「10年以上」が50.9%であった。

「訪問リハビリテーション」では「3年未満」が5.6%、「3年以上10年未満」が51.4%、「10年以上」が42.1%であった。

「訪問看護ステーション」では「3年未満」が5.0%、「3年以上10年未満」が44.4%、「10年以上」が48.4%であった。

図表 2-3-4 回答者の経験年数



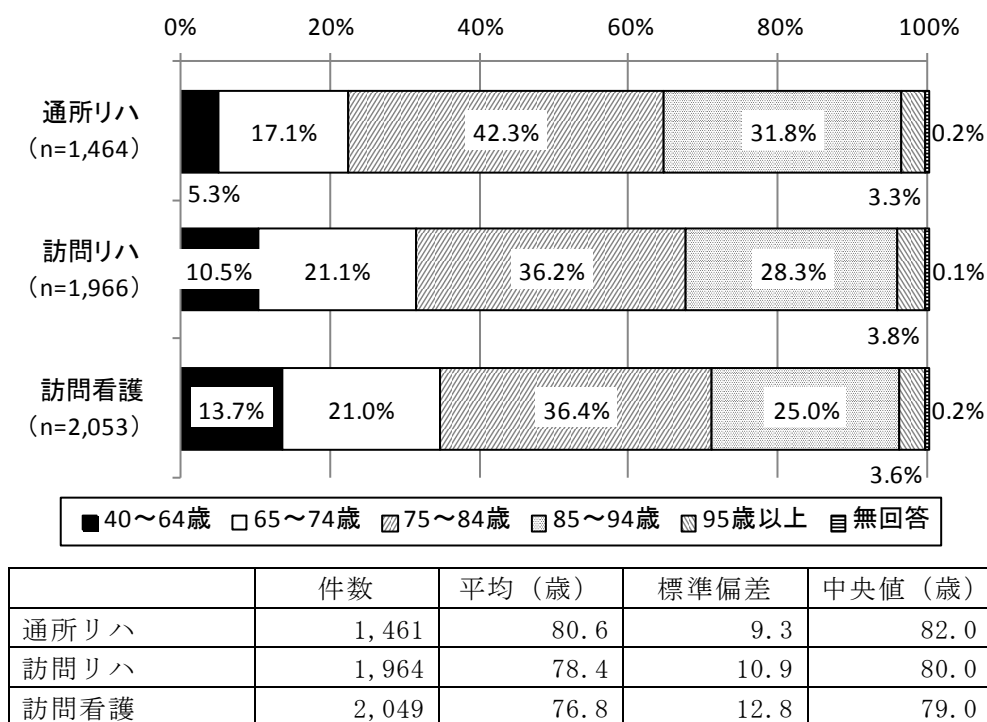
## 2. 利用者の基本情報

### (1) 基本属性

#### ① 年齢

利用者の平均年齢は、通所リハビリテーションが 80.6 歳、訪問リハビリテーションが 78.4 歳、訪問看護ステーションが 76.8 歳であった。

図表 2-3-5 年齢



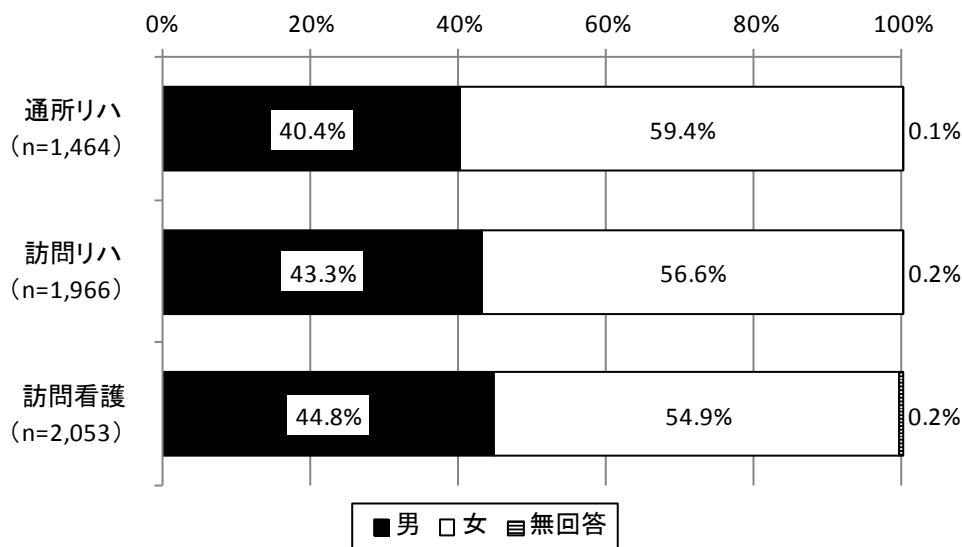
図表 2-3-6 年齢 (7月利用開始者)

	合計	40~64歳	65~74歳	75~84歳	85~94歳	95歳以上	無回答
通所リハ (7月開始)	635	37	107	288	193	10	0
	100.0%	5.8%	16.9%	45.4%	30.4%	1.6%	0.0%
訪問リハ (7月開始)	638	56	113	246	202	20	1
	100.0%	8.8%	17.7%	38.6%	31.7%	3.1%	0.2%
訪問看護 (7月開始)	323	26	67	132	90	8	0
	100.0%	8.0%	20.7%	40.9%	27.9%	2.5%	0.0%

② 性別

性別は、通所リハビリテーションでは、「男」が40.4%、「女」が59.4%であった。訪問リハビリテーションでは「男」が43.3%、「女」が56.6%であった。訪問看護ステーションでは「男」が44.8%、「女」が54.9%であった。

図表 2-3-7 性別



図表 2-3-8 性別（7月利用開始者）

	合計	男	女	無回答
通所リハ(7月開始)	635	273	361	1
	100.0%	43.0%	56.9%	0.2%
訪問リハ(7月開始)	638	264	374	0
	100.0%	41.4%	58.6%	0.0%
訪問看護(7月開始)	323	149	174	0
	100.0%	46.1%	53.9%	0.0%

(2) 心身の状態

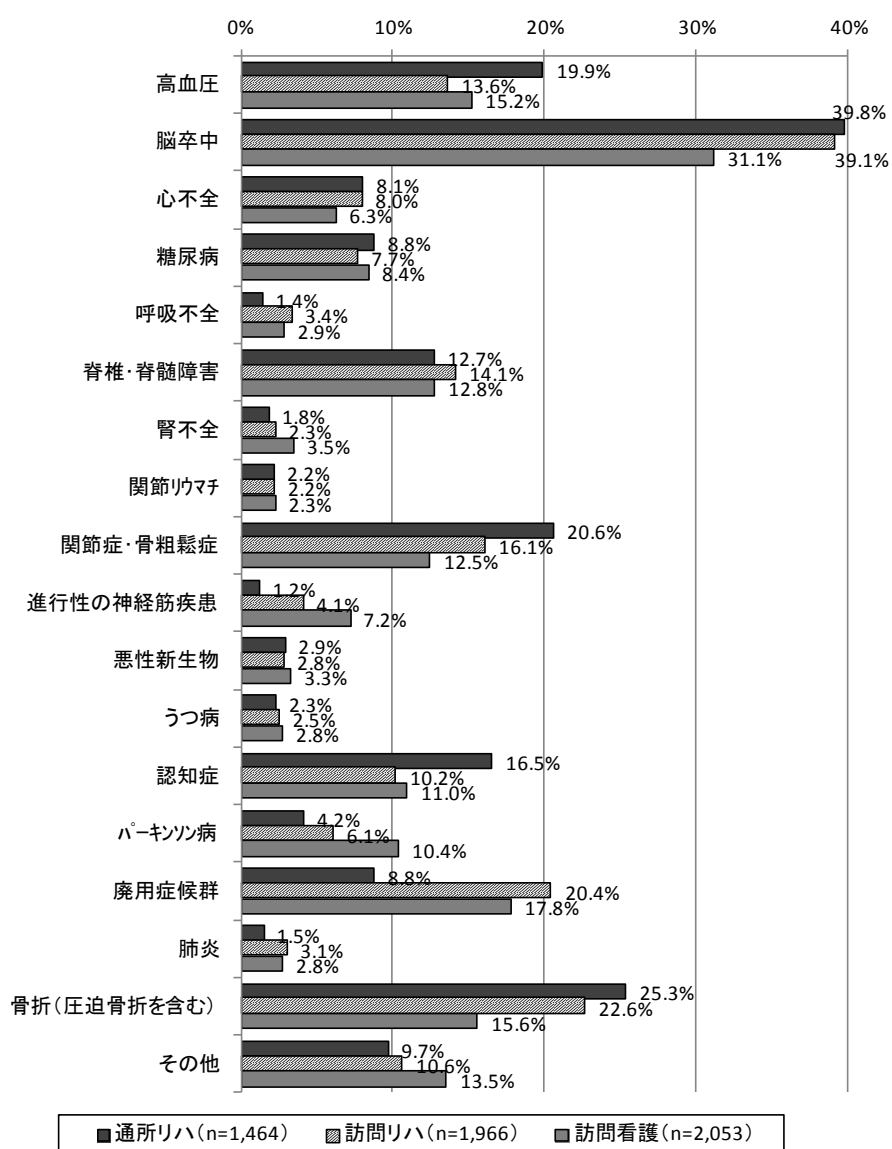
① リハビリが必要となった原因の傷病

リハビリが必要となった原因の傷病は、「通所リハビリテーション」では「脳卒中」が39.8%、「骨折」が25.3%、「関節症・骨粗鬆症」が20.6%で、比較的高かった。

「訪問リハビリテーション」では「脳卒中」が39.1%、「骨折」が22.6%、「廃用症候群」が20.4%であった。「廃用症候群」の割合が20.4%で他サービスより高かった。

「訪問看護ステーション」では「脳卒中」が31.1%、「廃用症候群」が17.8%、「骨折」が15.6%であった。「進行性の神経筋疾患」が7.2%、「パーキンソン病」が10.4%で他サービスより高かった。

図表 2-3-9 リハビリが必要となった原因の傷病（複数回答）



図表 2-3-10 【通所リハ】年齢別 リハビリが必要となった原因の傷病（複数回答）

	合計	高血圧	脳卒中	心不全	糖尿病	呼吸不全	脊椎・ 脊髄障 害	腎不全	関節リ マチ
全体	1,464 100.0%	291 19.9%	582 39.8%	118 8.1%	129 8.8%	21 1.4%	186 12.7%	27 1.8%	32 2.2%
40～64 歳	78 100.0%	16 20.5%	68 87.2%	1 1.3%	6 7.7%	0 0.0%	3 3.8%	1 1.3%	0 0.0%
65～74 歳	251 100.0%	36 14.3%	170 67.7%	7 2.8%	17 6.8%	1 0.4%	26 10.4%	4 1.6%	3 1.2%
75～84 歳	619 100.0%	121 19.5%	231 37.3%	55 8.9%	67 10.8%	15 2.4%	83 13.4%	13 2.1%	18 2.9%
85～94 歳	465 100.0%	104 22.4%	101 21.7%	48 10.3%	36 7.7%	5 1.1%	70 15.1%	9 1.9%	10 2.2%
95歳 以上	48 100.0%	14 29.2%	10 20.8%	7 14.6%	3 6.3%	0 0.0%	4 8.3%	0 0.0%	1 2.1%

	合計	関節 症・骨 粗鬆症	進行性 の神経 筋疾患	悪性新 生物	うつ病	認知症	パ ーキン ソン病	廃用症 候群	肺炎
全体	1,464 100.0%	301 20.6%	18 1.2%	43 2.9%	34 2.3%	242 16.5%	61 4.2%	129 8.8%	22 1.5%
40～64 歳	78 100.0%	3 3.8%	4 5.1%	0 0.0%	3 3.8%	1 1.3%	1 1.3%	0 0.0%	1 1.3%
65～74 歳	251 100.0%	20 8.0%	6 2.4%	8 3.2%	6 2.4%	10 4.0%	13 5.2%	6 2.4%	1 0.4%
75～84 歳	619 100.0%	119 19.2%	6 1.0%	23 3.7%	15 2.4%	127 20.5%	35 5.7%	51 8.2%	8 1.3%
85～94 歳	465 100.0%	142 30.5%	2 0.4%	11 2.4%	10 2.2%	93 20.0%	12 2.6%	58 12.5%	11 2.4%
95歳以 上	48 100.0%	16 33.3%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	11 22.9%	0 0.0%	13 27.1%	1 2.1%

	合計	骨折	その他	無回答
全体	1,464 100.0%	371 25.3%	142 9.7%	10 0.7%
40～64 歳	78 100.0%	4 5.1%	5 6.4%	0 0.0%
65～74 歳	251 100.0%	31 12.4%	29 11.6%	1 0.4%
75～84 歳	619 100.0%	151 24.4%	63 10.2%	4 0.6%
85～94 歳	465 100.0%	164 35.3%	39 8.4%	5 1.1%
95歳以 上	48 100.0%	21 43.8%	6 12.5%	0 0.0%

図表 2-3-11 【訪問リハ】年齢別 リハビリが必要となった原因の傷病（複数回答）

	合計	高血圧	脳卒中	心不全	糖尿病	呼吸不全	脊椎・ 脊髄障 害	腎不全	関節リ マチ
全体	1,966 100.0%	268 13.6%	769 39.1%	157 8.0%	152 7.7%	66 3.4%	278 14.1%	45 2.3%	44 2.2%
40～ 64歳	207 100.0%	26 12.6%	139 67.1%	1 0.5%	13 6.3%	3 1.4%	18 8.7%	3 1.4%	2 1.0%
65～ 74歳	414 100.0%	46 11.1%	238 57.5%	16 3.9%	39 9.4%	10 2.4%	59 14.3%	14 3.4%	4 1.0%
75～ 84歳	712 100.0%	87 12.2%	253 35.5%	51 7.2%	61 8.6%	32 4.5%	110 15.4%	17 2.4%	23 3.2%
85～ 94歳	557 100.0%	94 16.9%	131 23.5%	75 13.5%	35 6.3%	17 3.1%	83 14.9%	10 1.8%	13 2.3%
95歳 以上	74 100.0%	15 20.3%	8 10.8%	14 18.9%	4 5.4%	4 5.4%	8 10.8%	1 1.4%	2 2.7%

	合計	関節 症・骨 粗鬆症	進行性 の神経 筋疾患	悪性新 生物	うつ病	認知症	パーキン ソン病	廃用症 候群	肺炎
全体	1,966 100.0%	316 16.1%	81 4.1%	56 2.8%	50 2.5%	201 10.2%	120 6.1%	402 20.4%	60 3.1%
40～ 64歳	207 100.0%	6 2.9%	28 13.5%	7 3.4%	3 1.4%	3 1.4%	7 3.4%	17 8.2%	1 0.5%
65～ 74歳	414 100.0%	18 4.3%	25 6.0%	13 3.1%	11 2.7%	14 3.4%	27 6.5%	46 11.1%	4 1.0%
75～ 84歳	712 100.0%	134 18.8%	21 2.9%	29 4.1%	25 3.5%	70 9.8%	54 7.6%	158 22.2%	22 3.1%
85～ 94歳	557 100.0%	132 23.7%	6 1.1%	7 1.3%	9 1.6%	98 17.6%	31 5.6%	156 28.0%	28 5.0%
95歳 以上	74 100.0%	26 35.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.7%	16 21.6%	1 1.4%	25 33.8%	5 6.8%

	合計	骨折	その他	無回答
全体	1,966 100.0%	445 22.6%	209 10.6%	5 0.3%
40～ 64歳	207 100.0%	13 6.3%	16 7.7%	0 0.0%
65～ 74歳	414 100.0%	46 11.1%	48 11.6%	0 0.0%
75～ 84歳	712 100.0%	171 24.0%	81 11.4%	0 0.0%
85～ 94歳	557 100.0%	184 33.0%	58 10.4%	4 0.7%
95歳 以上	74 100.0%	31 41.9%	6 8.1%	0 0.0%

図表 2-3-12 【訪問看護】年齢別 リハビリが必要となった原因の傷病（複数回答）

	合計	高血圧	脳卒中	心不全	糖尿病	呼吸不全	脊椎・ 脊髄障 害	腎不全	関節リ ウマチ
全体	2,053 100.0%	312 15.2%	639 31.1%	129 6.3%	173 8.4%	59 2.9%	262 12.8%	72 3.5%	47 2.3%
40～64 歳	282 100.0%	24 8.5%	110 39.0%	3 1.1%	15 5.3%	4 1.4%	37 13.1%	8 2.8%	1 0.4%
65～74 歳	432 100.0%	56 13.0%	179 41.4%	12 2.8%	38 8.8%	13 3.0%	49 11.3%	15 3.5%	10 2.3%
75～84 歳	748 100.0%	113 15.1%	232 31.0%	45 6.0%	69 9.2%	24 3.2%	101 13.5%	28 3.7%	18 2.4%
85～94 歳	513 100.0%	103 20.1%	104 20.3%	58 11.3%	48 9.4%	16 3.1%	75 14.6%	17 3.3%	14 2.7%
95歳以 上	74 100.0%	16 21.6%	13 17.6%	11 14.9%	3 4.1%	2 2.7%	0 0.0%	4 5.4%	4 5.4%

	合計	関節 症・骨 粗鬆症	進行性 の神経 筋疾患	悪性新 生物	うつ病	認知症	パキン ソン病	廃用症 候群	肺炎
全体	2,053 100.0%	256 12.5%	148 7.2%	68 3.3%	57 2.8%	225 11.0%	213 10.4%	365 17.8%	57 2.8%
40～64 歳	282 100.0%	5 1.8%	46 16.3%	13 4.6%	6 2.1%	1 0.4%	16 5.7%	18 6.4%	3 1.1%
65～74 歳	432 100.0%	26 6.0%	49 11.3%	15 3.5%	14 3.2%	15 3.5%	61 14.1%	38 8.8%	6 1.4%
75～84 歳	748 100.0%	94 12.6%	44 5.9%	23 3.1%	25 3.3%	84 11.2%	93 12.4%	139 18.6%	19 2.5%
85～94 歳	513 100.0%	114 22.2%	9 1.8%	16 3.1%	12 2.3%	106 20.7%	41 8.0%	135 26.3%	21 4.1%
95歳以 上	74 100.0%	17 23.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	19 25.7%	0 0.0%	35 47.3%	8 10.8%

	合計	骨折	その他	無回答
全体	2,053 100.0%	320 15.6%	278 13.5%	15 0.7%
40～ 64歳	282 100.0%	12 4.3%	60 21.3%	3 1.1%
65～ 74歳	432 100.0%	42 9.7%	59 13.7%	3 0.7%
75～ 84歳	748 100.0%	118 15.8%	83 11.1%	4 0.5%
85～ 94歳	513 100.0%	125 24.4%	67 13.1%	4 0.8%
95歳 以上	74 100.0%	22 29.7%	9 12.2%	0 0.0%

2 利用者の基本情報

図表 2-3-13 【通所リハ】利用期間別 リハビリが必要となった原因傷病（複数回答）

	合計	高血圧	脳卒中	心不全	糖尿病	呼吸不全	脊椎・ 脊髄障 害	腎不全
全体	1,464 100.0%	291 19.9%	582 39.8%	118 8.1%	129 8.8%	21 1.4%	186 12.7%	27 1.8%
30日未満	55 100.0%	8 14.5%	23 41.8%	6 10.9%	4 7.3%	1 1.8%	10 18.2%	1 1.8%
30日以上～90 日未満	116 100.0%	23 19.8%	48 41.4%	13 11.2%	10 8.6%	1 0.9%	16 13.8%	5 4.3%
90日以上～ 180日未満	139 100.0%	22 15.8%	47 33.8%	9 6.5%	6 4.3%	2 1.4%	18 12.9%	2 1.4%
180日以上	1,095 100.0%	225 20.5%	441 40.3%	85 7.8%	103 9.4%	16 1.5%	135 12.3%	19 1.7%

	合計	関節リウ マチ	関節 症・骨 粗鬆症	進行性 の神経 筋疾患	悪性新 生物	うつ病	認知症	パーキン ソン病
全体	1,464 100.0%	32 2.2%	301 20.6%	18 1.2%	43 2.9%	34 2.3%	242 16.5%	61 4.2%
30日未満	55 100.0%	0 0.0%	5 9.1%	1 1.8%	1 1.8%	2 3.6%	11 20.0%	2 3.6%
30日以上～90 日未満	116 100.0%	4 3.4%	14 12.1%	1 0.9%	6 5.2%	0 0.0%	24 20.7%	3 2.6%
90日以上～ 180日未満	139 100.0%	3 2.2%	31 22.3%	4 2.9%	4 2.9%	4 2.9%	18 12.9%	3 2.2%
180日以上	1,095 100.0%	25 2.3%	236 21.6%	11 1.0%	31 2.8%	25 2.3%	178 16.3%	51 4.7%

	合計	廃用症 候群	肺炎	骨折	その他	無回答
全体	1,464 100.0%	129 8.8%	22 1.5%	371 25.3%	142 9.7%	10 0.7%
30日未満	55 100.0%	9 16.4%	1 1.8%	17 30.9%	7 12.7%	0 0.0%
30日以上～90 日未満	116 100.0%	11 9.5%	4 3.4%	33 28.4%	10 8.6%	0 0.0%
90日以上～ 180日未満	139 100.0%	12 8.6%	3 2.2%	42 30.2%	17 12.2%	2 1.4%
180日以上	1,095 100.0%	94 8.6%	14 1.3%	261 23.7%	102 9.3%	8 0.7%



図表 2-3-14 【訪問リハ】利用期間別 リハビリが必要となった原因傷病（複数回答）

	合計	高血圧	脳卒中	心不全	糖尿病	呼吸不全	脊椎・ 脊髄障 害	腎不全
全体	1,966 100.0%	268 13.6%	769 39.1%	157 8.0%	152 7.7%	66 3.4%	278 14.1%	45 2.3%
30日未満	96 100.0%	13 13.5%	38 39.6%	7 7.3%	13 13.5%	2 2.1%	15 15.6%	1 1.0%
30日以上～90 日未満	179 100.0%	24 13.4%	54 30.2%	27 15.1%	13 7.3%	7 3.9%	34 19.0%	4 2.2%
90日以上～ 180日未満	214 100.0%	25 11.7%	66 30.8%	22 10.3%	15 7.0%	8 3.7%	27 12.6%	9 4.2%
180日以上	1,326 100.0%	189 14.3%	560 42.2%	89 6.7%	93 7.0%	46 3.5%	172 13.0%	23 1.7%

	合計	関節リ マチ	関節 症・骨 粗鬆症	進行性 の神経 筋疾患	悪性新 生物	うつ病	認知症	パーキン ソン病
全体	1,966 100.0%	44 2.2%	316 16.1%	81 4.1%	56 2.8%	50 2.5%	201 10.2%	120 6.1%
30日未満	96 100.0%	2 2.1%	11 11.5%	4 4.2%	6 6.3%	3 3.1%	6 6.3%	3 3.1%
30日以上～90 日未満	179 100.0%	1 0.6%	35 19.6%	3 1.7%	8 4.5%	3 1.7%	16 8.9%	11 6.1%
90日以上～ 180日未満	214 100.0%	7 3.3%	36 16.8%	5 2.3%	6 2.8%	2 0.9%	31 14.5%	17 7.9%
180日以上	1,326 100.0%	31 2.3%	209 15.8%	62 4.7%	31 2.3%	38 2.9%	130 9.8%	78 5.9%

	合計	廃用症 候群	肺炎	骨折	その他	無回答
全体	1,966 100.0%	402 20.4%	60 3.1%	445 22.6%	209 10.6%	5 0.3%
30日未満	96 100.0%	26 27.1%	4 4.2%	19 19.8%	19 19.8%	1 1.0%
30日以上～90 日未満	179 100.0%	43 24.0%	5 2.8%	42 23.5%	22 12.3%	0 0.0%
90日以上～ 180日未満	214 100.0%	40 18.7%	8 3.7%	68 31.8%	23 10.7%	0 0.0%
180日以上	1,326 100.0%	269 20.3%	39 2.9%	293 22.1%	131 9.9%	2 0.2%

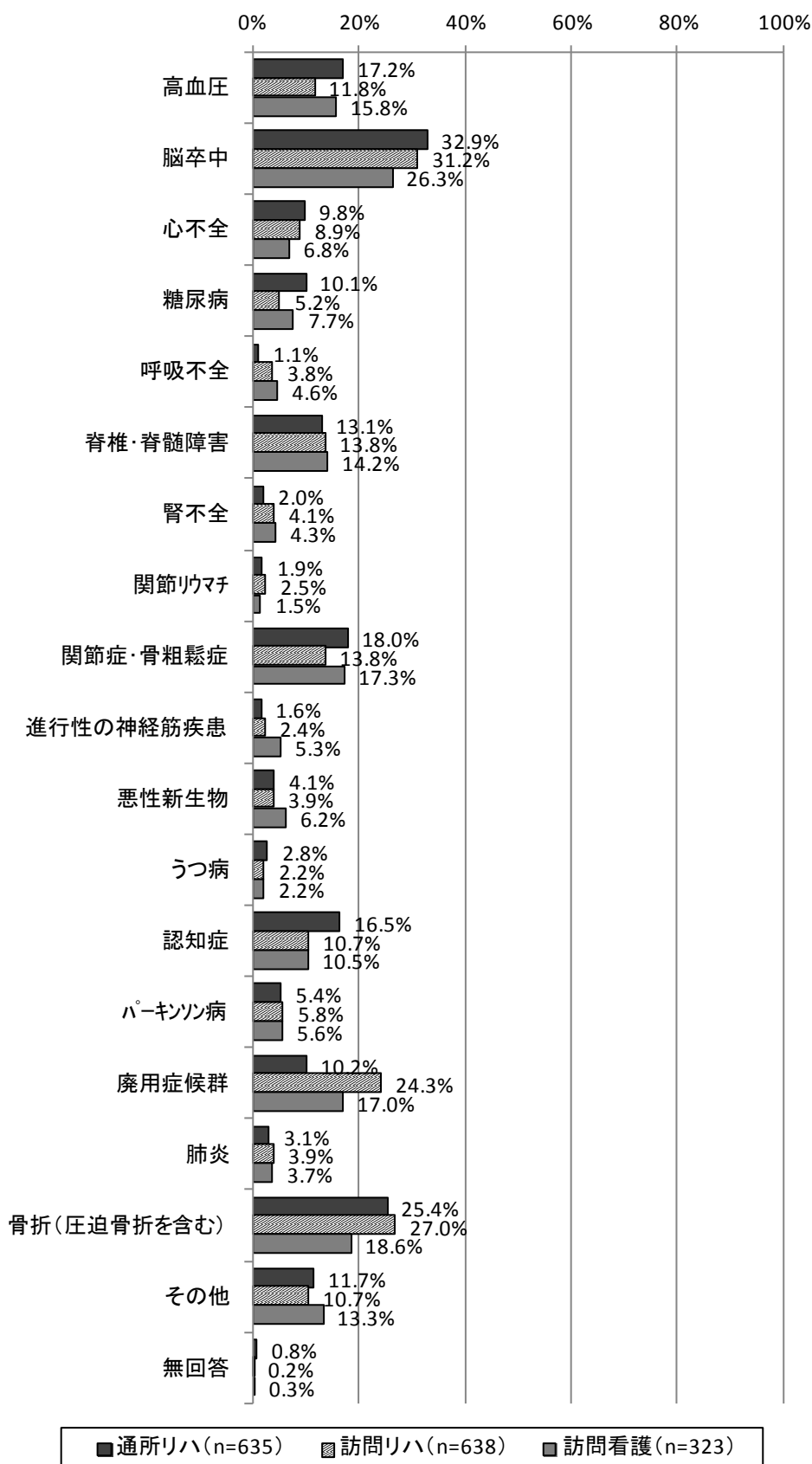
図表 2-3-15 【訪問看護】利用期間別 リハビリが必要となった原因傷病（複数回答）

	合計	高血圧	脳卒中	心不全	糖尿病	呼吸不全	脊椎・ 脊髄障 害	腎不全
全体	2,053 100.0%	312 15.2%	639 31.1%	129 6.3%	173 8.4%	59 2.9%	262 12.8%	72 3.5%
30日未満	89 100.0%	10 11.2%	19 21.3%	8 9.0%	4 4.5%	0 0.0%	11 12.4%	4 4.5%
30日以上～90 日未満	163 100.0%	29 17.8%	40 24.5%	9 5.5%	10 6.1%	4 2.5%	21 12.9%	8 4.9%
90日以上～ 180日未満	234 100.0%	32 13.7%	62 26.5%	18 7.7%	25 10.7%	6 2.6%	28 12.0%	11 4.7%
180日以上	1,442 100.0%	224 15.5%	473 32.8%	85 5.9%	126 8.7%	43 3.0%	184 12.8%	45 3.1%

	合計	関節リ マチ	関節 症・骨 粗鬆症	進行性 の神経 筋疾患	悪性新 生物	うつ病	認知症	パーキン ソン病
全体	2,053 100.0%	47 2.3%	256 12.5%	148 7.2%	68 3.3%	57 2.8%	225 11.0%	213 10.4%
30日未満	89 100.0%	1 1.1%	18 20.2%	2 2.2%	8 9.0%	2 2.2%	10 11.2%	11 12.4%
30日以上～90 日未満	163 100.0%	5 3.1%	22 13.5%	9 5.5%	11 6.7%	5 3.1%	18 11.0%	15 9.2%
90日以上～ 180日未満	234 100.0%	4 1.7%	32 13.7%	17 7.3%	11 4.7%	6 2.6%	29 12.4%	21 9.0%
180日以上	1,442 100.0%	31 2.1%	168 11.7%	114 7.9%	38 2.6%	35 2.4%	154 10.7%	149 10.3%

	合計	廃用症 候群	肺炎	骨折	その他	無回答
全体	2,053 100.0%	365 17.8%	57 2.8%	320 15.6%	278 13.5%	15 0.7%
30日未満	89 100.0%	13 14.6%	2 2.2%	13 14.6%	9 10.1%	3 3.4%
30日以上～90 日未満	163 100.0%	38 23.3%	6 3.7%	33 20.2%	18 11.0%	1 0.6%
90日以上～ 180日未満	234 100.0%	46 19.7%	8 3.4%	50 21.4%	32 13.7%	3 1.3%
180日以上	1,442 100.0%	241 16.7%	37 2.6%	208 14.4%	204 14.1%	7 0.5%

図表 2-3-16 リハビリが必要となった原因の傷病（複数回答）（7月利用開始者）



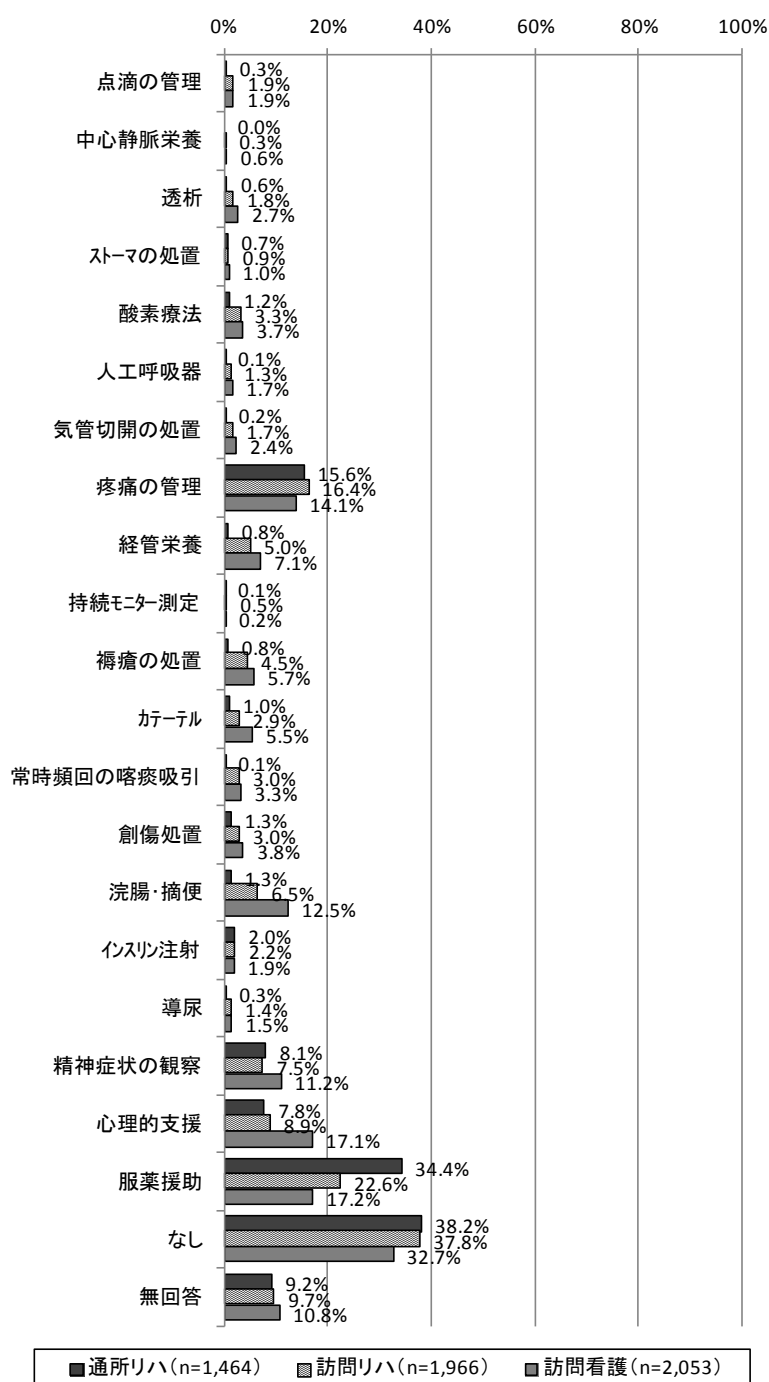
② 利用者が受けている医療的処置・ケア等

利用者が受けている医療的処置・ケア等は、「通所リハビリテーション」では「なし」が38.2%、「服薬援助」が34.4%、「疼痛の管理」が15.6%であった。

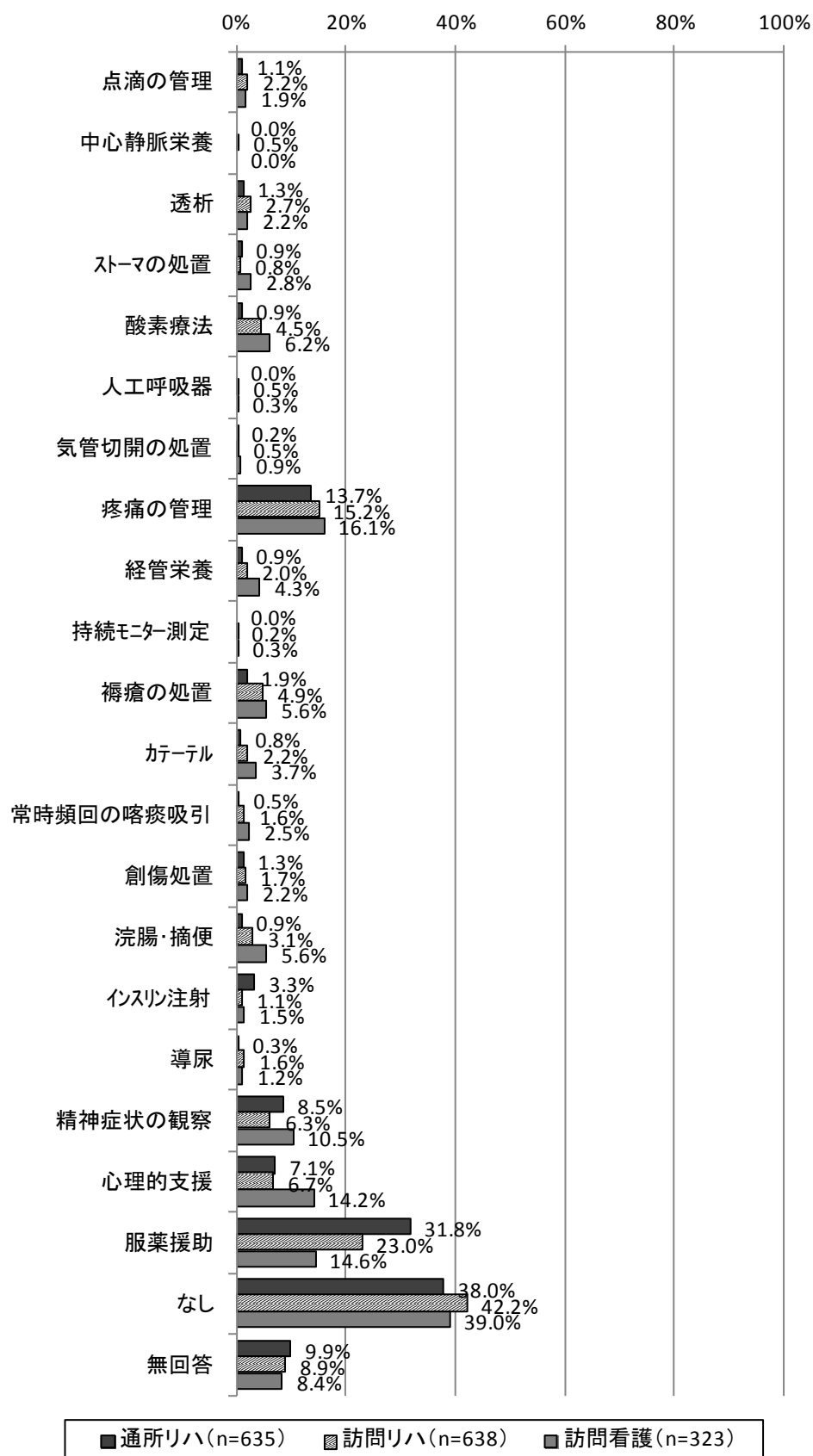
「訪問リハビリテーション」では「なし」が37.8%、「服薬援助」が22.6%、「疼痛の管理」が16.4%であった。

「訪問看護ステーション」では「なし」が32.7%、「服薬援助」が17.2%、「心理的支援」が17.1%であった。

図表 2-3-17 利用者が受けている医療的処置・ケア等（複数回答）



図表 2-3-18 利用者が受けている医療的処置・ケア等（複数回答）（7月利用開始者）



③ 要介護度

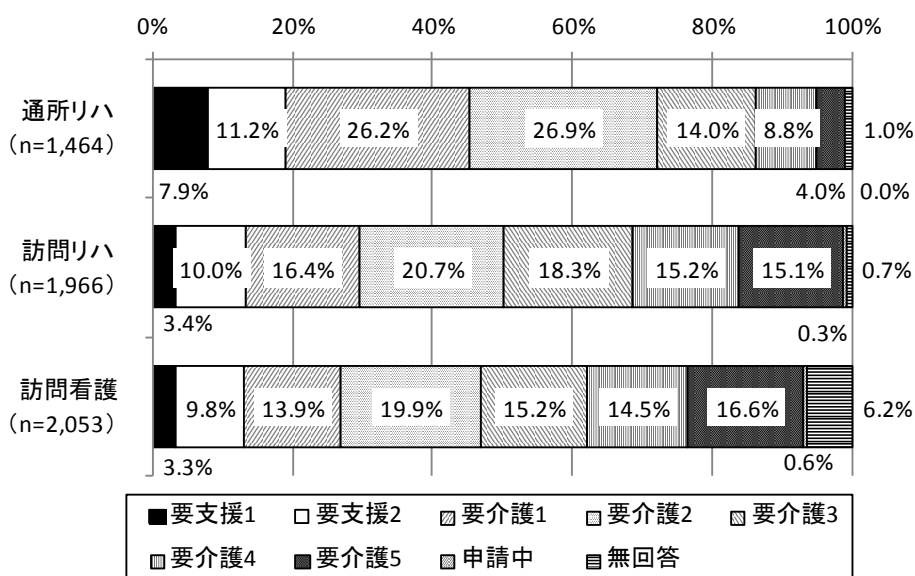
1) 直近

利用者の直近の要介護度は、「通所リハビリテーション」では「要介護2」が26.9%、「要介護1」が26.2%であった。

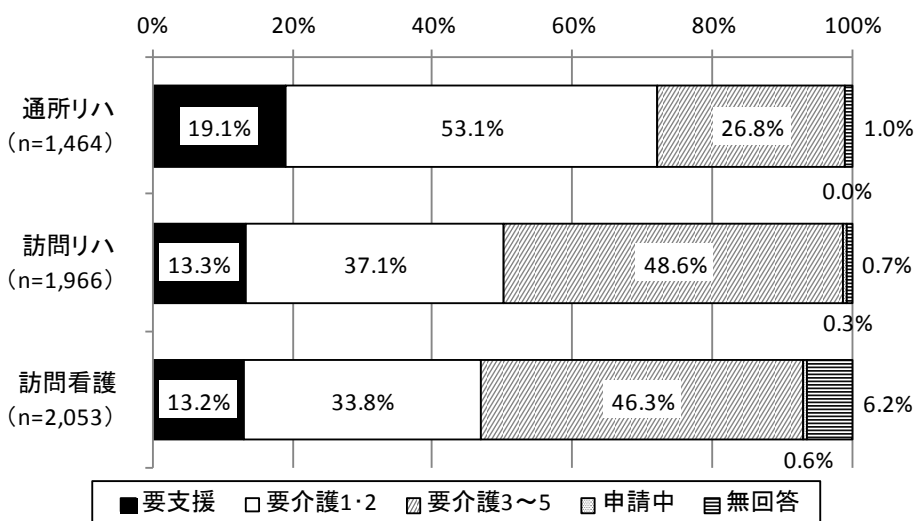
「訪問リハビリテーション」では「要介護2」が20.7%、「要介護3」が18.3%であった。

「訪問看護ステーション」では「要介護2」が19.9%、「要介護5」が16.6%であった。

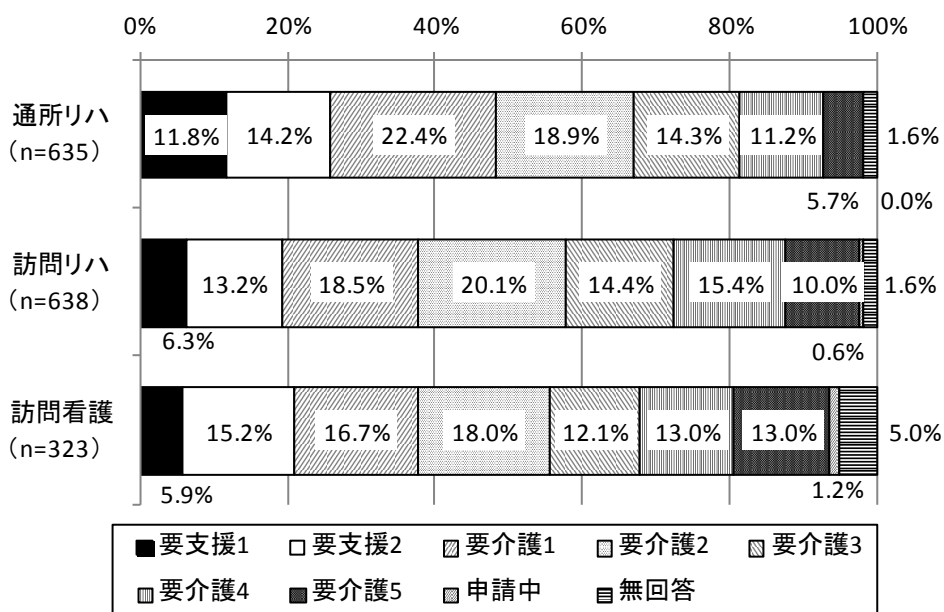
図表 2-3-19 要介護度（直近）



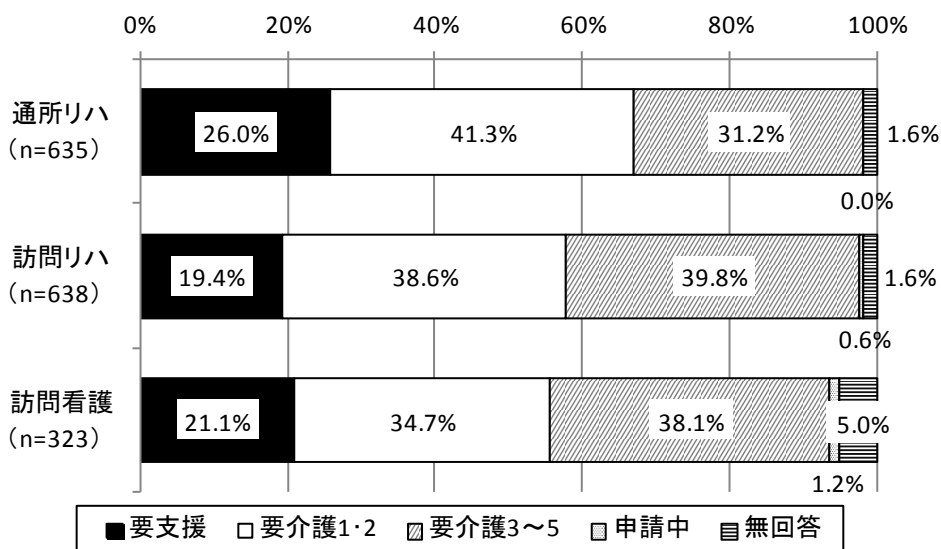
図表 2-3-20 区分別 要介護度（直近）



図表 2-3-21 要介護度（直近）（7月利用開始者）



図表 2-3-22 区分別 要介護度（直近）（7月利用開始者）



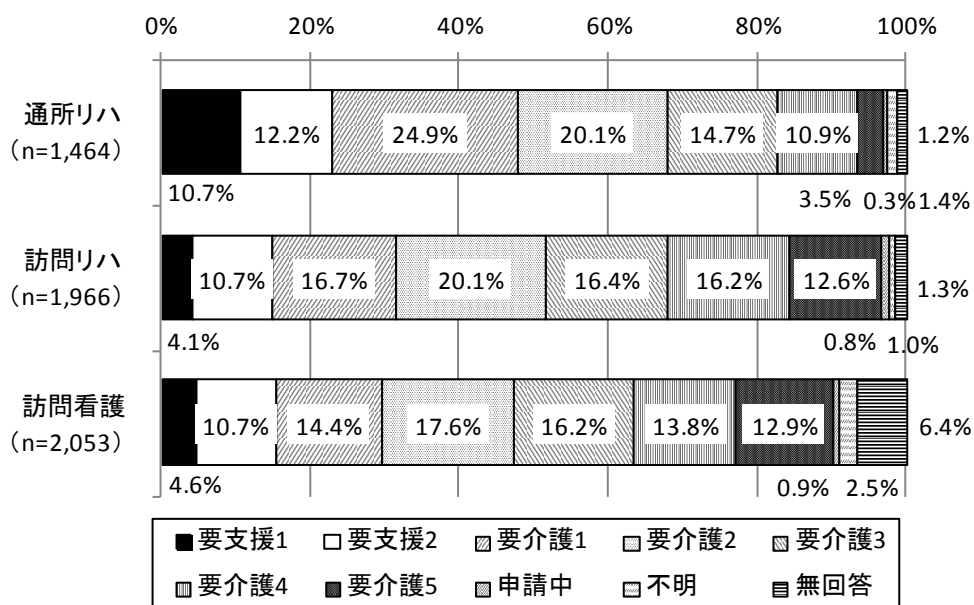
2) 利用開始時

利用者の利用開始時の要介護度は、「通所リハビリテーション」では「要介護1」が24.9%、「要介護2」が20.1%であった。

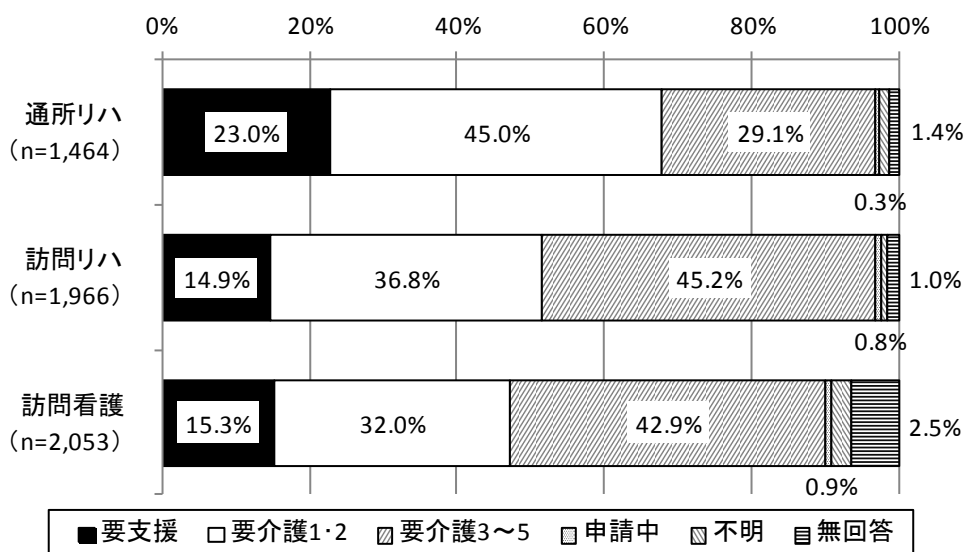
「訪問リハビリテーション」では「要介護2」が20.1%、「要介護1」が16.7%、「要介護3」が16.4%、「要介護4」が16.2%であった。

「訪問看護ステーション」では「要介護2」が17.6%、「要介護3」が16.2%であった。

図表 2-3-23 要介護度（利用開始時）

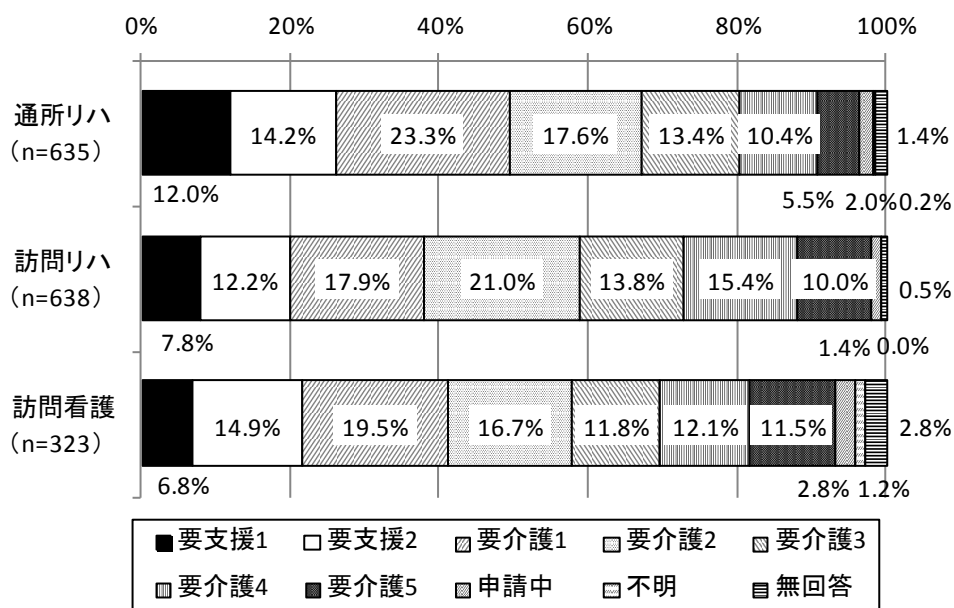


図表 2-3-24 区分別 要介護度（利用開始時）

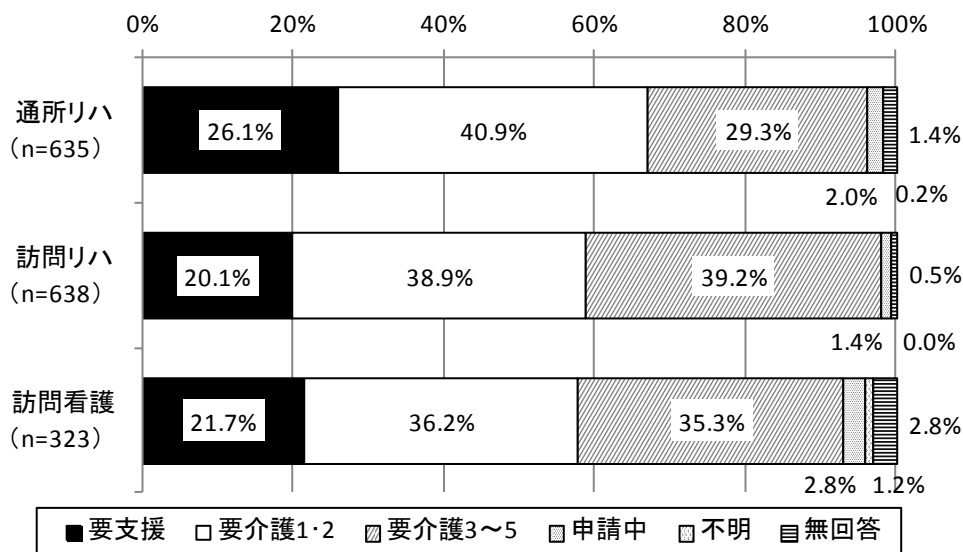




図表 2-3-25 要介護度（利用開始時）（7月利用開始者）



図表 2-3-26 区分別 要介護度（利用開始時）（7月利用開始者）



## 3) 要介護度の変化

要介護度の変化について、7月利用開始者でみると、「通所リハビリテーション」では「向上」が2.8%、「変化なし」が88.3%、「低下」が4.1%であった。

「訪問リハビリテーション」では「向上」が2.7%、「変化なし」が88.6%、「低下」が5.2%であった。

「訪問看護ステーション」では「向上」が1.5%、「変化なし」が83.3%、「低下」が6.2%であった。

図表 2-3-27 最初の状態別 要介護度の変化

		合計	向上	変化なし	低下	無回答
通所リハ	全体	1,464 100.0%	274 18.7%	816 55.7%	323 22.1%	51 3.5%
	要支援	280 100.0%	70 25.0%	175 62.5%	29 10.4%	6 2.1%
	要介護 1・2	778 100.0%	169 21.7%	421 54.1%	172 22.1%	16 2.1%
	要介護 3～5	392 100.0%	35 8.9%	220 56.1%	122 31.1%	15 3.8%
訪問リハ	全体	1,966 100.0%	292 14.9%	1,210 61.5%	393 20.0%	71 3.6%
	要支援	262 100.0%	75 28.6%	173 66.0%	10 3.8%	4 1.5%
	要介護 1・2	729 100.0%	143 19.6%	453 62.1%	115 15.8%	18 2.5%
	要介護 3～5	955 100.0%	74 7.7%	584 61.2%	268 28.1%	29 3.0%
訪問看護	全体	2,053 100.0%	261 12.7%	1,169 56.9%	407 19.8%	216 10.5%
	要支援	270 100.0%	67 24.8%	172 63.7%	23 8.5%	8 3.0%
	要介護 1・2	694 100.0%	131 18.9%	409 58.9%	129 18.6%	25 3.6%
	要介護 3～5	950 100.0%	63 6.6%	588 61.9%	255 26.8%	44 4.6%

図表 2-3-28 最初の状態別 要介護度の変化（7月利用開始者）

		合計	向上	変化なし	低下	無回答
通所リハ	全体	635 100.0%	18 2.8%	561 88.3%	26 4.1%	30 4.7%
	要支援	165 100.0%	6 3.6%	155 93.9%	1 0.6%	3 1.8%
	要介護 1・2	262 100.0%	7 2.7%	235 89.7%	18 6.9%	2 0.8%
	要介護 3～5	198 100.0%	5 2.5%	171 86.4%	7 3.5%	15 7.6%
訪問リハ	全体	638 100.0%	17 2.7%	565 88.6%	33 5.2%	23 3.6%
	要支援	124 100.0%	8 6.5%	110 88.7%	5 4.0%	1 0.8%
	要介護 1・2	246 100.0%	6 2.4%	226 91.9%	11 4.5%	3 1.2%
	要介護 3～5	254 100.0%	3 1.2%	229 90.2%	17 6.7%	5 2.0%
訪問看護	全体	323 100.0%	5 1.5%	269 83.3%	20 6.2%	29 9.0%
	要支援	68 100.0%	2 2.9%	63 92.6%	1 1.5%	2 2.9%
	要介護 1・2	112 100.0%	2 1.8%	103 92.0%	6 5.4%	1 0.9%
	要介護 3～5	123 100.0%	1 0.8%	103 83.7%	13 10.6%	6 4.9%

④ 障害高齢者の日常生活自立度

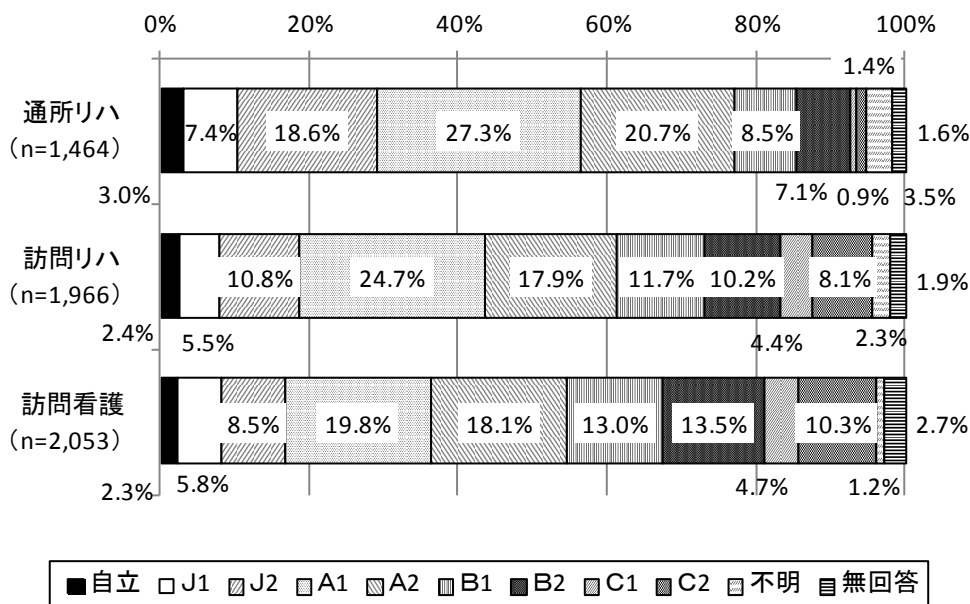
1) 現状

利用者の障害高齢者の日常生活自立度の現状は、「通所リハビリテーション」では「A1」が27.3%、「A2」が20.7%であった。

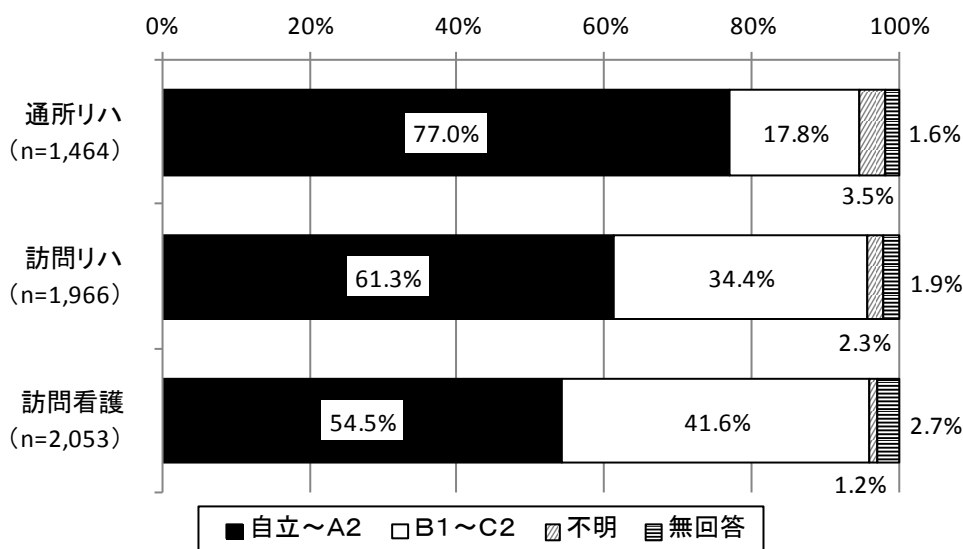
「訪問リハビリテーション」では「A1」が24.7%、「A2」が17.9%であった。

「訪問看護ステーション」では「A1」が19.8%、「A2」が18.1%であった。

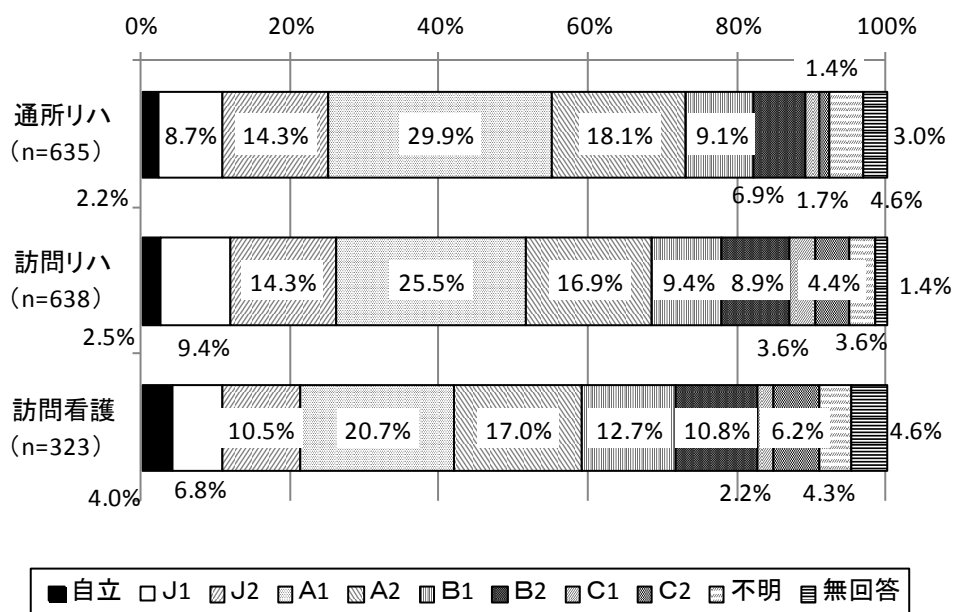
図表 2-3-29 障害高齢者の日常生活自立度（現状）



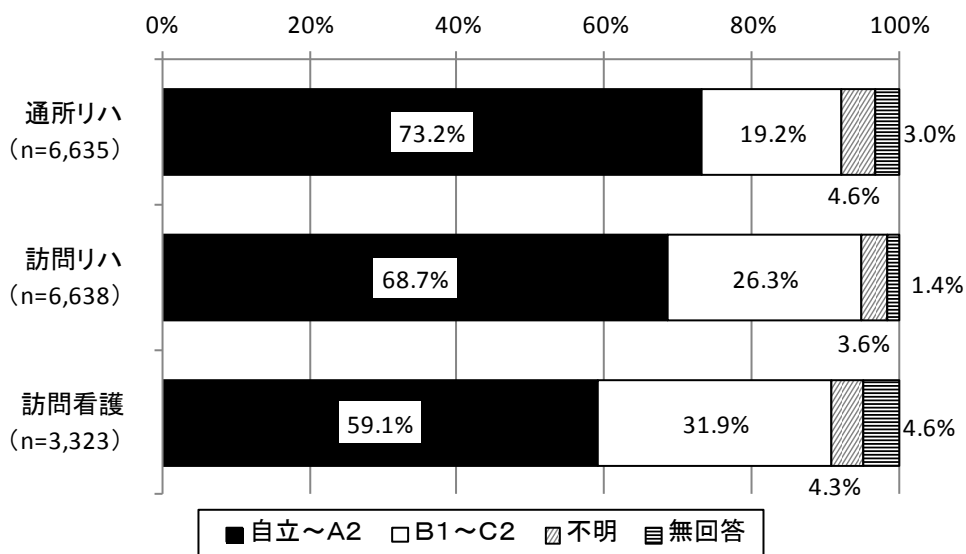
図表 2-3-30 区分別 障害高齢者の日常生活自立度（現状）



図表 2-3-31 障害高齢者の日常生活自立度（現状）（7月利用開始者）



図表 2-3-32 区分別 障害高齢者の日常生活自立度（現状）（7月利用開始者）



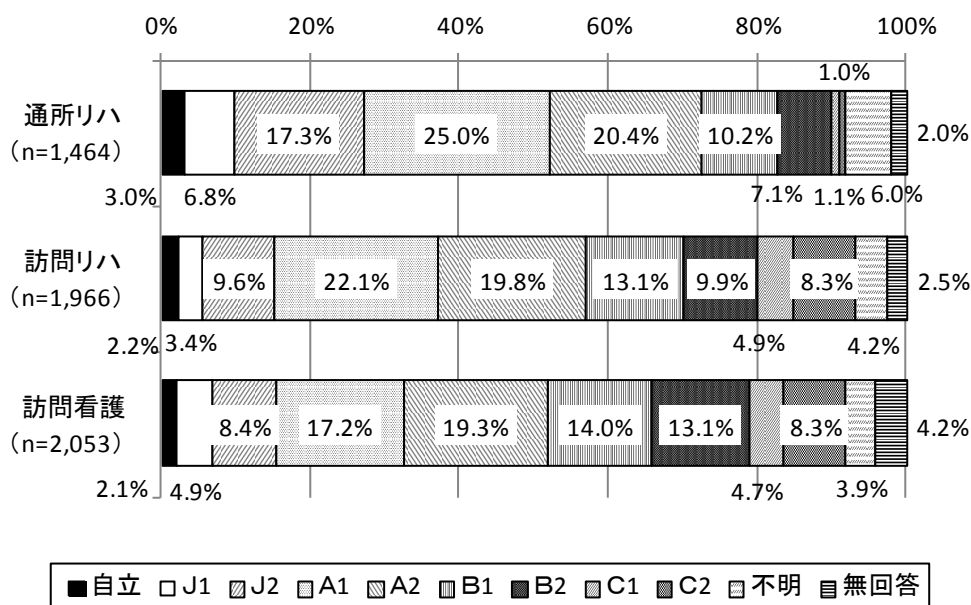
2) 利用開始時

利用者の障害高齢者の日常生活自立度の利用開始時は、「通所リハビリテーション」では「A1」が25.0%、「A2」が20.4%であった。

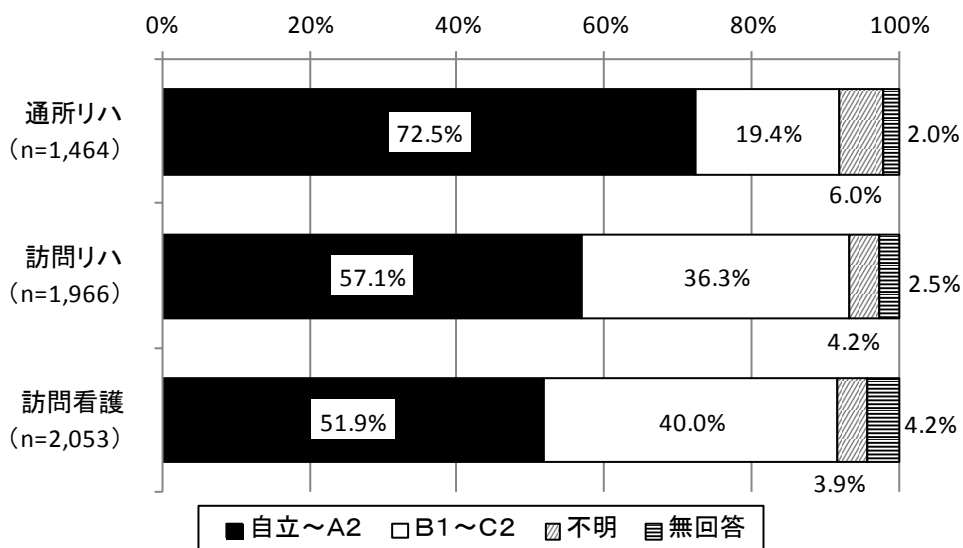
「訪問リハビリテーション」では「A1」が22.1%、「A2」が19.8%であった。

「訪問看護ステーション」では「A1」が17.2%、「A2」が19.3%であった。

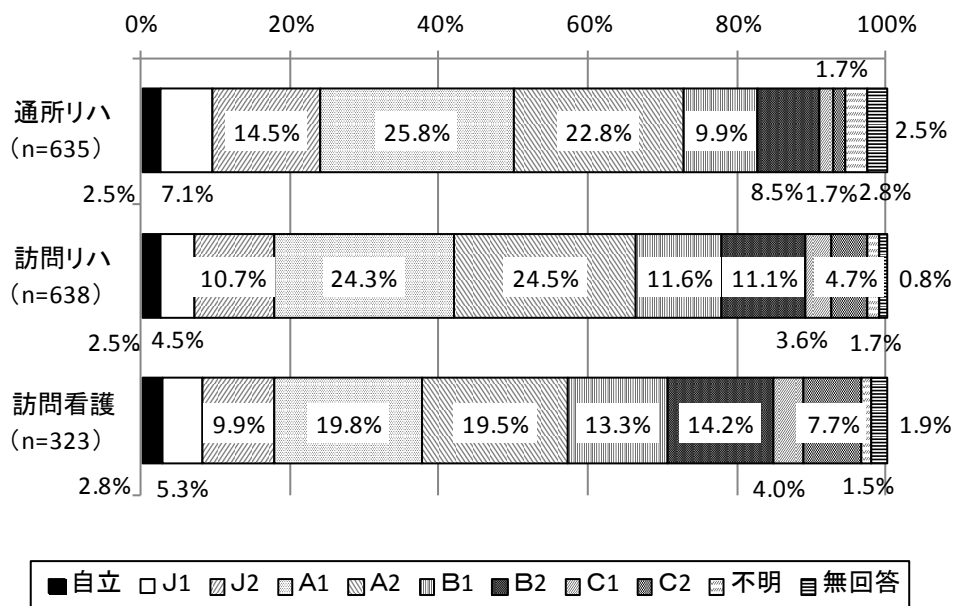
図表 2-3-33 障害高齢者の日常生活自立度（利用開始時）



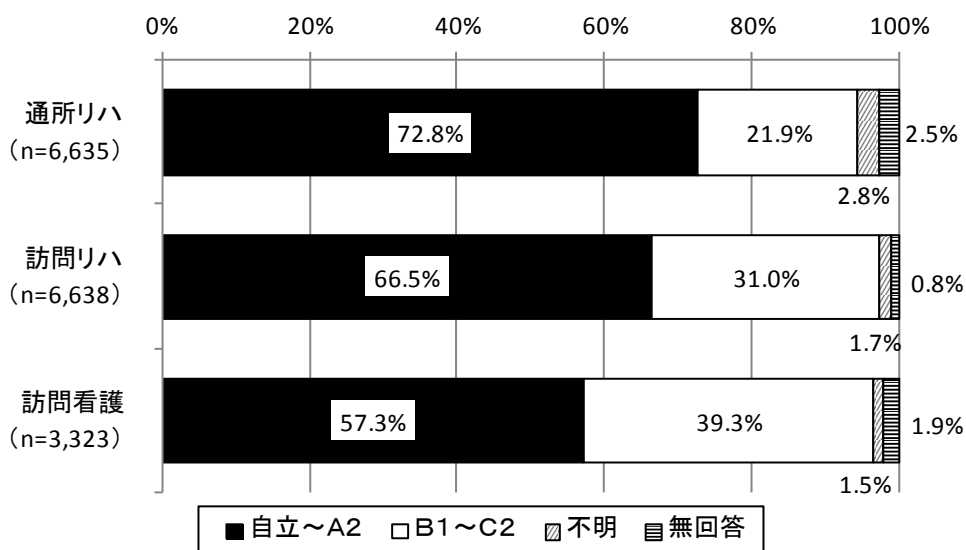
図表 2-3-34 区分別 障害高齢者の日常生活自立度（利用開始時）



図表 2-3-35 障害高齢者の日常生活自立度（利用開始時）（7月利用開始者）



図表 2-3-36 区分別 障害高齢者の日常生活自立度（利用開始時）（7月利用開始者）



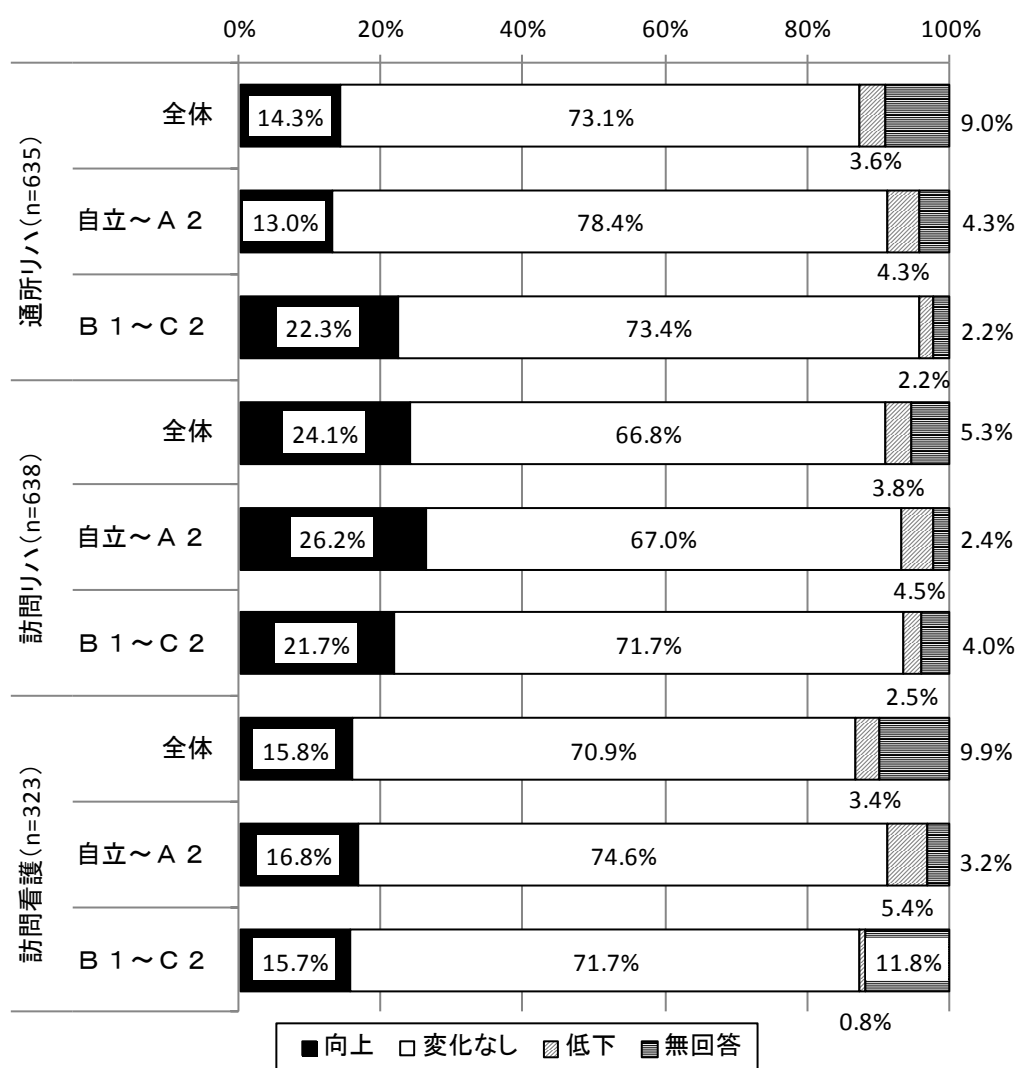
3) 障害高齢者の日常生活の自立度の変化

7月利用開始者について、利用者の障害高齢者の日常生活自立度の変化をみると、「通所リハビリテーション」では「向上」が14.3%、「変化なし」が73.1%、「低下」が3.6%であった。

「訪問リハビリテーション」では「向上」が24.1%、「変化なし」が66.8%、「低下」が3.8%であった。

「訪問看護ステーション」では「向上」が15.8%、「変化なし」が70.9%、「低下」が3.4%であった。

図表 2-3-37 利用開始時の障害高齢者の日常生活自立度別 障害高齢者の日常生活自立度の変化（7月利用開始者）





図表 2-3-38 【通所リハ】利用開始時の日常生活自立度別 障害高齢者の日常生活自立度の変化（7月利用開始者）

	合計	向上	変化なし	低下	無回答
全体	635 100.0%	91 14.3%	464 73.1%	23 3.6%	57 9.0%
自立～準寝たきり	462 100.0%	60 13.0%	362 78.4%	20 4.3%	20 4.3%
寝たきり	139 100.0%	31 22.3%	102 73.4%	3 2.2%	3 2.2%
自立	16 100.0%	0 0.0%	12 75.0%	3 18.8%	1 6.3%
J1	45 100.0%	0 0.0%	41 91.1%	2 4.4%	2 4.4%
J2	92 100.0%	8 8.7%	72 78.3%	9 9.8%	3 3.3%
A1	164 100.0%	15 9.1%	136 82.9%	2 1.2%	11 6.7%
A2	145 100.0%	37 25.5%	101 69.7%	4 2.8%	3 2.1%
B1	63 100.0%	14 22.2%	46 73.0%	2 3.2%	1 1.6%
B2	54 100.0%	13 24.1%	38 70.4%	1 1.9%	2 3.7%
C1	11 100.0%	2 18.2%	9 81.8%	0 0.0%	0 0.0%
C2	11 100.0%	2 18.2%	9 81.8%	0 0.0%	0 0.0%

2 利用者の基本情報

図表 2-3-39 【訪問リハ】利用開始時の日常生活自立度別 障害高齢者の日常生活自立度の変化（7月利用開始者）

	合計	向上	変化なし	低下	無回答
全体	638 100.0%	154 24.1%	426 66.8%	24 3.8%	34 5.3%
自立～準寝たきり	424 100.0%	111 26.2%	284 67.0%	19 4.5%	10 2.4%
寝たきり	198 100.0%	43 21.7%	142 71.7%	5 2.5%	8 4.0%
自立	16 100.0%	0 0.0%	13 81.3%	3 18.8%	0 0.0%
J1	29 100.0%	1 3.4%	28 96.6%	0 0.0%	0 0.0%
J2	68 100.0%	13 19.1%	51 75.0%	4 5.9%	0 0.0%
A1	155 100.0%	40 25.8%	104 67.1%	5 3.2%	6 3.9%
A2	156 100.0%	57 36.5%	88 56.4%	7 4.5%	4 2.6%
B1	74 100.0%	20 27.0%	51 68.9%	1 1.4%	2 2.7%
B2	71 100.0%	15 21.1%	50 70.4%	3 4.2%	3 4.2%
C1	23 100.0%	2 8.7%	17 73.9%	1 4.3%	3 13.0%
C2	30 100.0%	6 20.0%	24 80.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 2-3-40 【訪問看護】利用開始時の日常生活自立度別 障害高齢者の日常生活自立度の変化（7月利用開始者）

	合計	向上	変化なし	低下	無回答
全体	323 100.0%	51 15.8%	229 70.9%	11 3.4%	32 9.9%
自立～準寝たきり	185 100.0%	31 16.8%	138 74.6%	10 5.4%	6 3.2%
寝たきり	127 100.0%	20 15.7%	91 71.7%	1 0.8%	15 11.8%
自立	9 100.0%	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
J1	17 100.0%	2 11.8%	12 70.6%	2 11.8%	1 5.9%
J2	32 100.0%	6 18.8%	23 71.9%	3 9.4%	0 0.0%
A1	64 100.0%	11 17.2%	48 75.0%	3 4.7%	2 3.1%
A2	63 100.0%	12 19.0%	46 73.0%	2 3.2%	3 4.8%
B1	43 100.0%	4 9.3%	35 81.4%	0 0.0%	4 9.3%
B2	46 100.0%	9 19.6%	32 69.6%	0 0.0%	5 10.9%
C1	13 100.0%	4 30.8%	5 38.5%	1 7.7%	3 23.1%
C2	25 100.0%	3 12.0%	19 76.0%	0 0.0%	3 12.0%

図表 2-3-41 【通所リハ】リハビリが必要となった傷病名別

障害高齢者の日常生活自立度の変化（7月利用開始者）

	全体	向上	変化なし	低下	無回答
合計	635 100.0%	91 14.3%	464 73.1%	23 3.6%	57 9.0%
高血圧	109 100.0%	19 17.4%	79 72.5%	3 2.8%	8 7.3%
脳卒中	209 100.0%	36 17.2%	147 70.3%	5 2.4%	21 10.0%
心不全	62 100.0%	13 21.0%	40 64.5%	5 8.1%	4 6.5%
糖尿病	64 100.0%	11 17.2%	44 68.8%	3 4.7%	6 9.4%
呼吸不全	7 100.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
脊椎・脊髄障害	83 100.0%	14 16.9%	64 77.1%	2 2.4%	3 3.6%
腎不全	13 100.0%	2 15.4%	10 76.9%	0 0.0%	1 7.7%
関節リウマチ	12 100.0%	2 16.7%	8 66.7%	0 0.0%	2 16.7%
関節症・骨粗鬆症	114 100.0%	15 13.2%	90 78.9%	0 0.0%	9 7.9%
進行性の神経筋疾患	10 100.0%	1 10.0%	5 50.0%	2 20.0%	2 20.0%
悪性新生物	26 100.0%	2 7.7%	20 76.9%	1 3.8%	3 11.5%
うつ病	18 100.0%	1 5.6%	16 88.9%	1 5.6%	0 0.0%
認知症	105 100.0%	11 10.5%	83 79.0%	5 4.8%	6 5.7%
パーキンソン病	34 100.0%	4 11.8%	25 73.5%	2 5.9%	3 8.8%
廃用症候群	65 100.0%	7 10.8%	47 72.3%	2 3.1%	9 13.8%
肺炎	20 100.0%	4 20.0%	13 65.0%	0 0.0%	3 15.0%
骨折	161 100.0%	28 17.4%	113 70.2%	8 5.0%	12 7.5%

図表 2-3-42 【訪問リハ】リハビリが必要となった傷病名別  
障害高齢者の日常生活自立度の変化（7月利用開始者）

	全体	向上	変化なし	低下	無回答
合計	638 100.0%	154 24.1%	426 66.8%	24 3.8%	34 5.3%
高血圧	75 100.0%	16 21.3%	51 68.0%	2 2.7%	6 8.0%
脳卒中	199 100.0%	41 20.6%	145 72.9%	3 1.5%	10 5.0%
心不全	57 100.0%	15 26.3%	36 63.2%	4 7.0%	2 3.5%
糖尿病	33 100.0%	7 21.2%	24 72.7%	1 3.0%	1 3.0%
呼吸不全	24 100.0%	5 20.8%	17 70.8%	0 0.0%	2 8.3%
脊椎・脊髄障害	88 100.0%	26 29.5%	52 59.1%	2 2.3%	8 9.1%
腎不全	26 100.0%	4 15.4%	20 76.9%	2 7.7%	0 0.0%
関節リウマチ	16 100.0%	4 25.0%	10 62.5%	1 6.3%	1 6.3%
関節症・骨粗鬆症	88 100.0%	17 19.3%	63 71.6%	3 3.4%	5 5.7%
進行性の神経筋疾患	15 100.0%	0 0.0%	14 93.3%	1 6.7%	0 0.0%
悪性新生物	25 100.0%	6 24.0%	12 48.0%	5 20.0%	2 8.0%
うつ病	14 100.0%	3 21.4%	10 71.4%	0 0.0%	1 7.1%
認知症	68 100.0%	11 16.2%	51 75.0%	3 4.4%	3 4.4%
パーキンソン病	37 100.0%	9 24.3%	25 67.6%	3 8.1%	0 0.0%
廃用症候群	155 100.0%	34 21.9%	102 65.8%	6 3.9%	13 8.4%
肺炎	25 100.0%	3 12.0%	22 88.0%	0 0.0%	0 0.0%
骨折	172 100.0%	58 33.7%	99 57.6%	3 1.7%	12 7.0%

図表 2-3-43 【訪問看護】リハビリが必要となった傷病名別

障害高齢者の日常生活自立度の変化（7月利用開始者）

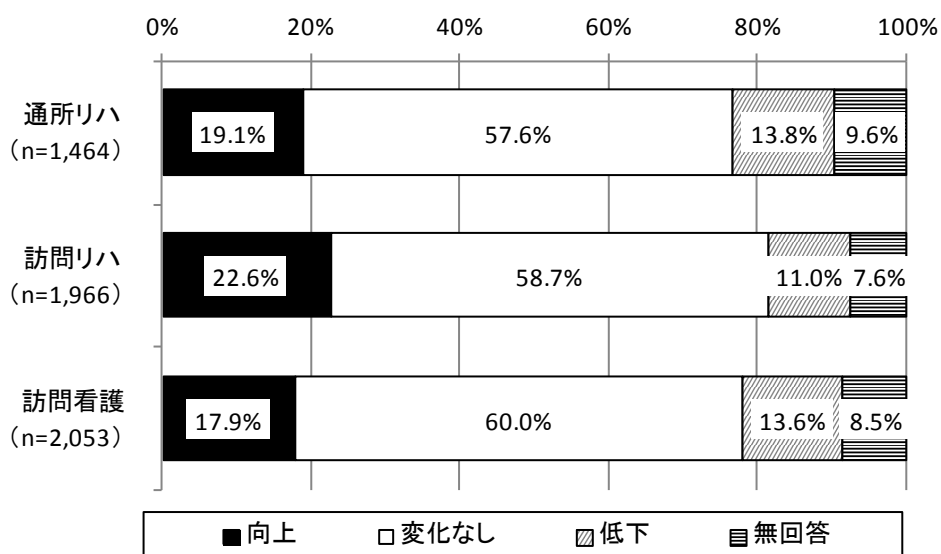
	全体	向上	変化なし	低下	無回答
合計	323 100.0%	51 15.8%	229 70.9%	11 3.4%	32 9.9%
高血圧	51 100.0%	10 19.6%	35 68.6%	0 0.0%	6 11.8%
脳卒中	85 100.0%	10 11.8%	67 78.8%	2 2.4%	6 7.1%
心不全	22 100.0%	5 22.7%	14 63.6%	0 0.0%	3 13.6%
糖尿病	25 100.0%	4 16.0%	16 64.0%	0 0.0%	5 20.0%
呼吸不全	15 100.0%	1 6.7%	9 60.0%	1 6.7%	4 26.7%
脊椎・脊髄障害	46 100.0%	10 21.7%	34 73.9%	1 2.2%	1 2.2%
腎不全	14 100.0%	0 0.0%	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
関節リウマチ	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%
関節症・骨粗鬆症	56 100.0%	14 25.0%	38 67.9%	1 1.8%	3 5.4%
進行性の神経筋疾患	17 100.0%	2 11.8%	13 76.5%	1 5.9%	1 5.9%
悪性新生物	20 100.0%	4 20.0%	10 50.0%	3 15.0%	3 15.0%
うつ病	7 100.0%	1 14.3%	6 85.7%	0 0.0%	0 0.0%
認知症	34 100.0%	3 8.8%	26 76.5%	1 2.9%	4 11.8%
パーキンソン病	18 100.0%	2 11.1%	14 77.8%	0 0.0%	2 11.1%
廃用症候群	55 100.0%	11 20.0%	38 69.1%	2 3.6%	4 7.3%
肺炎	12 100.0%	1 8.3%	8 66.7%	0 0.0%	3 25.0%
骨折	60 100.0%	12 20.0%	41 68.3%	2 3.3%	5 8.3%

図表 2-3-44 【通所リハ】提供時間別 障害高齢者の日常生活自立度の変化  
(7月利用開始者)

	全体	向上	変化なし	低下	無回答
合計	635 100.0%	91 14.3%	464 73.1%	23 3.6%	57 9.0%
短時間利用有	144 100.0%	24 16.7%	106 73.6%	5 3.5%	9 6.3%
短時間利用無	321 100.0%	52 16.2%	236 73.5%	9 2.8%	24 7.5%
無回答	170 100.0%	15 8.8%	122 71.8%	9 5.3%	24 14.1%

注) 短時間利用有は、「1時間以上2時間未満」「2時間以上3時間未満」「3時間以上4時間未満」の利用が1回以上あった場合。

図表 2-3-45 障害高齢者の日常生活自立度の変化



図表 2-3-46 利用開始時の日常生活自立度別 障害高齢者の日常生活自立度の変化

		合計	向上	変化なし	低下	無回答
通所リハ	全体	1,464 100.0%	279 19.1%	843 57.6%	202 13.8%	140 9.6%
	自立～A2	1,062 100.0%	177 16.7%	684 64.4%	183 17.2%	18 1.7%
	B1～C2	713 100.0%	213 29.9%	433 60.7%	55 7.7%	12 1.7%
訪問リハ	全体	1,966 100.0%	445 19.1%	1,155 57.6%	217 13.8%	149 9.6%
	自立～A2	1,122 100.0%	232 20.7%	722 64.3%	162 14.4%	6 0.5%
	B1～C2	713 100.0%	213 29.9%	433 60.7%	55 7.7%	12 1.7%
訪問看護	全体	2,053 100.0%	261 19.1%	1,169 57.6%	407 13.8%	216 9.6%
	自立～A2	1,065 100.0%	145 13.6%	587 55.1%	242 22.7%	91 8.5%
	B1～C2	822 100.0%	103 12.5%	523 63.6%	132 16.1%	64 7.8%



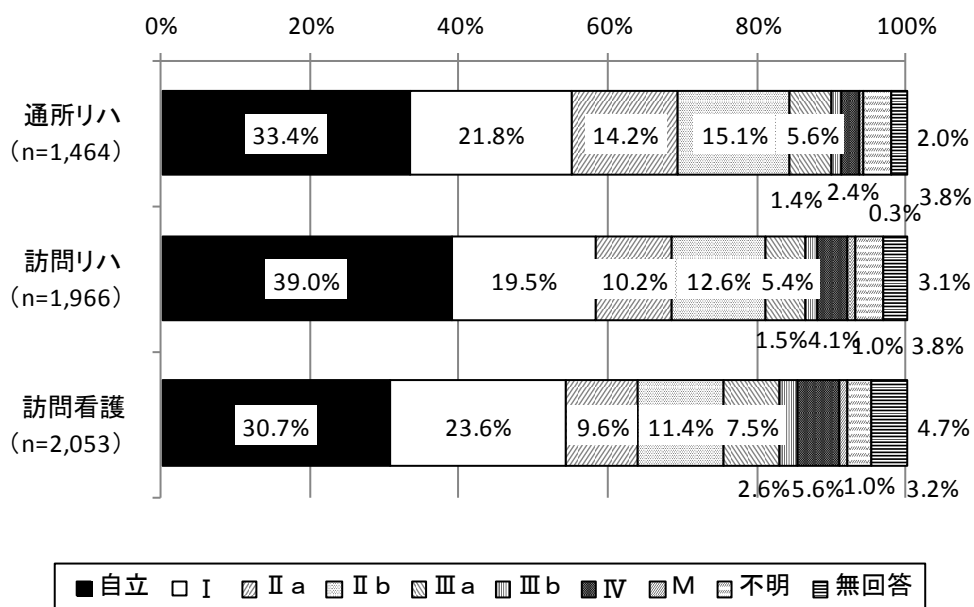
⑤ 認知症高齢者の日常生活自立度（現状）

認知症高齢者の日常生活自立度の現状は、「通所リハ」では、「自立」が 33.4%、「I」が 21.8%であった。

「訪問リハビリテーション」では、「自立」が 39.0%、「I」が 19.5%であった。

「訪問看護ステーション」では、「自立」が 30.7%、「I」が 23.6%であった。

図表 2-3 -47 認知症高齢者の日常生活自立度（現状）



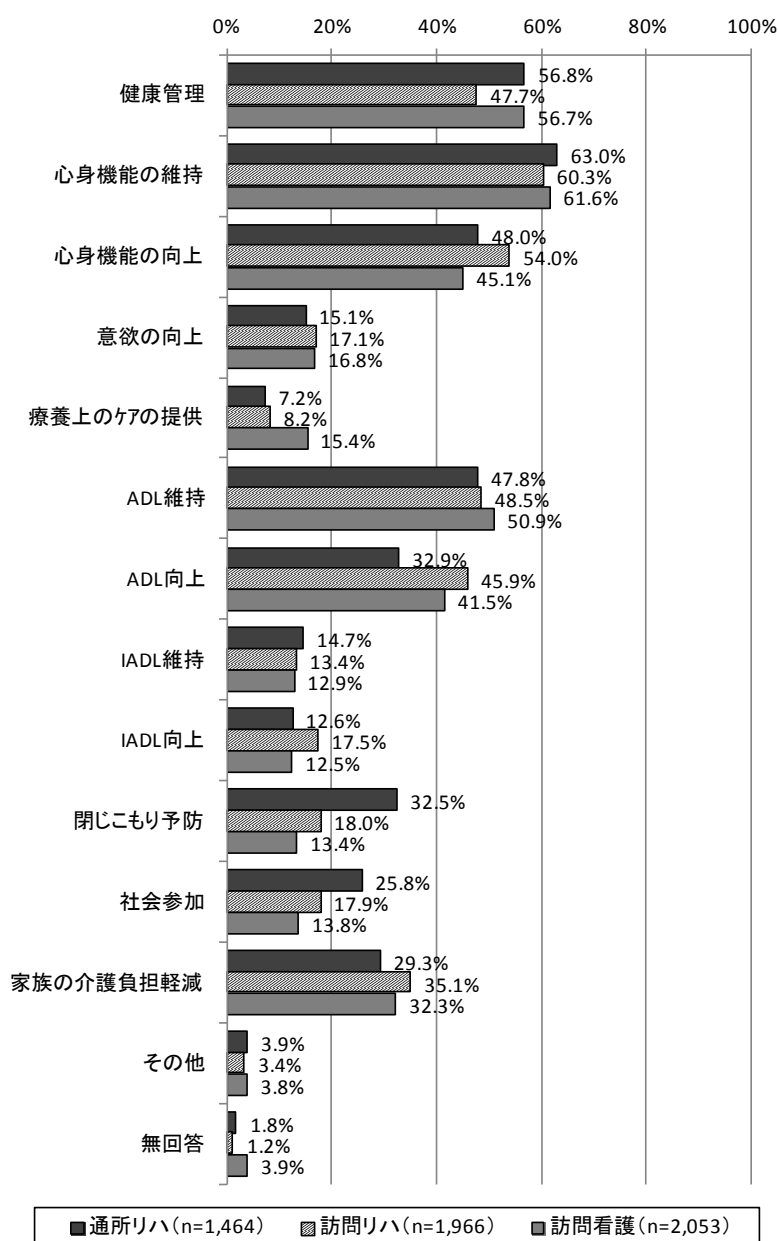
⑥ 居宅サービス計画の目標

居宅サービス計画の目標は、「通所リハビリテーション」では「心身機能の維持」が63.0%、「健康管理」が56.8%であった。

「訪問リハビリテーション」では、「心身機能の維持」が60.3%、「心身機能の向上」が54.0%であった。

「訪問看護ステーション」では、「心身機能の維持」が61.6%、「健康管理」が56.7%、「ADL維持」が50.9%であった。

図表 2-3-48 居宅サービス計画の目標（複数回答）



※「その他」の内容はそれぞれ以下の通り。

通所リハ：「入浴」「清潔保持」「環境整備」など

訪問リハ：「転倒防止」「コミュニケーション能力向上」「疼痛緩和」「環境整備」など

訪問看護：「転倒予防」「清潔保持」「療養相談」「コミュニケーション」「環境整備」など

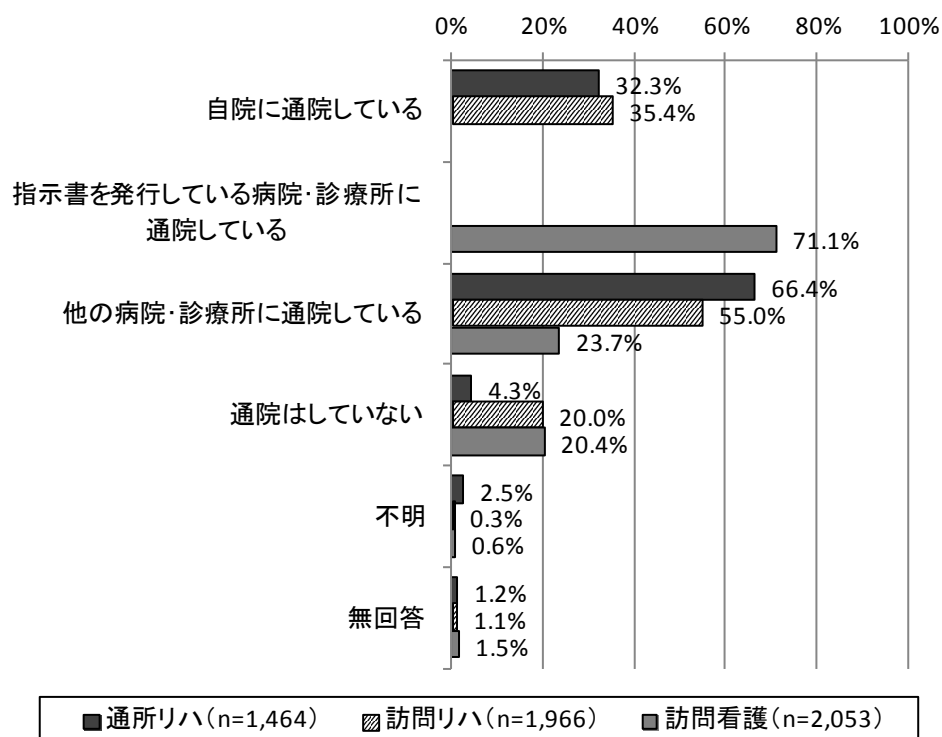
### (3) 医療・介護サービスの利用状況等

#### ① 通院の有無

通院の有無は、「他の病院・診療所に通院している」が「通所リハビリテーション」では 66.4%、「訪問リハビリテーション」では 55.0%、「訪問看護ステーション」では 23.7%であった。

「訪問看護ステーション」では「指示書を発行している病院・診療所に通院している」が 71.1%であった。

図表 2-3-49 通院の有無（複数回答）

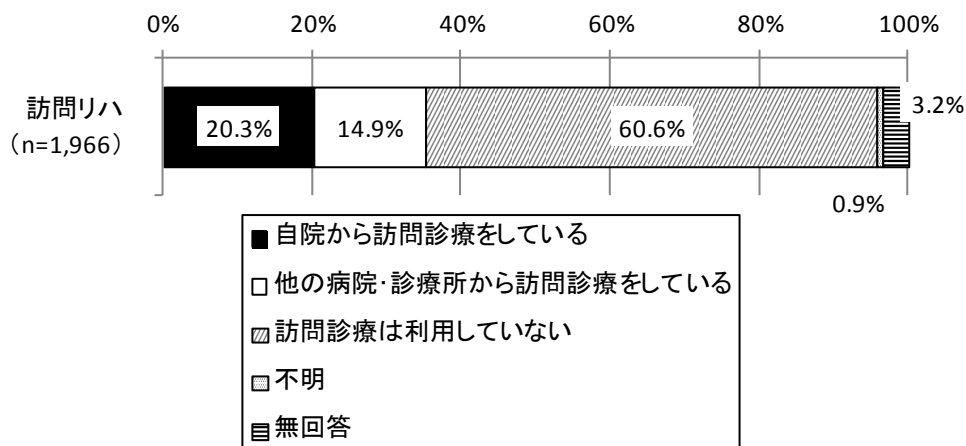


注) 「自院に通院している」は通所リハビリテーション票、訪問リハビリテーション票のみ。  
「指示書を発行している病院・診療所に通院している」は訪問看護ステーション票のみ

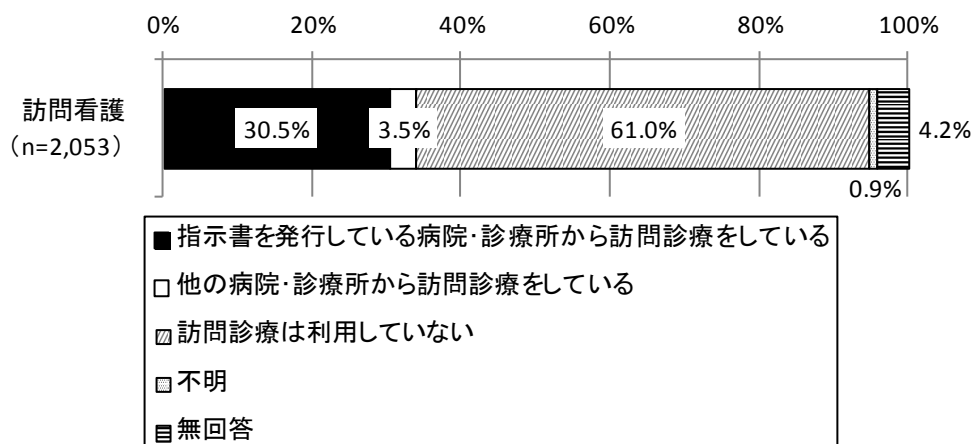
② 【訪問リハ・訪問看護】訪問診療の有無

訪問診療の有無は、「訪問診療は利用していない」が「訪問リハビリテーション」で60.6%、「訪問看護ステーション」で61.0%であった。

図表 2-3-50 【訪問リハ】訪問診療の有無



図表 2-3-51 【訪問看護】訪問診療の有無



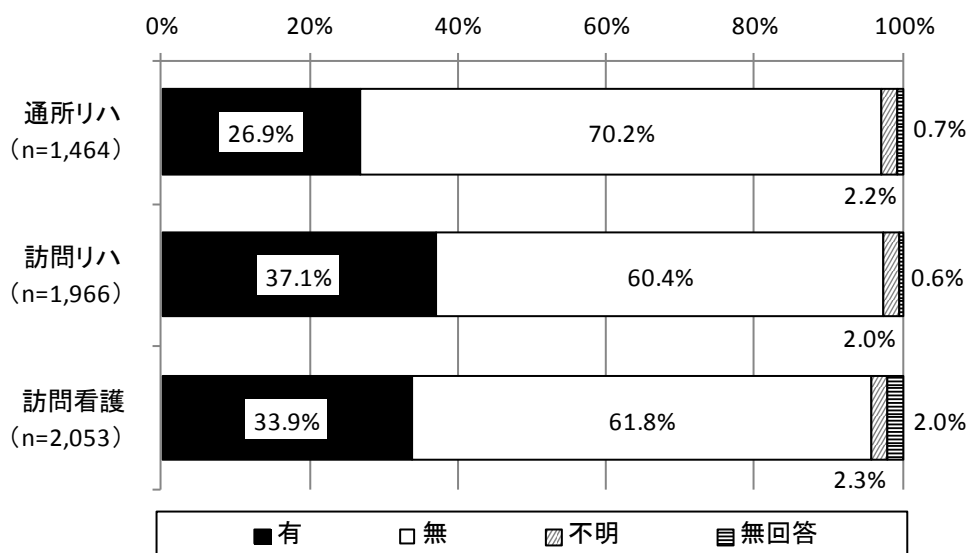
③ 過去1年以内の入院の有無

過去1年以内の入院有無は、「通所リハビリテーション」では「有」が26.9%、「無」が70.2%であった。

「訪問リハビリテーション」では「有」が37.1%、「無」が60.4%であった。

「訪問看護ステーション」では「有」が33.9%、「無」が61.8%であった。

図表 2-3-52 過去1年以内の入院の有無



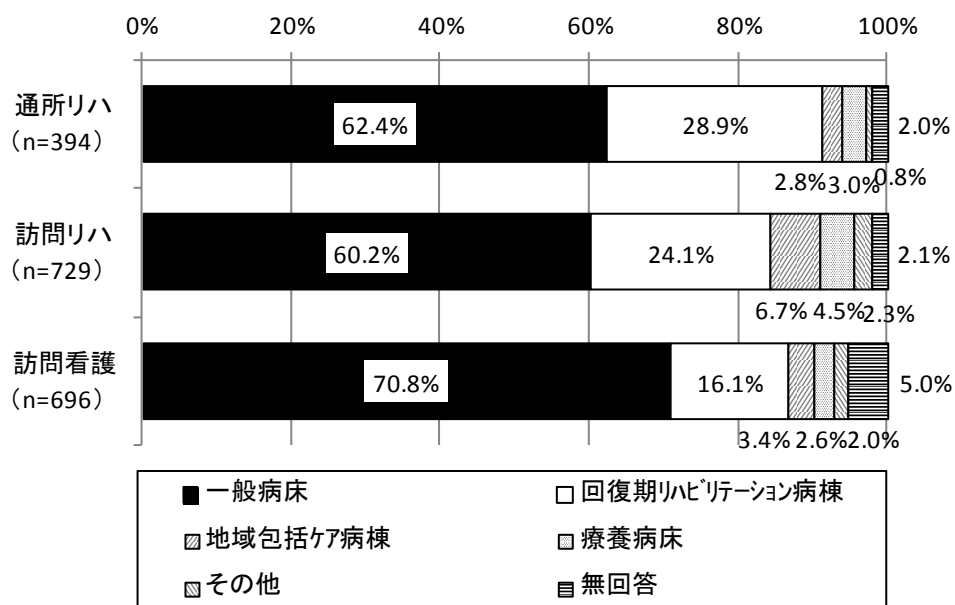
【有の場合：直近の入院病床】

過去1年以内の入院が有る場合の直近の入院病床は、「通所リハビリテーション」では「一般病床」が62.4%、「回復期リハビリテーション病棟」が28.9%であった。

「訪問リハビリテーション」では「一般病床」が60.2%、「回復期リハビリテーション病棟」が24.1%であった。

「訪問看護ステーション」では「一般病床」が70.8%、「回復期リハビリテーション病棟」が16.1%であった。

図表 2-3-53 直近の入院病床



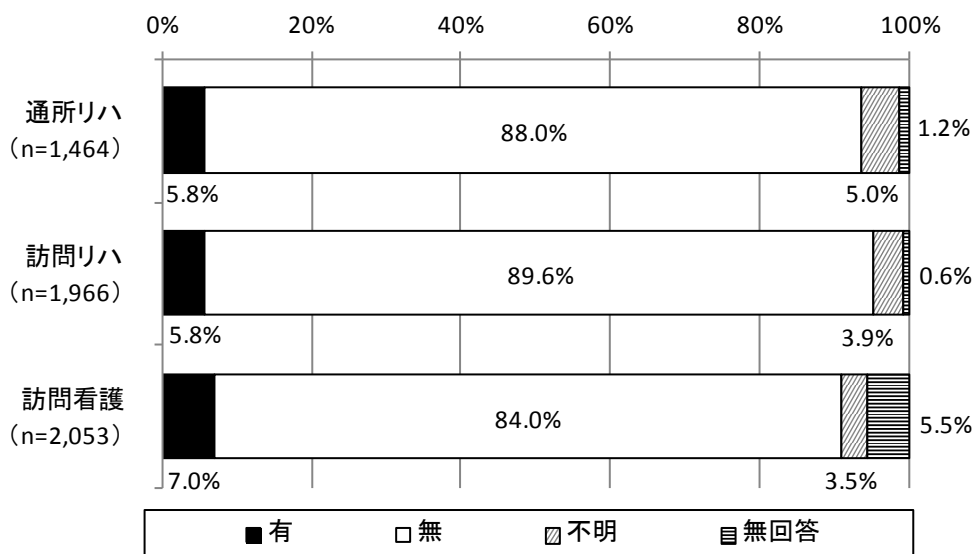
④ 過去1年以内の外来でのリハビリテーションの有無

過去1年以内の外来でのリハビリテーションの有無は、「通所リハビリテーション」では「有」が5.8%、「無」が88.0%であった。

「訪問リハビリテーション」では「有」が5.8%、「無」が89.6%であった。

「訪問看護ステーション」では「有」が7.0%、「無」が84.0%であった。

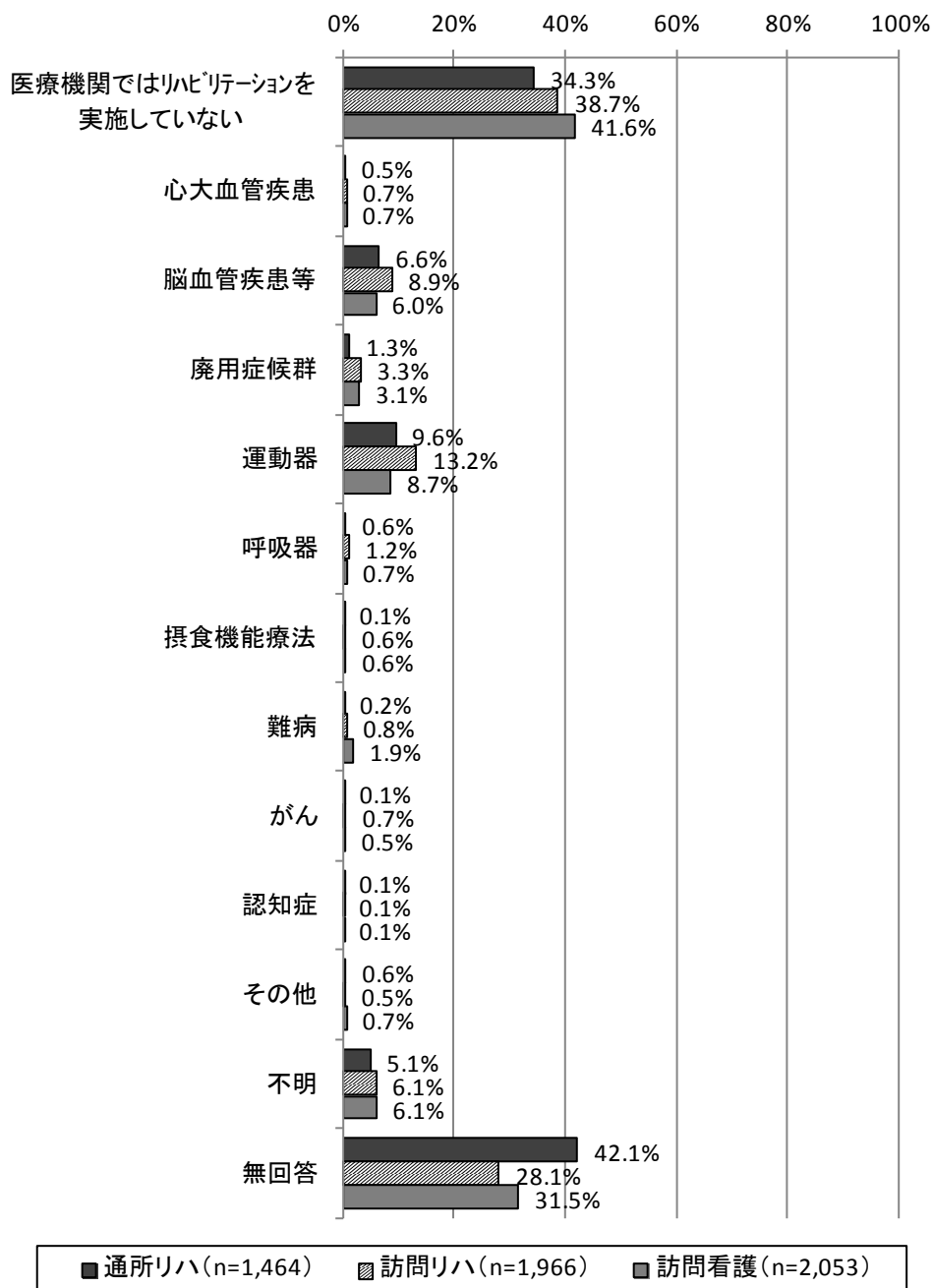
図表 2-3-54 過去1年以内の外来でのリハビリテーションの有無



⑤ 過去1年以内に医療機関で実施したリハの種類

過去1年以内に医療機関で実施したリハの種類は、「医療機関ではリハビリテーションを実施していない」が「通所リハビリテーション」では34.3%、「訪問リハビリテーション」で38.7%、「訪問看護ステーション」で41.6%であった。

図表 2-3-55 過去1年以内に医療機関で実施したリハの種類（複数回答）

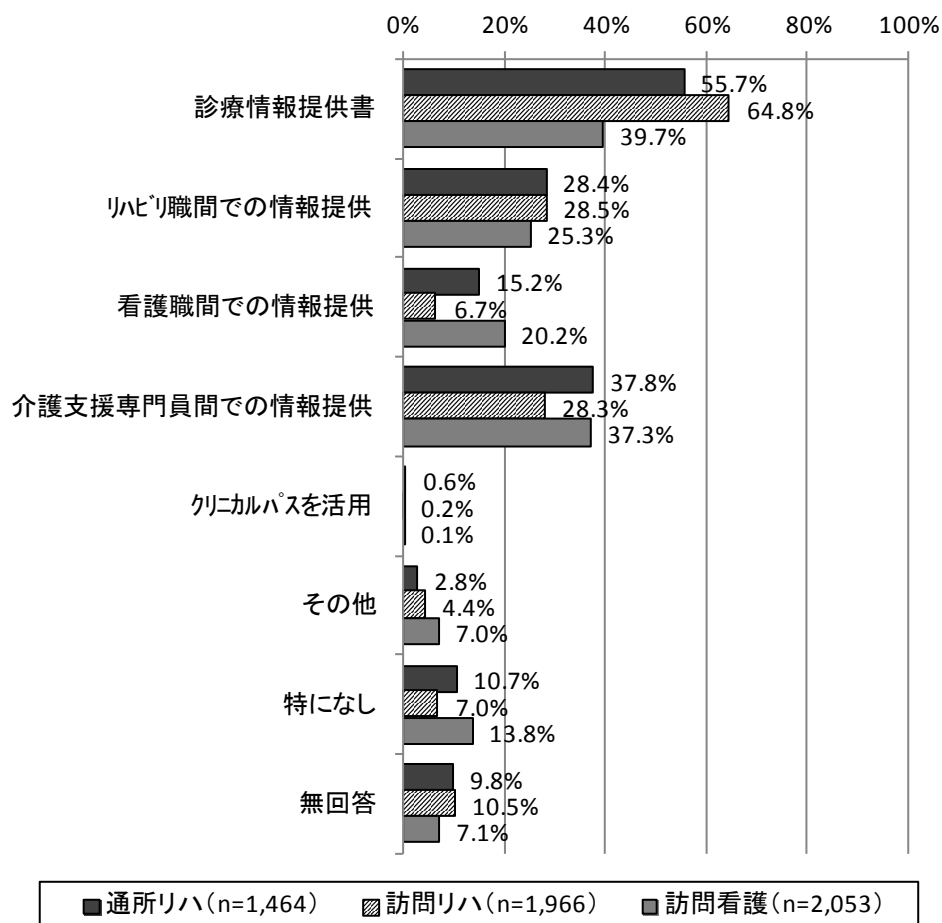




⑥ 医療機関からの情報提供

医療機関からの情報提供は、「診療情報提供書」が「通所リハビリテーション」では55.7%、「訪問リハビリテーション」では64.8%、「訪問看護ステーション」では39.7%であった。

図表 2-3 -56 医療機関からの情報提供（複数回答）



※「その他」の内容はそれぞれ以下の通り。  
 通所リハ：「カルテ」「診断書」「カンファレンス」など  
 訪問リハ：「カンファレンス」「カルテ」など  
 訪問看護：「カンファレンス」「主治医との面談」「サマリー」など

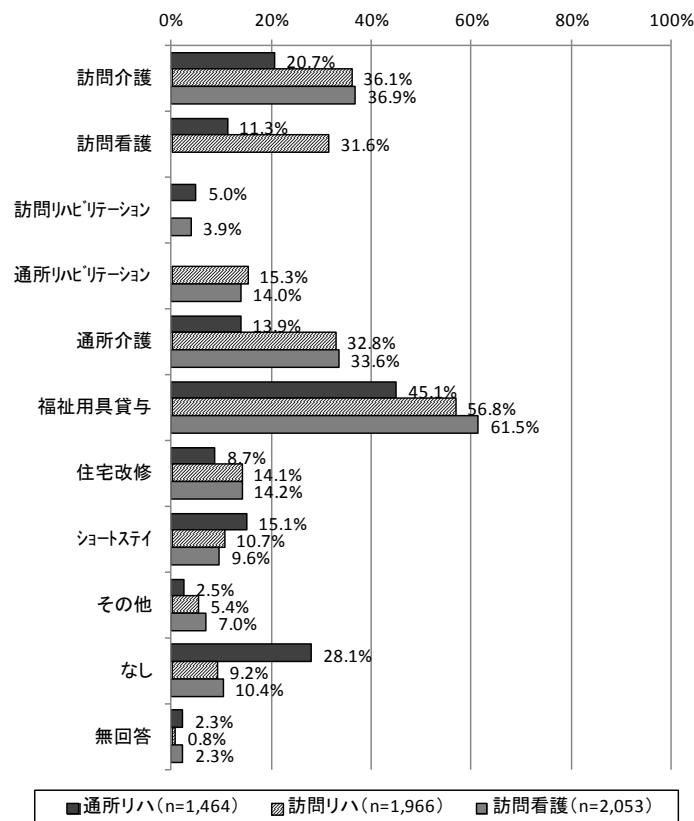
⑦ 他に利用している介護保険サービス

通所リハの利用者で、訪問リハも利用している割合は 5.0%であった。

訪問リハの利用者で、訪問看護の利用率は 31.6%、通所リハは 15.3%、通所介護は 32.8%であった。

訪問看護の利用者で、通所リハの利用率は 14.0%、通所介護は 33.6%であった。

図表 2-3-57 他に利用している介護保険サービス（複数回答）



	合計	訪問介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所リハビリテーション	通所介護	福祉用具貸与
通所リハ	1,464 100.0%	303 20.7%	165 11.3%	73 5.0%		204 13.9%	660 45.1%
訪問リハ	638 100.0%	224 35.1%	178 27.9%		104 16.3%	183 28.7%	356 55.8%
訪問看護	2,053 100.0%	758 36.9%		80 3.9%	287 14.0%	689 33.6%	1,262 61.5%

	合計	住宅改修	ショートステイ	その他	なし	無回答
通所リハ	1,464 100.0%	128 8.7%	221 15.1%	36 2.5%	398 27.2%	33 2.3%
訪問リハ	638 100.0%	74 11.6%	43 6.7%	21 3.3%	84 13.2%	4 0.6%
訪問看護	2,053 100.0%	291 14.2%	197 9.6%	143 7.0%	214 10.4%	48 2.3%

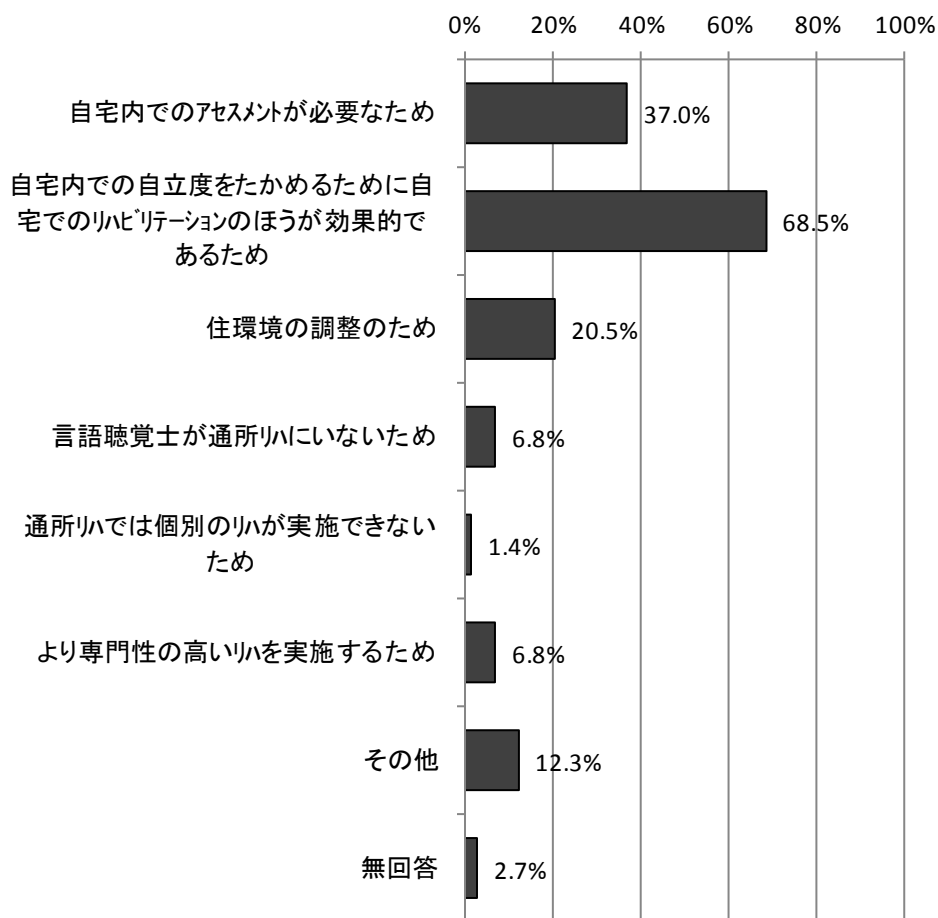
注) 「訪問看護」は通所リハビリテーション票、訪問リハビリテーション票のみ。  
 「訪問リハビリテーション」は通所リハビリテーション票、訪問看護ステーション票のみ。  
 「通所リハビリテーション」は訪問リハビリテーション、訪問看護ステーション票のみ。

⑧ 【通所リハ・訪問看護】訪問リハの利用理由

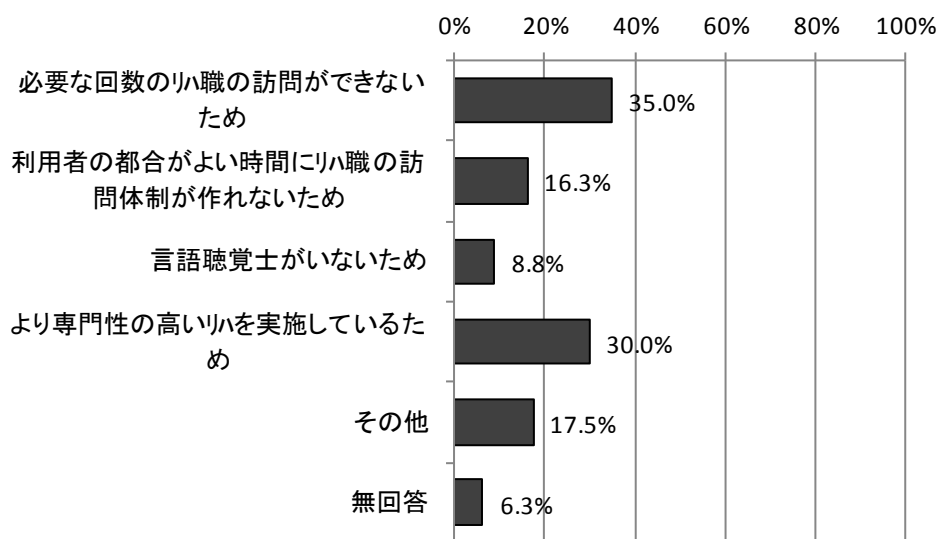
訪問リハビリテーションを利用する理由は、通所リハビリテーションの利用者では、「自宅でのリハビリテーションのほうが効果的であるため」が 68.5%、「自宅内でのアセスメントが必要なため」が 37.0%であった。

訪問看護ステーションでは、「必要回数のリハ職の訪問ができないため」が 35.0%、「より専門性の高いリハを実施しているため」が 30.0%であった。

図表 2-3-58 【通所リハ】訪問リハビリテーションの利用理由（複数回答）（n=73）



図表 2-3-59 【訪問看護】訪問リハビリテーションの利用理由（複数回答）（n=80）



図表 2-3-60 【訪問看護】事業所の配置別 訪問リハビリテーションの利用理由（複数回答）  
(n=80)

	合計	必要な回数のリハ職の訪問ができないため	利用者の都合がよい時間にリハ職の訪問体制が作れないため	言語聴覚士がいないため	より専門性の高いリハを実施しているため	その他	無回答
全体	80 100.0%	28 35.0%	13 16.3%	7 8.8%	24 30.0%	14 17.5%	5 6.3%
看護師多数型	59 100.0%	24 40.7%	10 16.9%	5 8.5%	15 25.4%	12 20.3%	2 3.4%
リハ職多数型	14 100.0%	2 14.3%	2 14.3%	2 14.3%	6 42.9%	2 14.3%	1 7.1%
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%
うち、リハ職が看護職の2倍以上	8 100.0%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%

注) 「うち、リハ職が看護職の2倍未満の事業所」「うち、リハ職が看護職の2倍以上の事業所」は回答事業所がそれぞれ6か所、8か所であり、結果については注意が必要である。

⑨ 【通所リハ・訪問リハ】訪問看護ステーションからの理学療法士等訪問の有無

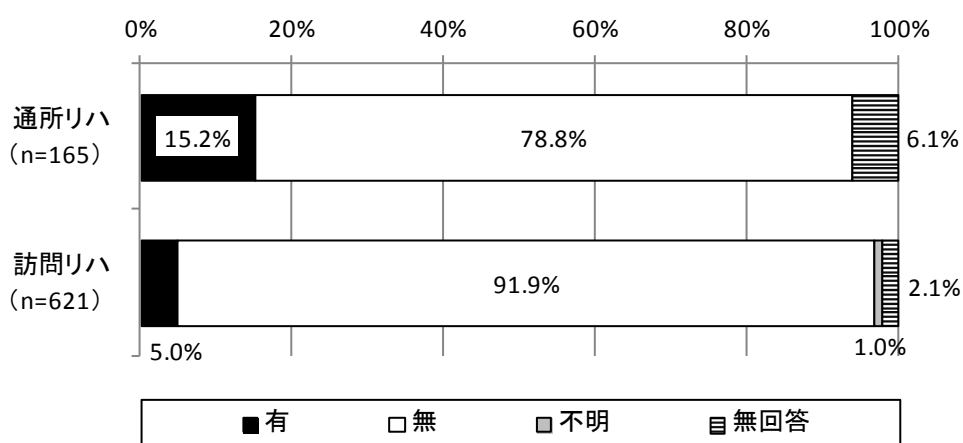
訪問看護ステーションからの理学療法士等訪問の有無は、「通所リハビリテーション」では「有」が15.2%、「無」が78.8%であった。

「訪問リハビリテーション」では「有」が5.0%、「無」が91.9%であった。

訪問看護ステーションからの理学療法士等の訪問が有る場合の理由は、「通所リハビリテーション」では、「自宅内での自立度を高めるために自宅でのリハビリテーションの方が効果的であるため」が72.0%であった。

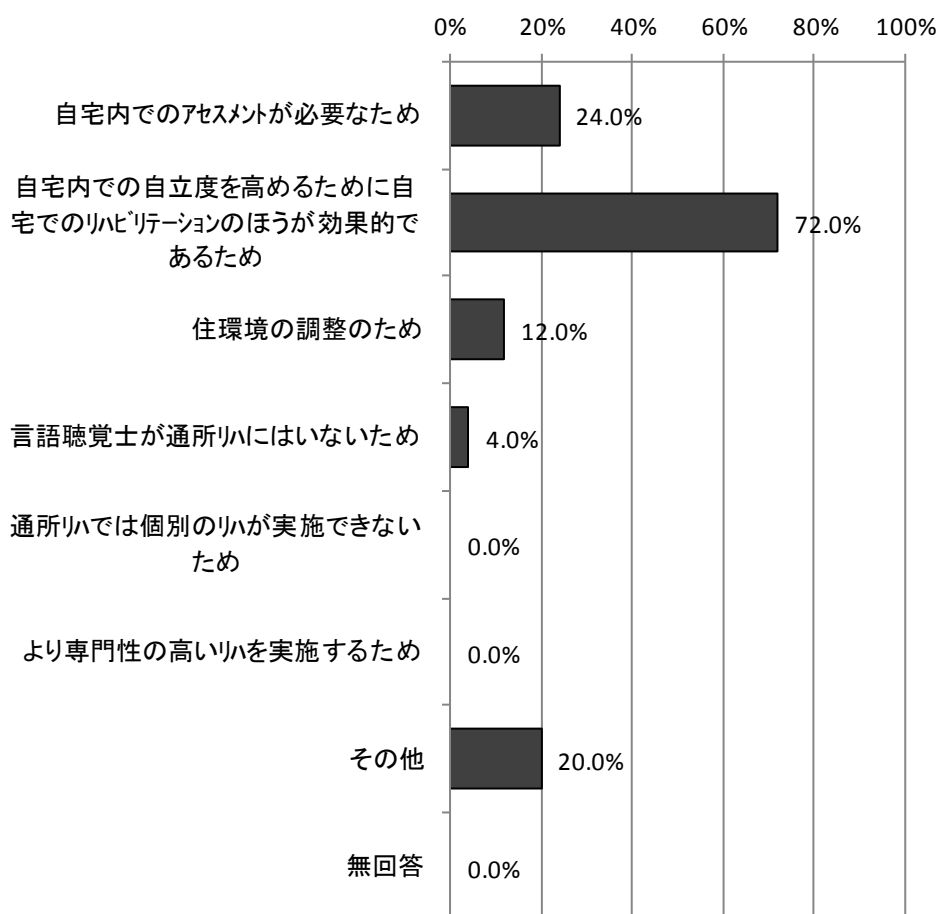
「訪問リハビリテーション」では、「必要な回数のリハ職の訪問ができないため」が35.5%であった。

図表 2-3-61 【通所リハ・訪問リハ】訪問看護ステーションからの理学療法士等訪問の有無

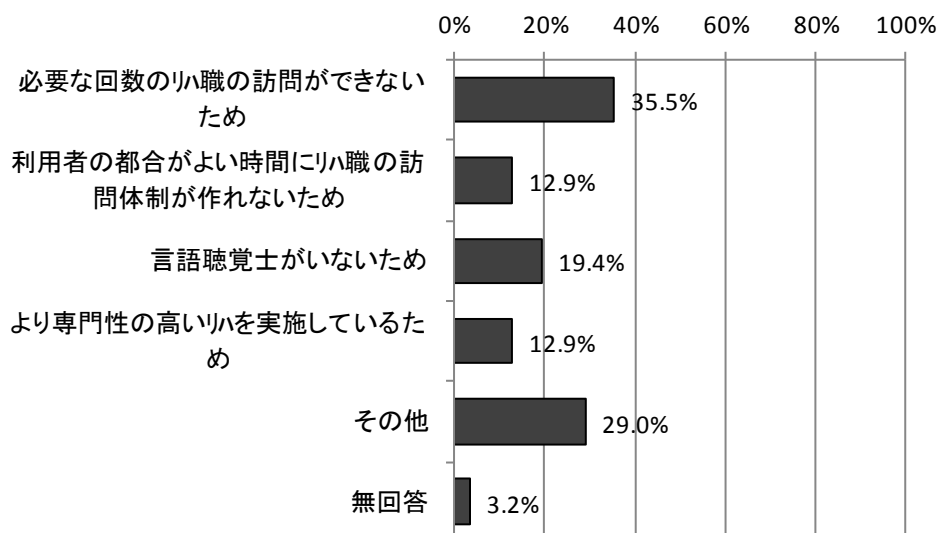


注) 「不明」は訪問看護ステーション票のみ。

図表 2-3-62 【通所リハ】有の場合：理由（複数回答）（n=25）



図表 2-3-63 【訪問リハ】有の場合：理由（複数回答）（n=31）

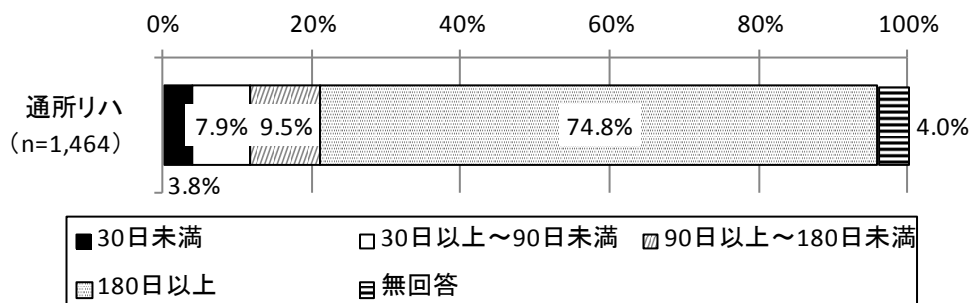


### 3. 通所リハビリテーションの利用状況

#### ① 利用期間

利用期間は、「180日以上」が74.8%であった。

図表 2-3-64 利用期間



単位：日

	件数	平均	標準偏差	中央値
利用期間	1,405	1,065.7	1,144.9	693.0

図表 2-3-65 リハビリが必要となった原因の傷病別 利用期間

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,405.0	1,065.7	1,144.9	693.0
高血圧	278.0	1,075.6	1,080.5	703.5
脳卒中	559.0	1,301.2	1,327.3	826.0
心不全	113.0	945.8	915.8	728.0
糖尿病	123.0	1,194.8	1,264.3	750.0
呼吸不全	20.0	757.9	1,126.1	479.0
脊椎・脊髄障害	179.0	1,003.4	1,063.4	700.0
腎不全	27.0	594.7	600.9	413.0
関節リウマチ	32.0	992.7	1,263.4	624.5
関節症・骨粗鬆症	286.0	1,111.8	1,121.6	791.5
進行性の神経筋疾患	17.0	665.8	713.5	511.0
悪性新生物	42.0	813.5	953.9	521.5
うつ病	31.0	768.4	640.8	581.0
認知症	231.0	840.5	924.8	520.0
パーキンソン病	59.0	961.7	860.6	713.0
廃用症候群	126.0	855.3	925.0	538.0
肺炎	22.0	667.8	639.9	525.0
骨折	353.0	900.8	1,031.5	546.0
その他	135.0	957.3	1,081.5	623.0

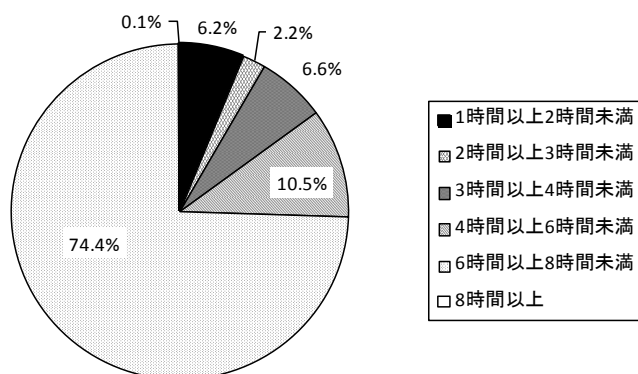
② 利用回数

提供時間別の利用回数の平均は 8.7 回であった。

図表 2-3-66 提供時間別 利用回数

	件数	平均	標準偏差	中央値	回答事業所の合計	構成比
1 時間以上 2 時間未満	1, 220	0. 5	2. 0	0. 0	645	6. 2%
2 時間以上 3 時間未満	1, 220	0. 2	1. 4	0. 0	231	2. 2%
3 時間以上 4 時間未満	1, 220	0. 6	2. 1	0. 0	687	6. 6%
4 時間以上 6 時間未満	1, 220	0. 9	3. 0	0. 0	1, 098	10. 5%
6 時間以上 8 時間未満	1, 220	6. 4	5. 6	7. 0	7, 785	74. 4%
8 時間以上	1, 220	0. 0	0. 3	0. 0	14	0. 1%
					10, 460	100. 0%

	件数	平均	標準偏差	中央値
合計	1, 235	8. 7	4. 8	8. 0

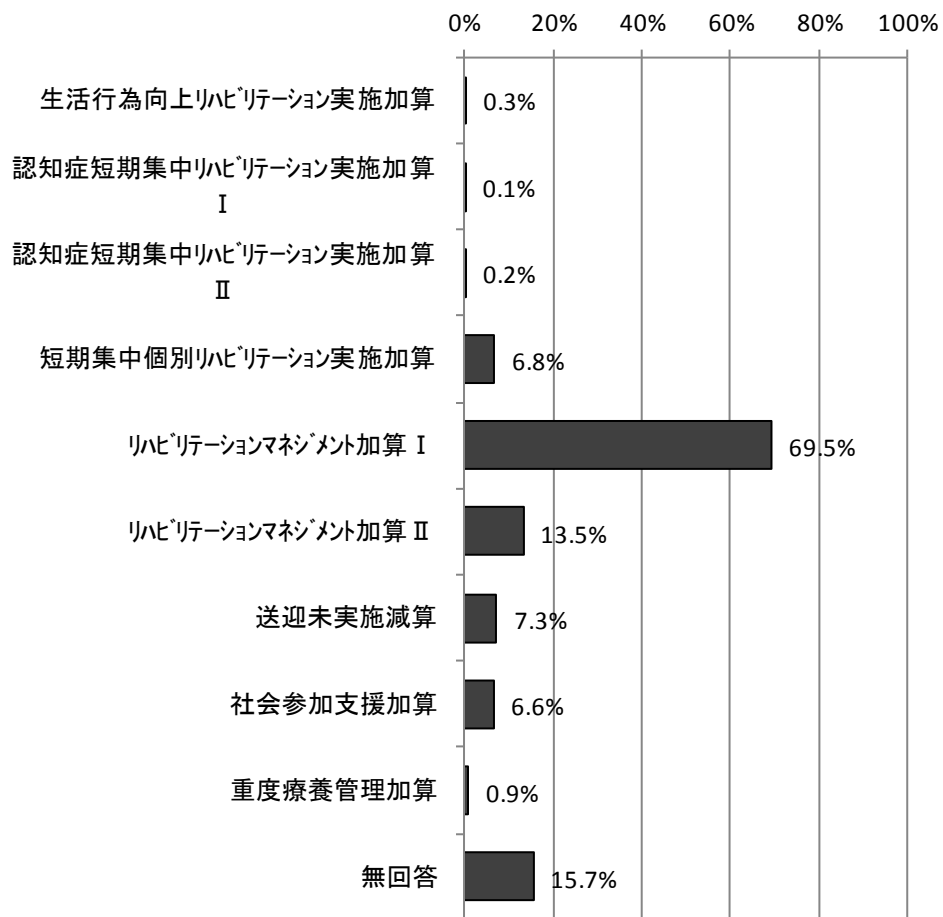




③ 算定した加算（2016年10月分）

2016年10月に算定した加算は、「リハビリテーションマネジメント加算Ⅰ」が69.5%、「リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ」が13.5%であった。

図表 2-3-67 算定した加算（2016年10月分）（複数回答）（n=1,464）

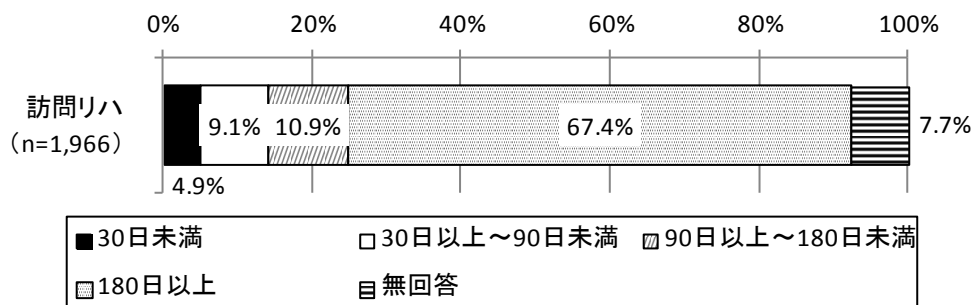


### 4. 訪問リハビリテーションの提供状況

#### ① 利用期間

利用期間は、「180日以上」が67.4%であった。

図表 2-3-68 利用期間



単位：日

	件数	平均	標準偏差	中央値
利用期間	1,815	758.2	864.7	462.0

図表 2-3-69 リハビリが必要となった原因の傷病別 利用期間

単位：日

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,815.0	758.2	864.7	462.0
高血圧	251.0	799.2	892.4	484.0
脳卒中	718.0	926.8	987.8	576.5
心不全	145.0	550.3	689.5	327.0
糖尿病	134.0	711.9	829.1	445.0
呼吸不全	63.0	759.9	856.1	511.0
脊椎・脊髄障害	248.0	719.9	797.0	442.0
腎不全	37.0	924.9	1,331.0	357.0
関節リウマチ	41.0	754.2	734.5	553.0
関節症・骨粗鬆症	291.0	653.5	741.7	422.0
進行性の神経筋疾患	74.0	1,000.6	900.2	743.0
悪性新生物	51.0	374.7	496.3	216.0
うつ病	46.0	820.0	907.7	469.0
認知症	183.0	604.1	667.0	380.0
パーキンソン病	109.0	682.7	752.4	399.0
廃用症候群	378.0	610.1	701.9	360.0
肺炎	56.0	473.9	476.6	315.5
骨折	422.0	670.9	784.6	412.0
その他	195.0	760.7	1,015.9	406.0

## ② 訪問回数

訪問回数の平均は、「理学療法士」が 4.7 回、「作業療法士」が 1.4 回、「言語聴覚士」が 0.2 回であった。0 回の場合を除いて集計すると、「理学療法士」が 5.8 回、「作業療法士」が 4.5 回、「言語聴覚士」が 3.9 回であった。

図表 2-3-70 訪問回数（2016 年 10 月の訪問回数）（0 回を含む）

	件数	平均値	標準偏差	中央値
理学療法士	1,926	4.7	4.2	4.0
作業療法士	1,926	1.4	2.6	0.0
言語聴覚士	1,926	0.2	1.2	0.0

図表 2-3-71 訪問回数（2016 年 10 月の訪問回数）（0 回を除く）

	件数	平均値	標準偏差	中央値
理学療法士	1,561	5.8	3.9	4.0
作業療法士	581	4.5	2.8	4.0
言語聴覚士	122	3.9	2.7	4.0

## ③ 1 回あたりの訪問時間

1 回あたりの訪問時間の平均は、「理学療法士」が 40.7 分／回、「作業療法士」が 42.2 分／回、「言語聴覚士」が 41.7 分／回であった。

図表 2-3-72 1 回あたりの訪問時間

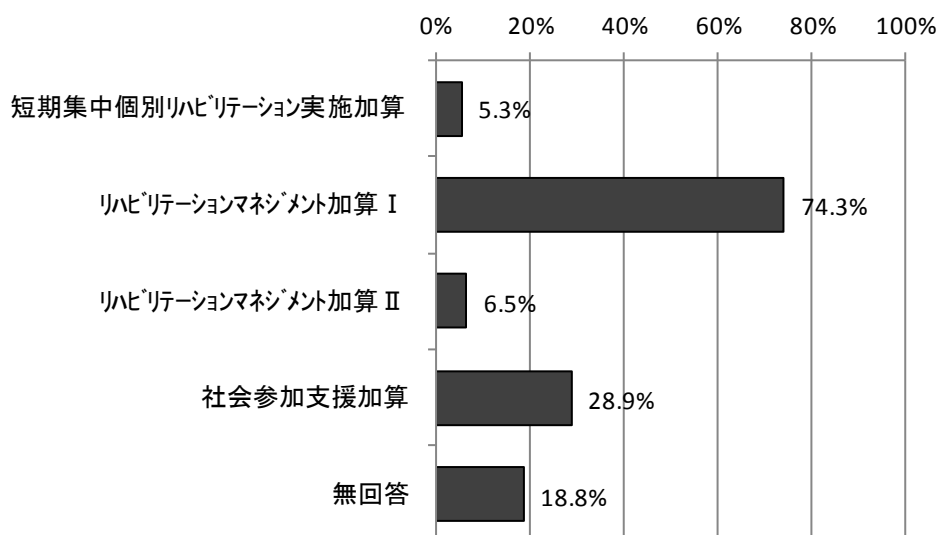
	件数	平均値	標準偏差	中央値
理学療法士	1,557	40.7	8.5	40.0
作業療法士	579	42.2	10.7	40.0
言語聴覚士	121	41.7	9.5	40.0

4 訪問リハビリテーションの提供状況

④ 算定した加算（2016年10月分）

2016年10月に算定した加算は、「リハビリテーションマネジメント加算Ⅰ」が74.3%、「リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ」が6.5%、「社会参加支援加算」が28.9%であった。

図表 2-3-73 算定した加算（2016年10月分）（複数回答）（n=1,966）

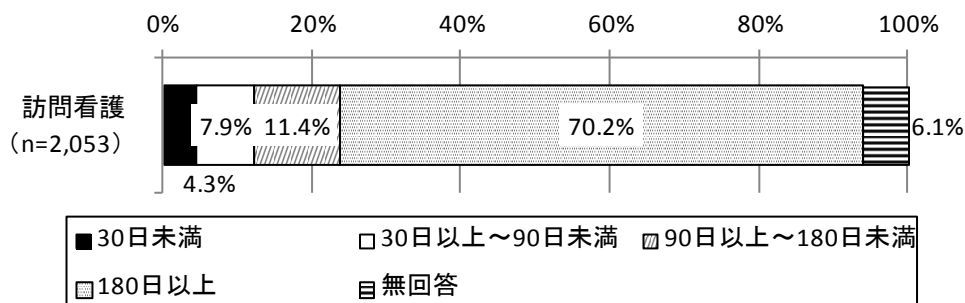


## 5. 訪問看護ステーションからの理学療法士等訪問の提供状況

### ① 利用期間

利用期間は、「180日以上」が70.2%であった。

図表 2-3-74 利用期間 (n=2,053)



単位：日

	件数	平均	標準偏差	中央値
利用期間	1,928	783.6	963.8	474.5

図表 2-3-75 リハビリが必要となった原因の傷病別 利用期間

単位：日

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,928.0	783.6	963.8	474.5
高血圧	295.0	673.6	817.0	431.0
脳卒中	594.0	841.8	932.9	550.5
心不全	120.0	596.1	748.7	365.5
糖尿病	165.0	774.3	933.8	393.0
呼吸不全	53.0	595.7	758.8	313.0
脊椎・脊髄障害	244.0	935.9	1,186.0	557.0
腎不全	68.0	582.5	961.9	335.0
関節リウマチ	41.0	593.7	837.7	338.0
関節症・骨粗鬆症	240.0	606.2	683.2	350.0
進行性の神経筋疾患	142.0	1,062.6	1,215.1	730.0
悪性新生物	68.0	413.0	525.7	203.5
うつ病	48.0	886.2	1,097.7	637.0
認知症	211.0	536.4	538.5	372.0
パーキンソン病	196.0	806.4	877.3	504.5
廃用症候群	338.0	581.2	627.2	371.0
肺炎	53.0	528.9	487.9	412.0
骨折	304.0	630.7	837.7	339.5
その他	263.0	878.7	1,087.8	534.0

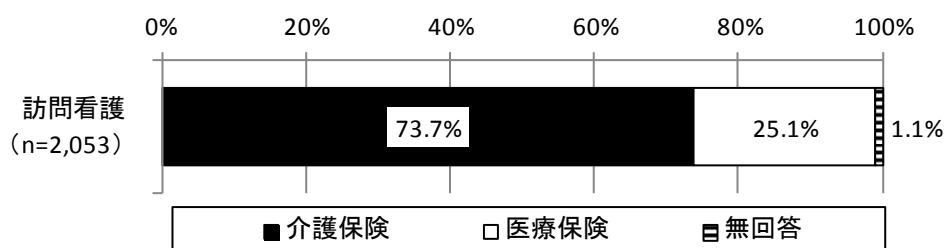
② 適用保険（2016年10月分）

2016年10月分の適用保険は、「介護保険」が73.7%、「医療保険」が25.1%であった。

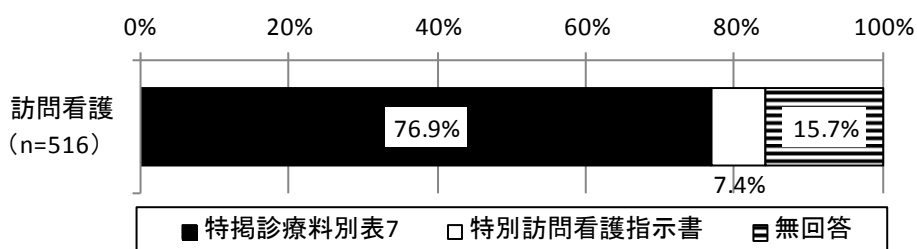
適用保険が医療保険の場合の要件は、「特掲診療料別表7」が76.9%、「特別訪問看護指示所」が7.4%であった。

特掲診療料別表7の場合の該当の疾病等は、「パーキンソン病関連疾患」が46.6%、「筋萎縮性側索硬化症」が10.8%であった。

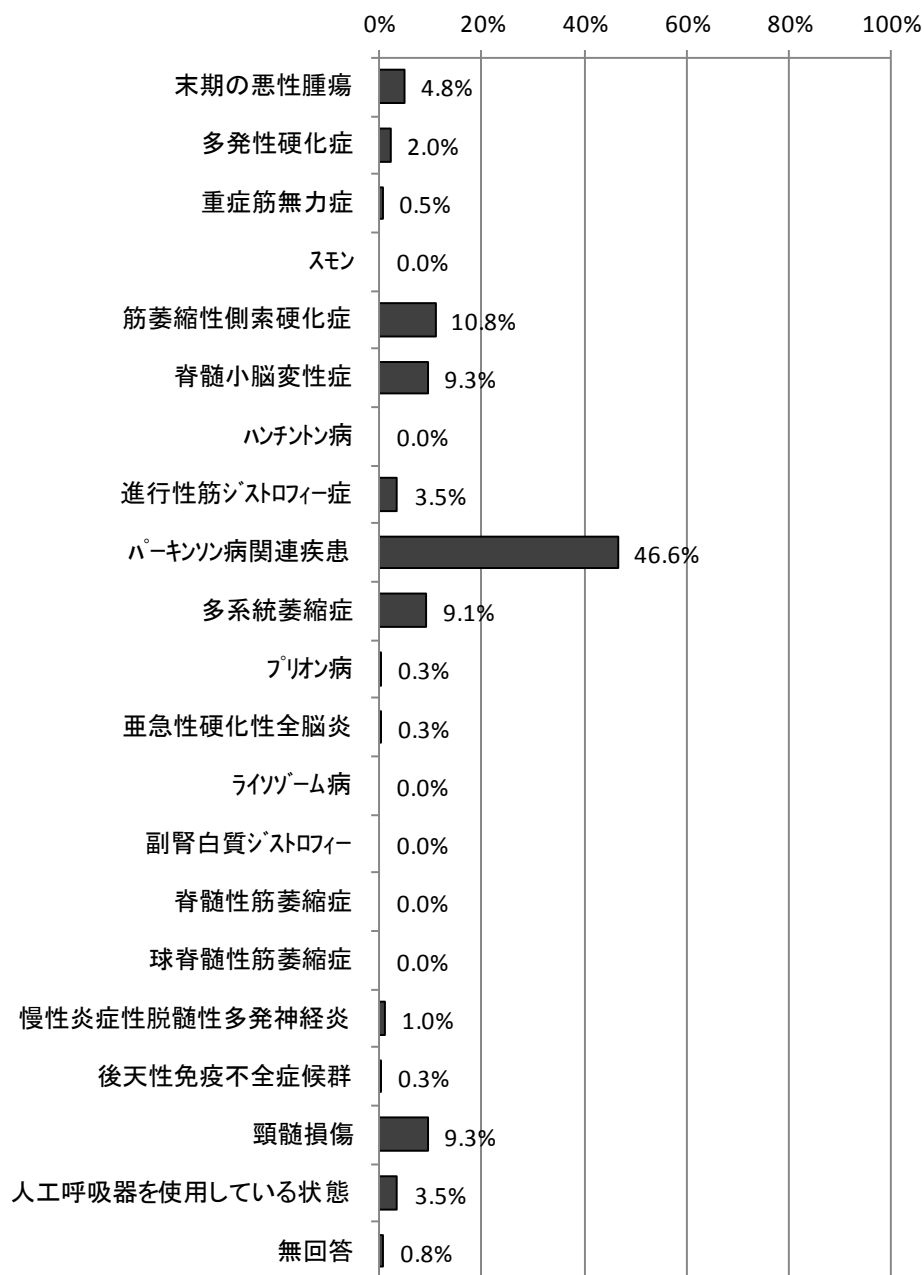
図表 2-3-76 適用保険（2016年10月分）



図表 2-3-77 医療保険の場合の要件



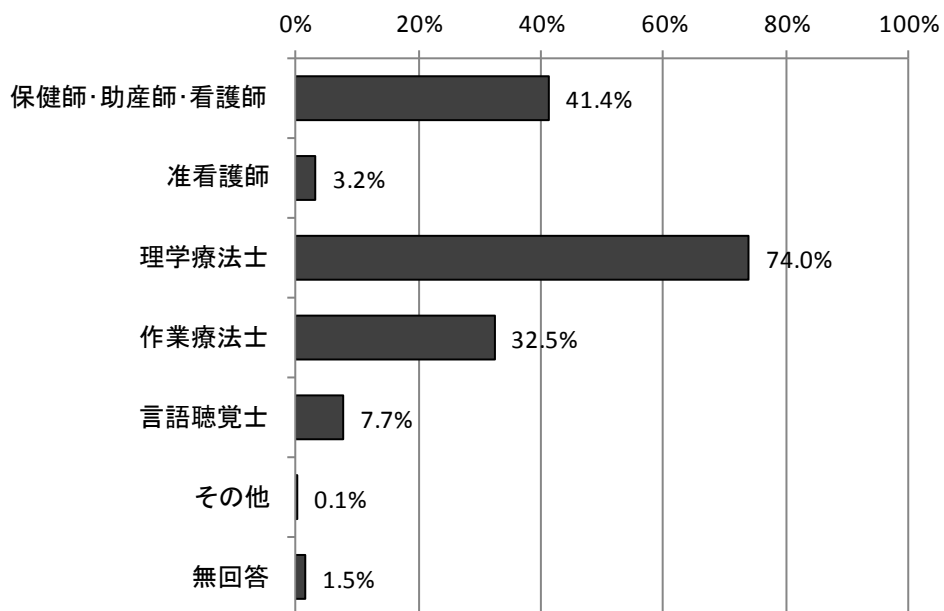
図表 2-3-78 特掲診療料別表7の場合：該当の疾病等（複数回答）（n=397）



③ 訪問看護を提供した職員の職種（2016年10月の訪問分）

2016年10月訪問分で訪問看護を提供した職員の職種は、「理学療法士」が74.0%、「保健師・助産師・看護師」が41.4%であった。

図表 2-3-79 訪問看護を提供した職員の職種（2016年10月訪問分）（複数回答）（n=2,053）





図表 2-3-80 訪問看護を提供した職員の職種（2016年10月訪問分）（複数回答）（n=2,053）

	保健師・助産師・看護師	保健師・助産師・看護師	保健師・助産師・看護師	保健師・助産師・看護師	保健師・助産師・看護師	保健師・助産師・看護師	保健師・助産師・看護師	保健師・助産師・看護師
		准看護師	准看護師	准看護師	准看護師	准看護師	准看護師	准看護師
			理学療法士	理学療法士	理学療法士	理学療法士	理学療法士	
				作業療法士	作業療法士			作業療法士
					言語聴覚士	言語聴覚士		
							その他	
2,053 100.0%	58 2.8%	2 0.1%	34 1.7%	2 0.1%	5 0.2%	3 0.1%	1 0.0%	5 0.2%

	保健師・助産師・看護師	保健師・助産師・看護師	保健師・助産師・看護師	保健師・助産師・看護師	保健師・助産師・看護師	保健師・助産師・看護師	保健師・助産師・看護師	保健師・助産師・看護師
	准看護師							
		理学療法士	理学療法士	理学療法士	理学療法士	理学療法士		
			作業療法士	作業療法士	作業療法士		作業療法士	作業療法士
	言語聴覚士			言語聴覚士		言語聴覚士		言語聴覚士
					その他			
2,053 100.0%	1 0.0%	442 21.5%	105 5.1%	17 0.8%	1 0.0%	31 1.5%	123 6.0%	6 0.3%

	保健師・助産師・看護師							
		准看護師	准看護師	准看護師	准看護師	准看護師		
			理学療法士	理学療法士			理学療法士	理学療法士
				作業療法士	作業療法士			作業療法士
	言語聴覚士					言語聴覚士		
2,053 100.0%	14 0.7%	4 0.2%	5 0.2%	1 0.0%	2 0.1%	1 0.0%	701 34.1%	141 6.9%

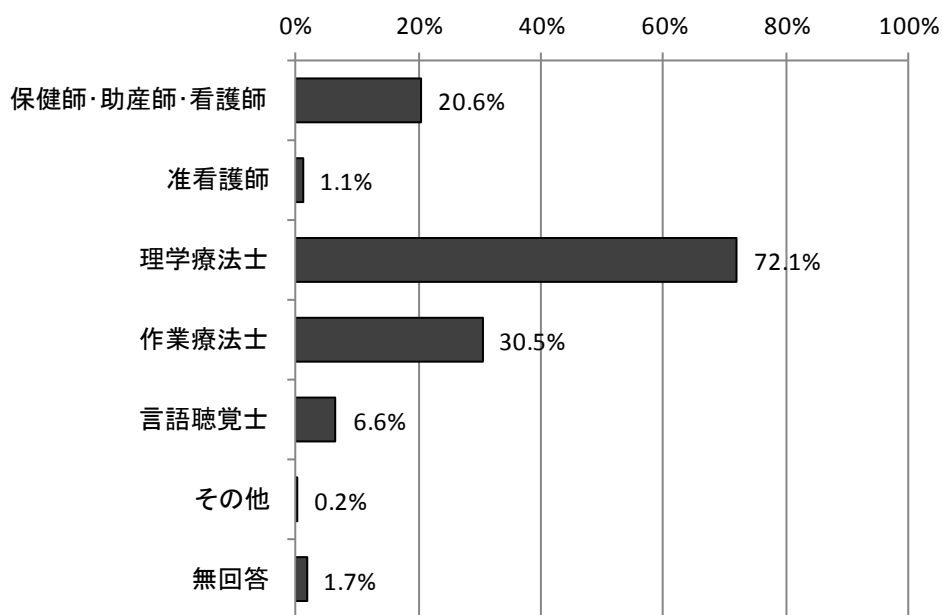
	理学療法士	理学療法士	理学療法士					
	作業療法士	作業療法士		作業療法士	作業療法士			
	言語聴覚士		言語聴覚士		言語聴覚士	言語聴覚士		
		その他					その他	無回答
2,053 100.0%	12 0.6%	0 0.0%	19 0.9%	236 11.5%	11 0.5%	38 1.9%	1 0.0%	31 1.5%

④ リハビリテーションを提供した職員の職種

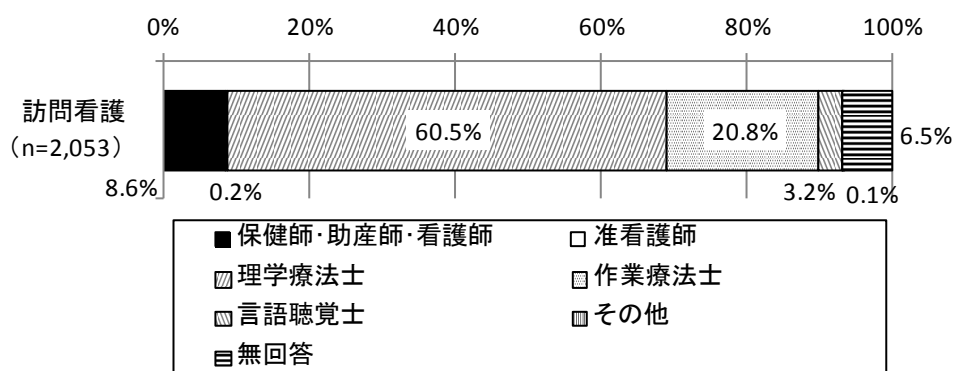
リハビリテーションを提供した職員の職種は、「理学療法士」が 72.1%、「作業療法士」が 30.5%であった。

もっとも提供時間が長い職員の職種は、「理学療法士」が 60.5%、「作業療法士」が 20.8%であった。

図表 2-3-81 リハビリテーションを提供した職員の職種（複数回答）（n=2,053）



図表 2-3-82 もっとも提供時間が長い職員の職種

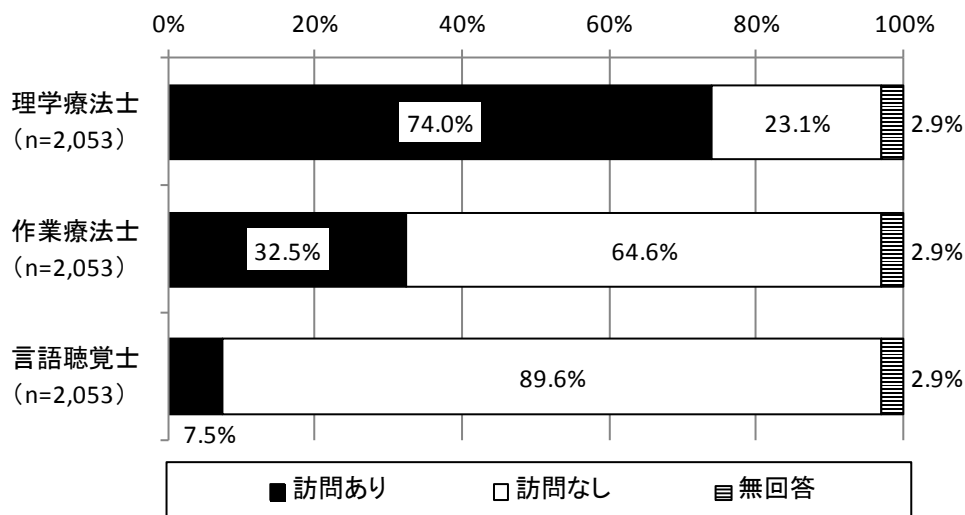


⑤ (リハ職の) 訪問回数

リハ職の「訪問あり」と回答したステーションは、「理学療法士」が 74.0%、「作業療法士」が 32.5%、「言語聴覚士」が 7.5%であった。

リハ職の訪問回数の平均は、「理学療法士」が 4.8 回、「作業療法士」が 1.7 回、「言語聴覚士」が 0.3 回であった。

図表 2-3-83 リハ職の訪問の有無 (2016 年 10 月)



図表 2-3-84 リハ職の訪問回数 (2016 年 10 月)

	件数	平均	標準偏差	中央値
理学療法士	1,994	4.8	4.7	4.0
作業療法士	1,994	1.7	3.3	0.0
言語聴覚士	1,994	0.3	1.4	0.0
合計	1,994	6.9	4.8	5.0

⑥ 看護職員の訪問

看護職員の訪問が1回以上あった利用者は、915人、44.6%であった。

図表 2-3-85 看護職員の訪問回数（合計が1回以上の場合）（2016年10月）（n=915人）

（単位：回）

	平均値	標準偏差	中央値
20分未満	0.0	0.5	0.0
30分未満	1.1	3.0	0.0
30分以上1時間未満	3.9	5.1	2.0
1時間以上1時間30分未満	1.4	3.8	0.0
合計（計算値）	6.4	5.8	4.0

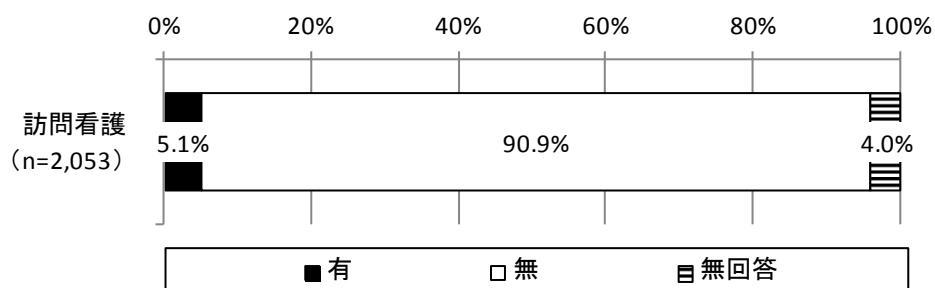
⑦ 緊急訪問の有無

緊急訪問の有無は、「有」が5.1%、「無」が90.9%であった。

緊急訪問があった場合の回数の平均は3.5回であった。

緊急訪問のうち、1日につき複数回の訪問を行った日の有無は、「有」が43.3%、「無」が51.9%であった。複数回訪問を行った平均日数は3.6日であった。

図表 2-3-86 緊急訪問の有無



図表 2-3-87 訪問職種別 緊急訪問の有無

	合計	有	無	無回答
全体	2,053 100.0%	104 5.1%	1,867 90.9%	82 4.0%
リハ職のみ訪問	1,158 100.0%	29 2.5%	1,083 93.5%	46 4.0%
それ以外の訪問	864 100.0%	73 8.4%	764 88.4%	27 3.1%

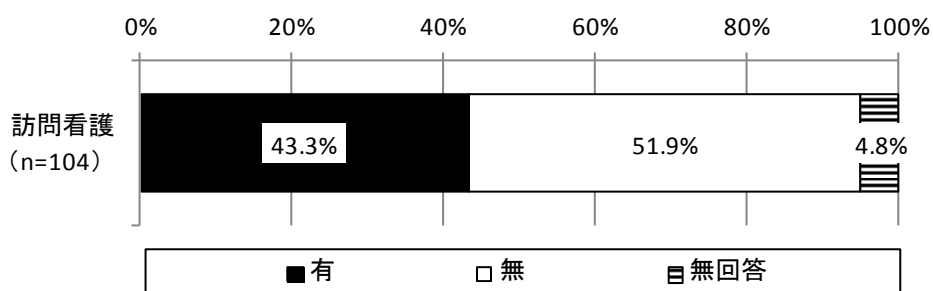
図表 2-3-88 （有の場合）緊急訪問の回数

	件数	平均	標準偏差	中央値
訪問看護	63	3.5	4.4	2.0

図表 2-3-89 緊急訪問の理由

体調急変・不調 状態悪化 発熱 バルン 腹痛 カテーテルトラブル 排便ケア / 等
---

図表 2-3-90 (緊急訪問のうち) 1日につき複数回の訪問を行った日の有無



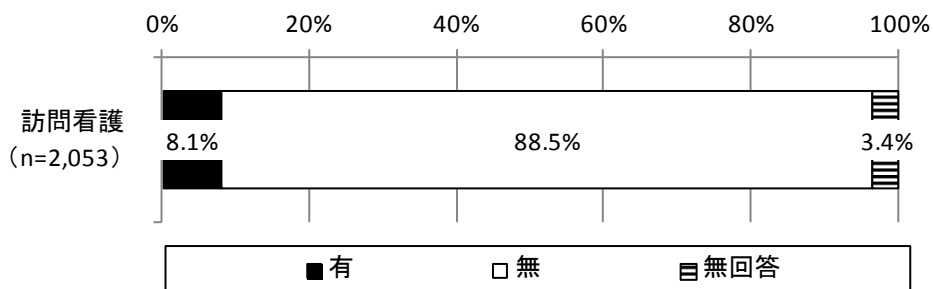
図表 2-3-91 (緊急訪問のうち1日につき複数回訪問を行ったことが有るの場合) 日数

	件数	平均	標準偏差	中央値
訪問看護	43	3.6	4.9	2.0

⑧ 平日日中以外の計画的な訪問の有無

平日日中以外の計画的な訪問の有無は、「有」が8.1%、「無」が88.5%であった。  
訪問した日程は、「土曜」が69.3%、「祝日」が59.0%であった。

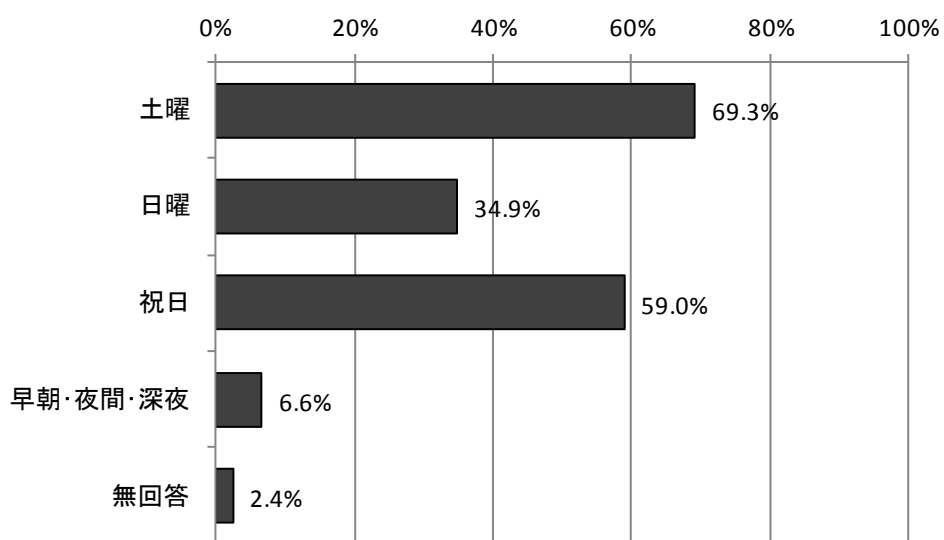
図表 2-3-92 平日日中以外の計画的な訪問の有無



図表 2-3-93 訪問職種別 平日日中以外の計画的な訪問の有無

	合計	有	無	無回答
全体	2,053 100.0%	166 8.1%	1,817 88.5%	70 3.4%
リハ職のみ訪問	1,158 100.0%	64 5.5%	1,063 91.8%	31 2.7%
それ以外の訪問	864 100.0%	100 11.6%	733 84.8%	31 3.6%

図表 2-3-94 訪問した日程（複数回答）（n=166）

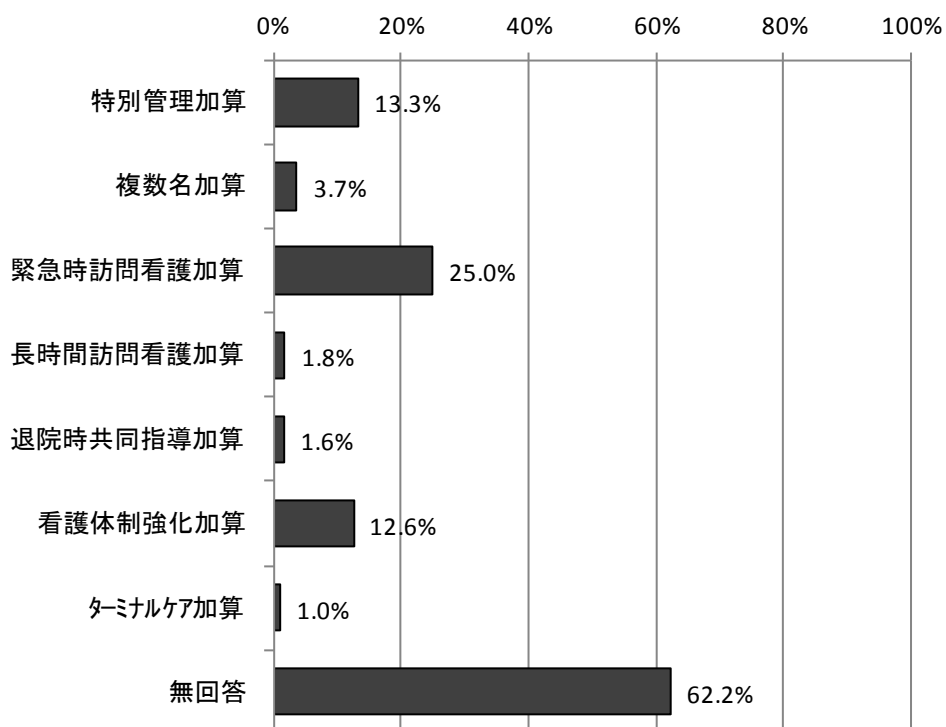


⑨ 訪問看護の加算等の状況（2016年10月分）

2016年10月分の訪問看護ステーションの加算等状況は、「緊急時訪問看護加算」が25.0%、「特別管理加算」が13.3%、「看護体制強化加算」が12.6%であった。

「複数名加算」を算定した職種は、「看護師」が78.7%、「リハビリ職」が46.7%であった。

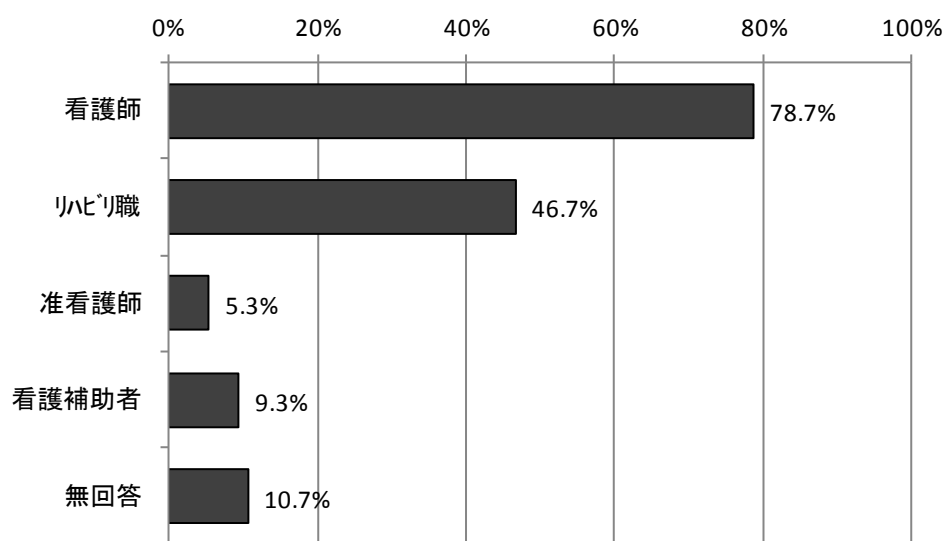
図表 2-3-95 訪問看護ステーションの加算等の状況(2016年10月分)(複数回答)(n=2,053)



図表 2-3-96 訪問職種別 訪問看護ステーションの加算等の状況

	合計	特別管理加算	複数名加算	緊急時訪問看護加算	長時間訪問看護加算	退院時共同指導加算	看護体制強化加算	ターミナルケア加算	無回答
全体	2,053 100.0%	274 13.3%	75 3.7%	514 25.0%	36 1.8%	33 1.6%	258 12.6%	20 1.0%	1,277 62.2%
リハ職のみ訪問	1,158 100.0%	38 3.3%	26 2.2%	59 5.1%	14 1.2%	18 1.6%	114 9.8%	14 1.2%	960 82.9%
それ以外の訪問	864 100.0%	234 27.1%	48 5.6%	451 52.2%	21 2.4%	15 1.7%	141 16.3%	5 0.6%	291 33.7%

図表 2-3-97 複数名加算の職種（複数回答）（n=75）



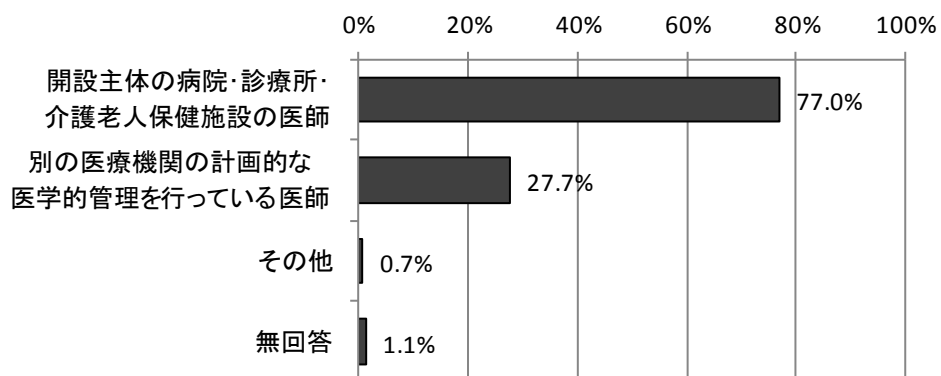


## 6. 医師（指示医）との連携状況

### ① 【訪問リハ】利用者のリハビリテーションの指示を出している医師の所属

利用者のリハビリテーションの指示を出している医師の所属は、「開設主体の病院・診療所・介護老人保健施設の医師」が77.0%であった。

図表 2-3-98 【訪問リハ】利用者のリハビリテーションの指示を出している医師の所属  
(複数回答) (n=1,966)

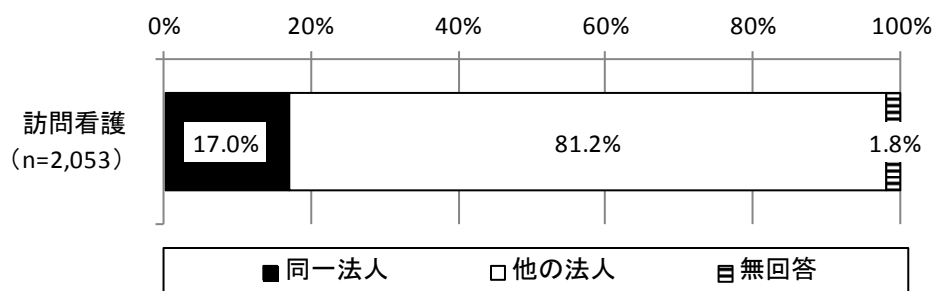


② 【訪問看護】訪問看護指示書を交付する医師の所属

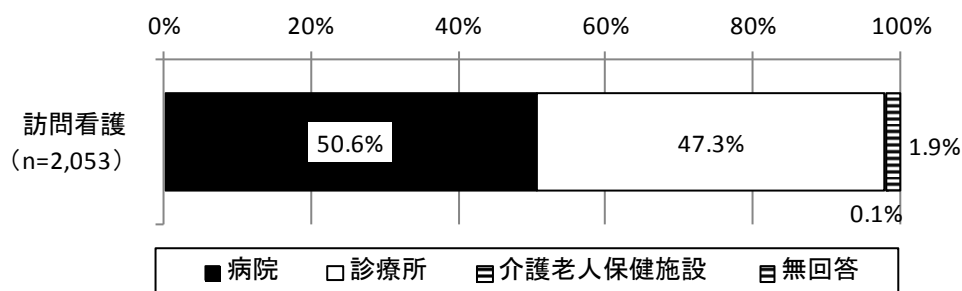
訪問看護指示書を交付する医師が所属している法人種別は、「同一法人」が 17.0%、「他の法人」が 81.2%であった。

訪問看護指示書を交付する医師が所属している施設種別は、「病院」が 50.6%、「診療所」が 47.3%、「介護老人保健施設」が 0.1%であった。

図表 2-3-99 【訪問看護】訪問看護指示書を交付する医師が所属している法人種別



図表 2-3-100 【訪問看護】訪問看護指示書を交付する医師が所属している施設種別

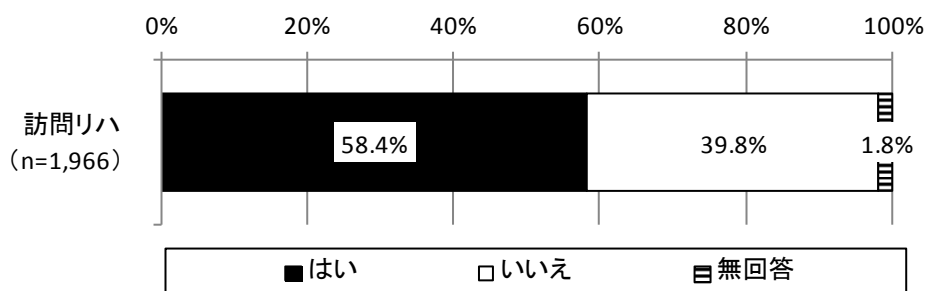


③ 【訪問リハ】他の医療機関等の医師からの情報提供の有無

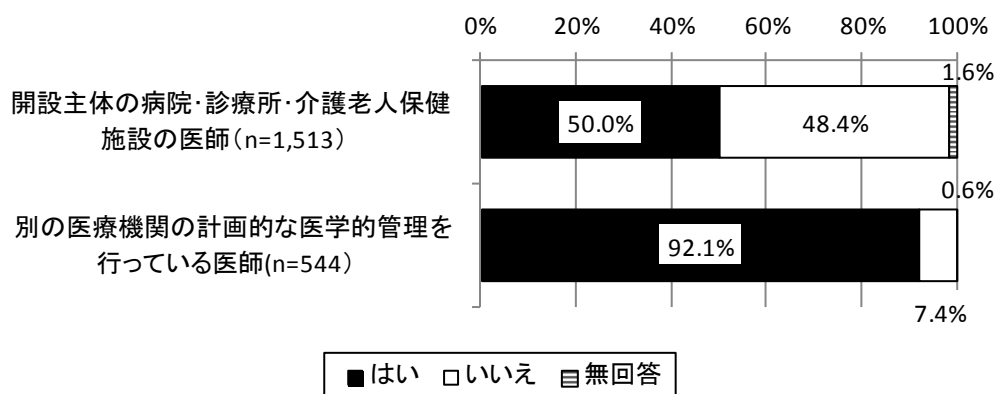
他の医療機関等の医師からの情報提供の有無は、「はい」が 58.4%、「いいえ」が 39.8%であった。

指示医の所属別にみると、「開設主体の病院・診療所・介護老人保健施設の医師」では、「はい」が 50.0%、「別の医療機関の計画的な医学管理を行っている医師」では 92.1%であった。

図表 2-3-101 【訪問リハ】他の医療機関等の医師からの情報提供の有無



図表 2-3-102 【訪問リハ】指示医の所属別 他の医療機関等の医師からの情報提供の有無



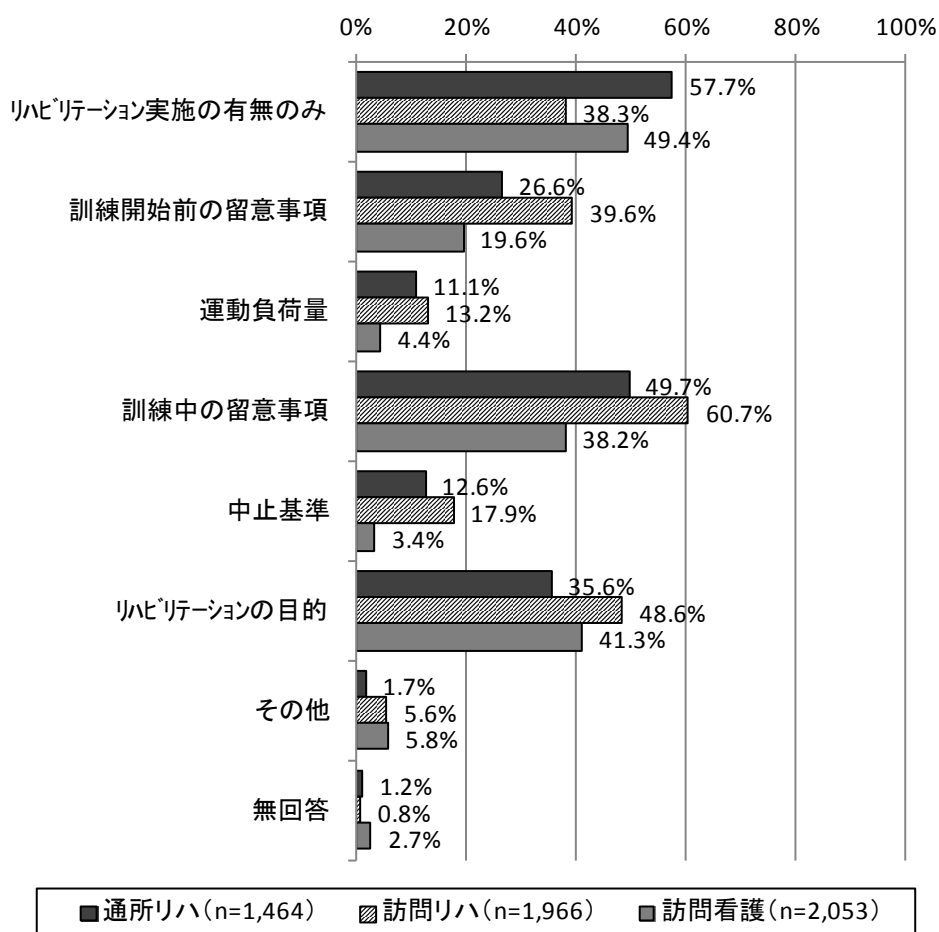
④ 指示医から受けた指示事項

指示医からうけた指示事項は、「通所リハビリテーション」では、「リハビリテーション実施の有無のみ」が 57.7%、「訓練中の留意事項」が 49.7%だった。

「訪問リハビリテーション」では「訓練中の留意事項」が 60.7%、「リハビリテーションの目的」が 48.6%であった。

「訪問看護ステーション」では「リハビリテーション実施の有無のみ」が 49.4%、リハビリテーションの目的」が 41.3%であった。

図表 2-3-103 指示医から受けた指示事項（複数回答）



※「その他」の内容はそれぞれ以下の通り。

通所リハ：「訓練内容」など

訪問リハ：「訓練内容」「緊急時対応」など

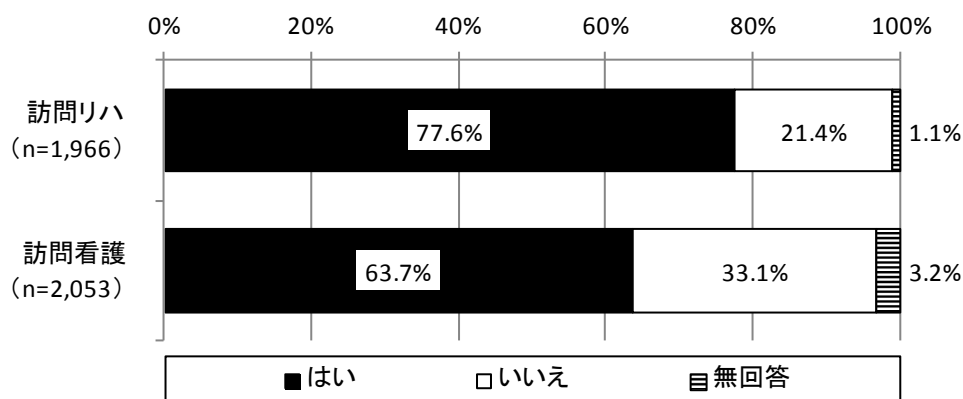
訪問看護：「訓練内容」「療養生活上の留意」など

⑤ 【訪問リハ・訪問看護】リハの目標について指示医からの指示の有無

リハの目標について指示医からの指示の有無は、「訪問リハビリテーション」では「はい」が77.6%、「いいえ」が21.4%であった。

「訪問看護ステーション」では「はい」が63.7%、「いいえ」が33.1%であった。

図表 2-3-104 【訪問リハ・訪問看護】リハの目標について指示医からの指示の有無

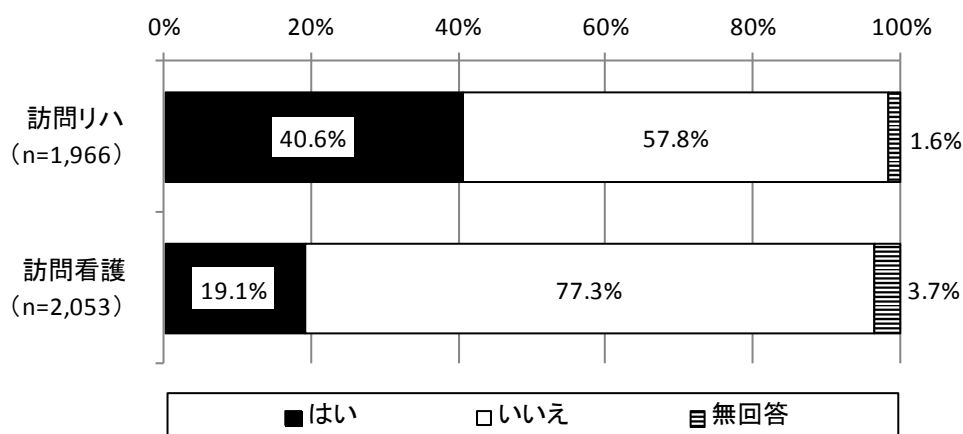


⑥ 【訪問リハ・訪問看護】リハの頻度について指示医からの指示の有無

リハの頻度について指示医からの指示の有無は、「訪問リハビリテーション」では「はい」が40.6%、「いいえ」が57.8%であった。

「訪問看護ステーション」では「はい」が19.1%、「いいえ」が77.3%であった。

図表 2-3-105 【訪問リハ・訪問看護】リハの頻度について指示医からの指示の有無

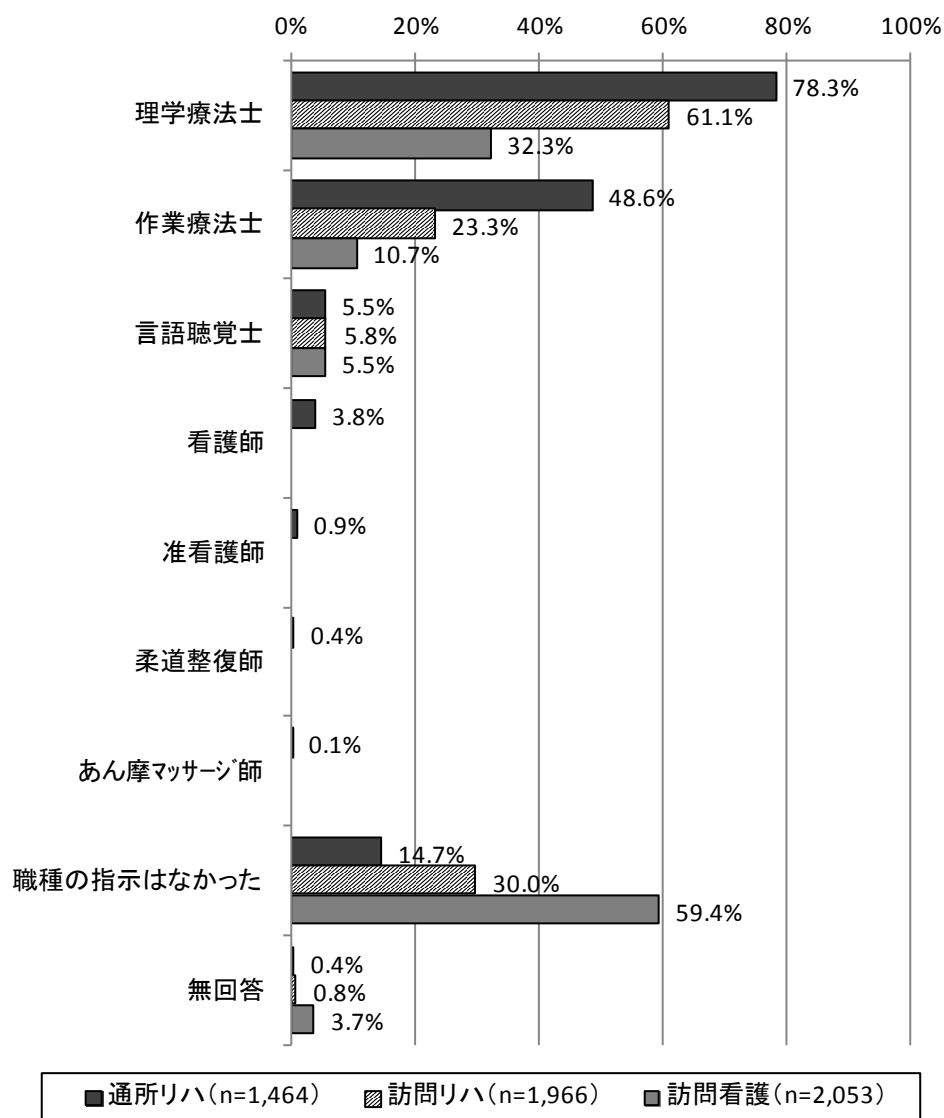


⑦ 指示医がリハビリの実施を指示した職種

指示医がリハビリの実施を指示した職種は、「理学療法士」が、「通所リハビリテーション」では78.3%、「訪問リハビリテーション」では61.1%、「訪問看護ステーション」では32.3%であった。

また、「指示はなかった」は、「通所リハビリテーション」では14.7%、「訪問リハビリテーション」では30.0%、「訪問看護ステーション」では59.4%であった。

図表 2-3-106 指示医がリハビリの実施を指示した職種（複数回答）



注) 「看護師」「准看護師」「柔道整復師」「あん摩マッサージ」は通所リハビリテーション票のみ。

⑧ 摂食嚥下障害への対応

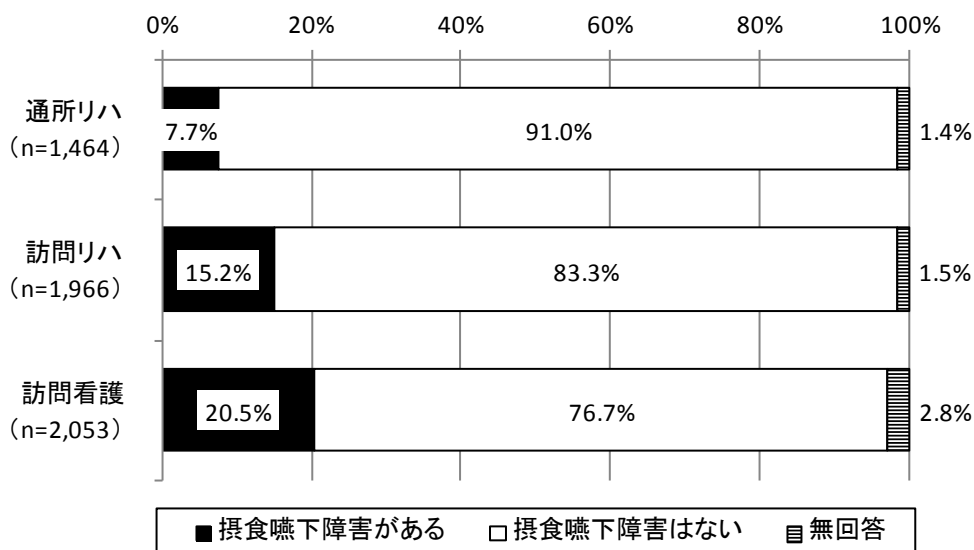
摂食嚥下障害への対応は、「通所リハビリテーション」では「摂食嚥下障害がある」が7.7%、「摂食嚥下障害はない」が91.0%であった。

「訪問リハビリテーション」では「摂食嚥下障害がある」が15.2%、「摂食嚥下障害はない」が83.3%であった。

「訪問看護ステーション」では「摂食嚥下障害がある」が20.5%、「摂食嚥下障害はない」が76.7%であった。

摂食嚥下障害がある場合指示内容は、「指示はなかった」が「通所リハビリテーション」で43.8%、「訪問リハビリテーション」で53.7%、「訪問看護ステーション」で53.9%であった。

図表 2-3-107 摂食嚥下障害の有無

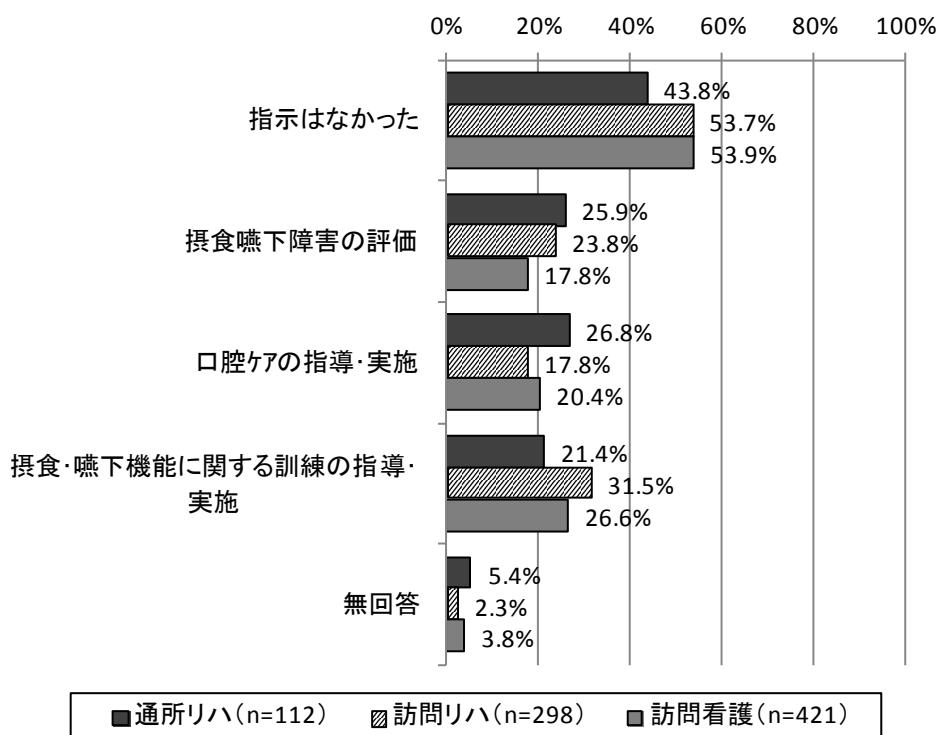


図表 2-3-108 要介護度別 摂食嚥下障害の有無

		合計	摂食嚥下 障害があ る	摂食嚥下 障害はな い	無回答
通所リハ	全体	1,464 100.0%	112 7.7%	1,332 91.0%	20 1.4%
	要支援	280 100.0%	5 1.8%	272 97.1%	3 1.1%
	要介護 1・2	778 100.0%	39 5.0%	732 94.1%	7 0.9%
	要介護 3～5	392 100.0%	67 17.1%	316 80.6%	9 2.3%
訪問リハ	全体	1,966 100.0%	298 15.2%	1,638 83.3%	30 1.5%
	要支援	262 100.0%	9 3.4%	251 95.8%	2 0.8%
	要介護 1・2	729 100.0%	42 5.8%	677 92.9%	10 1.4%
	要介護 3～5	955 100.0%	246 25.8%	691 72.4%	18 1.9%
訪問看護	全体	2,053 100.0%	421 20.5%	1,575 76.7%	57 2.8%
	要支援	270 100.0%	9 3.3%	253 93.7%	8 3.0%
	要介護 1・2	694 100.0%	64 9.2%	607 87.5%	23 3.3%
	要介護 3～5	950 100.0%	309 32.5%	618 65.1%	23 2.4%



図表 2-3-109 (摂食嚥下障害がある場合) 指示内容 (複数回答)



注) 「指示はなかった」にはリハビリテーションの必要性がない場合を含むものと考えられる。

図表 2-3-110 （摂食嚥下障害がある場合）要介護度別 指示内容（複数回答）

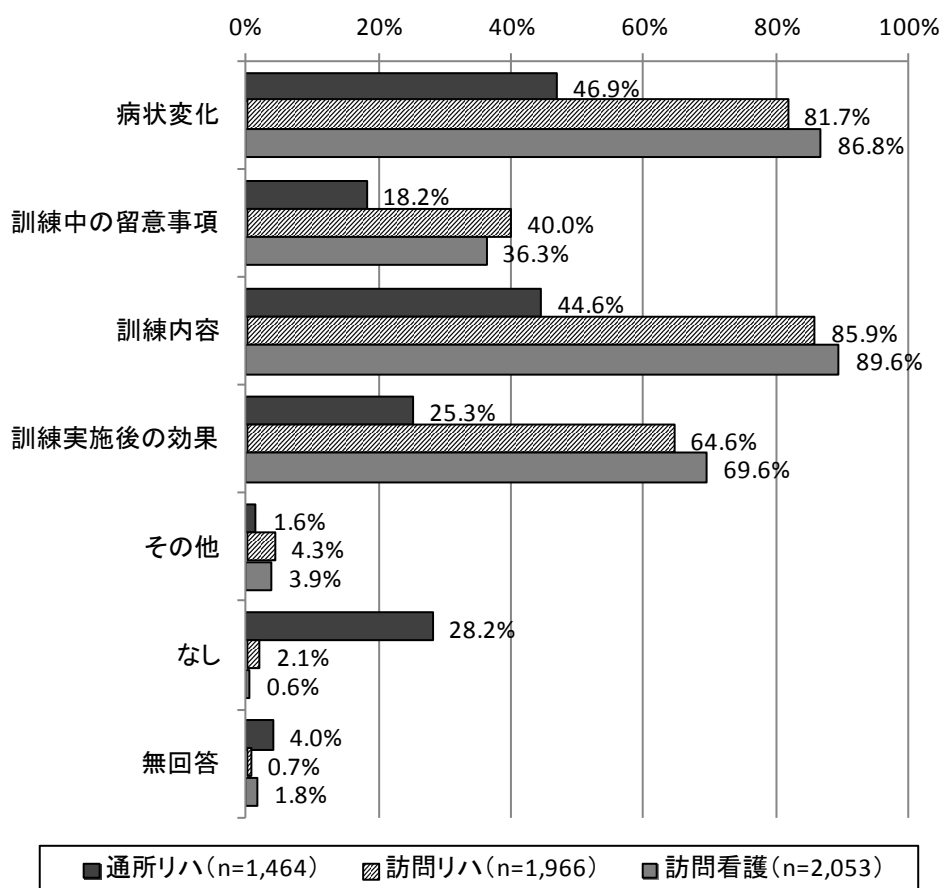
		合計	指示は なかつ た	摂食嚥 下障害 の評価	口腔ケ アの指 導・実 施	摂食・ 嚥下機 能に関 する訓 練の指 導・実 施	無回答
通所リハ	全体	112 100.0%	49 43.8%	29 25.9%	30 26.8%	24 21.4%	6 5.4%
	要支援	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%
	要介護 1・2	39 100.0%	13 33.3%	17 43.6%	13 33.3%	10 25.6%	1 2.6%
	要介護 3～5	67 100.0%	33 49.3%	10 14.9%	17 25.4%	11 16.4%	5 7.5%
訪問リハ	全体	298 100.0%	160 53.7%	71 23.8%	53 17.8%	94 31.5%	7 2.3%
	要支援	9 100.0%	2 22.2%	4 44.4%	1 11.1%	6 66.7%	0 0.0%
	要介護 1・2	42 100.0%	25 59.5%	9 21.4%	5 11.9%	15 35.7%	0 0.0%
	要介護 3～5	246 100.0%	133 54.1%	57 23.2%	46 18.7%	72 29.3%	7 2.8%
訪問看護	全体	421 100.0%	227 53.9%	75 17.8%	86 20.4%	112 26.6%	16 3.8%
	要支援	9 100.0%	5 55.6%	3 33.3%	2 22.2%	4 44.4%	0 0.0%
	要介護 1・2	64 100.0%	29 45.3%	17 26.6%	7 10.9%	26 40.6%	4 6.3%
	要介護 3～5	309 100.0%	172 55.7%	50 16.2%	66 21.4%	72 23.3%	11 3.6%

⑨ 指示医への報告内容

指示医への報告内容は、「病状変化」が「通所リハビリテーション」で 46.9%、「訪問リハビリテーション」で 81.7%、「訪問看護ステーション」で 86.8%であった。

また、「訓練内容」が「通所リハビリテーション」で 44.6%、「訪問リハビリテーション」で 85.9%、「訪問看護ステーション」で 89.6%であった。

図表 2-3-111 指示医への報告内容（複数回答）



※「その他」の内容はそれぞれ以下の通り。

通所リハ：「リハビリテーション計画書の共有」など

訪問リハ：「生活状況の変化」「ADL 変化の報告」「目標の達成の程度」など

訪問看護：「日常生活の状況についての報告」「介護の状況」など

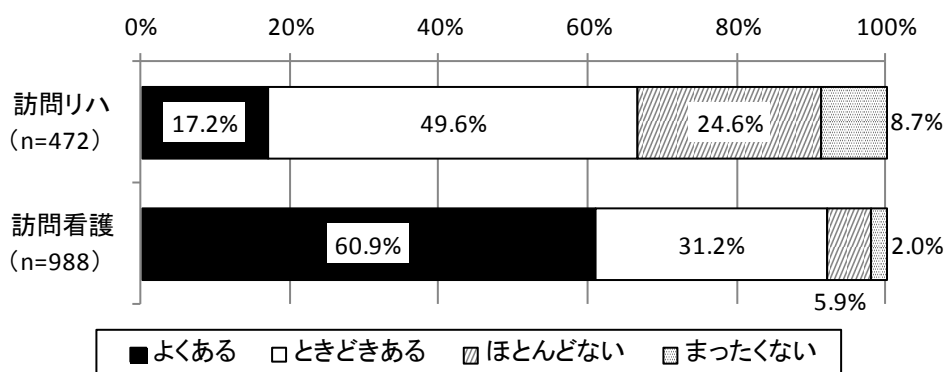
## 7. 【訪問リハ・訪問看護】他の職種との連携

### (1) 訪問看護師との連携状況

#### ① 訪問看護師へのリハビリの状況に関する連絡

訪問看護師へのリハビリの状況に関する連絡は、「よくある」「ときどきある」の合計が「訪問リハビリテーション」で 66.8%、「訪問看護ステーション」で 92.1%であった。

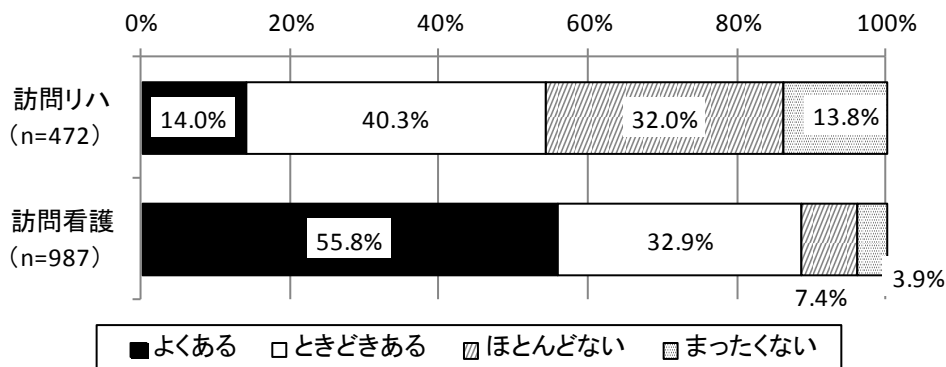
図表 2-3-112 訪問看護師へのリハビリの状況に関する連絡



#### ② 訪問看護師からの病状や医療的処置の状況に関する報告

訪問看護師からの病状や医療的処置の状況に関する報告は、「よくある」「ときどきある」の合計が「訪問リハビリテーション」で 54.3%、「訪問看護ステーション」で 88.7%であった。

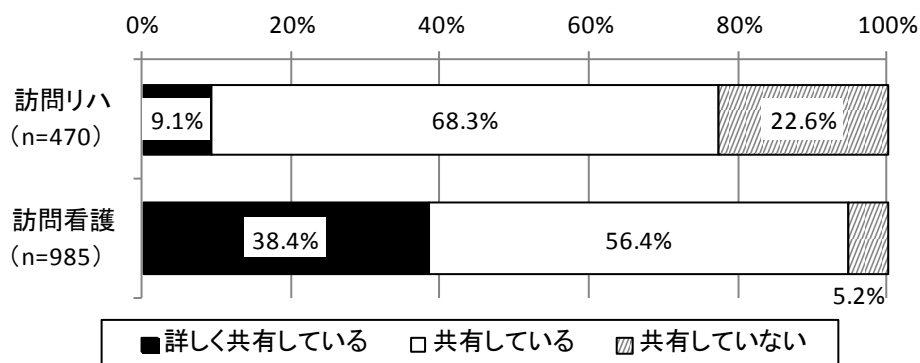
図表 2-3-113 訪問看護師からの病状や医療的処置の状況に関する報告



### ③ 訪問看護師とリハビリの方針等の共有

訪問看護師とリハビリの方針等の共有は、「訪問リハビリテーション」は、「詳しく共有している」「共有している」の合計が「訪問リハビリテーション」で77.4%、「訪問看護ステーション」で94.8%であった。

図表 2-3-114 訪問看護師とリハビリの方針等の共有

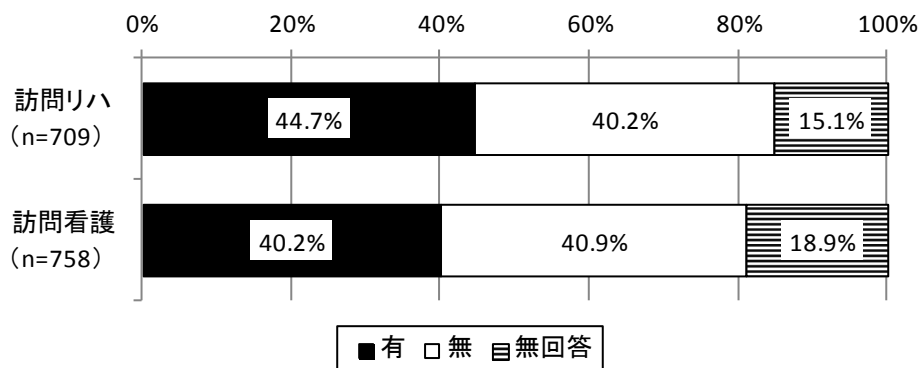


### (2) 【訪問リハ・訪問看護】訪問介護員への専門的見地からの助言の有無

訪問介護員への専門的見地からの助言の有無は、「訪問リハビリテーション」では「有」が44.7%、「無」が40.2%であった。

「訪問看護ステーション」では「有」が40.2%、「無」が40.9%であった。

図表 2-3-115 【訪問リハ・訪問看護】訪問介護員への専門的見地からの助言の有無



注) 指定訪問介護等の指定居宅サービスに係る従事者または家族等に対し、リハビリテーションに関する専門的な見地から、介護の工夫に関する指導及び日常生活上の留意点に関する助言を行うことが、リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの要件となっている。訪問看護においては、本加算は設定はない。

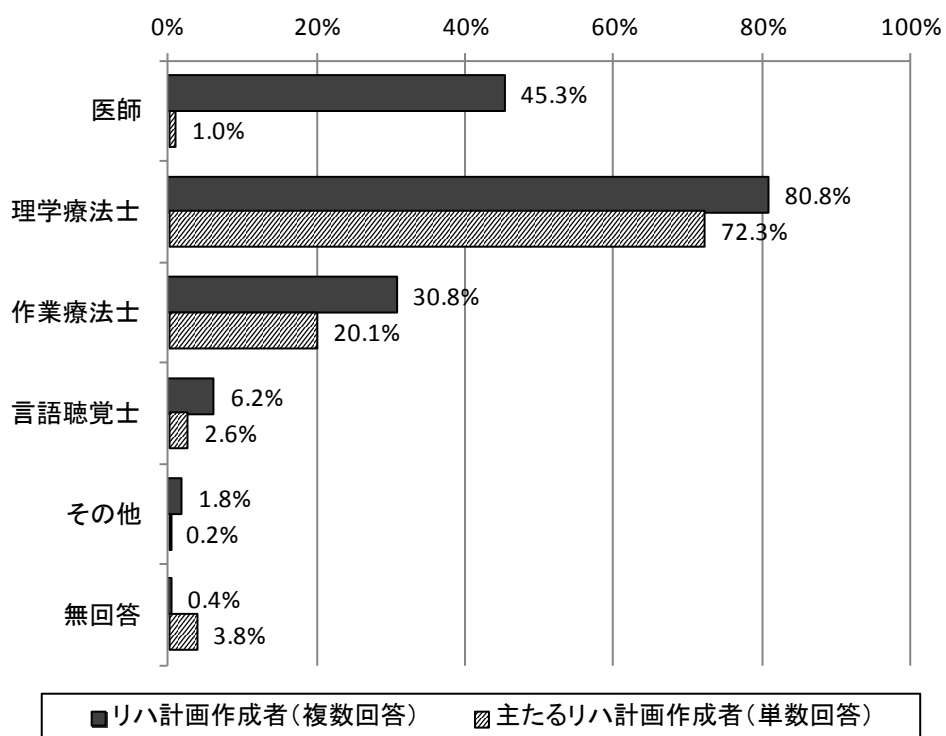
## 8. リハビリテーションのマネジメント

### (1) 【訪問リハ】リハ計画の作成者

「訪問リハビリテーション」のリハ計画作成者は、「理学療法士」が 80.8%、「医師」が 45.3%であった。

主たるリハ計画作成者は「理学療法士」が 72.3%であった。

図表 2-3-116 【訪問リハ】リハ計画の作成者 (n=1,966)

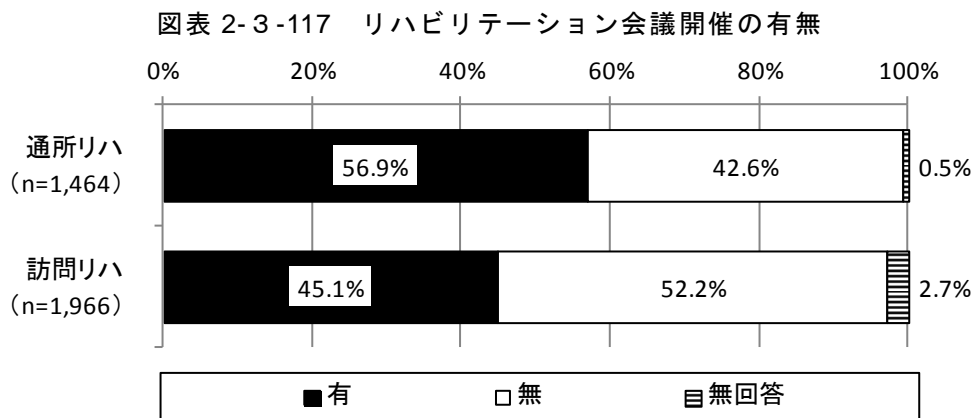


※「その他」の内容は「ケアマネジャー」などであった。

(2) 【通所リハ・訪問リハ】リハビリテーション会議

① リハビリテーション会議開催の有無

リハビリテーション会議開催の有無は、「有」が「通所リハビリテーション」で 56.9%、「訪問リハビリテーション」で 45.1%であった。

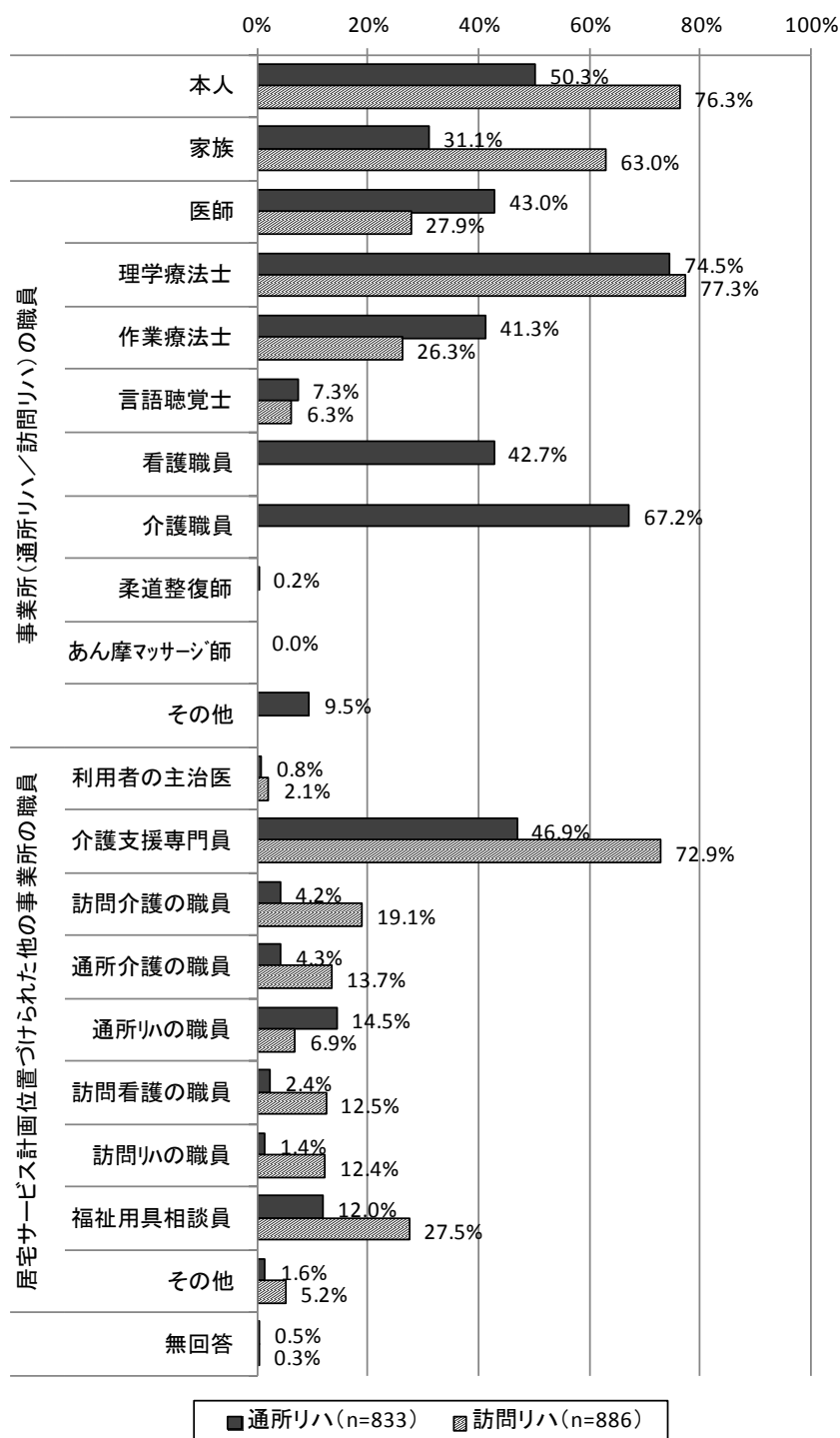


② 直近に開催したリハ会議の参加者

直近に開催したリハ会議の参加者は、「通所リハビリテーション」では「理学療法士」が74.5%、「介護職員」が67.2%、「本人」が50.3%であった。

「訪問リハビリテーション」では「理学療法士」が77.3%、「本人」76.3%、「介護支援専門員」が72.9%、「家族」が63.0%であった。

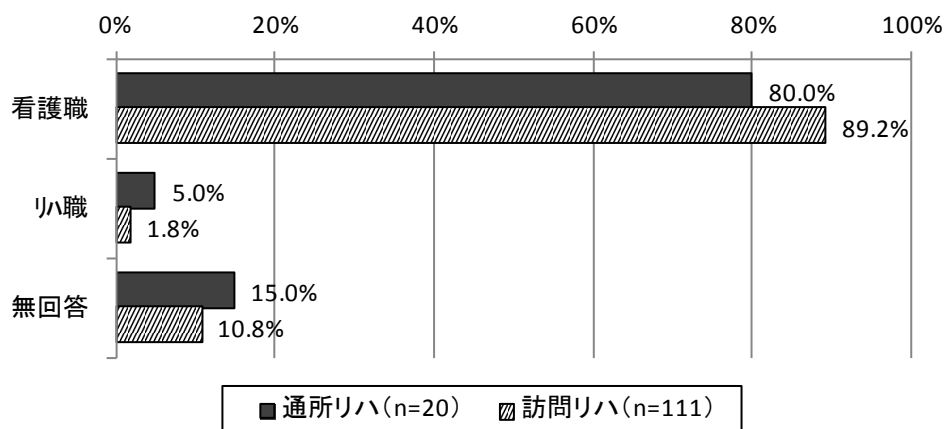
図表 2-3-118 直近に参加したリハ会議の参加者（複数回答）



注) 事業所（通所リハ／訪問リハ）の職員のうち「看護職員」「介護職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ」「その他」は通所リハビリテーション票のみ。



図表 2-3-119 訪問看護の場合の職員の職種（複数回答）



(3) 【通所リハ・訪問リハ】目標

① 短期目標

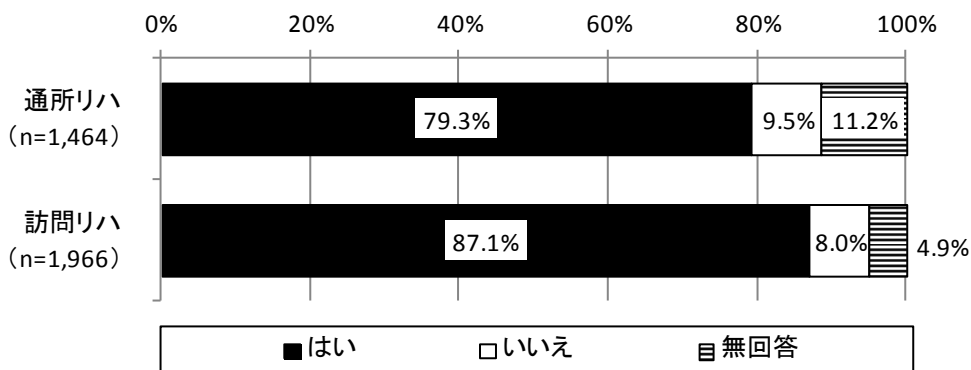
短期目標を設定しているかは、「通所リハビリテーション」では「はい」が 79.3%、「いいえ」が 9.5%であった。

「訪問リハビリテーション」では「はい」が 87.1%、「いいえ」が 8.0%であった。

設定している短期目標を介護支援専門員に適切に情報提供しているかは、「はい」と回答した事業所は、「通所リハビリテーション」では 90.8%、「訪問リハビリテーション」では 89.7%であった。

設定した目標はケアプランに反映されているかは、「はい」と回答した事業所は、「通所リハビリテーション」では 87.3%、「訪問リハビリテーション」では 83.5%であった。

図表 2-3-120 短期目標を設定しているか

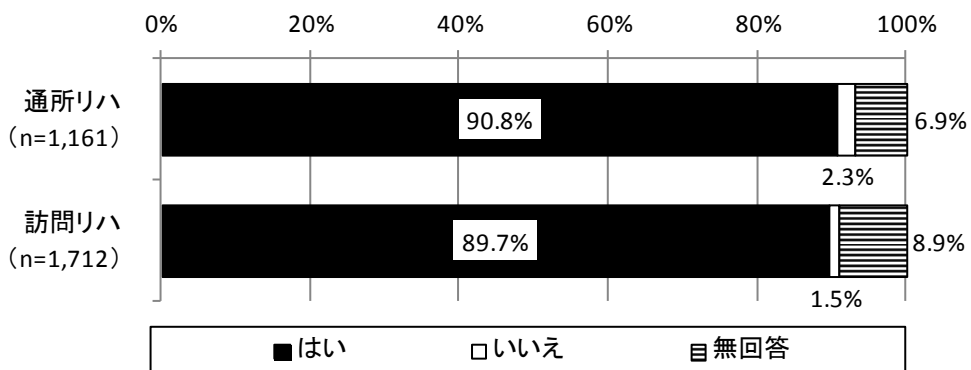


※「短期目標」の内容はそれぞれ以下の通り。

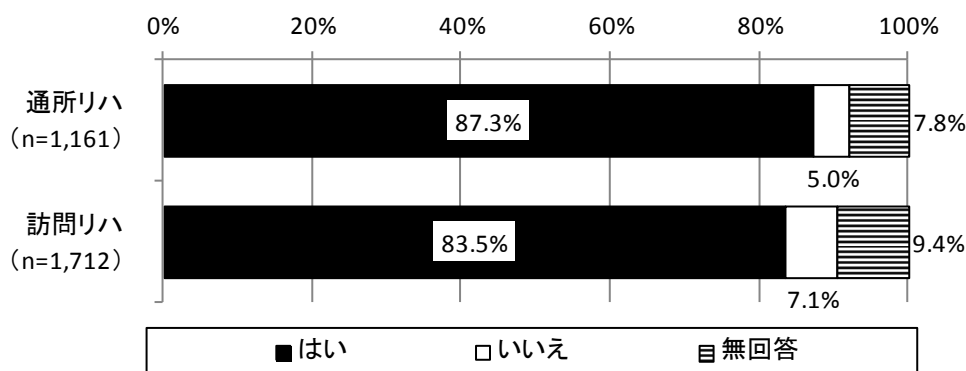
通所リハ：「歩行機能の維持・向上」「(屋内・屋外) 安全な移動」「転倒予防」「筋力・活動量の維持」「下肢筋力の維持・増強」など

訪問リハ：「歩行機能の維持・向上」「(屋内・屋外) 安全な移動」「疼痛緩和」「転倒予防」「移乗動作の向上」「心身機能の維持」など

図表 2-3-121 (短期目標設定) 介護支援専門員に適切に情報提供されているか



図表 2-3-122 (短期目標設定) 設定した目標はケアプランに反映されているか



② 長期目標

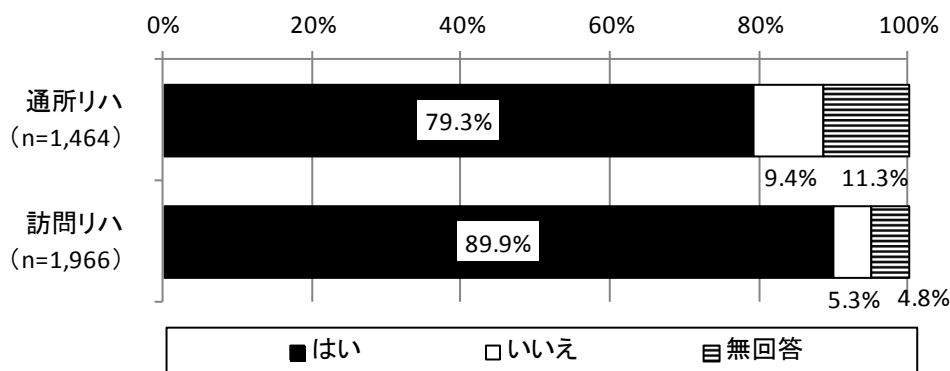
長期目標を設定しているかは、「通所リハビリテーション」では「はい」が 79.3%、「いいえ」が 9.4%であった。

「訪問リハビリテーション」では「はい」が 89.9%、「いいえ」が 5.3%であった。

設定している長期目標を介護支援専門員に適切に情報提供しているかは、「はい」と回答した事業所は、「通所リハビリテーション」では 90.0%、「訪問リハビリテーション」では 87.5%であった。

設定した目標はケアプランに反映されているかは、「はい」と回答した事業所は、「通所リハビリテーション」では 86.4%、「訪問リハビリテーション」では 81.9%であった。

図表 2-3-123 長期目標を設定しているか

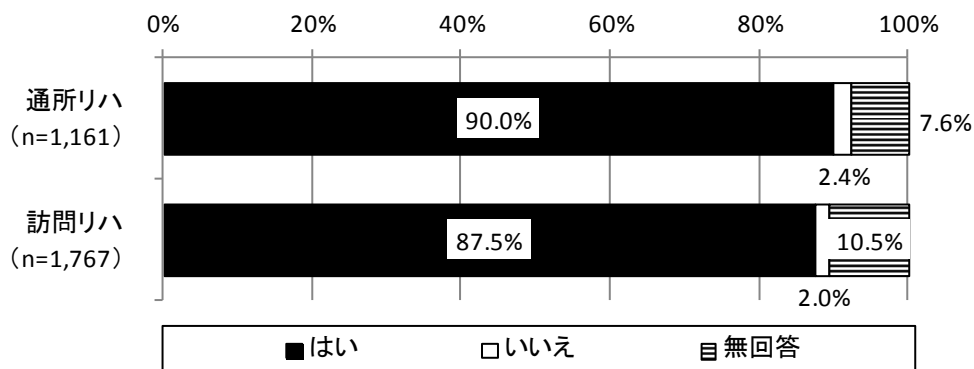


※「長期目標」の内容はそれぞれ以下の通り。

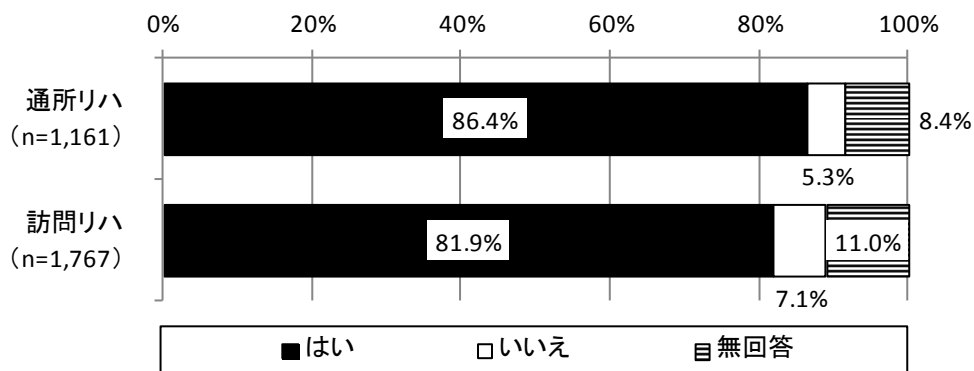
通所リハ：「歩行機能の維持・向上」「(屋内・屋外)安全な移動」「在宅生活の維持」「転倒予防」「身体機能維持」など

訪問リハ：「歩行機能の維持・向上」「在宅生活の維持」「転倒予防」「ADL・IADLの維持」「通所系サービスへの移行」「身体機能維持」など

図表 2-3-124 (長期目標設定) 介護支援専門員に適切に情報提供されているか



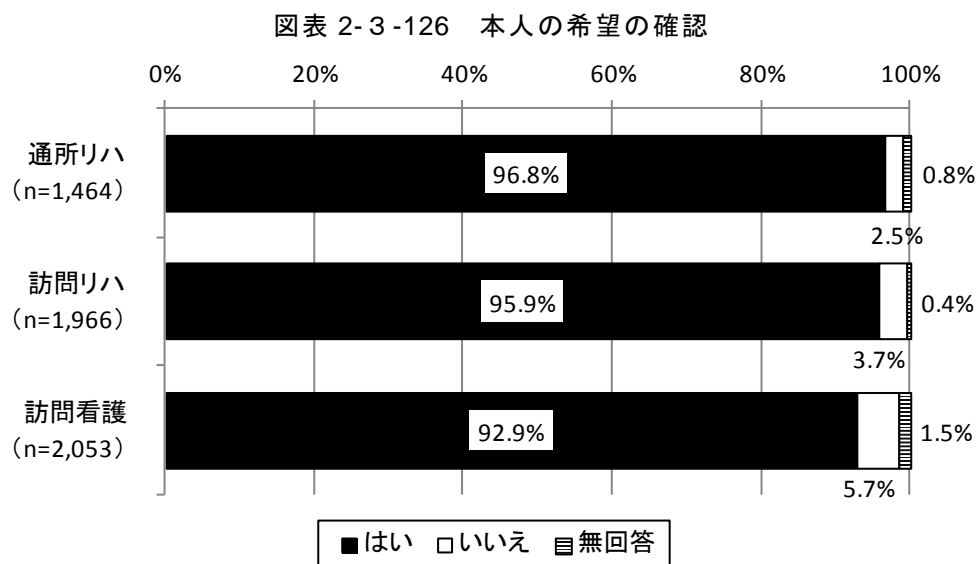
図表 2-3-125 (長期目標設定) 設定した目標はケアプランに反映されているか



#### (4) 希望の確認

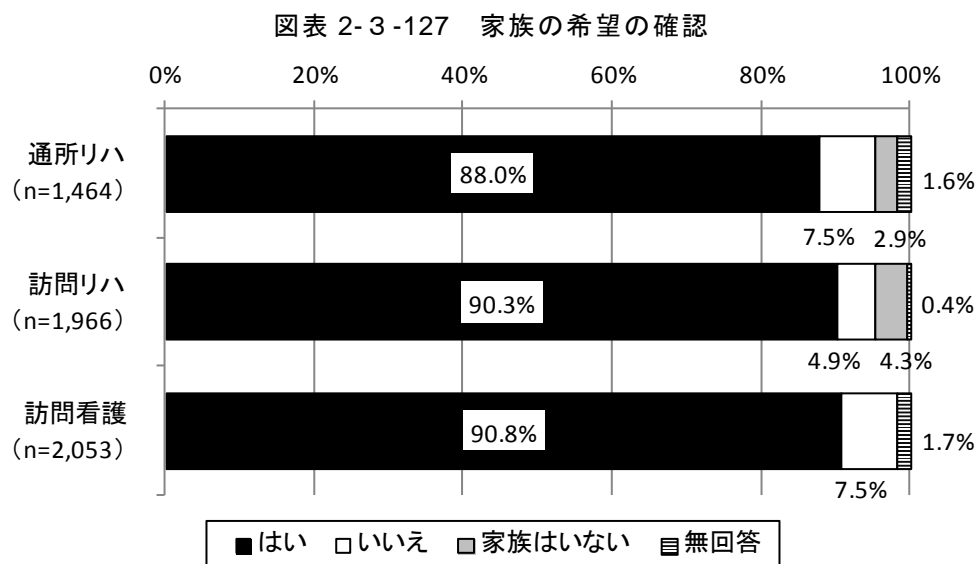
##### ① 本人の希望の確認

リハビリテーションについての本人の希望の確認をしているかを尋ねたところ、「はい」と回答した事業所は「通所リハビリテーション」では96.8%、「訪問リハビリテーション」では95.9%、「訪問看護ステーション」では92.9%であった。



② 家族の希望の確認

リハビリテーションについての家族の希望の確認にしているかを尋ねたところ、「はい」と回答した事業所は「通所リハビリテーション」では 88.0%、「訪問リハビリテーション」では 90.3%、「訪問看護ステーション」では 90.8%であった。



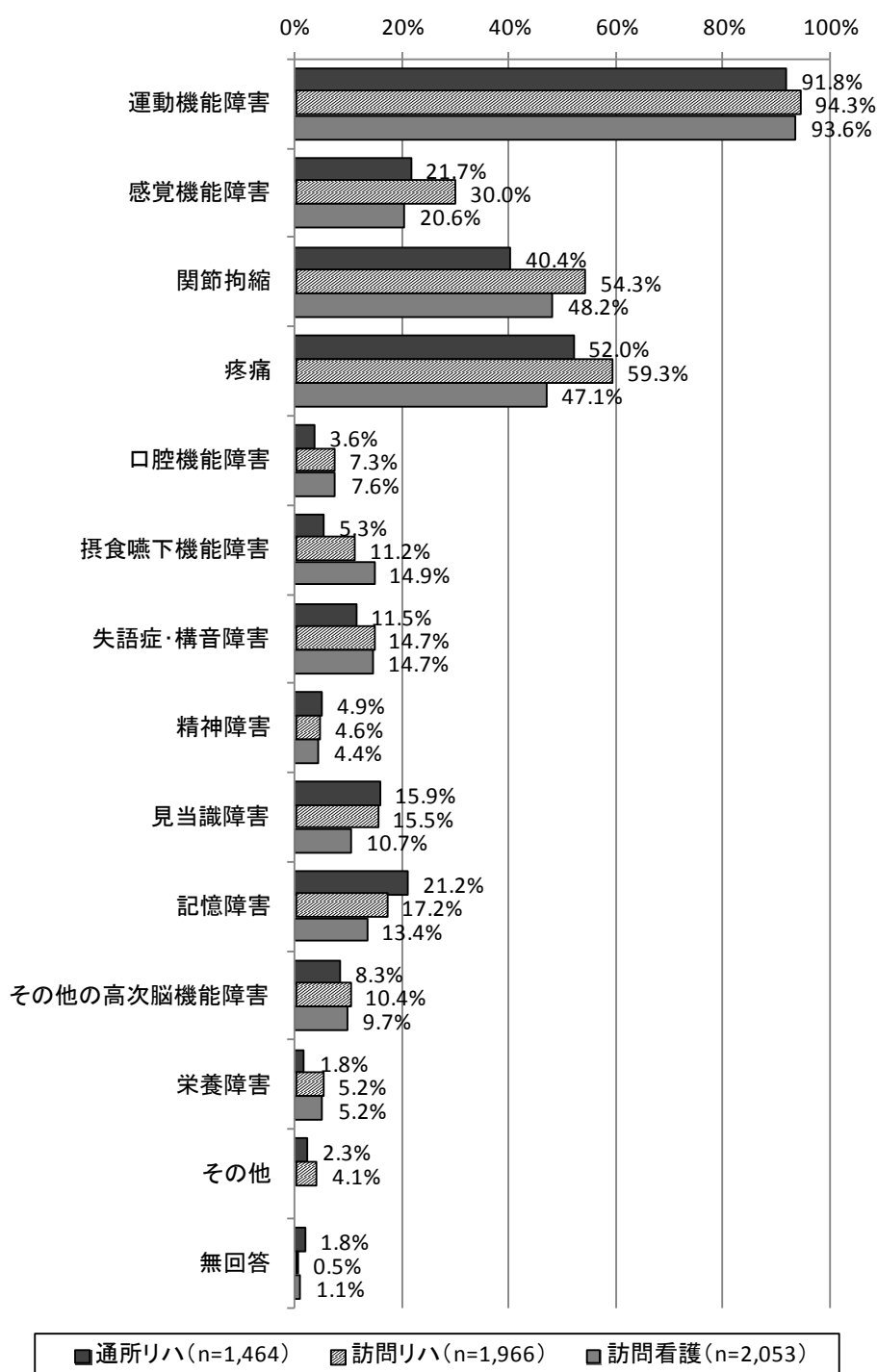
注) 「家族はいない」は通所リハビリテーション票、訪問リハビリテーション票のみ。

(5) アセスメント

① 心身機能

問題がある心身機能は、「運動機能障害」が「通所リハビリテーション」で 91.8%、「訪問リハビリテーション」で 94.3%、「訪問看護ステーション」で 93.6%であった。

図表 2-3-128 心身機能（複数回答）



注) 「その他」は通所リハビリテーション票、訪問リハビリテーション票のみ

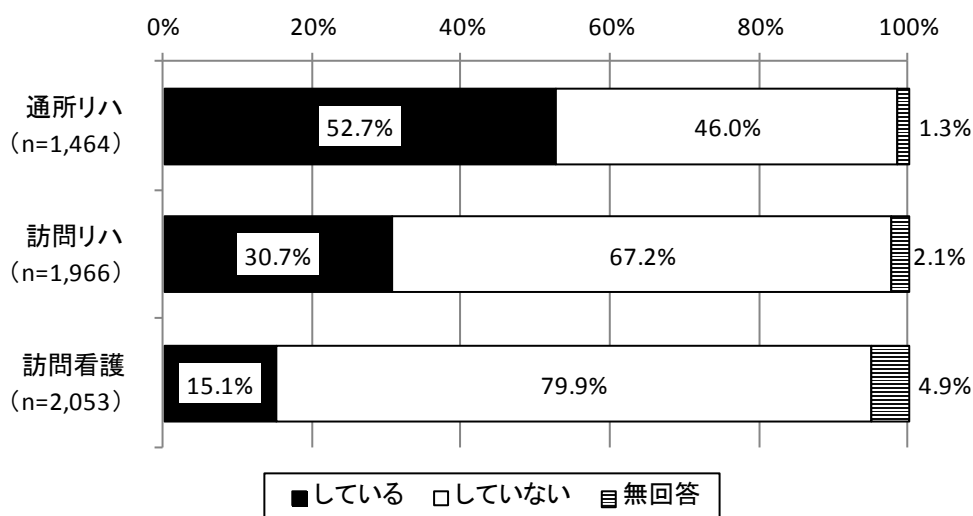
② 認知機能の評価の有無

認知機能の評価の有無は、「している」と回答した事業所は、「通所リハビリテーション」が 52.7%、「訪問リハビリテーション」が 30.7%、「訪問看護ステーション」が 15.1%であった。

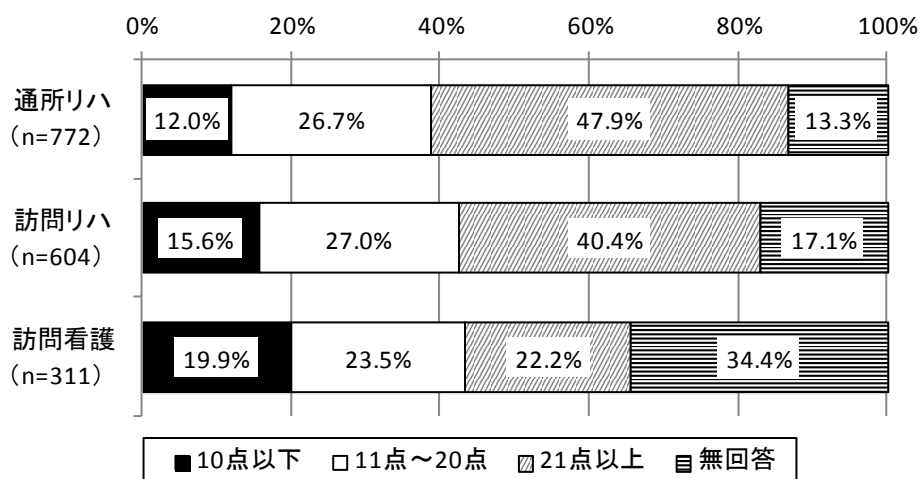
評価を行っている事業所の HDS-R の平均点は「通所リハビリテーション」が 20.1 点、「訪問リハビリテーション」が 18.9 点、「訪問看護ステーション」が 15.8 点であった。

MMSE の平均点は「通所リハビリテーション」が 20.3 点、「訪問リハビリテーション」が 18.8 点、「訪問看護ステーション」が 18.8 点であった。

図表 2-3-129 認知機能の評価の有無



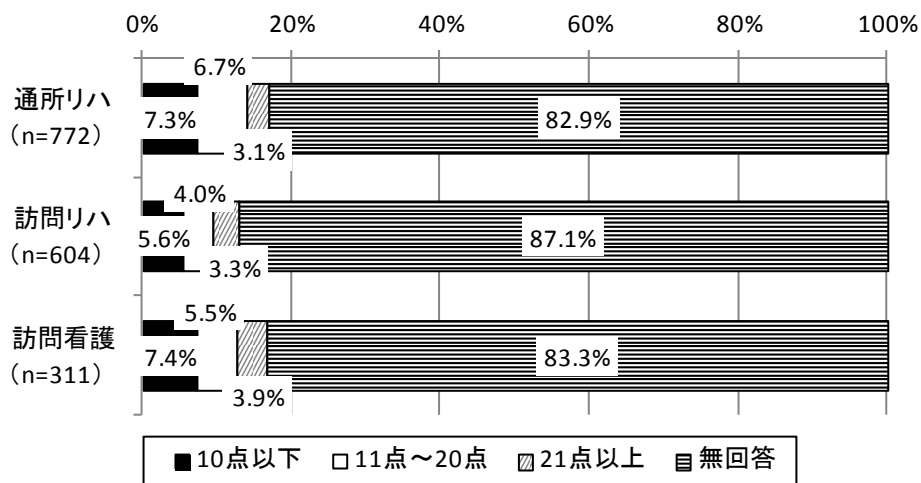
図表 2-3-130 HDS-R



	件数	平均	標準偏差	中央値
通所リハ	669	20.1	7.6	22.0
訪問リハ	501	18.9	8.5	20.0
訪問看護	204	15.8	8.8	16.0



図表 2-3-131 MMSE



	件数	平均	標準偏差	中央値
通所リハ	132	20.3	7.5	22.0
訪問リハ	78	18.8	9.6	22.0
訪問看護	52	18.8	9.8	22.0

## ③ Barthel Index での評価

Barthel Index での評価の平均点は「通所リハビリテーション」の利用開始時が 76.7 点、現状が 77.3 点であった。

「訪問リハビリテーション」の利用開始時が 61.0 点、現状が 64.0 点であった。

「訪問看護ステーション」の利用開始時が 57.0 点、現状が 59.9 点であった。

Barthel Index の変化は、「向上」が「通所リハビリテーション」で 30.4%、「訪問リハビリテーション」で 39.1%、「訪問看護ステーション」で 37.5%であった。

図表 2-3-132 Barthel Index での評価（現状）

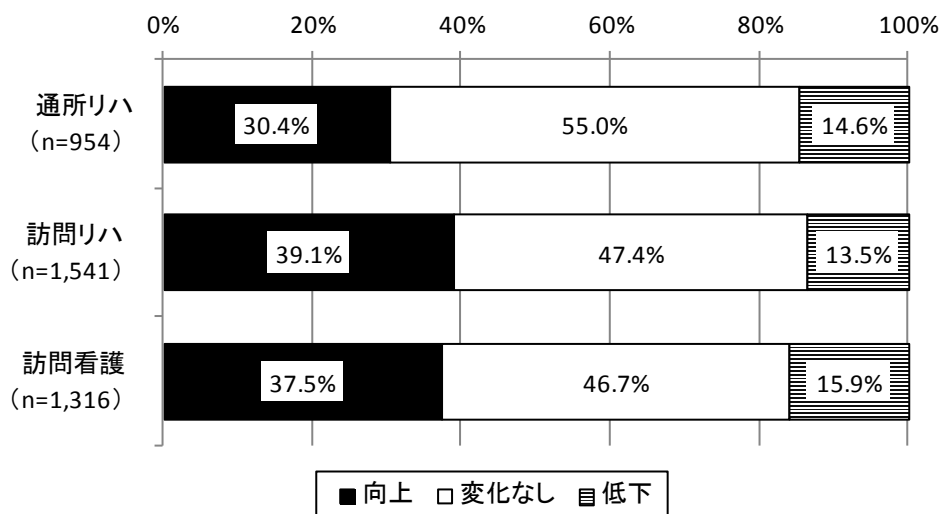
	通所リハ		訪問リハ		訪問看護	
	n	%	n	%	n	%
0 点～10 点	34	2.3%	186	9.5%	237	11.5%
11 点～20 点	12	0.8%	60	3.1%	48	2.3%
21 点～30 点	18	1.2%	63	3.2%	70	3.4%
31 点～40 点	36	2.5%	88	4.5%	67	3.3%
41 点～50 点	48	3.3%	96	4.9%	92	4.5%
51 点～60 点	67	4.6%	116	5.9%	107	5.2%
61 点～70 点	110	7.5%	148	7.5%	135	6.6%
71 点～80 点	155	10.6%	240	12.2%	185	9.0%
81 点～90 点	270	18.4%	355	18.1%	240	11.7%
91 点～100 点	321	21.9%	262	13.3%	251	12.2%
無回答	393	26.8%	352	17.9%	621	30.2%
全体	1,464	100.0%	1,966	100.0%	2,053	100.0%

	件数	平均	標準偏差	中央値
通所リハ(利用開始時)	958	76.7	22.6	85.0
通所リハ(現状)	1,071	77.3	23.2	85.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
訪問リハ(利用開始時)	1,544	61.0	30.2	70.0
訪問リハ(現状)	1,614	64.0	31.1	75.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
訪問看護(利用開始時)	1,317	57.0	32.0	65.0
訪問看護(現状)	1,432	59.9	33.4	70.0

図表 2-3-133 Barthel Index の変化



注) 利用開始時と現状の両方に回答があった利用者票に限定して集計を行った。

図表 2-3-134 【通所リハ】 Barthel Index の変化 (調査日の利用者)

	合計	向上	変化なし	低下	無回答
全体	1,464 100.0%	290 19.8%	525 35.9%	139 9.5%	510 34.8%
0点～10点	22 100.0%	2 9.1%	20 90.9%	0 0.0%	0 0.0%
11点～20点	14 100.0%	7 50.0%	6 42.9%	1 7.1%	0 0.0%
21点～30点	20 100.0%	12 60.0%	6 30.0%	2 10.0%	0 0.0%
31点～40点	36 100.0%	21 58.3%	12 33.3%	3 8.3%	0 0.0%
41点～50点	42 100.0%	19 45.2%	15 35.7%	6 14.3%	2 4.8%
51点～60点	66 100.0%	30 45.5%	25 37.9%	11 16.7%	0 0.0%
61点～70点	106 100.0%	49 46.2%	41 38.7%	16 15.1%	0 0.0%
71点～80点	156 100.0%	65 41.7%	69 44.2%	22 14.1%	0 0.0%
81点～90点	232 100.0%	61 26.3%	131 56.5%	38 16.4%	2 0.9%
91点～100点	264 100.0%	24 9.1%	200 75.8%	40 15.2%	0 0.0%

図表 2-3-135 【訪問リハ】 Barthel Index の変化（調査日の利用者）

	合計	向上	変化なし	低下	無回答
全体	1,966 100.0%	603 30.7%	730 37.1%	208 10.6%	425 21.6%
0点～10点	183 100.0%	38 20.8%	139 76.0%	6 3.3%	0 0.0%
11点～20点	65 100.0%	19 29.2%	31 47.7%	15 23.1%	0 0.0%
21点～30点	62 100.0%	32 51.6%	25 40.3%	5 8.1%	0 0.0%
31点～40点	86 100.0%	40 46.5%	35 40.7%	11 12.8%	0 0.0%
41点～50点	110 100.0%	58 52.7%	33 30.0%	17 15.5%	2 1.8%
51点～60点	138 100.0%	72 52.2%	42 30.4%	24 17.4%	0 0.0%
61点～70点	188 100.0%	107 56.9%	49 26.1%	31 16.5%	1 0.5%
71点～80点	249 100.0%	115 46.2%	98 39.4%	36 14.5%	0 0.0%
81点～90点	292 100.0%	106 36.3%	147 50.3%	39 13.4%	0 0.0%
91点～100点	171 100.0%	16 9.4%	131 76.6%	24 14.0%	0 0.0%

図表 2-3-136 【訪問看護】 Barthel Index の変化（調査日の利用者）

	合計	向上	変化なし	低下	無回答
全体	2,053 100.0%	493 24.0%	614 29.9%	209 10.2%	737 35.9%
0点～10点	210 100.0%	42 20.0%	159 75.7%	9 4.3%	0 0.0%
11点～20点	52 100.0%	22 42.3%	19 36.5%	10 19.2%	1 1.9%
21点～30点	64 100.0%	26 40.6%	24 37.5%	14 21.9%	0 0.0%
31点～40点	79 100.0%	32 40.5%	28 35.4%	19 24.1%	0 0.0%
41点～50点	126 100.0%	73 57.9%	31 24.6%	22 17.5%	0 0.0%
51点～60点	113 100.0%	51 45.1%	40 35.4%	22 19.5%	0 0.0%
61点～70点	126 100.0%	65 51.6%	41 32.5%	20 15.9%	0 0.0%
71点～80点	186 100.0%	88 47.3%	69 37.1%	29 15.6%	0 0.0%
81点～90点	201 100.0%	74 36.8%	92 45.8%	35 17.4%	0 0.0%
91点～100点	160 100.0%	20 12.5%	111 69.4%	29 18.1%	0 0.0%

図表 2-3-137 Barthel Index の変化（7月利用開始者）

	合計	向上	変化なし	低下
通所リハ（7月開始）	432 100.0%	105 24.3%	307 71.1%	20 4.6%
訪問リハ（7月開始）	531 100.0%	187 35.2%	320 60.3%	24 4.5%
訪問看護（7月開始）	221 100.0%	84 38.0%	126 57.0%	11 5.0%

注) 利用開始時と現状の両方に回答があった利用者票に限定して集計を行った。

図表 2-3-138 【通所リハ】 Barthel Index の変化（7月の利用開始者）

	合計	向上	変化なし	低下	無回答
全体	635 100.0%	105 16.5%	307 48.3%	20 3.1%	203 32.0%
0点～10点	12 100.0%	1 8.3%	10 83.3%	0 0.0%	1 8.3%
11点～20点	13 100.0%	2 15.4%	9 69.2%	2 15.4%	0 0.0%
21点～30点	6 100.0%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
31点～40点	12 100.0%	5 41.7%	5 41.7%	1 8.3%	1 8.3%
41点～50点	20 100.0%	7 35.0%	12 60.0%	0 0.0%	1 5.0%
51点～60点	34 100.0%	13 38.2%	19 55.9%	2 5.9%	0 0.0%
61点～70点	47 100.0%	12 25.5%	30 63.8%	2 4.3%	3 6.4%
71点～80点	73 100.0%	26 35.6%	42 57.5%	1 1.4%	4 5.5%
81点～90点	129 100.0%	26 20.2%	86 66.7%	9 7.0%	8 6.2%
91点～100点	112 100.0%	8 7.1%	94 83.9%	3 2.7%	7 6.3%

図表 2-3-139 【訪問リハ】 Barthel Index の変化（7月の利用開始者）

	合計	向上	変化なし	低下	無回答
全体	638 100.0%	187 29.3%	320 50.2%	24 3.8%	107 16.8%
0点～10点	44 100.0%	4 9.1%	38 86.4%	1 2.3%	1 2.3%
11点～20点	19 100.0%	3 15.8%	13 68.4%	1 5.3%	2 10.5%
21点～30点	22 100.0%	6 27.3%	14 63.6%	1 4.5%	1 4.5%
31点～40点	20 100.0%	7 35.0%	12 60.0%	1 5.0%	0 0.0%
41点～50点	37 100.0%	18 48.6%	12 32.4%	4 10.8%	3 8.1%
51点～60点	34 100.0%	15 44.1%	12 35.3%	5 14.7%	2 5.9%
61点～70点	62 100.0%	29 46.8%	29 46.8%	2 3.2%	2 3.2%
71点～80点	92 100.0%	48 52.2%	41 44.6%	1 1.1%	2 2.2%
81点～90点	136 100.0%	50 36.8%	78 57.4%	3 2.2%	5 3.7%
91点～100点	85 100.0%	7 8.2%	71 83.5%	5 5.9%	2 2.4%

図表 2-3-140 【訪問看護】 Barthel Index の変化（調査日の利用者）

	合計	向上	変化なし	低下	無回答
全体	323 100.0%	84 26.0%	126 39.0%	11 3.4%	102 31.6%
0点～10点	31 100.0%	7 22.6%	21 67.7%	1 3.2%	2 6.5%
11点～20点	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
21点～30点	11 100.0%	5 45.5%	4 36.4%	1 9.1%	1 9.1%
31点～40点	11 100.0%	6 54.5%	4 36.4%	1 9.1%	0 0.0%
41点～50点	28 100.0%	15 53.6%	7 25.0%	5 17.9%	1 3.6%
51点～60点	16 100.0%	7 43.8%	7 43.8%	1 6.3%	1 6.3%
61点～70点	23 100.0%	13 56.5%	10 43.5%	0 0.0%	0 0.0%
71点～80点	26 100.0%	12 46.2%	14 53.8%	0 0.0%	0 0.0%
81点～90点	45 100.0%	14 31.1%	29 64.4%	2 4.4%	0 0.0%
91点～100点	34 100.0%	5 14.7%	28 82.4%	0 0.0%	1 2.9%

④ Frenchay Activity Index での評価

Frenchay Activity Index での評価の平均点は「通所リハビリテーション」の利用開始時が 8.3 点、現状が 8.8 点であった。

「訪問リハビリテーション」の利用開始時が 5.9 点、現状が 7.5 点であった。

「訪問看護ステーション」の利用開始時が 6.3 点、現状が 7.5 点であった。

Frenchay Activity Index の変化は、「向上」が「通所リハビリテーション」で 28.5%、「訪問リハビリテーション」で 34.9%、「訪問看護ステーション」で 30.2%であった。

図表 2-3-141 Frenchay Activity Index での評価

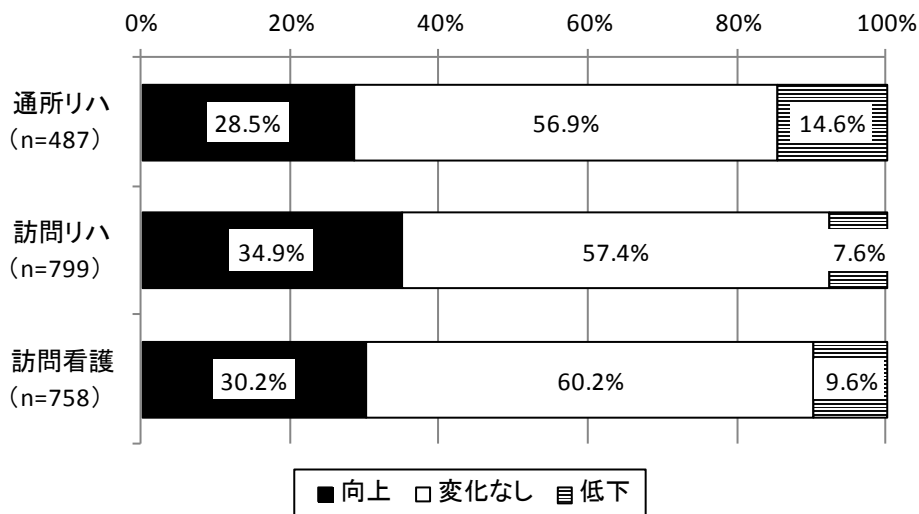
	通所リハ		訪問リハ		訪問看護	
	n	%	n	%	n	%
0 点～5 点	270	18.4%	457	23.2%	467	22.7%
6 点～10 点	107	7.3%	152	7.7%	127	6.2%
11 点～15 点	82	5.6%	95	4.8%	87	4.2%
16 点～20 点	50	3.4%	74	3.8%	62	3.0%
21 点～25 点	31	2.1%	37	1.9%	47	2.3%
26 点～30 点	21	1.4%	21	1.1%	25	1.2%
31 点～35 点	5	0.3%	9	0.5%	11	0.5%
36 点～40 点	2	0.1%	2	0.1%	5	0.2%
41 点～45 点	5	0.3%	3	0.2%	7	0.3%
無回答	891	60.9%	1,116	56.8%	1215	59.2%
全体	1,464	100.0%	1,966	100.0%	2,053	100.0%

	件数	平均	標準偏差	中央値
通所リハ(利用開始時)	489	8.3	8.8	5.0
通所リハ(現状)	573	8.8	8.8	6.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
訪問リハ(利用開始時)	801	5.9	7.5	3.0
訪問リハ(現状)	850	7.5	8.3	4.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
訪問看護(利用開始時)	761	6.3	8.5	3.0
訪問看護(現状)	838	7.5	9.2	4.0

図表 2-3-142 Frenchay Activity Index の変化



注) 利用開始時と現状の両方に回答があった利用者票に限定して集計を行った。

図表 2-3-143 Frenchay Activity Index の変化 (7月利用開始者)

	合計	向上	変化なし	低下
通所リハ (7月開始)	260	69	180	11
	100.0%	26.5%	69.2%	4.2%
訪問リハ (7月開始)	300	134	155	11
	100.0%	44.7%	51.7%	3.7%
訪問看護 (7月開始)	134	39	92	3
	100.0%	29.1%	68.7%	2.2%

注) 利用開始時と現状の両方に回答があった利用者票に限定して集計を行った。



## (6) 計画

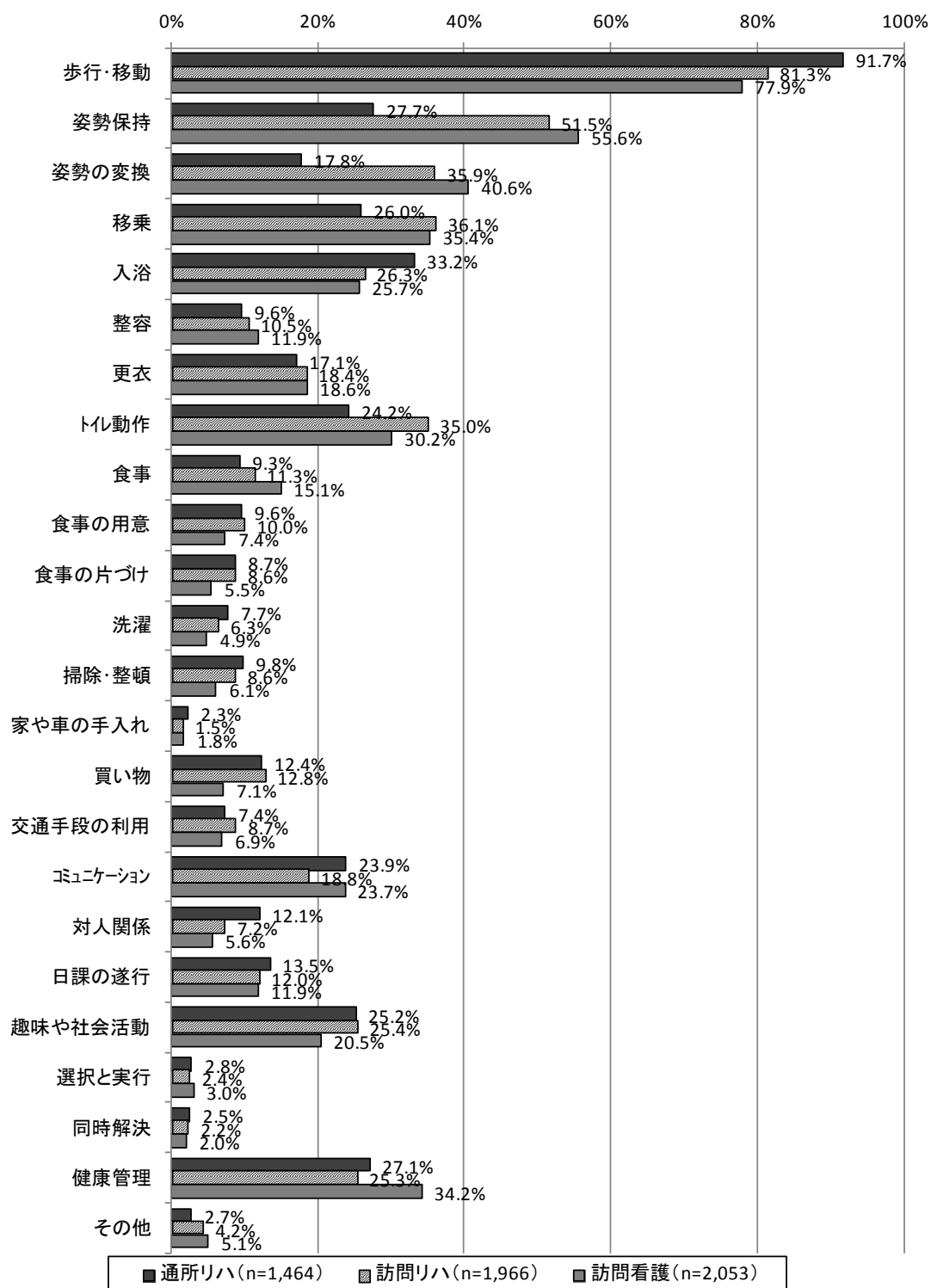
### ① 設定した日常生活上の課題の領域

設定した日常生活上の課題の領域は、「通所リハビリテーション」では「歩行・移動」が91.7%であった。

「訪問リハビリテーション」では「歩行・移動」が81.3%、「姿勢保持」が51.5%であった。

「訪問看護」では「歩行・移動」が77.9%、「姿勢保持」が55.6%であった。

図表 2-3-144 設定した日常生活上の課題の領域（複数回答）



注 1) 「選択と実行」複数の物や事象、課題から選択し実行する

注 2) 「同時解決」問題や状況を同定し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

※ 「その他」の内容はそれぞれ以下の通り。

通所リハ：「外出」「階段昇降」「認知機能」など

訪問リハ：「外出」「介護負担軽減」「階段昇降」など

訪問看護：「疼痛緩和」「呼吸管理」「仕事への復帰」「介助者の負担軽減」など

図表 2-3-145 【通所リハ】直近の要介護度別 設定した日常生活上の課題の領域(複数回答)

	合計	歩行・移動	姿勢保持	姿勢の変換	移乗	入浴	整容	更衣	トイレ動作
全体	1,464 100.0%	1,342 91.7%	405 27.7%	261 17.8%	380 26.0%	486 33.2%	140 9.6%	251 17.1%	355 24.2%
要支援	280 100.0%	266 95.0%	75 26.8%	59 21.1%	29 10.4%	62 22.1%	14 5.0%	25 8.9%	18 6.4%
要介護1・2	778 100.0%	738 94.9%	166 21.3%	105 13.5%	122 15.7%	246 31.6%	60 7.7%	117 15.0%	121 15.6%
要介護3～5	392 100.0%	325 82.9%	160 40.8%	93 23.7%	224 57.1%	172 43.9%	63 16.1%	106 27.0%	210 53.6%

	合計	食事	食事の用意	食事の片づけ	洗濯	掃除・整頓	家や車の手入れ	買い物	交通手段の利用
全体	1,464 100.0%	136 9.3%	140 9.6%	127 8.7%	113 7.7%	143 9.8%	33 2.3%	181 12.4%	108 7.4%
要支援	280 100.0%	16 5.7%	43 15.4%	34 12.1%	33 11.8%	44 15.7%	6 2.1%	52 18.6%	40 14.3%
要介護1・2	778 100.0%	61 7.8%	71 9.1%	66 8.5%	61 7.8%	78 10.0%	15 1.9%	99 12.7%	54 6.9%
要介護3～5	392 100.0%	58 14.8%	26 6.6%	27 6.9%	19 4.8%	21 5.4%	12 3.1%	29 7.4%	14 3.6%

	合計	コミュニケーション	対人関係	日課の遂行	趣味や社会活動	選択と実行	同時解決	健康管理	その他
全体	1,464 100.0%	350 23.9%	177 12.1%	198 13.5%	369 25.2%	41 2.8%	37 2.5%	397 27.1%	40 2.7%
要支援	280 100.0%	41 14.6%	21 7.5%	46 16.4%	101 36.1%	3 1.1%	3 1.1%	72 25.7%	5 1.8%
要介護1・2	778 100.0%	195 25.1%	109 14.0%	124 15.9%	198 25.4%	21 2.7%	21 2.7%	213 27.4%	25 3.2%
要介護3～5	392 100.0%	111 28.3%	45 11.5%	27 6.9%	68 17.3%	17 4.3%	13 3.3%	109 27.8%	10 2.6%

(続き)

	合計	無回答
全体	1,464 100.0%	2 0.1%
要支援	280 100.0%	1 0.4%
要介護 1・2	778 100.0%	1 0.1%
要介護 3～5	392 100.0%	0 0.0%

注1)「選択と実行」複数の物や事象、課題から選択し実行する

注2)「同時解決」問題や状況を同定し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

図表 2-3-146 【訪問リハビリテーション】直近の要介護度別 設定した日常生活上の課題の領域（複数回答）

	合計	歩行・移動	姿勢保持	姿勢の変換	移乗	入浴	整容	更衣	トイレ動作
全体	1,966 100.0%	1,599 81.3%	1,013 51.5%	706 35.9%	709 36.1%	518 26.3%	207 10.5%	362 18.4%	688 35.0%
要支援	262 100.0%	245 93.5%	120 45.8%	62 23.7%	29 11.1%	69 26.3%	23 8.8%	33 12.6%	36 13.7%
要介護 1・2	729 100.0%	679 93.1%	289 39.6%	192 26.3%	145 19.9%	225 30.9%	64 8.8%	119 16.3%	199 27.3%
要介護 3～5	955 100.0%	660 69.1%	591 61.9%	443 46.4%	523 54.8%	220 23.0%	118 12.4%	207 21.7%	446 46.7%

	合計	食事	食事の用意	食事の片づけ	洗濯	掃除・整頓	家や車の手入れ	買い物	交通手段の利用
全体	1,966 100.0%	223 11.3%	197 10.0%	170 8.6%	124 6.3%	169 8.6%	29 1.5%	252 12.8%	171 8.7%
要支援	262 100.0%	16 6.1%	52 19.8%	44 16.8%	44 16.8%	50 19.1%	10 3.8%	71 27.1%	49 18.7%
要介護 1・2	729 100.0%	54 7.4%	102 14.0%	89 12.2%	55 7.5%	83 11.4%	12 1.6%	118 16.2%	74 10.2%
要介護 3～5	955 100.0%	150 15.7%	40 4.2%	35 3.7%	24 2.5%	34 3.6%	6 0.6%	60 6.3%	47 4.9%

(続き)

	合計	コミュニケーション	対人関係	日課の遂行	趣味や社会活動	選択と実行	同時解決	健康管理	その他
全体	1,966 100.0%	369 18.8%	142 7.2%	236 12.0%	499 25.4%	47 2.4%	44 2.2%	498 25.3%	83 4.2%
要支援	262 100.0%	25 9.5%	21 8.0%	52 19.8%	101 38.5%	4 1.5%	2 0.8%	73 27.9%	7 2.7%
要介護1・2	729 100.0%	124 17.0%	68 9.3%	107 14.7%	218 29.9%	21 2.9%	20 2.7%	191 26.2%	30 4.1%
要介護3～5	955 100.0%	218 22.8%	52 5.4%	73 7.6%	174 18.2%	21 2.2%	21 2.2%	233 24.4%	46 4.8%

	合計	無回答
全体	1,966 100.0%	13 0.7%
要支援	262 100.0%	3 1.1%
要介護1・2	729 100.0%	5 0.7%
要介護3～5	955 100.0%	5 0.5%

注1)「選択と実行」複数の物や事象、課題から選択し実行する

注2)「同時解決」問題や状況を同定し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

図表 2-3-147 【訪問看護】直近の要介護度別 設定した日常生活上の課題の領域(複数回答)

	合計	歩行・移動	姿勢保持	姿勢の変換	移乗	入浴	整容	更衣	トイレ動作
全体	2,053 100.0%	1,599 77.9%	1,142 55.6%	834 40.6%	726 35.4%	528 25.7%	245 11.9%	382 18.6%	619 30.2%
要支援	270 100.0%	259 95.9%	113 41.9%	70 25.9%	24 8.9%	57 21.1%	16 5.9%	27 10.0%	25 9.3%
要介護1・2	694 100.0%	638 91.9%	325 46.8%	225 32.4%	151 21.8%	206 29.7%	77 11.1%	126 18.2%	185 26.7%
要介護3～5	950 100.0%	628 66.1%	627 66.0%	475 50.0%	509 53.6%	230 24.2%	135 14.2%	204 21.5%	370 38.9%

(続き)

	合計	食事	食事の用意	食事の片づけ	洗濯	掃除・整頓	家や車の手入れ	買い物	交通手段の利用
全体	2,053 100.0%	309 15.1%	152 7.4%	113 5.5%	100 4.9%	126 6.1%	36 1.8%	146 7.1%	142 6.9%
要支援	270 100.0%	17 6.3%	30 11.1%	23 8.5%	24 8.9%	27 10.0%	8 3.0%	45 16.7%	39 14.4%
要介護1・2	694 100.0%	91 13.1%	73 10.5%	50 7.2%	46 6.6%	53 7.6%	12 1.7%	65 9.4%	54 7.8%
要介護3～5	950 100.0%	179 18.8%	38 4.0%	32 3.4%	26 2.7%	39 4.1%	16 1.7%	30 3.2%	39 4.1%

	合計	コミュニケーション	対人関係	日課の遂行	趣味や社会活動	選択と実行	同時解決	健康管理	その他
全体	2,053 100.0%	487 23.7%	115 5.6%	245 11.9%	420 20.5%	62 3.0%	42 2.0%	702 34.2%	104 5.1%
要支援	270 100.0%	22 8.1%	7 2.6%	54 20.0%	97 35.9%	3 1.1%	3 1.1%	96 35.6%	8 3.0%
要介護1・2	694 100.0%	142 20.5%	52 7.5%	107 15.4%	163 23.5%	27 3.9%	18 2.6%	260 37.5%	32 4.6%
要介護3～5	950 100.0%	280 29.5%	43 4.5%	67 7.1%	120 12.6%	25 2.6%	17 1.8%	290 30.5%	50 5.3%

	合計	なし	無回答
全体	2,053 100.0%	13 0.6%	17 0.8%
要支援	270 100.0%	0 0.0%	2 0.7%
要介護1・2	694 100.0%	0 0.0%	3 0.4%
要介護3～5	950 100.0%	9 0.9%	7 0.7%

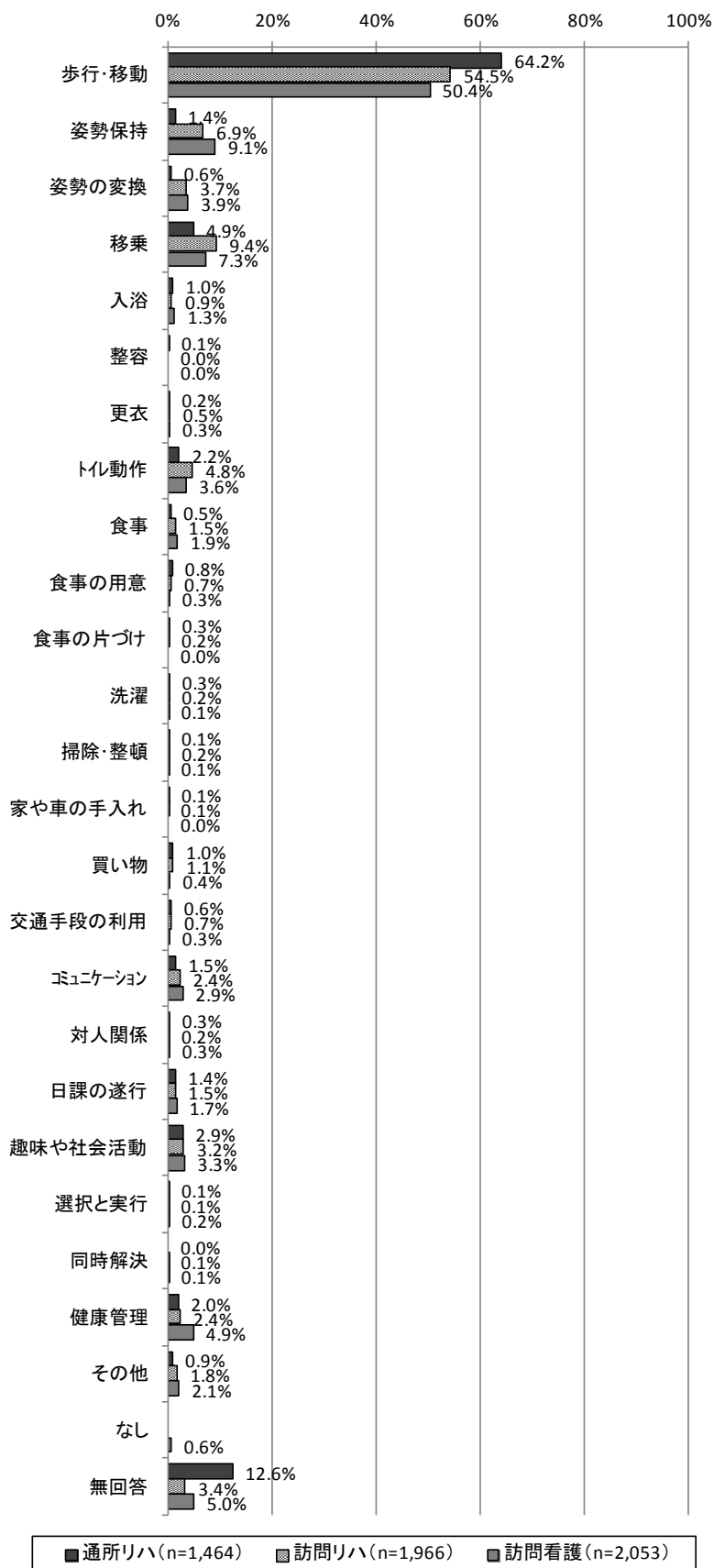
注1)「選択と実行」複数の物や事象、課題から選択し実行する

注2)「同時解決」問題や状況を同定し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

## ② 最も優先順位が高い日常生活上の課題領域

最も優先順位が高い日常生活上の課題領域は、「歩行・移動」が「通所リハビリテーション」で64.2%、「訪問リハビリテーション」では54.5%、「訪問看護ステーション」で50.4%であった。

図表 2-3-148 最も優先順位が高い日常生活上の課題領域



注) 「なし」は訪問看護ステーション票のみ。

図表 2-3-149 【通所リハ】リハビリが必要となった原因の傷病名別 最も優先順位が高い日  
常生活上の課題領域（7月利用開始者）

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
全体	635 100.0%	109 17.2%	209 32.9%	64 10.1%	83 13.1%	114 18.0%	105 16.5%	65 10.2%	161 25.4%
歩行・移 動	405 100.0%	72 17.8%	121 29.9%	39 9.6%	55 13.6%	80 19.8%	68 16.8%	30 7.4%	111 27.4%
姿勢保持	17 100.0%	0 0.0%	7 41.2%	3 17.6%	2 11.8%	4 23.5%	4 23.5%	5 29.4%	2 11.8%
姿勢の変 換	9 100.0%	2 22.2%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%
移乗	33 100.0%	4 12.1%	18 54.5%	5 15.2%	6 18.2%	4 12.1%	5 15.2%	9 27.3%	7 21.2%
入浴	7 100.0%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%
整容	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
更衣	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
トイレ動作	13 100.0%	3 23.1%	7 53.8%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 23.1%	2 15.4%	3 23.1%
食事	6 100.0%	3 50.0%	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%
食事の用 意	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%
食事の片 づけ	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
洗濯	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
掃除・整 頓	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
家や車の 手入れ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
買い物	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
交通手段 の利用	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
コミュニケー ション	13 100.0%	0 0.0%	9 69.2%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 30.8%	1 7.7%	0 0.0%
対人関係	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
日課の遂 行	8 100.0%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	4 50.0%	1 12.5%	1 12.5%
趣味や社 会活動	17 100.0%	1 5.9%	6 35.3%	0 0.0%	2 11.8%	5 29.4%	2 11.8%	1 5.9%	2 11.8%



(続き)

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
選択と実行	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
同時解決	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康管理	18 100.0%	3 16.7%	4 22.2%	2 11.1%	2 11.1%	1 5.6%	4 22.2%	4 22.2%	3 16.7%
その他	7 100.0%	4 57.1%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.9%

注1)「選択と実行」複数の物や事象、課題から選択し実行する

注2)「同時解決」問題や状況を同定し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

図表 2-3-150 【訪問リハ】リハビリが必要となった原因の傷病名別 最も優先順位が高い日

常生活上の課題領域（7月利用開始者）

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
全体	638 100.0%	75 11.8%	199 31.2%	33 5.2%	88 13.8%	88 13.8%	68 10.7%	155 24.3%	172 27.0%
歩行・移動	387 100.0%	45 11.6%	107 27.6%	23 5.9%	61 15.8%	66 17.1%	34 8.8%	82 21.2%	124 32.0%
姿勢保持	31 100.0%	2 6.5%	8 25.8%	0 0.0%	1 3.2%	2 6.5%	9 29.0%	13 41.9%	5 16.1%
姿勢の変換	19 100.0%	4 21.1%	7 36.8%	1 5.3%	4 21.1%	3 15.8%	0 0.0%	7 36.8%	4 21.1%
移乗	49 100.0%	7 14.3%	21 42.9%	1 2.0%	7 14.3%	2 4.1%	6 12.2%	13 26.5%	6 12.2%
入浴	8 100.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	6 75.0%
整容	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
更衣	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
トイレ動作	22 100.0%	1 4.5%	5 22.7%	0 0.0%	2 9.1%	2 9.1%	2 9.1%	6 27.3%	8 36.4%
食事	11 100.0%	0 0.0%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	3 27.3%	0 0.0%
食事の用意	8 100.0%	1 12.5%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	2 25.0%
食事の片づけ	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
洗濯	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
掃除・整頓	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

(続き)

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
家や車の 手入れ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
買い物	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.9%	4 57.1%
交通手段 の利用	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
コミュニケー ション	13 100.0%	1 7.7%	10 76.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%
対人関係	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%
日課の遂 行	9 100.0%	3 33.3%	3 33.3%	0 0.0%	3 33.3%	2 22.2%	3 33.3%	3 33.3%	1 11.1%
趣味や社 会活動	17 100.0%	1 5.9%	7 41.2%	2 11.8%	4 23.5%	1 5.9%	2 11.8%	7 41.2%	2 11.8%
選択と実 行	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
同時解決	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康管理	12 100.0%	3 25.0%	4 33.3%	1 8.3%	0 0.0%	2 16.7%	1 8.3%	3 25.0%	1 8.3%
その他	12 100.0%	2 16.7%	6 50.0%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	2 16.7%	5 41.7%	2 16.7%

注1)「選択と実行」複数の物や事象、課題から選択し実行する

注2)「同時解決」問題や状況を同定し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

図表 2-3-151 【訪問看護】リハビリが必要となった原因の傷病名別 最も優先順位が高い日

## 常生活上の課題領域（7月利用開始者）

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
全体	323 100.0%	51 15.8%	85 26.3%	25 7.7%	46 14.2%	56 17.3%	34 10.5%	55 17.0%	60 18.6%
歩行・移 動	169 100.0%	28 16.6%	33 19.5%	11 6.5%	30 17.8%	41 24.3%	12 7.1%	30 17.8%	39 23.1%
姿勢保持	23 100.0%	2 8.7%	7 30.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	3 13.0%
姿勢の変 換	10 100.0%	2 20.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	6 60.0%	3 30.0%	1 10.0%
移乗	23 100.0%	3 13.0%	10 43.5%	2 8.7%	5 21.7%	5 21.7%	1 4.3%	3 13.0%	3 13.0%
入浴	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
整容	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(続き)

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
更衣	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
トイレ動作	19 100.0%	2 10.5%	4 21.1%	3 15.8%	4 21.1%	3 15.8%	3 15.8%	5 26.3%	4 21.1%
食事	8 100.0%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	2 25.0%	4 50.0%	0 0.0%
食事の用意	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
食事の片づけ	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
洗濯	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
掃除・整頓	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
家や車の手入れ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
買い物	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
交通手段の利用	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
コミュニケーション	12 100.0%	3 25.0%	12 100.0%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%
対人関係	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
日課の遂行	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%
趣味や社会活動	7 100.0%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%
選択と実行	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
同時解決	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康管理	9 100.0%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	5 55.6%	0 0.0%
その他	15 100.0%	3 20.0%	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	3 20.0%	2 13.3%	1 6.7%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

注1)「選択と実行」複数の物や事象、課題から選択し実行する

注2)「同時解決」問題や状況を同定し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

図表 2-3-152 【通所リハ】リハビリが必要となった原因の傷病名別 最も優先順位が高い日

## 常生活上の課題領域

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
全体	1,464 100.0%	291 19.9%	582 39.8%	129 8.8%	186 12.7%	301 20.6%	242 16.5%	129 8.8%	371 25.3%
歩行・移 動	940 100.0%	194 20.6%	367 39.0%	94 10.0%	126 13.4%	212 22.6%	149 15.9%	82 8.7%	237 25.2%
姿勢保持	20 100.0%	4 20.0%	11 55.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	5 25.0%	3 15.0%	4 20.0%
姿勢の変 換	9 100.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	4 44.4%	4 44.4%
移乗	72 100.0%	18 25.0%	42 58.3%	5 6.9%	9 12.5%	7 9.7%	4 5.6%	10 13.9%	21 29.2%
入浴	14 100.0%	1 7.1%	4 28.6%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	3 21.4%
整容	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
更衣	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
トイレ動作	32 100.0%	8 25.0%	17 53.1%	2 6.3%	2 6.3%	8 25.0%	4 12.5%	3 9.4%	5 15.6%
食事	7 100.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%
食事の用 意	12 100.0%	1 8.3%	6 50.0%	0 0.0%	1 8.3%	2 16.7%	5 41.7%	0 0.0%	2 16.7%
食事の片 づけ	4 100.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%
洗濯	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	3 75.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%
掃除・整 頓	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
家や車の 手入れ	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
買い物	15 100.0%	3 20.0%	2 13.3%	3 20.0%	2 13.3%	4 26.7%	3 20.0%	1 6.7%	4 26.7%
交通手段 の利用	9 100.0%	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%
コミュニケー ション	22 100.0%	3 13.6%	16 72.7%	1 4.5%	0 0.0%	2 9.1%	6 27.3%	0 0.0%	1 4.5%
対人関係	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
日課の遂 行	21 100.0%	3 14.3%	5 23.8%	1 4.8%	0 0.0%	5 23.8%	10 47.6%	0 0.0%	4 19.0%
趣味や社 会活動	42 100.0%	7 16.7%	16 38.1%	2 4.8%	5 11.9%	11 26.2%	7 16.7%	7 16.7%	9 21.4%

(続き)

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
選択と実 行	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
同時解決	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康管理	29 100.0%	5 17.2%	11 37.9%	6 20.7%	4 13.8%	3 10.3%	5 17.2%	1 3.4%	10 34.5%
その他	13 100.0%	4 30.8%	2 15.4%	0 0.0%	2 15.4%	2 15.4%	3 23.1%	1 7.7%	3 23.1%

注1)「選択と実行」複数の物や事象、課題から選択し実行する

注2)「同時解決」問題や状況を同定し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

図表 2-3-153 【訪問リハ】リハビリが必要となった原因の傷病名別 最も優先順位が高い日

常生活上の課題領域

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
全体	1,966 100.0%	268 13.6%	769 39.1%	152 7.7%	278 14.1%	316 16.1%	201 10.2%	402 20.4%	445 22.6%
歩行・移動	1,071 100.0%	158 14.8%	368 34.4%	86 8.0%	159 14.8%	212 19.8%	87 8.1%	198 18.5%	279 26.1%
姿勢保持	135 100.0%	17 12.6%	45 33.3%	8 5.9%	19 14.1%	15 11.1%	28 20.7%	33 24.4%	25 18.5%
姿勢の変 換	73 100.0%	8 11.0%	35 47.9%	11 15.1%	12 16.4%	9 12.3%	11 15.1%	27 37.0%	12 16.4%
移乗	184 100.0%	26 14.1%	104 56.5%	18 9.8%	33 17.9%	20 10.9%	16 8.7%	44 23.9%	36 19.6%
入浴	17 100.0%	1 5.9%	4 23.5%	0 0.0%	2 11.8%	1 5.9%	3 17.6%	3 17.6%	6 35.3%
整容	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
更衣	9 100.0%	1 11.1%	5 55.6%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%
トイレ動作	94 100.0%	11 11.7%	30 31.9%	7 7.4%	16 17.0%	14 14.9%	13 13.8%	22 23.4%	25 26.6%
食事	30 100.0%	2 6.7%	14 46.7%	1 3.3%	1 3.3%	3 10.0%	3 10.0%	10 33.3%	2 6.7%
食事の用 意	14 100.0%	0 0.0%	7 50.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	2 14.3%	2 14.3%	2 14.3%
食事の片 づけ	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%
洗濯	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%
掃除・整頓	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
家や車の 手入れ	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

(続き)

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
買い物	21 100.0%	1 4.8%	10 47.6%	0 0.0%	4 19.0%	5 23.8%	0 0.0%	2 9.5%	4 19.0%
交通手段 の利用	13 100.0%	2 15.4%	4 30.8%	2 15.4%	4 30.8%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	3 23.1%
コミュニケーション	47 100.0%	7 14.9%	36 76.6%	1 2.1%	0 0.0%	3 6.4%	4 8.5%	6 12.8%	2 4.3%
対人関係	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
日課の遂 行	29 100.0%	4 13.8%	11 37.9%	3 10.3%	4 13.8%	6 20.7%	4 13.8%	10 34.5%	7 24.1%
趣味や社 会活動	62 100.0%	5 8.1%	26 41.9%	3 4.8%	8 12.9%	5 8.1%	8 12.9%	7 11.3%	13 21.0%
選択と実 行	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
同時解決	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康管理	48 100.0%	3 6.3%	17 35.4%	2 4.2%	4 8.3%	2 4.2%	9 18.8%	18 37.5%	7 14.6%
その他	36 100.0%	8 22.2%	16 44.4%	3 8.3%	4 11.1%	5 13.9%	3 8.3%	6 16.7%	4 11.1%

注1) 「選択と実行」複数の物や事象、課題から選択し実行する

注2) 「同時解決」問題や状況を同定し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

図表 2-3-154 【訪問看護】リハビリが必要となった原因の傷病名別 最も優先順位が高い日

## 常生活上の課題領域

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
全体	2,053 100.0%	312 15.2%	639 31.1%	173 8.4%	262 12.8%	256 12.5%	225 11.0%	365 17.8%	320 15.6%
歩行・移 動	1,034 100.0%	184 17.8%	323 31.2%	90 8.7%	131 12.7%	158 15.3%	109 10.5%	179 17.3%	185 17.9%
姿勢保持	187 100.0%	21 11.2%	56 29.9%	14 7.5%	20 10.7%	10 5.3%	21 11.2%	38 20.3%	26 13.9%
姿勢の変 換	80 100.0%	10 12.5%	18 22.5%	3 3.8%	10 12.5%	3 3.8%	16 20.0%	23 28.8%	9 11.3%
移乗	149 100.0%	16 10.7%	51 34.2%	9 6.0%	31 20.8%	24 16.1%	16 10.7%	26 17.4%	29 19.5%
入浴	27 100.0%	4 14.8%	11 40.7%	3 11.1%	0 0.0%	1 3.7%	3 11.1%	7 25.9%	7 25.9%
整容	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
更衣	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%

(続き)

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
トイレ動作	73 100.0%	12 16.4%	23 31.5%	7 9.6%	5 6.8%	15 20.5%	11 15.1%	17 23.3%	9 12.3%
食事	39 100.0%	3 7.7%	12 30.8%	2 5.1%	1 2.6%	1 2.6%	4 10.3%	9 23.1%	5 12.8%
食事の用意	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%
食事の片づけ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
洗濯	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
掃除・整頓	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
家や車の 手入れ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
買い物	8 100.0%	3 37.5%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	3 37.5%	0 0.0%	3 37.5%	3 37.5%
交通手段 の利用	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%
コミュニケー ション	59 100.0%	8 13.6%	36 61.0%	4 6.8%	2 3.4%	2 3.4%	4 6.8%	7 11.9%	2 3.4%
対人関係	6 100.0%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
日課の遂 行	34 100.0%	10 29.4%	5 14.7%	7 20.6%	7 20.6%	10 29.4%	6 17.6%	6 17.6%	5 14.7%
趣味や社 会活動	67 100.0%	11 16.4%	27 40.3%	3 4.5%	11 16.4%	8 11.9%	1 1.5%	7 10.4%	12 17.9%
選択と実 行	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%
同時解決	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康管理	100 100.0%	10 10.0%	25 25.0%	11 11.0%	11 11.0%	5 5.0%	12 12.0%	14 14.0%	9 9.0%
その他	44 100.0%	5 11.4%	11 25.0%	3 6.8%	7 15.9%	5 11.4%	2 4.5%	6 13.6%	4 9.1%
なし	13 100.0%	3 23.1%	4 30.8%	1 7.7%	3 23.1%	0 0.0%	4 30.8%	1 7.7%	1 7.7%

注1)「選択と実行」複数の物や事象、課題から選択し実行する

注2)「同時解決」問題や状況を同定し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

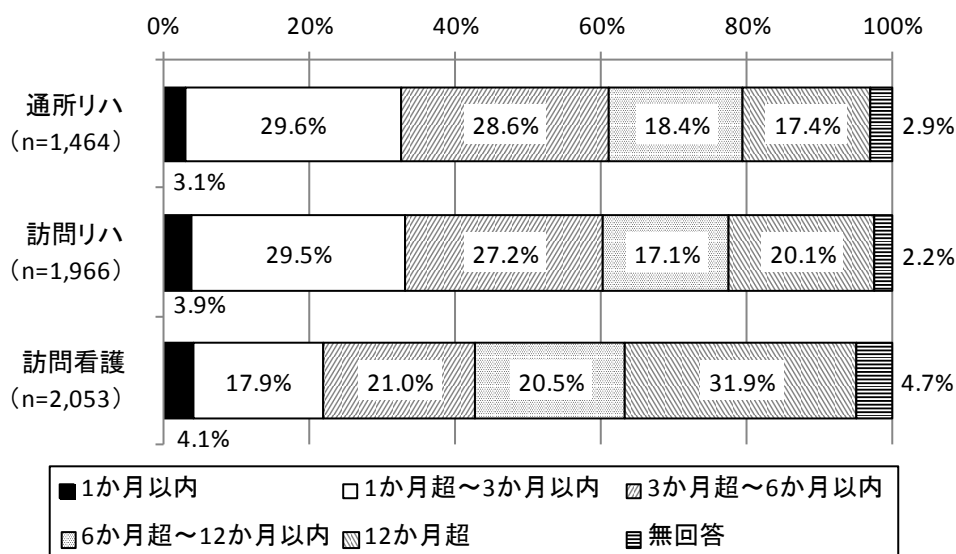
③ 最も優先順位が高い課題の達成期間

最も優先順位が高い課題の達成期間は、「通所リハビリテーション」では「1か月超～3か月以内」が29.6%、「3か月超～6か月以内」が28.6%であった。

「訪問リハビリテーション」では「1か月超～3か月以内」が29.5%、「3か月超～6か月以内」が27.2%であった。

「訪問看護ステーション」では「12か月超」が31.9%、「3か月超～6か月以内」が21.0%であった。

図表 2-3-155 最も優先順位が高い課題の達成期間



図表 2-3-156 【通所リハ】リハビリが必要となった原因の傷病名別 最も優先順位が高い課題の達成期間（7月利用開始者）

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
全体	635 100.0%	109 17.2%	209 32.9%	64 10.1%	83 13.1%	114 18.0%	105 16.5%	65 10.2%	161 25.4%
1か月以内	26 100.0%	5 19.2%	6 23.1%	1 3.8%	5 19.2%	8 30.8%	3 11.5%	3 11.5%	7 26.9%
1か月超～3 か月以内	227 100.0%	47 20.7%	66 29.1%	26 11.5%	32 14.1%	38 16.7%	37 16.3%	28 12.3%	56 24.7%
3か月超～6 か月以内	222 100.0%	36 16.2%	76 34.2%	22 9.9%	28 12.6%	41 18.5%	43 19.4%	16 7.2%	58 26.1%
6か月超～ 12か月以内	101 100.0%	9 8.9%	42 41.6%	7 6.9%	10 9.9%	17 16.8%	12 11.9%	12 11.9%	30 29.7%
12か月超	47 100.0%	11 23.4%	14 29.8%	7 14.9%	7 14.9%	10 21.3%	9 19.1%	5 10.6%	8 17.0%



図表 2-3-157 【訪問リハ】リハビリが必要となった原因の傷病名別 最も優先順位が高い課題の達成期間（7月利用開始者）

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
全体	638 100.0%	75 11.8%	199 31.2%	33 5.2%	88 13.8%	88 13.8%	68 10.7%	155 24.3%	172 27.0%
1か月以内	63 100.0%	4 6.3%	11 17.5%	1 1.6%	11 17.5%	6 9.5%	3 4.8%	14 22.2%	28 44.4%
1か月超～3 か月以内	273 100.0%	37 13.6%	92 33.7%	14 5.1%	30 11.0%	32 11.7%	31 11.4%	58 21.2%	79 28.9%
3か月超～6 か月以内	189 100.0%	17 9.0%	60 31.7%	9 4.8%	27 14.3%	30 15.9%	20 10.6%	50 26.5%	46 24.3%
6か月超～ 12か月以内	70 100.0%	6 8.6%	22 31.4%	5 7.1%	15 21.4%	12 17.1%	12 17.1%	19 27.1%	15 21.4%
12か月超	31 100.0%	8 25.8%	10 32.3%	3 9.7%	3 9.7%	7 22.6%	1 3.2%	9 29.0%	1 3.2%

図表 2-3-158 【訪問看護】リハビリが必要となった原因の傷病名別 最も優先順位が高い課題の達成期間（7月利用開始者）

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
全体	323 100.0%	51 15.8%	85 26.3%	25 7.7%	46 14.2%	56 17.3%	34 10.5%	55 17.0%	60 18.6%
1か月以内	17 100.0%	2 11.8%	3 17.6%	2 11.8%	2 11.8%	2 11.8%	1 5.9%	3 17.6%	3 17.6%
1か月超～3 か月以内	104 100.0%	8 7.7%	22 21.2%	7 6.7%	19 18.3%	14 13.5%	9 8.7%	23 22.1%	25 24.0%
3か月超～6 か月以内	86 100.0%	15 17.4%	20 23.3%	7 8.1%	12 14.0%	21 24.4%	9 10.5%	17 19.8%	12 14.0%
6か月超～ 12か月以内	67 100.0%	18 26.9%	22 32.8%	7 10.4%	11 16.4%	13 19.4%	8 11.9%	6 9.0%	14 20.9%
12か月超	37 100.0%	6 16.2%	13 35.1%	1 2.7%	2 5.4%	5 13.5%	6 16.2%	5 13.5%	5 13.5%

図表 2-3-159 【通所リハ】リハビリが必要となった原因の傷病名別 最も優先順位が高い課題の達成期間

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
全体	1,464 100.0%	291 19.9%	582 39.8%	129 8.8%	186 12.7%	301 20.6%	242 16.5%	129 8.8%	371 25.3%
1 か月以内	45 100.0%	10 22.2%	17 37.8%	5 11.1%	10 22.2%	11 24.4%	8 17.8%	3 6.7%	9 20.0%
1 か月超～3 か月以内	433 100.0%	83 19.2%	155 35.8%	36 8.3%	52 12.0%	95 21.9%	62 14.3%	44 10.2%	139 32.1%
3 か月超～6 か月以内	419 100.0%	102 24.3%	158 37.7%	33 7.9%	56 13.4%	86 20.5%	75 17.9%	39 9.3%	94 22.4%
6 か月超～ 12 か月以内	269 100.0%	48 17.8%	125 46.5%	24 8.9%	38 14.1%	56 20.8%	45 16.7%	21 7.8%	63 23.4%
12 か月超	255 100.0%	43 16.9%	114 44.7%	28 11.0%	29 11.4%	42 16.5%	44 17.3%	19 7.5%	54 21.2%

図表 2-3-160 【訪問リハ】リハビリが必要となった原因の傷病名別 最も優先順位が高い課題の達成期間

	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
全体	1,966 100.0%	268 13.6%	769 39.1%	152 7.7%	278 14.1%	316 16.1%	201 10.2%	402 20.4%	445 22.6%
1 か月以内	76 100.0%	15 19.7%	21 27.6%	6 7.9%	16 21.1%	13 17.1%	11 14.5%	17 22.4%	20 26.3%
1 か月超～3 か月以内	580 100.0%	93 16.0%	202 34.8%	55 9.5%	88 15.2%	86 14.8%	53 9.1%	123 21.2%	178 30.7%
3 か月超～6 か月以内	534 100.0%	69 12.9%	220 41.2%	37 6.9%	74 13.9%	99 18.5%	53 9.9%	106 19.9%	115 21.5%
6 か月超～12 か月以内	337 100.0%	48 14.2%	154 45.7%	27 8.0%	40 11.9%	55 16.3%	33 9.8%	75 22.3%	57 16.9%
12 か月超	396 100.0%	38 9.6%	160 40.4%	25 6.3%	55 13.9%	54 13.6%	45 11.4%	71 17.9%	65 16.4%

図表 2-3-161 【訪問看護】リハビリが必要となった原因の傷病名別 最も優先順位が高い課題の達成期間

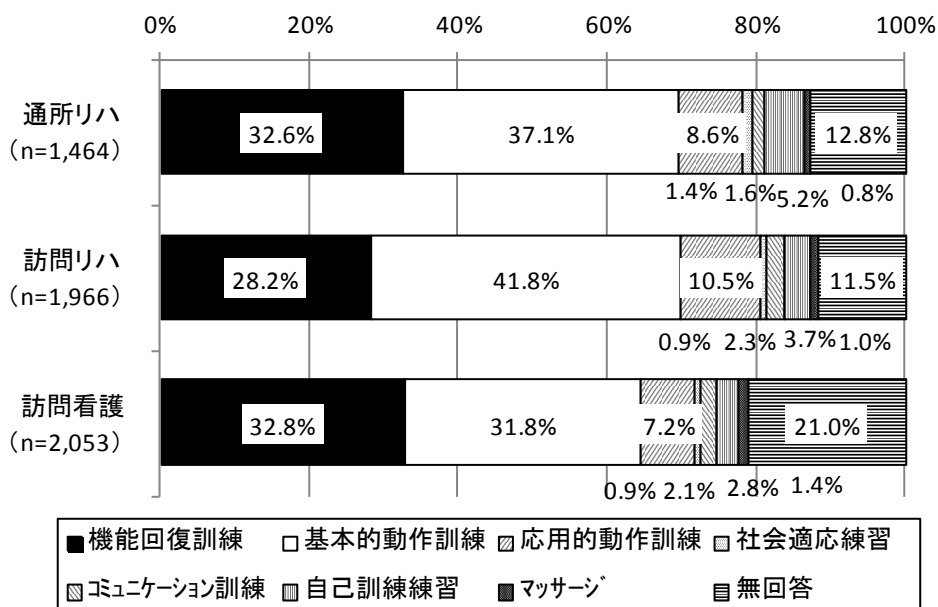
	合計	高血圧	脳卒中	糖尿病	脊椎・ 脊髄障 害	関節 症・骨 粗鬆症	認知症	廃用症 候群	骨折
全体	2,053 100.0%	312 15.2%	639 31.1%	173 8.4%	262 12.8%	256 12.5%	225 11.0%	365 17.8%	320 15.6%
1 か月以内	85 100.0%	15 17.6%	22 25.9%	10 11.8%	11 12.9%	17 20.0%	4 4.7%	15 17.6%	16 18.8%
1 か月超～3 か月以内	367 100.0%	49 13.4%	82 22.3%	32 8.7%	50 13.6%	59 16.1%	48 13.1%	85 23.2%	69 18.8%
3 か月超～6 か月以内	431 100.0%	74 17.2%	134 31.1%	40 9.3%	68 15.8%	61 14.2%	45 10.4%	81 18.8%	81 18.8%
6 か月超～12 か月以内	420 100.0%	76 18.1%	157 37.4%	43 10.2%	44 10.5%	58 13.8%	50 11.9%	79 18.8%	69 16.4%
12 か月超	654 100.0%	84 12.8%	220 33.6%	38 5.8%	78 11.9%	57 8.7%	71 10.9%	93 14.2%	77 11.8%

④ 最も優先順位が高い課題に対して最も多く行っている訓練

最も優先順位が高い課題に対して最も多く行っている訓練は、「基本的動作訓練」が「通所リハビリテーション」で 37.1%、「訪問リハビリテーション」で 41.8%、「訪問看護ステーション」で 31.8%あった。

また、「機能回復訓練」が「通所リハビリテーション」で 32.6%、「訪問リハビリテーション」で 28.2%、「訪問看護ステーション」で 32.8%あった。

図表 2-3-162 最も優先順位が高い課題に対して最も多く行っている訓練



注) 機能回復訓練：呼吸機能訓練、体力向上訓練、浮腫等の改善訓練、関節可動域訓練、筋力向上訓練、筋緊張緩和訓練、筋持久力向上訓練、運動機能改善訓練、痛みの緩和訓練、認知機能改善訓練、意欲の向上訓練、構音機能訓練、聴覚機能訓練、摂食嚥下機能訓練、言語機能訓練  
 基本的動作訓練：姿勢の保持訓練、起居・移乗動作訓練、歩行・移動訓練、階段昇降練習、公共交通機関利用練習  
 応用的動作訓練：一連の入浴行為練習、一連の整容行為練習、一連の排泄行為練習、一連の更衣行為練習、一連の食事行為練習、一連の調理行為練習、一連の洗濯行為練習、一連の掃除・整理整頓行為練習、家の手入れ練習、買物練習  
 社会適応練習：対人関係改善練習、余暇活動練習、仕事練習

図表 2-3-163 【通所リハ】最も優先順位が高い課題別 最も優先順位が高い課題に対して最も多く行っている訓練

	合計	機能回復訓練	基本的動作訓練	応用的動作訓練	社会適応練習	コミュニケーション訓練	自己訓練練習	マッサージ	無回答
全体	1,464 100.0%	477 32.6%	543 37.1%	126 8.6%	20 1.4%	24 1.6%	76 5.2%	11 0.8%	187 12.8%
歩行・移動	940 100.0%	351 37.3%	378 40.2%	64 6.8%	1 0.1%	0 0.0%	40 4.3%	5 0.5%	101 10.7%
姿勢保持	20 100.0%	7 35.0%	11 55.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%
姿勢の変換	9 100.0%	5 55.6%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
移乗	72 100.0%	14 19.4%	45 62.5%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	11 15.3%
入浴	14 100.0%	2 14.3%	4 28.6%	7 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%
整容	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
更衣	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
トイレ動作	32 100.0%	7 21.9%	19 59.4%	3 9.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 9.4%
食事	7 100.0%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
食事の用意	12 100.0%	3 25.0%	0 0.0%	4 33.3%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 25.0%
食事の片づけ	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
洗濯	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
掃除・整頓	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
家や車の手入れ	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
買い物	15 100.0%	3 20.0%	5 33.3%	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%
交通手段の利用	9 100.0%	1 11.1%	2 22.2%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
コミュニケーション	22 100.0%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 72.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 18.2%
対人関係	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%

(続き)

	合計	機能回復訓練	基本的動作訓練	応用的動作訓練	社会適応練習	コミュニケーション訓練	自己訓練練習	マッサージ	無回答
日課の遂行	21 100.0%	2 9.5%	2 9.5%	5 23.8%	2 9.5%	0 0.0%	3 14.3%	2 9.5%	5 23.8%
趣味や社会活動	42 100.0%	6 14.3%	3 7.1%	7 16.7%	9 21.4%	3 7.1%	8 19.0%	1 2.4%	5 11.9%
選択と実行	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
同時解決	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康管理	29 100.0%	12 41.4%	4 13.8%	0 0.0%	2 6.9%	1 3.4%	4 13.8%	1 3.4%	5 17.2%
その他	13 100.0%	1 7.7%	5 38.5%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%

図表 2-3-164 【訪問リハ】最も優先順位が高い課題別 最も優先順位が高い課題に対して最も多く行っている訓練

	合計	機能回復訓練	基本的動作訓練	応用的動作訓練	社会適応練習	コミュニケーション訓練	自己訓練練習	マッサージ	無回答
全体	1,966 100.0%	555 28.2%	821 41.8%	207 10.5%	17 0.9%	46 2.3%	73 3.7%	20 1.0%	227 11.5%
歩行・移動	1,071 100.0%	329 30.7%	504 47.1%	79 7.4%	1 0.1%	0 0.0%	36 3.4%	9 0.8%	113 10.6%
姿勢保持	135 100.0%	59 43.7%	57 42.2%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	3 2.2%	14 10.4%
姿勢の変換	73 100.0%	22 30.1%	41 56.2%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.7%	1 1.4%	6 8.2%
移乗	184 100.0%	30 16.3%	122 66.3%	10 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.1%	1 0.5%	19 10.3%
入浴	17 100.0%	3 17.6%	4 23.5%	7 41.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	2 11.8%
整容	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
更衣	9 100.0%	4 44.4%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%
トイレ動作	94 100.0%	15 16.0%	41 43.6%	28 29.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	1 1.1%	8 8.5%
食事	30 100.0%	18 60.0%	0 0.0%	3 10.0%	0 0.0%	1 3.3%	2 6.7%	0 0.0%	6 20.0%

(続き)

	合計	機能回復訓練	基本的動作訓練	応用的動作訓練	社会適応練習	コミュニケーション訓練	自己訓練練習	マッサージ	無回答
食事の用意	14 100.0%	2 14.3%	2 14.3%	6 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%
食事の片づけ	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
洗濯	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
掃除・整頓	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
家や車の手入れ	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
買い物	21 100.0%	4 19.0%	2 9.5%	13 61.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	1 4.8%
交通手段の利用	13 100.0%	0 0.0%	3 23.1%	5 38.5%	1 7.7%	0 0.0%	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%
コミュニケーション	47 100.0%	5 10.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	39 83.0%	2 4.3%	0 0.0%	1 2.1%
対人関係	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
日課の遂行	29 100.0%	4 13.8%	5 17.2%	11 37.9%	0 0.0%	1 3.4%	4 13.8%	0 0.0%	4 13.8%
趣味や社会活動	62 100.0%	4 6.5%	10 16.1%	18 29.0%	11 17.7%	3 4.8%	5 8.1%	1 1.6%	10 16.1%
選択と実行	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
同時解決	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康管理	48 100.0%	24 50.0%	7 14.6%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	10 20.8%	1 2.1%	5 10.4%
その他	36 100.0%	15 41.7%	7 19.4%	7 19.4%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	5 13.9%

注1) 「選択と実行」複数の物や事象、課題から選択し実行する

注2) 「同時解決」問題や状況を同定し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

図表 2-3-165 【訪問看護】最も優先順位が高い課題別 最も優先順位が高い課題に対して最も多く行っている訓練

	合計	機能回復訓練	基本的動作訓練	応用的動作訓練	社会適応練習	コミュニケーション訓練	自己訓練練習	マッサージ	無回答
全体	2,053 100.0%	674 32.8%	652 31.8%	147 7.2%	18 0.9%	43 2.1%	58 2.8%	29 1.4%	432 21.0%
歩行・移動	1,034 100.0%	349 33.8%	385 37.2%	70 6.8%	0 0.0%	0 0.0%	23 2.2%	5 0.5%	202 19.5%
姿勢保持	187 100.0%	79 42.2%	69 36.9%	4 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.1%	4 2.1%	29 15.5%
姿勢の変換	80 100.0%	30 37.5%	25 31.3%	2 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	6 7.5%	16 20.0%
移乗	149 100.0%	26 17.4%	86 57.7%	3 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	33 22.1%
入浴	27 100.0%	3 11.1%	7 25.9%	9 33.3%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	7 25.9%
整容	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
更衣	7 100.0%	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
トイレ動作	73 100.0%	13 17.8%	26 35.6%	21 28.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 17.8%
食事	39 100.0%	23 59.0%	2 5.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.1%	12 30.8%
食事の用意	6 100.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%
食事の片づけ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
洗濯	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
掃除・整頓	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
家や車の手入れ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
買い物	8 100.0%	1 12.5%	1 12.5%	4 50.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
交通手段の利用	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%
コミュニケーション	59 100.0%	12 20.3%	1 1.7%	1 1.7%	1 1.7%	30 50.8%	1 1.7%	0 0.0%	13 22.0%
対人関係	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
日課の遂行	34 100.0%	8 23.5%	9 26.5%	6 17.6%	2 5.9%	2 5.9%	3 8.8%	1 2.9%	3 8.8%



(続き)

	合計	機能回復訓練	基本的動作訓練	応用的動作訓練	社会適応練習	コミュニケーション訓練	自己訓練練習	マッサージ	無回答
趣味や社会活動	67 100.0%	9 13.4%	4 6.0%	12 17.9%	9 13.4%	2 3.0%	15 22.4%	1 1.5%	15 22.4%
選択と実行	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%
同時解決	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
健康管理	100 100.0%	53 53.0%	5 5.0%	4 4.0%	2 2.0%	1 1.0%	7 7.0%	6 6.0%	22 22.0%
その他	44 100.0%	24 54.5%	4 9.1%	2 4.5%	1 2.3%	0 0.0%	3 6.8%	1 2.3%	9 20.5%
なし	13 100.0%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	8 61.5%

注1)「選択と実行」複数の物や事象、課題から選択し実行する

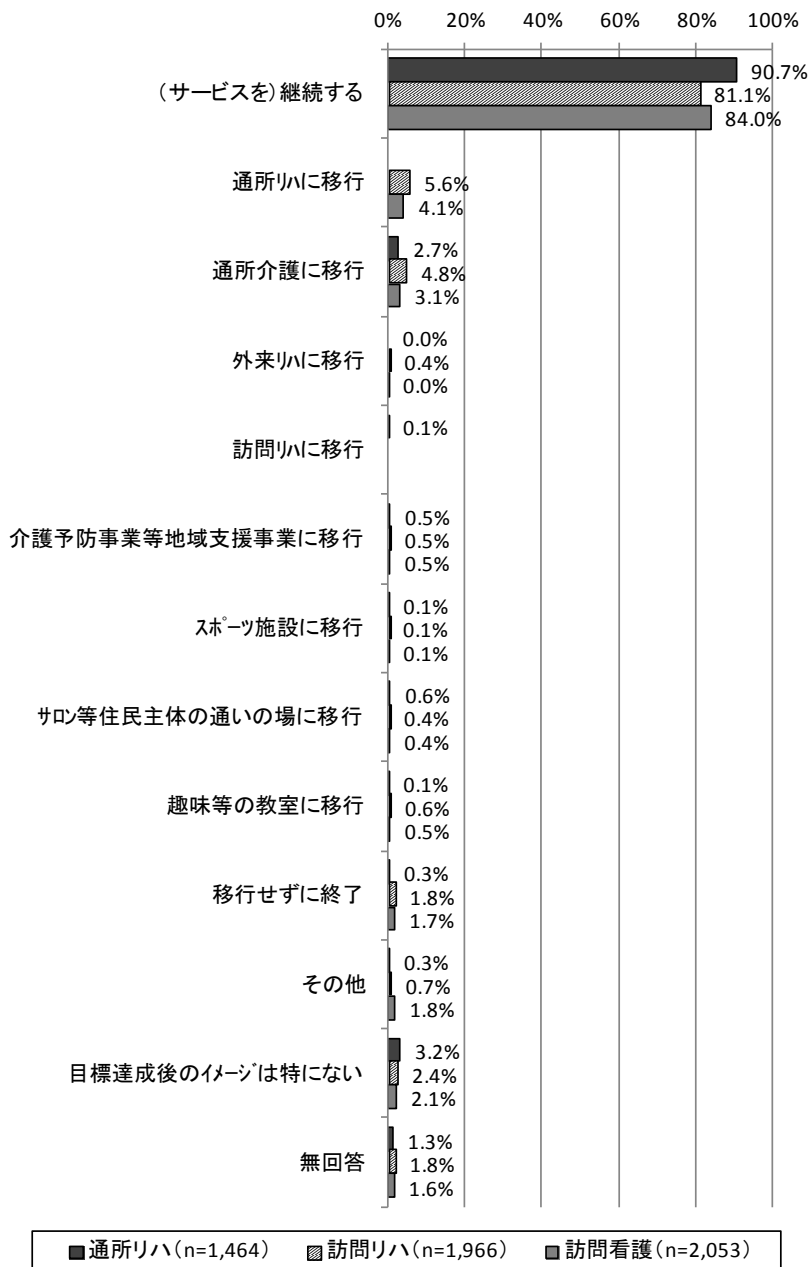
注2)「同時解決」問題や状況を同定し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

(7) 目標達成後のサービス移行予定

① 短期目標達成後のサービス移行予定

短期目標達成後のサービス移行予定は、「通所リハビリテーション」では「通所リハを継続する」が 90.7%、「訪問リハビリテーション」では「訪問リハを継続する」が 81.1%、「訪問看護ステーション」では「リハ職による訪問を継続する」が 84.0%であった。

図表 2-3-166 短期目標達成後のサービス移行予定

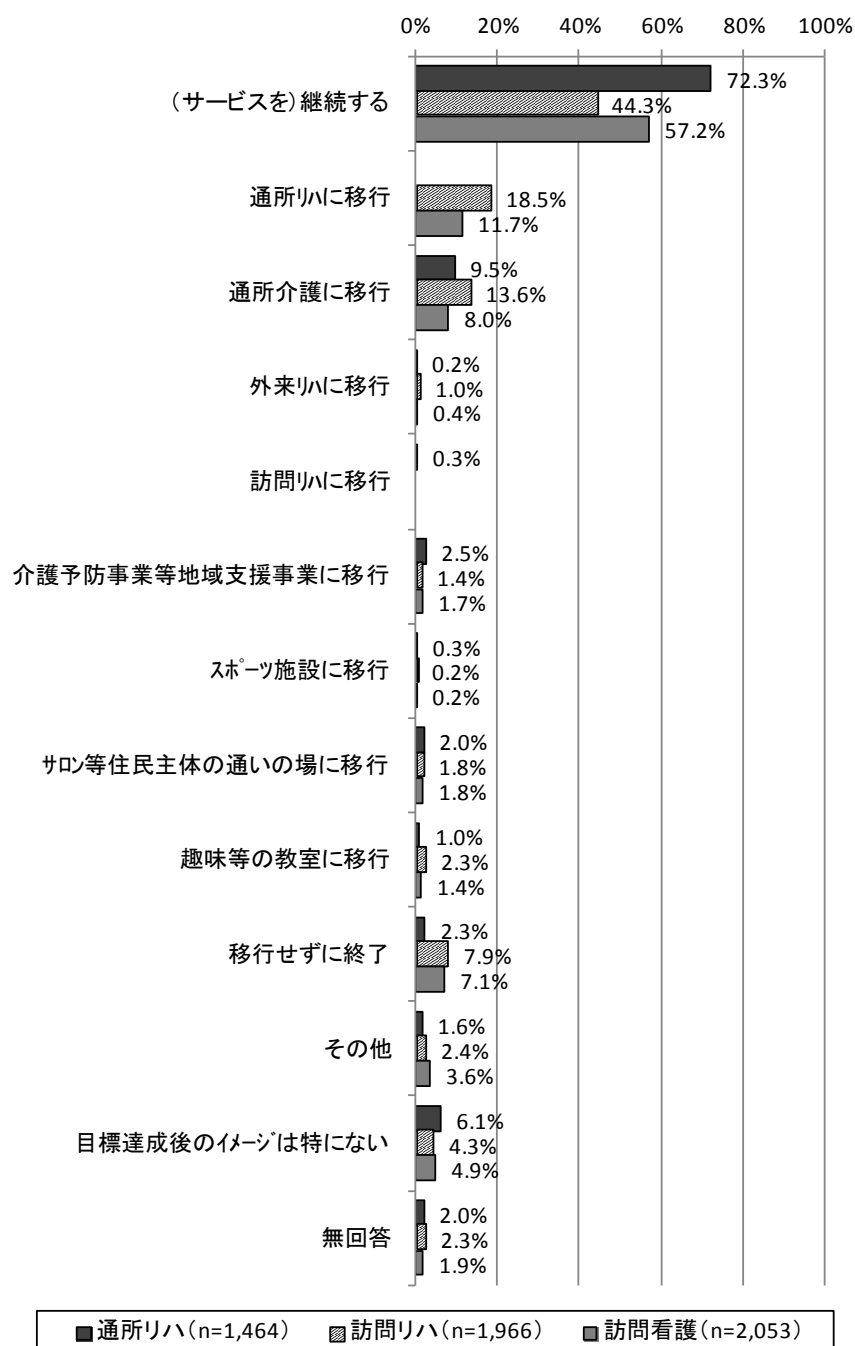


注1) 「(サービスを)継続する」は「通所リハ」は「通所リハを継続する」、「訪問リハ」は「訪問リハを継続する」、「訪問看護」は「リハ職による訪問を継続する」  
 注2) 「通所リハに移行」は訪問リハビリテーション票、訪問看護ステーション票のみ。  
 「訪問リハに移行」は通所リハビリテーション票のみ。

② 長期目標達成後のサービス移行予定

長期目標達成後のサービス移行予定は、「通所リハビリテーション」では「通所リハを継続する」が72.3%、「訪問リハビリテーション」では「訪問リハを継続する」が44.3%、「訪問看護ステーション」では「リハ職による訪問を継続する」が57.2%であった。

図表 2-3-167 長期目標達成後のサービス移行予定



注1) 「(サービスを)継続する」は「通所リハ」は「通所リハを継続する」、「訪問リハ」は「訪問リハを継続する」、「訪問看護」は「リハ職による訪問を継続する」

注2) 「通所リハに移行」は訪問リハビリテーション票、訪問看護ステーション票のみ。

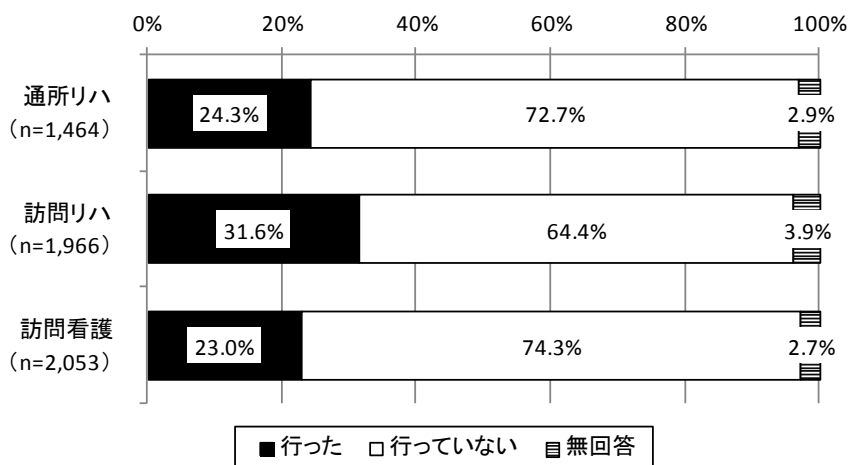
「訪問リハに移行」は通所リハビリテーション票のみ。

(8) 他の事業所への指導・助言

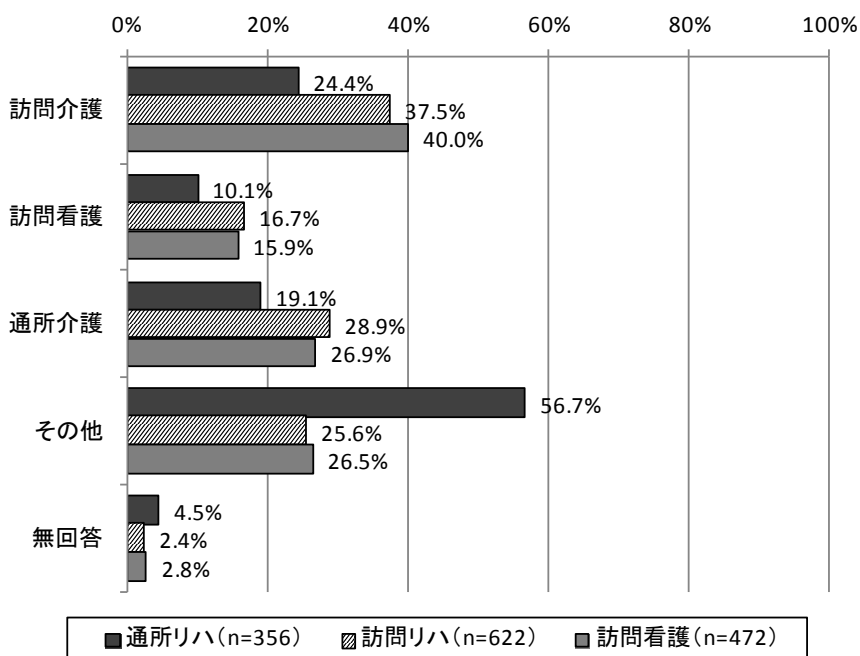
他の事業所の従業者と利用者の居宅に同行訪問を行い、リハビリテーションに関する専門的な指導・助言を行ったかをみると、「行った」と回答した事業所は、「通所リハビリテーション」で 24.3%、「訪問リハビリテーション」で 31.6%、「訪問看護ステーション」で 23.0%であった。

専門的な指導・助言を行った場合の他事業所のサービスは、「訪問介護」が「通所リハビリテーション」で 24.4%、「訪問リハビリテーション」で 37.5%、「訪問看護ステーション」で 40.0%であった。

図表 2-3-168 他の事業所への指導・助言



図表 2-3-169 (行った場合) 他事業所のサービス (複数回答)



注) 「その他」内容はそれぞれ以下の通り。

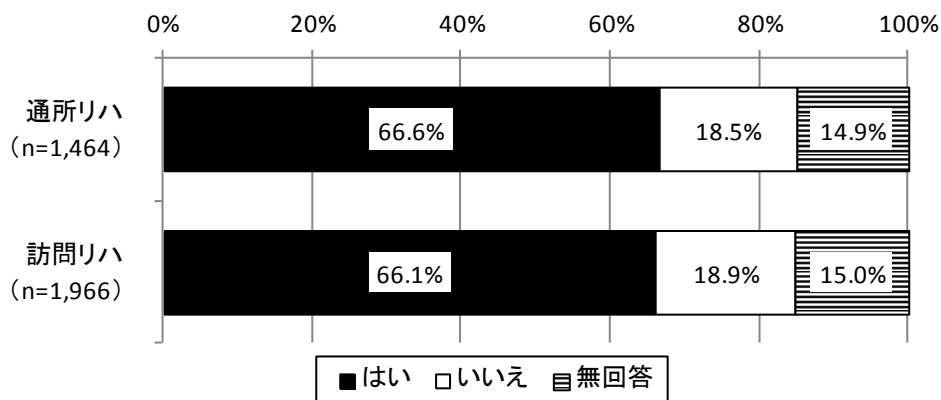
- 通所リハ：「ケアマネジャー」「福祉用具」「訪問リハビリテーション」「ショートステイ」など
- 訪問リハ：「ケアマネジャー」「福祉用具」「通所リハビリテーション」「ショートステイ」など
- 訪問看護：「ケアマネジャー」「通所リハビリテーション」「福祉用具」など

## 9. 【通所リハ・訪問リハ】指示医による指示の状況（指示医による回答）

### ① 指示医がリハの目標の指示をしているか

指示医がリハの目標の指示をしているかは、「はい」が「通所リハビリテーション」で66.6%、「訪問リハビリテーション」で66.1%であった。

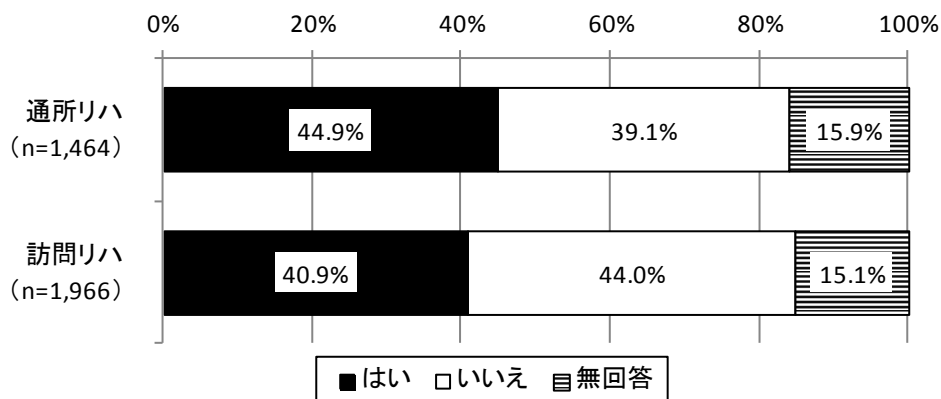
図表 2-3-170 【通所リハ・訪問リハ】指示医がリハの目標の指示をしているか



### ② 指示医がリハの頻度の指示をしているか

指示医がリハの頻度の指示をしているかは、「はい」が「通所リハビリテーション」で44.9%、「訪問リハ」で40.9%であった。

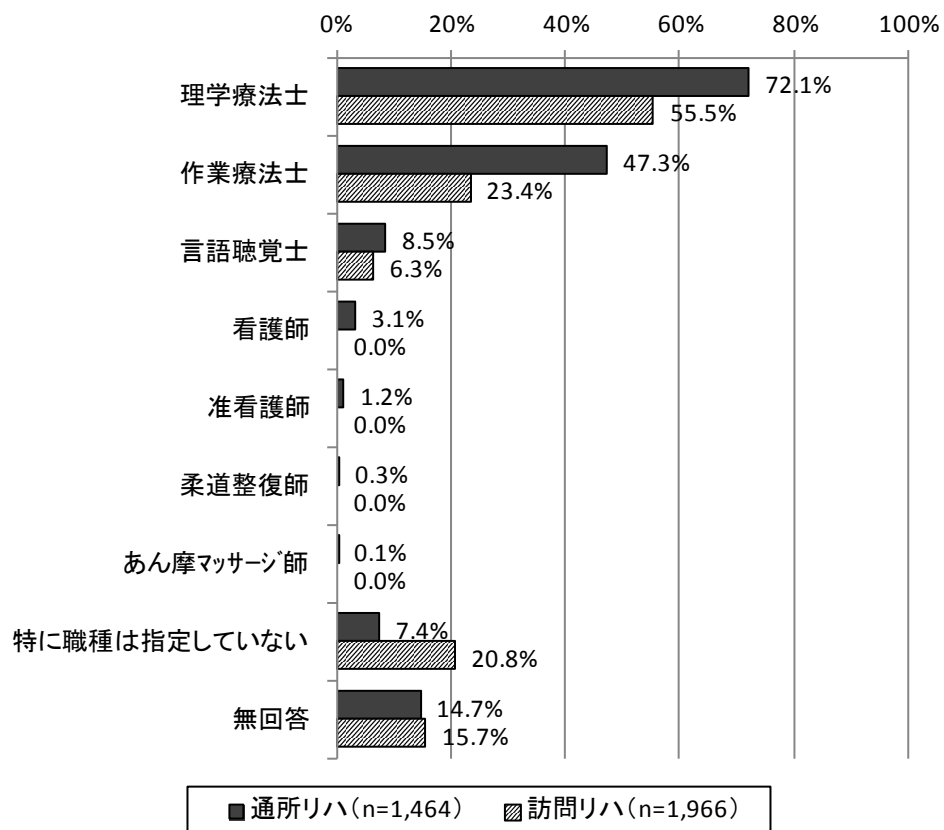
図表 2-3-171 【通所リハ・訪問リハ】指示医がリハの頻度の指示をしているか



③ 指示医がリハの実施を指示した職種

指示医がリハの実施を指示した職種は、「理学療法士」が「通所リハビリテーション」で72.1%、「訪問リハ」で55.5%であった。

図表 2-3-172 【通所リハ・訪問リハ】指示医がリハの実施を指示した職種（複数回答）



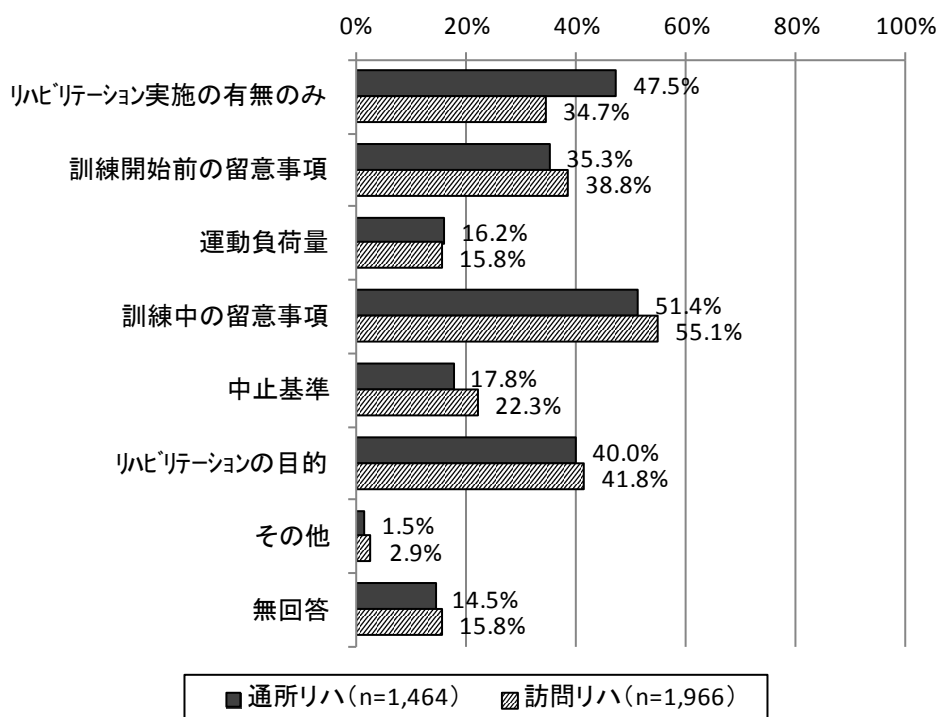
注) 「看護師」「准看護師」「柔道整復師」「あん摩マッサージ師」は通所リハビリテーション票のみ。

#### ④ 指示医からの指示事項

指示医からの指示事項は、「通所リハビリテーション」では「訓練中の留意事項」が51.4%、「リハビリテーションの実施の有無のみ」が47.5%、「リハビリテーションの目的」が40.0%であった。

「訪問リハ」では「訓練中の留意事項」が55.1%、「リハビリテーションの目的」が41.8%であった。

図表 2-3-173 【通所リハ・訪問リハ】指示医から指示事項（複数回答）



※「その他」の具体的内容は以下の通り。

通所リハ：「プログラム内容」など

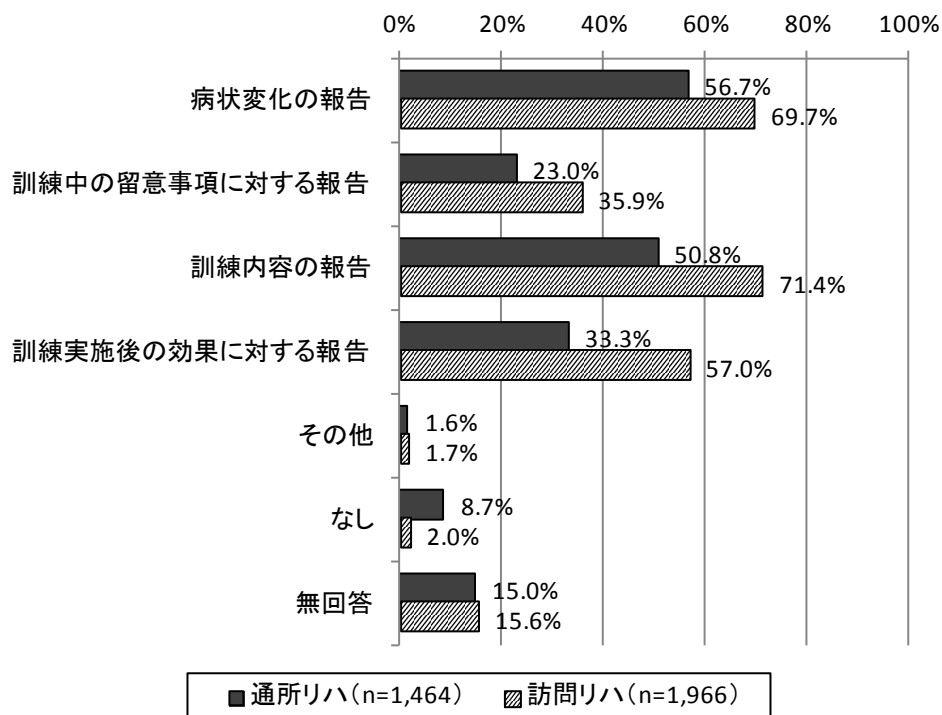
訪問リハ：「訓練内容」など

⑤ リハビリテーション職員から指示医への報告内容

リハビリテーション職員から指示医への報告内容は、「通所リハビリテーション」では「病状変化」が 56.7%、「訓練内容」が 50.8%であった。

「訪問リハ」では「訓練内容」が 71.4%、「病状変化」が 69.7%、「訓練実施後の効果」が 57.0%であった。

図表 2-3-174 【通所リハ・訪問リハ】リハビリテーション職員から指示医への報告内容（複数回答）





# 調査票



平成28年度 介護報酬改定検証・研究調査(厚生労働省委託調査)  
通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業  
**通所リハビリテーション事業所票**

本調査票は、通所リハビリテーション事業所の管理者の方がご記入ください。  
回答の際は、あてはまる番号を で囲んでください。 を付ける数は原則1つです。 を複数に付けて  
いただく場合は、質問文に「複数回答可」と記載しています。  
具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入ください。  
分からない場合は「-」と記入してください。  
調査時点は、2016年10月5日または、質問に記載している期間とします。

1. 貴事業所の基本情報についてお伺いします。

1) 所在地	( ) 都・道・府・県
2) 事業開始年	西暦( )年
3) 開設主体	1 病院      2 診療所      3 介護老人保健施設 (1病院、2診療所の場合)開設主体での外来でのリハビリテーションの有無    0 無      1 有
4) 規模	1 通常規模型 (月平均利用延人員数750人以内) 2 大規模事業所型( ) (月平均利用延人員数750人超900人以内) 3 大規模事業所型( ) (月平均利用延人員数900人超)
5) 1日あたりの定員	( )人
6) 2016年10月の通所リハビリテーションの実施日数	( )日
7) 介護予防通所リハビリテーションの併設	0 無      1 有
8) 同一法人(同系列を含む)での訪問看護ステーションの有無	0 無 1 有    リハビリ職員の配置(複数回答可) (aいずれの職種も無    b理学療法士    c作業療法士    d言語聴覚士    e不明)
9) 同一法人(同系列を含む)での居宅介護支援事業所の有無	0 無    1 有
10) 同一法人(同系列を含む)での通所介護事業所の有無	0 無    1 有

2. 貴事業所の職員体制についてお伺いします。

1) 2016年10月5日時点の職員数について、常勤換算数で記入してください。  
常勤換算数は「従事者の1週間の勤務延時間÷貴事業所において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数」で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上してください。常勤と非常勤の合計人数で記入してください。職種を兼務している場合は、勤務実態に応じて、按分してください。配置がある場合で、得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上してください。

医師	.	言語聴覚士	.	あん摩マッサージ指圧師	.
歯科医師	.	看護職員	.	歯科衛生士	.
理学療法士	.	介護職員	.	その他の職員	.
作業療法士	.	柔道整復師	.		

2)リハビリ職員のうち、 常勤・専従の職員数 (実人数)	理学療法士	( )人
	作業療法士	( )人
	言語聴覚士	( )人

3. 2016年10月5日時点の利用者数(実人数)についてお伺いします。

(1) 要介護度別の利用者数(実人数)をご記入ください。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
人	人	人	人	人	人	人	人	人

(2) 要支援・要介護の別に、年齢階級別の利用者数(実人数)をご記入ください。

	40~64歳	65~74歳	75~84歳	85歳以上
要支援	人	人	人	人
要介護	人	人	人	人

(3) 要支援・要介護の別に、障害高齢者の日常生活自立度別の利用者数(実人数)をご記入ください。

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
要支援	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護	人	人	人	人	人	人	人	人	人

(4) 要支援・要介護の別に、認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数(実人数)をご記入ください。

	自立		a	b	a	b		M
要支援	人	人	/	/	/	/	/	/
要介護	人	人	人	人	人	人	人	人

(5) 要支援・要介護の別に、以下の医療的ケア等を実施している利用数(実人数)をご記入ください。

	常時頻回の喀痰吸引実施	人工呼吸器	中心静脈注射	人工腎臓かつ、重篤な合併症を有する状態	重篤な心機能障害、呼吸障害等により常時モニター測定	身体障害者等級4級以上で、ストーマ処置	経鼻胃管や胃経腸栄養	褥瘡治療	気管切開
要支援	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護1・2	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護3~5	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目は、重度療養管理加算の対象となる項目です。

4. 2016年10月分の通所リハビリテーション（要介護分）についてお伺いします。

(1) 利用時間別の延べ利用回数と利用者数（実人数）をご記入ください。

	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上 6時間未満	6時間以上 8時間未満	8時間以上	合計
延べ回数	回	回	回	回	回	回	回
利用者数 (実人数)	人	人	人	人	人	人	人

(2) 1時間以上2時間未満のリハビリを提供している職種をお伺いします。

1時間以上2時間未満のリハビリを提供している職種(複数回答可)	1 理学療法士 2 作業療法士 3 言語聴覚士 4 看護師 5 准看護師 6 柔道整復師 7 あん摩マッサージ師
---------------------------------	---

5. 加算（2016年10月分）についてお伺いします。

(1) 加算の届出の有無及び算定人数（2016年10月分）についてお伺いします。

	届出の有無、届け出をしている場合には算定人数 (算定実績がない場合は、必ず「0」人と記入してください。)	
1) 生活行為向上リハビリテーション実施加算	1 無	2 有 算定人数( )人
2) 生活行為向上リハビリテーション加算実施後に継続利用する場合の減算	1 無	2 有 算定人数( )人
3) 認知症短期集中リハビリテーション実施加算	1 無	2 有 算定人数( )人
4) 認知症短期集中リハビリテーション実施加算	1 無	2 有 算定人数( )人
5) 短期集中個別リハビリテーション実施加算	1 無	2 有 算定人数( )人
6) リハビリテーションマネジメント加算	1 無	2 有 算定人数( )人
7) リハビリテーションマネジメント加算	1 無	2 有 算定人数( )人
8) 口腔機能向上加算	1 無	2 有 算定人数( )人
9) 重度療養管理加算	1 無	2 有 算定人数( )人
10) 中重度者ケア体制加算	1 無	2 有
11) 若年性認知症利用者受入加算	1 無	2 有 算定人数( )人
12) 入浴介助加算	1 無	2 有 算定人数( )人
13) 送迎未実施減算	1 無	2 有 算定人数( )人
14) 社会参加支援加算	1 無	2 有
15) 理学療法士等体制強化加算	1 無	2 有

(2) 各種加算について算定をしていない理由や減算算定した理由をお伺いします。

1) リハビリテーションマネジメント加算( )について	0 全例で算定をしている
	1 加算を算定していない利用者がある 理由(複数回答可) 11 医師のリハ会議への参加が困難 12 医師から利用者・家族への説明時間が確保できない 13 毎月のリハ会議が負担である 14 本人・家族が意義・必要性を理解できない 15 利用者の経済的な負担が大きくなる 16 支給限度額の上限を超えてしまう 17 介護支援専門員の理解が得られない 18 その他( )

2) 生活行為向上リハビリテーション実施加算について	0 全例で算定をしている
	1 加算を算定していない利用者がある 理由(複数回答可) 11 リハビリテーションマネジメント加算 未取得 12 生活行為向上リハ研修を終了している職員がいない 13 スタッフが少なく、生活行為向上リハ研修を終了した職員が訪問したりすることができない 14 本人・家族が意義・必要性を理解できない 15 加算期間が6か月で終了することについて本人・家族の理解が得られない 16 利用者の経済的な負担が大きくなる 17 支給限度額の上限を超えてしまう 18 負担額について介護支援専門員の理解が得られない 19 加算期間が6か月で終了することについて、介護支援専門員の理解が得られない 20 加算期間終了後に利用する社会資源やサービスがない 21 その他( )
3) 生活行為向上リハビリテーション加算実施後に継続利用する場合の減算がある場合、その理由(複数回答可)	0 減算はない 1 利用者の通所リハ継続希望 2 算定期間終了後の受入先がない 3 算定期間内で当初予定した目標達成ができなかった 4 その他( )
4) 社会参加支援加算届出の有無と届出をしていない場合はその理由	0 届出をしている 1 届出をしていない 理由(複数回答可) 11 利用者の社会参加に資する取組への移行についてリハビリ事業所職員の理解が得られない 12 利用者のADL、IADLの向上が進んでいないために、通所介護等に移行できない 13 利用者が通所リハビリテーションの継続希望が強い 14 家族が通所リハビリテーションの継続希望が強い 15 利用者のリハビリテーションのゴールが、社会参加と異なっている 16 算定期間終了後の受入先がない 17 その他( )

6. 通所リハビリテーションの利用終了者の状況詳細についてお伺いします。

(1) 2015年の7月～9月の3か月間の利用終了者数をご記入ください。

	要支援	要介護
2015年7月～9月の利用終了者数	人	人
のうち、終了後、介護保険等のサービスは利用していない人数	人	人
のうち、終了後、通所介護等の通所・訪問系サービス(訪問リハは除く)を利用している人数	人	人
のうち、終了後、介護予防事業等地域支援事業を利用している人数	人	人

(2) 2016年7月～9月の3か月間の利用終了者の詳細についてお伺いします。

設問	年齢	性別	利用開始時期	利用終了月	利用開始時の要介護度	終了時の要介護度	利用開始時の日常生活自立度	終了時の日常生活自立度	終了後の転帰
選択肢	具体的に	1 男 2 女	開始年は西暦の下2桁でご記入ください		1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5	1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2	0 サービス利用なし 1 訪問リハビリテーション 2 通所介護等の通所・訪問系サービス(1訪問リハ以外) 3 介護老人保健施設 4 居住・入所系サービス(3老健以外) 5 介護予防事業等地域支援事業 6 医療機関への入院、外来リハビリテーション 7 死亡 8 その他 9 不明
例	89歳	1	14年5月	8月	4	3	5	4	5
1	歳		年 月 月						
2	歳		年 月 月						
3	歳		年 月 月						
4	歳		年 月 月						
5	歳		年 月 月						
6	歳		年 月 月						
7	歳		年 月 月						
8	歳		年 月 月						
9	歳		年 月 月						
10	歳		年 月 月						
11	歳		年 月 月						
12	歳		年 月 月						
13	歳		年 月 月						

「介護サービス」と「外来リハ」等複数利用している場合は、主に利用しているサービスに計上してください。記入欄が不足する場合は、枠外またはお手数ですが、記入欄をコピーしてご記入ください。

(3) 利用終了者のうち、病状が悪化する等で、通所でのリハビリテーションの継続が難しくなったために終了した人はいますか。いた場合は該当する状態についてご回答ください。(複数回答可)

0 なし		
1 看取り期の状態となったため	2 がん末期となったため	3 心疾患の増悪のため
4 呼吸器疾患の増悪のため		
5 その他医療対応ができない状態となったため (具体的に: )		
6 介護対応ができない状態となったため (具体的に: )		
7 認知症の状態が悪化したため		
8 その他( )		

7. 新規利用希望者への対応についてお伺いします。

(1) 2015年と2016年の各4月～9月に貴事業所の利用を希望され、サービスの利用を開始した人数、そのうち、開始前に医療保険(入院・外来)でリハビリテーションを実施していたことが分かっている利用者数(実人数)をご記入ください。

	新規利用開始者数							
	うち、退院直後の利用開始者				うち、外来リハ(医療保険)利用後の利用開始者			
	脳血管疾患等リハ	廃用症候群リハ	運動器リハ	その他	脳血管疾患等リハ	廃用症候群リハ	運動器リハ	その他
1) 2015年4月～9月の新規利用開始者数	人	人	人	人	人	人	人	人
2) 2016年4月～9月の新規利用開始者数	人	人	人	人	人	人	人	人

注)2015年4月～9月の脳血管疾患等リハには廃用症候群リハの場合は含めず、脳血管疾患等リハのうちの廃用症候群の場合の人数は、廃用症候群リハの欄にご記入ください。

(2) 2016年の4月～9月に貴事業所の利用を希望されたが、サービスを提供できなかった場合についてお伺いします。

1) 新たに利用を希望したが、受入ができなかった利用者はいますか	1 無 2 有 3 分からない
2) 有の場合その理由(複数回答可)	1 定員に余裕がなかった 2 看取り期の人であったため 3 がん末期の人であったため 4 心疾患の人であったため 5 慢性呼吸不全の人であったため 6 その他医療対応ができない (具体的に: ) 7 介護対応ができない (具体的に: ) 8 認知症のため、適切なリハビリテーションが実施できない見込みだった 9 通所のリハビリテーションでは利用者に十分なリハビリテーションが提供できない見込みだった 10 その他( )

8. リハビリテーション計画書についてお伺いします。

1) リハビリテーション計画書を作成するにあたって、厚生労働省の提示しているリハビリテーション計画の様式を活用していますか	1 活用している 2 活用していない
「2 活用していない」場合:理由	
2) リハビリテーション計画書の記入にあたって支援ソフトを利用していますか	1 利用している 2 利用していない
「1 利用している」場合:どのような効果がありますか(複数回答可)	1 計画作成時間が短縮できる 2 記載内容や形式が統一できる 3 利用者の状況の継続管理が容易となる 4 複数の職員で情報を共有できる 5 その他( )
「2 利用していない」場合:今後導入したいと思いませんか	1 導入したいと思う 2 導入したいとは思わない

9. 貴事業所での訪問リハビリテーションの実施状況をお伺いします。

1) 貴事業所での訪問リハビリテーションの実施の有無	1 無 2 有
貴事業所で訪問リハビリテーションを実施している場合、通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションの両方を提供している利用者はいますか	1 いない 2 いる 人数( )人
「1いる」場合、該当するもの全てに を付けてください(複数回答可)	1 リハビリテーション会議を共同で開催している 2 両サービスに共通のリハビリテーション計画を作成している 3 利用者及び家族の同意書を共有している 4 サービス実施状況の診療録への記録等を共有している 5 その他( )

10. 地域との交流活動の実施状況・連携状況についてお伺いします。

(1) 2016年度中の貴事業所における実施の有無(実施予定を含む)をご記入ください。

	有無
1) 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村、地区組織との連絡会議の開催	1 有 2 無
2) 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村の専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催	1 有 2 無
3) 介護予防教室、サロンなどの地域の通いの場の支援	1 有 2 無
4) 住民を対象とした講演会の開催	1 有 2 無
5) 通所の空きスペースを活用した住民への通いの場の提供	1 有 2 無
6) 市区町村からの通所事業の受託	1 有 2 無

(2) 2015年4月以降、他の居宅サービス等との連携の状況に変化があるかお伺いします。

1) 居宅サービス計画(ケアプラン)と連動できるようになった	1 そう思う 2 ややそう思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 わからない
2) かかりつけ医との情報共有が進んだ	1 そう思う 2 ややそう思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 わからない
3) 訪問看護事業所との情報共有が進んだ	1 そう思う 2 ややそう思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 わからない
4) 訪問リハビリテーション事業所との情報共有が進んだ	1 そう思う 2 ややそう思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 わからない
5) 他の介護事業所との情報共有が進んだ	1 そう思う 2 ややそう思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 わからない

(3) 2016年4月以降、医療機関との連携の状況に変化があるかお伺いします。

1) 医療保険のリハからの移行者が増えた	1 そう思う 2 ややそう思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 わからない
2) 医療機関からの利用開始前の相談が増えた	1 そう思う 2 ややそう思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 わからない
3) 医療ニーズが高い人の利用が増えた	1 そう思う 2 ややそう思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 わからない

記入内容についてお伺いする場合があります。事業所名と連絡先をご記入ください。

事業所名		電話番号	
------	--	------	--

以上で質問は終わりです。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、利用者票とあわせて、ご返送ください。ご協力ありがとうございました。

平成28年度 介護報酬改定検証・研究調査(厚生労働省委託調査)  
通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業  
訪問リハビリテーション事業所票

本調査票は、訪問リハビリテーション事業所の管理者の方がご記入ください。  
回答の際は、あてはまる番号を で囲んでください。 を付ける数は原則1つです。 を複数に付けて  
いただく場合は、質問文に「複数回答可」と記載しています。  
具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入ください。  
分からない場合は「-」と記入してください。  
調査時点は、2016年10月5日または、質問に記載している期間とします。

1. 貴事業所の基本情報についてお伺いします。

1) 所在地	( ) 都・道・府・県		
2) 事業開始年	西暦( )年		
3) 開設主体	1 病院	2 診療所	3 介護老人保健施設
	(1病院、2診療所の場合)開設主体での外来でのリハビリテーションの有無 0 無 1 有		
4) 同一法人(同系列を含む)での訪問看護ステーションの有無	0 無	1 有 リハビリ職員の配置(複数回答可) (a)いずれの職種も無 b 理学療法士 c 作業療法士 d 言語聴覚士 e 不明)	
5) 同一法人(同系列を含む)での居宅介護支援事業所の有無	0 無	1 有	
6) 同一法人(同系列を含む)での通所介護事業所の有無	0 無	1 有	
7) 10月24日～30日の1週間に、訪問リハビリテーションに従事した職員数について、実人数と常勤換算数をご記入ください。常勤換算数は「従事者の1週間の勤務延時間÷貴事業所において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数」で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上してください。常勤と非常勤の合計人数で記入してください。配置がある場合で、得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上してください。			
	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
実人数	常勤専従	人	人
	常勤兼務	人	人
	非常勤	人	人
常勤換算数	人	人	人

2. 2016年10月5日時点の利用者数(実人数)についてお伺いします。

(1) 利用者(2016年10月5日時点)の保険等についてお伺いします。

	介護保険の利用者	医療保険の利用者	合計
1) 利用実人数	人	人	人
2) 利用者が急性増悪した場合、原則、医療保険に切り替える方針ですか	1 はい	2 いいえ	

(2) 介護保険の利用者について、要介護度別の利用者数(実人数)(2016年10月5日時点)と2016年10月1か月の延べ訪問回数をご記入ください。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
利用者数(実人数)	人	人	人	人	人	人	人	人	人
延べ訪問回数	回	回	回	回	回	回	回	回	回

(3) 利用者のうち、16年10月中に医療保険への切替を行った利用者数(実人数)と2016年10月1か月の延べ訪問回数をご記入ください。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
医療保険切替	人	人	人	人	人	人	人	人	人
延べ訪問回数	回	回	回	回	回	回	回	回	回

(4) 要支援・要介護の別に、年齢階級別の利用者数(実人数)をご記入ください。

	40～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上
要支援	人	人	人	人
要介護	人	人	人	人

(5) 要支援・要介護の別に、障害高齢者の日常生活自立度別の利用者数(実人数)をご記入ください。

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
要支援	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護	人	人	人	人	人	人	人	人	人

(6) 要支援・要介護の別に、認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数(実人数)をご記入ください。

	自立		a	b	a	b		M
要支援	人	人						
要介護	人	人	人	人	人	人	人	人

(7) 要支援・要介護の別に、以下の医療的ケア等を実施している利用者数(実人数)をご記入ください。

	常時頻回の喀痰吸引実施	人工呼吸器	中心静脈注射	人工腎臓かつ、重篤な合併症を有する状態	重篤な心機能障害、呼吸障害等により常時モニター測定	身体障害者等級4級以上で、ストーマ処置	経鼻胃管や胃の経腸栄養	褥瘡治療	気管切開
要支援	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護1・2	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護3～5	人	人	人	人	人	人	人	人	人

3. 加算の届出の有無及び算定人数(2016年10月分)等についてお伺いします。

(1) 加算の届け出の有無及び算定人数(2016年10月分)をご記入ください。

	届出の有無、届け出をしている場合には算定人数(算定実績がない場合は、必ず「0」と記入してください。)
1) 短期集中リハビリテーション実施加算	1 無 2 有 算定人数( )人
2) 社会参加支援加算	1 無 2 有 算定人数( )人
3) リハビリテーションマネジメント加算	1 無 2 有 算定人数( )人
4) リハビリテーションマネジメント加算	1 無 2 有 算定人数( )人

(2) 各種加算について算定をしていない理由をお伺いします。

1) リハビリテーションマネジメント加算( )について	0 全例で算定をしている
	1 加算を算定していない利用者がいる 理由(複数回答可) 11 医師のリハ会議への参加が困難 12 医師から利用者・家族への説明時間が確保できない 13 毎月のリハ会議が負担である 14 本人・家族が意義・必要性を理解できない 15 利用者の経済的な負担が大きくなる 16 支給限度額の上限を超えてしまう 17 介護支援専門員の理解が得られない 18 その他( )
2) 社会参加支援加算届出の有無と届出をしていない場合はその理由	0 届出をしている
	1 届出をしていない 理由(複数回答可) 11 利用者の社会参加に資する取組への移行についてリハビリ事業所職員の理解が得られない 12 利用者のADL、IADLの向上が進んでいないために、通所介護等に移行できない 13 利用者が通所リハビリテーションの継続希望が強い 14 家族が通所リハビリテーションの継続希望が強い 15 利用者のリハビリテーションのゴールが、社会参加と異なっている 16 算定期間終了後の受入先がない 17 その他( )

#### 4. 利用終了者についてお伺いします。

(1) 2015年の4月～9月の半年間の利用終了者数をご記入ください。

	要支援	要介護
2015年4月～9月の利用終了者数	人	人
のうち、終了後、介護保険等のサービスは利用していない人数	人	人
のうち、終了後、通所リハビリテーションを利用している人数	人	人
のうち、終了後、通所介護等の通所・訪問系サービス(通所リハは除く)を利用している人数	人	人
のうち、終了後、介護予防事業等地域支援事業を利用している人数	人	人

(2) 2016年4月～9月の半年間の利用終了者の詳細についてお教えください。

設問	年齢	性別	利用開始時期	利用終了月	利用開始時の要介護度	終了時の要介護度	利用開始時の日常生活自立度	終了時の日常生活自立度	終了後の転帰
選択肢	具体的に	1 男 2 女	開始年は西暦の下2桁でご記入ください		1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5	1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2	0 サービス利用なし 1 通所リハビリテーション 2 通所介護等の通所・訪問系サービス(1通所リハ以外) 3 介護老人保健施設 4 居住・入所系サービス(3老健以外) 5 介護予防事業等地域支援事業 6 医療機関への入院、外来リハビリテーション 7 死亡 8 その他 9 不明
例	89歳	1	14年5月	8月	4	3	5	4	6
1	歳		年 月 月						
2	歳		年 月 月						
3	歳		年 月 月						
4	歳		年 月 月						
5	歳		年 月 月						
6	歳		年 月 月						
7	歳		年 月 月						
8	歳		年 月 月						
9	歳		年 月 月						
10	歳		年 月 月						
11	歳		年 月 月						
12	歳		年 月 月						
13	歳		年 月 月						

「介護サービス」と「外来リハ」等複数利用している場合は、主に利用しているサービスに計上してください。記入欄が不足する場合は、枠外またはお手数ですが、記入欄をコピーしてご記入ください。

#### 5. リハビリテーション計画書についてお伺いします。

1) リハビリテーション計画書を作成するにあたって、厚生労働省の提示しているリハビリテーション計画の様式を活用していますか	1 活用している 2 活用していない
「2 活用していない」場合:理由	
2) リハビリテーション計画書の記入にあたって支援ソフトを利用していますか	1 利用している 2 利用していない
「1 利用している」場合:どのような効果がありますか(複数回答可)	1 計画作成時間が短縮できる 2 記載内容や形式が統一できる 3 利用者の状況の継続管理が容易となる 4 複数の職員で情報を共有できる 5 その他( )
「2 利用していない」場合:今後導入したいと思いませんか	1 導入したいと思う 2 導入したいとは思わない



6. 貴事業所での通所リハビリテーションの実施状況をお伺いします。

1) 貴事業所での通所リハビリテーションの実施の有無	1 無	2 有
貴事業所で通所リハビリテーションを実施している場合、通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションの両方を提供している利用者はいますか	1 いない	2 いる 人数( )人
「2いる」場合、該当するもの全てに を付けてください (複数回答可)	1 リハビリテーション会議を共同で開催している 2 両サービスに共通のリハビリテーション計画を作成している 3 利用者及び家族の同意書を共有している 4 サービス実施状況の診療録への記録等を共有している 5 その他( )	

7. 地域との交流活動の実施状況・連携状況についてお伺いします。

(1) 2016年度中の貴事業所における実施の有無(実施予定を含む)をご記入ください。

	有無	
1) 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村、地区組織との連絡会議の開催	1 有	2 無
2) 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村の専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催	1 有	2 無
3) 住民を対象とした講演会の開催	1 有	2 無

(2) 2015年4月以降、他の居宅サービス等との連携の状況に変化があるかお伺いします。

1) 居宅サービス計画(ケアプラン)と連動できるようになった	1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない	4 思わない	5 わからない
2) かかりつけ医との情報共有が進んだ	1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない	4 思わない	5 わからない
3) 訪問看護事業所との情報共有が進んだ	1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない	4 思わない	5 わからない
4) 通所リハビリテーション事業所との情報共有が進んだ	1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない	4 思わない	5 わからない
5) 他の介護事業所との情報共有が進んだ	1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない	4 思わない	5 わからない

(3) 2016年4月以降、医療機関との連携の状況に変化があるかお伺いします。

1) 医療保険のリハからの移行者が増えた	1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない	4 思わない	5 わからない
2) 医療機関からの利用開始前の相談が増えた	1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない	4 思わない	5 わからない
3) 医療ニーズが高い人の利用が増えた	1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない	4 思わない	5 わからない

記入内容についてお伺いする場合があります。事業所名と連絡先をご記入ください。

事業所名		電話番号	
------	--	------	--

以上で質問は終わりです。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、利用者票とあわせて、ご返送ください。ご協力ありがとうございました。

平成 28 年度 介護報酬改定検証・研究調査（厚生労働省委託調査）  
通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業  
訪問看護ステーション票

本調査票は、訪問看護ステーションの管理者の方がご記入ください。  
回答の際は、あてはまる番号や記号を で囲んでください。 を付ける数は原則 1 つです。 を複数に付けていただく場合は、質問文に「複数回答可」と記載しています。  
具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入ください。  
分からない場合は「-」と記入してください。  
調査時点は、2016 年 10 月 5 日または、質問に記載している期間とします。

1. 貴事業所の基本情報についてお伺いします。

1) 所在地	( ) 都・道・府・県		
2) 事業開始年	西暦 ( ) 年		
3) 開設主体	1 医療法人	2 営利法人(会社)	3 社会福祉法人 4 医師会
	5 看護協会	6 その他の社団・財団法人	7 協同組合 8 地方公共団体
	9 その他 ( )		
4) 同一法人(同系列を含む)に病院、診療所がありますか	0 無	1 有	
1 有の場合: 病院・診療所の外来でリハビリテーションを実施していますか	0 無	1 有	
5) 同一法人(同系列を含む)が実施している事業(複数回答可)	1 通所リハビリテーション	2 訪問リハビリテーション	
	3 通所介護	4 居宅介護支援	
	5 その他 ( )	6 1~5 のいずれもない	
6) 過去 1 年で看護師・保健師以外が管理者であった期間がありますか	1 無	2 有 職種 ( )	
		期間 ( )	

2. 貴事業所の職員体制についてお伺いします。

1) 2016 年 10 月 5 日時点の職員数について、実人数および常勤換算数を記入してください  
常勤換算数は「従事者の 1 週間の勤務延時間 ÷ 当事業所において常勤の従事者が勤務すべき 1 週間の時間数」で計算し、小数点以下第 2 位を四捨五入して小数点以下第 1 位まで計上してください。常勤専従・常勤兼務・非常勤を合算してください。得られた結果が 0.1 に満たない場合は、「0.1」と計上してください。

		保健師・助産師・看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	その他の職員
実人数	常勤専従						
	常勤兼務						
	非常勤						
常勤換算数(常勤専従 + 常勤兼務 + 非常勤合計)							

3. 実施している訪問看護についてお伺いします。(2016 年 10 月)

1) 訪問看護ステーションではどのような訪問看護を実施していますか。算定している介護報酬、診療報酬について該当する番号全てを選んでください(複数回答可)

1 訪問看護費・介護予防訪問看護費(介護保険による訪問看護)
2 訪問看護基本療養費(医療保険・公費による訪問看護)
3 精神科訪問看護基本療養費(医療保険・公費による精神科の訪問看護)
4 その他(具体的に: )

2) 加算についてお伺いします

介護保険	緊急時訪問看護加算の届出	1 有 2 無
	特別管理体制の届出	1 有 算定件数 ( ) 件 2 無
	ターミナルケア体制の届出	1 有 2 無
	サービス提供体制強化加算の届出	1 有 2 無
医療保険等	24 時間対応体制加算・24 時間連絡体制加算の届出	1 24 時間対応体制加算 2 24 時間連絡体制加算 3 なし
	特別管理加算の届出	1 有 算定件数 ( ) 件 2 無
	機能強化型訪問看護療養費の届出	1 機能強化型訪問看護管理療養費 1 2 機能強化型訪問看護管理療養費 2 3 なし

4. 貴事業所の利用者数と訪問回数等についてお伺いします。

(1) 貴事業所における訪問回数(延べ回数)を保険別にご記入ください(2016 年 10 月分)

介護保険	( ) 回	医療保険	( ) 回
------	-------	------	-------

(2) 訪問者の職種別に利用者数(実人数)や訪問回数(延べ回数)をご記入ください。(2016 年 10 月分)

	リハ職 + 看護職の訪問(実人数)	看護職のみの訪問(実人数)	看護職 + 他事業所リハ職(実人数)	リハ職のみの訪問(実人数)	リハ職 + 他事業所看護職(実人数)	リハ職の訪問回数(全利用者数の合計、延べ回数)
利用者数(合計)	人	人	人	人	人	回
うち介護保険	人	人	人	人	人	回
要支援 1	人	人	人	人	人	回
要支援 2	人	人	人	人	人	回
要介護 1	人	人	人	人	人	回
要介護 2	人	人	人	人	人	回
要介護 3	人	人	人	人	人	回
要介護 4	人	人	人	人	人	回
要介護 5	人	人	人	人	人	回
申請中	人	人	人	人	人	回
うち医療保険	人	人	人	人	人	回

リハ職は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を指します。  
リハ職 + 看護職の訪問: 貴事業所のリハ職と看護職員による訪問の両方を利用している利用者  
看護職のみ訪問: 貴事業所の看護職員による訪問のみを利用している利用者で、他の訪問看護ステーションのリハ職による訪問看護を受けていない場合。  
看護職 + 他事業所リハ職: 貴事業所では看護職員による訪問のみを利用している利用者で、他の訪問看護ステーションのリハ職による訪問看護を受けている場合。  
リハ職のみの訪問: 貴事業所のリハ職の訪問のみを利用している利用者で、他事業所の看護職員による訪問看護を受けていない場合。  
リハ職 + 他事業所看護職: 貴事業所のリハ職による訪問と、他のステーションや医療機関からの看護職員による訪問看護を利用している場合  
リハ職の訪問回数: 20 分で 1 回、40 分の場合には、2 回とカウントしてください

(3) リハ職による訪問の利用者について、年齢階級別の利用者数(実人数)をご記入ください。(2016年10月分)

	15歳未満	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上
介護保険			人	人	人	人
医療保険	人	人	人	人	人	人

(4) 看護職員とリハ職による訪問の設定の方法についてご回答ください。

リハ職による訪問のみを提供している利用者について、看護師が利用者の状況を確認したり、アセスメントをするために利用者宅を「訪問」することはありますか	1 原則、全員の利用者宅を看護師が訪問してアセスメントをする 2 必要な場合には、看護師が利用者宅を訪問し、アセスメントをする 3 リハ職による訪問のみを提供している利用者宅を看護師が訪問することは基本的にはない
1の場合：いつ訪問しますか(複数回答可)	1 初回 2 定期的 ( ) 回/月 2か月に1回の場合は0.5と記入 3 貴事業所のリハ職が必要と判断した時 4 利用者や家族から相談があった時 5 医師から指示があった時 6 介護支援専門員から相談があった時 7 その他 ( )
2の場合：どのようなときに訪問しますか(複数回答可)	1 貴事業所のリハ職が必要と考えた時 2 利用者や家族から相談があった時 3 医師から指示があった時 4 介護支援専門員から相談があった時 5 その他 ( )
リハ職による訪問を提供している利用者について、リハ職が病状や状態について看護師に相談、報告することはありますか	1 有 2 無
1の場合：いつ相談、報告しますか(複数回答可)	1 初回の訪問後 2 原則、毎回の訪問後 3 定期的に報告 ( ) 回/月 2か月に1回の場合は0.5と記入 4 病状や状態に変化があった時 5 その他 ( )

5. リハ職等による訪問を受けたことがある利用者で、利用を終了した人についてお伺いします。

(1) 2016年4月～9月の利用終了者の詳細についてお伺いします。

設問	年齢	性別	利用開始時期	利用終了月	利用開始時の要介護度	終了時の要介護度	利用開始時の日常生活自立度	終了時の日常生活自立度	終了後の転帰
選択肢	具体的に	1 男 2 女	開始年は西暦の下2桁でご記入ください		1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5	1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2	0 サービス利用なし 1 訪問リハビリテーション 2 通所リハビリテーション 3 通所介護等の通所・訪問系サービス(1訪問リハ・2通所リハ以外) 4 介護老人保健施設 5 居住・入所系サービス(4老健以外) 6 介護予防事業等地域支援事業 7 医療機関への入院、外来リハビリテーション 8 死亡 9 その他 10 不明
例	89歳	1	14年5月	8月	4	3	5	4	6
1	歳		年 月 月						
2	歳		年 月 月						
3	歳		年 月 月						
4	歳		年 月 月						
5	歳		年 月 月						
6	歳		年 月 月						
7	歳		年 月 月						
8	歳		年 月 月						
9	歳		年 月 月						
10	歳		年 月 月						
11	歳		年 月 月						
12	歳		年 月 月						
13	歳		年 月 月						
14	歳		年 月 月						
15	歳		年 月 月						
16	歳		年 月 月						
17	歳		年 月 月						
18	歳		年 月 月						
19	歳		年 月 月						
20	歳		年 月 月						

「介護サービス」と「外来リハ」等複数利用している場合は、主に利用しているサービスに計上してください。記入欄が不足する場合は、枠外またはお手数ですが、記入欄をコピーしてご記入ください。

6. リハ職による訪問を行っている人に対する訪問看護計画書の作成状況等についてお伺いします。

1) リハビリテーションの計画は、訪問看護計画書と一体で作成しますか	1 一体で作成する 2 訪問看護計画とは別に作成する 3 リハビリテーションに関する計画は特に作成しない
2) 利用者が貴事業所の看護職員による訪問を受けていない場合、訪問看護計画書は誰が作成しますか(複数回答可)	1 看護師      2 リハ職
3) リハビリテーションの計画を作成するにあたっては、厚生労働省の提示している訪問リハビリテーションにおけるリハビリテーション計画書の様式を活用していますか	1 活用している 2 活用していない
「2 活用していない」場合:理由	
4) リハビリテーションの計画を作成するにあたって支援ソフトを利用していますか	1 利用している 2 利用していない
「1 利用している」場合:どのような効果がありますか(複数回答可)	1 計画作成時間が短縮できる      2 計画内容が標準化できる 3 利用者の状況の継続管理が容易となる      4 複数の職員で情報を共有できる 5 その他( )
「2 利用していない」場合:今後導入したいと思いますか	1 導入したいと思う      2 導入したいとは思わない

7. 地域との交流活動の実施状況・連携状況についてお伺いします。

(1) 2016 年度中の貴事業所における実施の有無(実施予定を含む)をご記入ください。

	有無	
1) 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村、地区組織との連絡会議の開催	1 有	2 無
2) 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村の専門職などを対象とした勉強会・事例検討会の開催	1 有	2 無
3) 住民を対象とした講演会の開催	1 有	2 無

(2) リハ職による訪問について、指示を受けている病院・診療所・老人保健施設は何か所ですか。

病院	診療所	老人保健施設
( ) か所	( ) か所	( ) か所

(3) 2016 年 4 月以降、医療機関との連携の状況に変化があるかお伺いします。

1) 医療保険のリハからの移行者が増えた	1 そう思う   2 ややそう思う   3 あまり思わない   4 思わない 5 わからない
2) 医療機関からの利用開始前の相談が増えた	1 そう思う   2 ややそう思う   3 あまり思わない   4 思わない 5 わからない
3) 医療ニーズが高い人の利用が増えた	1 そう思う   2 ややそう思う   3 あまり思わない   4 思わない 5 わからない

記入内容についてお伺いする場合があります。事業所名と連絡先をご記入ください。

事業所名		電話番号	
------	--	------	--

以上で質問は終わりです。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、利用者票とあわせて、ご返送ください。ご協力ありがとうございました。

平成 28 年度 介護報酬改定検証・研究調査(厚生労働省委託調査)  
通所リハ`リ`ション、訪問リハ`リ`ション等の中重度者等へのリハ`リ`ション内容等の実態把握調査事業  
**通所リハ 利用者調査票**

調査の対象者は、記入要領に記載の方法で選んでください。  
本調査票は、当該利用者にサービスを提供する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の方で、利用者の状況に詳しい方がご記入ください。  
回答の際は、あてはまる番号や記号を で囲んでください。 を付ける数は原則1つです。 を複数に付けていただく場合は、質問文に記載しています。  
具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入ください。  
分からない場合は「-」と記入してください。  
調査時点は、2016年10月5日または、質問に記載している期間とします。

本調査の回答者・対象者の抽出条件

1)回答者	1 理学療法士 2 作業療法士 3 言語聴覚士
2)回答者の経験年数	1 3年未満 2 3年以上10年未満 3 10年以上
3)対象者の抽出条件	1 調査日に通所リハを利用した 2 7月に通所リハの利用を開始した 3 両方に該当
「2」に の場合：10月5日時点で利用を継続していますか	
	1 はい 2 いいえ

10月5日時点で利用を終了している場合、以下の質問について、平成28年7月の利用開始時～終了時までの状況について、可能な範囲でご記入ください。

利用者の基本情報についてお伺いします。

4)年齢	( )歳
5)性別	1 男 2 女
6)通所リハの利用開始日	西暦( )年( )月( )日
7)リハビリが必 要となった原 因の傷病名 (複数回答可)	1 高血圧 2 脳卒中 3 心不全 4 糖尿病 5 呼吸不全 6 脊椎・脊髄障害 7 腎不全 8 関節リウマチ 9 関節症・骨粗鬆症 10 進行性の神経筋疾患 11 悪性新生物 12 うつ病 13 認知症 14 パーキンソン病 15 廃用症候群 16 肺炎 17 骨折(圧迫骨折を含む) 18 その他( )
8)利用者が受けている 医療的処置・ケア等で 該当するもの (通所リハビリテーション以 外で受けている医療的処置・ ケアも含む) (複数回答可)	1 点滴の管理 2 中心静脈栄養 3 透析 4 ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の処置 5 酸素療法 6 人工呼吸器 7 気管切開の処置 8 疼痛の管理 9 経管栄養 10 持続モニター測定(重度の心機能障害、呼吸障害等) 11 褥瘡の処置 12 カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテルなど) 13 常時頻回の喀痰吸引 14 創傷処置 15 浣腸・排便 16 インスリン注射 17 導尿 18 精神症状の観察 19 心理的支援 20 服薬援助(点眼薬等を含む) 21 なし
9)要介護度	直近 1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5 8 申請中 利用開始時 5 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5 8 申請中 9 不明
10)障害高齢者の 日常生活自立度	現状 1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2 10 不明 利用開始時 1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2 10 不明
11)認知症高齢者の日常生活自立 度(現状)	1 自立 2 3 a 4 b 5 a 6 b 7 8 M 9 不明
12)過去1年以内の入院の有無	1 有 直近の退院日( )月( )日 2 無 3 不明
「1有」の場合： 直近の入院病床	
	1 一般病床(2,3以外) 2 回復期リハビリテーション病棟 3 地域包括ケア病棟 4 療養病床(2,3以外) 5 その他

13)過去1年以内の外来でのリハビリテーションの有無	1 有 2 無 3 不明
14)過去1年以内に医療機関(入院または 外来)でのリハ`リ`ションを利用した場合： リハ`リ`ションの種類(複数回答可) 廃用症候群リハビリテーションは2016年4月の 介護報酬改定で新設された項目であり、それ以前は 脳血管疾患等リハビリテーションに含まれます。	1 医療機関(病院・診療所)ではリハ`リ`ションを実施していない 2 心大血管疾患 3 脳血管疾患等 4 廃用症候群 5 運動器 6 呼吸器 7 摂食機能療法 8 難病 9 がん 10 認知症 11 その他( ) 12 不明
15)医療機関からどのよ うに情報提供を受け ましたか(複数回答可)	1 診療情報提供書 2 リハビリ職間での情報提供 3 看護職間での情報提供 4 介護支援専門員間での情報提供 5 クリニカルパスを活用 6 その他( ) 7 特になし
16)居宅サービス計画(ケア プラン)の目標 (複数回答可)	1 健康管理 2 心身機能の維持 3 心身機能の向上 4 意欲の向上 5 療養上のケアの提供 6 ADL維持 7 ADL向上 8 IADL維持 9 IADL向上 10 閉じこもり予防 11 社会参加 12 家族の介護負担軽減 13 その他( )
17)他に利用している介護保 険サービス(複数回答可)	1 訪問介護 2 訪問看護 3 訪問リハビリテーション 4 通所介護 5 福祉用具貸与 6 住宅改修 7 ショートステイ 8 その他( ) 9 なし
「3 訪問リハ`リ` ション」に の場 合：利用理由(複 数回答可)	1 自宅内でのアセスメントが必要なため 2 自宅内での自立度を高めるために自宅でのリハ`リ`ションのほうが効果的であるため 3 住環境の調整のため 4 言語聴覚士が通所リハにはいないため 5 通所リハでは個別のリハが実施できないため 6 より専門性の高いリハを実施するため 7 その他( )
「2 訪問看護」に の場合： 訪問看護リハ`リ`ションからの理学療法士等訪問の有無	1 有 2 無
「1 有」の場 合： 訪 問 理 由 (複数回答 可)	1 自宅内でのアセスメントが必要なため 2 自宅内での自立度を高めるために自宅でのリハ`リ`ションのほうが効果的であるため 3 住環境の調整のため 4 言語聴覚士が通所リハにはいないため 5 通所リハでは個別のリハが実施できないため 6 より専門性の高いリハを実施するため 7 その他( )

利用者の受療状況等

18)通院の有無 (複数回答可)	1 自院(併設)に通院している 2 他の病院・診療所に通院している 3 通院はしていない 4 不明
---------------------	--

通所リハビリテーションの利用状況等についてお伺いします。

19)提供時間別 の利用回数 (16年10月)	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上 6時間未満	6時間以上 8時間未満	8時間以上	合計
20)算定した加算(2016年10月分)(複数回答可)							
1 生活行為向上リハビリテーション実施加算		2 認知症短期集中リハビリテーション実施加算		3 認知症短期集中リハビリテーション実施加算		4 短期集中個別リハビリテーション実施加算	
5 リハビリテーションマネジメント加算		6 リハビリテーションマネジメント加算		7 送迎未実施減算		8 社会参加支援加算	
				9 重度療養管理加算			

リハビリテーションに関する指示を出している医師(指示医)との連携状況

21)指示医から受け た指示事項 (複数回答可)	1 リハ`リ`ション実施の有無のみ 2 訓練開始前の留意事項 3 運動負荷量 4 訓練中の留意事項(転倒、低血糖等) 5 中止基準 6 リハ`リ`ションの目的 7 その他( )
22)指示医がリハ`リ`の実施を 指示した職種(複数回答可)	1 理学療法士 2 作業療法士 3 言語聴覚士 4 看護師 5 准看護師 6 柔道整復師 7 あん摩`リ`サ`ジ`師 8 指示はなかった

23) 摂食嚥下障害への対応	0 摂食嚥下障害はない			
	1 摂食嚥下障害がある 指示内容(複数回答可) 11 指示はなかった 12 摂食嚥下障害の評価 13 口腔ケアの指導・実施 14 摂食・嚥下機能に関する訓練の指導・実施			
24) 指示医への報告内容(複数回答可)	1 病状変化の報告		2 訓練中の留意事項に対する報告	
	3 訓練内容の報告		4 訓練実施後の効果に対する報告	
5 その他( )				6 なし

### リハビリテーション会議について

25) リハビリテーション会議開催の有無	1 有	2 無
「1有」の場合: 26) 直近に開催した会議の参加職種(複数回答可)ご自身も含めて記載してください	1 本人 2 家族 (通所リハ事業所の職員)	
	3 医師 4 理学療法士 5 作業療法士 6 言語聴覚士 7 看護職員 8 介護職員 9 柔道整復師 10 あん摩マッサージ師 11 その他 (居宅サービス計画に位置付けられた他の事業所の職員)	
27) 短期目標を設定していますか	1 はい (具体的に: ) 介護支援専門員に適切に情報提供されているか(a はい b いいえ) 設定した目標はケアプランに反映されているか(a はい b いいえ)	
	2 いいえ	
28) 長期目標を設定していますか	1 はい (具体的に: ) 介護支援専門員に適切に情報提供されているか(a はい b いいえ) 設定した目標はケアプランに反映されているか(a はい b いいえ)	
	2 いいえ	

### リハビリテーションのマネジメントについて

29) 利用者のリハビリについて、本人の希望を確認していますか	1 はい	2 いいえ		
30) 利用者のリハビリについて、家族の希望を確認していますか	1 はい	2 いいえ 3 家族はいない		
【アセスメントについてお伺いします】				
31) 心身機能(複数回答可)問題がある選択肢に	1 運動機能障害		2 感覚機能障害(聴覚、視覚等)	3 関節拘縮
	4 疼痛		5 口腔機能障害	6 摂食嚥下機能障害
7 失語症・構音障害		8 精神障害(BPSD)		9 見当識障害
10 記憶障害		11 その他の高次脳機能障害		12 栄養障害
13 その他( )				
32) 認知機能の評価	1 していない	2 している	HDS-R( )点	または MMSE( )点
33) Barthel Index での評価	利用開始時	( )点	現状	( )点
34) Frenchay Activity Index での評価	利用開始時	( )点	現状	( )点
【計画についてお伺いします】				
35) 設定した日常生活上の課題の領域全てに を付けてください。				
1 歩行・移動	2 姿勢保持	3 姿勢の変換	4 移乗	
5 入浴	6 整容	7 更衣	8 トイレ動作	
9 食事	10 食事の用意	11 食事の片づけ	12 洗濯	
13 掃除・整頓	14 家や車の手入れ	15 買い物	16 交通手段の利用	
17 コミュニケーション	18 対人関係	19 日課の遂行	20 趣味や社会活動	
21 選択と実行 <sup>注)</sup>	22 同時解決 <sup>注)</sup>	23 健康管理		
24 その他( )				

注) 21 選択と実行: 複数の物や事象、課題から選択し実行する

22 同時解決: 問題や状況を同定し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

36) 35) で設定した課題領域のうち最も優先順位が高いもの1つの番号をご記入ください。	
37) 36) で選んだ最も優先順位が高い課題の達成期間	1 1か月以内 2 1か月超～3か月以内 3 3か月超～6か月以内 4 6か月超～12か月以内 5 12か月超
38) 36) で選んだ最も優先順位が高い課題に対して、最も多く行っている訓練1つに	1 機能回復訓練 2 基本的動作訓練 3 応用的動作訓練 4 社会適応練習 5 コミュニケーション訓練 6 自己訓練練習 7 マッサージ

注) 機能回復訓練: 呼吸機能訓練、体力向上訓練、浮腫等の改善訓練、関節可動域訓練、筋力向上訓練、筋緊張緩和訓練、筋持久力向上訓練、運動機能改善訓練、痛みの緩和訓練、認知機能改善訓練、意欲の向上訓練、構音機能訓練、聴覚機能訓練、摂食嚥下機能訓練、言語機能訓練

基本的動作訓練: 姿勢の保持訓練、起居・移乗動作訓練、歩行・移動訓練、階段昇降練習、公共交通機関利用練習  
応用的動作訓練: 一連の入浴行為練習、一連の整容行為練習、一連の排泄行為練習、一連の更衣行為練習、一連の食事行為練習、一連の調理行為練習、一連の洗濯行為練習、一連の掃除・整理整頓行為練習、家の手入れ練習、買物練習

社会適応練習: 対人関係改善練習、余暇活動練習、仕事練習

39) 短期目標達成後のサービス移行予定(主な1つに )	1 通所リハを継続する	2 通所介護に移行
	3 外来リハに移行	4 訪問リハに移行
40) 長期目標達成後のサービス移行予定(主な1つに )	5 介護予防事業等地域支援事業に移行	6 スポーツ施設に移行
	7 サロン等住民主体の通いの場に移行	8 趣味等の教室に移行
41) 他の事業所の従業者と利用者の居宅に同行訪問を行い、リハビリテーションに関する専門的な指導・助言を行ったか	9 移行せずに終了(サービス等不要)	10 その他( )
	11 目標達成後のイメージは特でない	
「1」の場合: 他事業所のサービス(複数回答可)	1 訪問介護	2 訪問看護
	3 通所介護	4 その他( )
1 行った		2 行っていない

### 【ここからは、貴事業所の医師の方がご記入ください。】

調査対象者(利用者)に対するリハビリテーションの指示の状況についてお伺いします。

42) リハの目標について指示をしていますか	1 はい	2 いいえ
43) リハの頻度について指示をしていますか	1 はい	2 いいえ
44) リハの実施を指示した職種(複数回答可)	1 理学療法士 2 作業療法士 3 言語聴覚士 4 看護師	
	5 准看護師 6 柔道整復師 7 あん摩マッサージ師 8 特に職種は指定していない	
45) 指示事項(複数回答可)	1 リハビリテーション実施の有無のみ	
	2 訓練開始前の留意事項 3 運動負荷量 4 訓練中の留意事項(転倒、低血糖等) 5 中止基準 6 リハビリテーションの目的 7 その他( )	
46) リハビリテーション職員からの報告内容はどのようなものがありますか。(複数回答可)	1 病状変化の報告	
	2 訓練中の留意事項に対する報告 3 訓練内容の報告 4 訓練実施後の効果に対する報告 5 その他( ) 6 なし	

以上で質問は終わりです。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、事業所票とあわせてご返送ください。ご協力ありがとうございました。

平成28年度 介護報酬改定検証・研究調査(厚生労働省委託調査)  
 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業  
**訪問リハビリ利用者調査票**

調査の対象者は、記入要領に記載の方法で選んでください。  
 本調査票は、当該利用者にサービスを提供する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の方で、利用者の状況に詳しい方がご記入ください。  
 回答の際は、あてはまる番号や記号を で囲んでください。 を付ける数は原則1つです。 を複数に付けていただく場合は、質問文に記載しています。具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入ください。分からない場合は「-」と記入してください。  
 調査時点は、2016年10月5日または、質問に記載している期間とします。

本調査の回答者・対象者の抽出条件

1)回答者	1 理学療法士	2 作業療法士	3 言語聴覚士
2)回答者の経験年数	1 3年未満	2 3年以上10年未満	3 10年以上
3)対象者の抽出条件	1 調査日に訪問リハビリを利用した	2 7月に訪問リハビリの利用を開始した	3 両方に該当
	「2」に の場合：10月5日時点で利用を継続していますか	1 はい	2 いいえ

10月5日時点で利用を終了している場合、以下の質問について、2016年7月の利用開始時～終了時までの状況について、可能な範囲でご記入ください。

利用者の基本情報についてお伺いします。

4)年齢	( )歳
5)性別	1 男 2 女
6)貴事業所の利用開始日	西暦( )年( )月( )日
7)リハビリが必要となった原因の傷病名(複数回答可)	1 高血圧 2 脳卒中 3 心不全 4 糖尿病 5 呼吸不全 6 脊椎・脊髄障害 7 腎不全 8 関節リウマチ 9 関節症・骨粗鬆症 10 進行性の神経筋疾患 11 悪性新生物 12 うつ病 13 認知症 14 パーキンソン病 15 廃用症候群 16 肺炎 17 骨折(圧迫骨折を含む) 18 その他( )
8)利用者が受けている医療的処置・ケア等で該当するもの(訪問リハビリテーション以外で受けている医療的処置・ケアも含む)(複数回答可)	1 点滴の管理 2 中心静脈栄養 3 透析 4 ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の処置 5 酸素療法 6 人工呼吸器 7 気管切開の処置 8 疼痛の管理 9 経管栄養 10 持続モニター測定(重度の心機能障害、呼吸障害等) 11 褥瘡の処置 12 カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテルなど) 13 常時頻回の喀痰吸引 14 創傷処置 15 浣腸・排便 16 インスリン注射 17 導尿 18 精神症状の観察 19 心理的支援 20 服薬援助(点眼薬等を含む) 21 なし
9)要介護度	直近 1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5 8 申請中 利用開始時 1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5 8 申請中 9 不明
10)障害高齢者の日常生活自立度	現状 1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2 10 不明 利用開始時 1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2 10 不明
11)認知症高齢者の日常生活自立度(現状)	1 自立 2 3 a 4 b 5 a 6 b 7 8 M 9 不明
12)過去1年以内の入院の有無	1 有 直近の退院日( )月( )日 2 無 3 不明
	「1有」の場合：1 一般病床(2,3以外) 2 回復期リハビリテーション病棟 直近の入院病床 3 地域包括ケア病棟 4 療養病床(2,3以外) 5 その他
13)過去1年以内の外来でのリハビリテーションの有無	1 有 2 無 3 分からない

14)過去1年以内に医療機関(入院または外来)でのリハビリテーションを利用した場合：リハビリテーションの種類(複数回答可) <small>(廃用症候群リハビリテーションは2016年4月の介護報酬改定で新設された項目であり、それ以前は脳血管疾患等リハビリテーションに含まれます。)</small>	1 医療機関(病院・診療所)ではリハビリテーションを実施していない 2 心血管疾患 3 脳血管疾患等 4 廃用症候群 5 運動器 6 呼吸器 7 摂食機能療法 8 難病 9 がん 10 認知症 11 その他( ) 12 不明
15)医療機関からどのように情報提供を受けましたか(複数回答可)	1 診療情報提供書 2 リハビリ職種での情報提供 3 看護職種での情報提供 4 介護支援専門員間での情報提供 5 クリニカルパスを活用 6 その他( ) 7 特になし
16)居宅サービス計画(ケアプラン)の目標(複数回答可)	1 健康管理 2 心身機能の維持 3 心身機能の向上 4 意欲の向上 5 療養上のケアの提供 6 ADL維持 7 ADL向上 8 IADL維持 9 IADL向上 10 閉じこもり予防 11 社会参加 12 家族の介護負担軽減 13 その他( )
17)他に利用している介護保険サービス(複数回答可)	1 訪問介護 2 訪問看護 3 通所リハビリテーション 4 通所介護 5 福祉用具貸与 6 住宅改修 7 ショートステイ 8 その他( ) 9 なし
	「2 訪問看護」に の場合：訪問看護ステーションからの理学療法士等訪問の有無 1 有 2 無 3 不明
	で「1有」の場合：訪問理由(複数回答可) 1 自事業所では必要な回数の訪問リハビリの訪問ができないため 2 自事業所では、利用者の都合がよい時間に訪問リハビリの訪問体制が作れないため 3 自事業所には言語聴覚士がいないため 4 より専門性の高いリハビリを実施しているため 5 その他( )

利用者の受療状況

18)通院の有無(複数回答可)	1 自院に通院している 2 他の病院・診療所に通院している 3 通院はしていない 4 不明
19)訪問診療の有無	1 自院から訪問診療をしている 2 他の病院・診療所から訪問診療をしている 3 訪問診療は利用していない 4 不明

貴事業所からのサービスの提供状況等についてお伺いします。

20)2016年10月の訪問回数	理学療法士 ( )回 ( )分/回 作業療法士 ( )回 ( )分/回 言語聴覚士 ( )回 ( )分/回
21)算定した加算(2016年10月分)(複数回答可)	1 短期集中個別リハビリテーション実施加算 2 リハビリテーションマネジメント加算 3 リハビリテーションマネジメント加算 4 社会参加支援加算

他の職種との連携状況(2016年10月)

【医師との連携状況】	
22)利用者のリハビリテーションの指示を出している医師の所属について(複数回答可)	1 開設主体の病院・診療所・介護老人保健施設の医師 2 別の医療機関の計画的な医学的管理を行っている医師 3 その他( )
23)他の医療機関等の医師から利用者について情報提供を受けていますか	1 はい 2 いいえ
24)リハビリの目標について指示医から指示を受けていますか	1 はい 2 いいえ
25)リハビリの頻度について指示医から指示を受けていますか	1 はい 2 いいえ
26)指示医がリハビリの実施を指示した職種(複数回答可)	1 理学療法士 2 作業療法士 3 言語聴覚士 4 指示はなかった
27)摂食嚥下障害への対応	0 摂食嚥下障害はない 1 摂食嚥下障害がある 指示内容(複数回答可) 11 指示はなかった 12 摂食嚥下障害の評価 13 口腔ケアの指導・実施 14 摂食・嚥下機能に関する訓練の指導・実施

28) 指示医から受けた指示事項(複数回答可)	1 リハビリテーション実施の有無のみ 2 訓練開始前の留意事項 3 運動負荷量 4 訓練中の留意事項(転倒、低血糖等) 5 中止基準 6 リハビリテーションの目的 7 その他( )
29) 指示医への報告内容(複数回答可)	1 病状変化の報告 2 訓練中の留意事項に対する報告 3 訓練内容の報告 4 訓練実施後の効果に対する報告 5 その他( ) 6 なし
【訪問看護師との連携状況】 訪問看護師による訪問が行われている場合にご記入ください(同一事業所でも他事業所でも可)。	
30) 訪問看護師にリハビリの状況を連絡することはありますか	1 よくある 2 ときどきある 3 ほとんどない 4 まったくない
31) 訪問看護師から病状や医療的処置の状況について連絡を受けることはありますか	1 よくある 2 ときどきある 3 ほとんどない 4 まったくない
32) 訪問看護師とリハビリの方針等を共有していますか	1 詳しく共有している 2 共有している 3 共有していない
【訪問介護員との連携状況】 訪問介護員による訪問が行われている場合にご記入ください。	
33) 訪問介護員に専門の見地から助言を行いましたか	1 有 2 無

### リハビリテーション計画の作成者、リハビリテーション会議等について

34) リハ計画作成者(複数回答可)	1 医師 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他( )
うち、主たる作成者	1 医師 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他
35) リハビリテーション会議開催の有無	1 有 2 無
36) 「1有」の場合：直近に開催した会議の参加職種等ご自身も含めて記載してください。(複数回答可)	1 本人 2 家族(訪問リハ事業所の職員) 3 医師 4 理学療法士 5 作業療法士 6 言語聴覚士 (居宅サービスに計画位置付けられた他の事業所の職員) 7 利用者の主治医 8 介護支援専門員 9 訪問介護の職員 10 通所介護の職員 11 通所リハの職員 12 訪問看護の職員(a 看護職 b リハ職) 13 訪問リハの職員 14 福祉用具相談員 15 その他( )
37) 短期目標を設定していますか	1 はい(具体的に： ) 介護支援専門員に適切に情報提供されているか(a はい b いいえ) 設定した目標はケアプランに反映されているか(a はい b いいえ) 2 いいえ
38) 長期目標を設定していますか	1 はい(具体的に： ) 介護支援専門員に適切に情報提供されているか(a はい b いいえ) 設定した目標はケアプランに反映されているか(a はい b いいえ) 2 いいえ

### リハビリテーションについて

39) リハビリテーションについて、本人の希望を確認していますか	1 はい 2 いいえ
40) リハビリテーションについて、家族の希望を確認していますか	1 はい 2 いいえ 3 家族はいない
【アセスメントについてお伺いします】	
41) 心身機能(複数回答可) 問題がある選択肢に	1 運動機能障害 2 感覚機能障害(聴覚、視覚等) 3 関節拘縮 4 疼痛 5 口腔機能障害 6 摂食嚥下機能障害 7 失語症・構音障害 8 精神障害(BPSD) 9 見当識障害 10 記憶障害 11 その他の高次脳機能障害 12 栄養障害 13 その他( )
42) 認知機能の評価	1 無 2 有 HDS-R( )点または MMSE( )点
43) Barthel Index での評価	利用開始時 ( )点 現状 ( )点
44) Frenchay Activity Index での評価	利用開始時 ( )点 現状 ( )点

【計画についてお伺いします】			
45) 設定した日常生活上の課題の領域全てに を付けてください。			
1 歩行・移動	2 姿勢保持	3 姿勢の変換	4 移乗
5 入浴	6 整容	7 更衣	8 トイレ動作
9 食事	10 食事の用意	11 食事の片づけ	12 洗濯
13 掃除・整頓	14 家や車の手入れ	15 買い物	16 交通手段の利用
17 コミュニケーション	18 対人関係	19 日課の遂行	20 趣味や社会活動
21 選択と実行	22 同時解決	23 健康管理	24 その他( )

注) 21 選択と実行：複数の物や事象、課題から選択し実行する  
22 同時解決：問題や状況を同一し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

46) 45) で設定した日常生活上の課題領域のうち最も優先順位が高いもの1つの番号をご記入ください。	
47) 46) で選んだ最も優先順位が高い課題の達成期間	1 1か月以内 2 1か月超～3か月以内 3 3か月超～6か月以内 4 6か月超～12か月以内 5 12か月超
48) 46) で選んだ最も優先順位が高い課題に対して、最も多く行っている訓練1つに	1 機能回復訓練 2 基本的動作訓練 3 応用的動作訓練 4 社会適応練習 5 コミュニケーション訓練 6 自己訓練練習 7 マッサージ

注) 機能回復訓練：呼吸機能訓練、体力向上訓練、浮腫等の改善訓練、関節可動域訓練、筋力向上訓練、筋緊張緩和訓練、筋持久力向上訓練、運動機能改善訓練、痛みの緩和訓練、認知機能改善訓練、意欲の向上訓練、構音機能訓練、聴覚機能訓練、摂食嚥下機能訓練、言語機能訓練  
基本的動作訓練：姿勢の保持訓練、起居・移乗動作訓練、歩行・移動訓練、階段昇降練習、公共交通機関利用練習  
応用的動作訓練：一連の入浴行為練習、一連の整容行為練習、一連の排泄行為練習、一連の更衣行為練習、一連の食事を練習、一連の調理行為練習、一連の洗濯行為練習、一連の掃除・整理整頓行為練習、家の手入れ練習、買物練習  
社会適応練習：対人関係改善練習、余暇活動練習、仕事練習

49) 短期目標達成後のサービス移行の予定(主な1つに )	1 訪問リハを継続する 2 通所リハに移行 3 外来リハに移行 4 通所介護に移行 5 介護予防事業等地域支援事業に移行 6 スポーツ施設に移行 7 サロン等住民主体の通いの場に移行 8 趣味等の教室に移行 9 移行せずに終了(サービス等不要) 10 その他( ) 11 目標達成後のイメージは特いない
50) 長期目標達成後のサービス移行の予定(主な1つに )	1 訪問リハを継続する 2 通所リハに移行 3 外来リハに移行 4 通所介護に移行 5 介護予防事業等地域支援事業に移行 6 スポーツ施設に移行 7 サロン等住民主体の通いの場に移行 8 趣味等の教室に移行 9 移行せずに終了(サービス等不要) 10 その他( ) 11 目標達成後のイメージは特いない
51) 他の事業所の従業者と利用者の居宅に同行訪問を行い、リハビリテーションに関する専門的な指導・助言を行いましたか	1 行った 2 行っていない
「1」の場合他事業所のサービス	1 訪問介護 2 訪問看護 3 通所介護 4 その他( )

### 【ここからは、貴事業所の医師の方がご記入ください。】

調査対象者(利用者)に対するリハビリテーションの指示の状況についてお伺いします。

52) リハの目標について指示をしていますか	1 はい 2 いいえ
53) リハの頻度について指示をしていますか	1 はい 2 いいえ
54) リハの実施を指示した職種(複数回答可)	1 理学療法士 2 作業療法士 3 言語聴覚士 4 特に職種は指定していない
55) 指示事項(複数回答可)	1 リハビリテーション実施の有無のみ 2 訓練開始前の留意事項 3 運動負荷量 4 訓練中の留意事項(転倒、低血糖等) 5 中止基準 6 リハビリテーションの目的 7 その他( )
56) リハビリテーション職員からの報告内容(複数回答可)	1 病状変化の報告 2 訓練中の留意事項に対する報告 3 訓練内容の報告 4 訓練実施後の効果に対する報告 5 その他( ) 6 なし

以上で質問は終わります。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、事業所票とあわせてご返送ください。ご協力ありがとうございました。



平成 28 年度 介護報酬改定検証・研究調査(厚生労働省委託調査)  
通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業  
**訪問看護ステーション 利用者調査票**

調査の対象者は、貴事業所において、看護業務の一環であるリハビリテーションを理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が提供している利用者です。記入要領に記載の方法で選んでください。  
本調査票は、当該利用者にサービスを提供する看護職員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の方で、利用者の状況に詳しい方がご記入ください。  
回答の際は、あてはまる番号や記号を で囲んでください。 を付ける数は原則1つです。 を複数に付けていただく場合は、質問文に記載しています。具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入ください。分からない場合は「-」と記入してください。  
調査時点は、2016年10月5日または、質問に記載している期間とします。

本調査の回答者・対象者の抽出条件

1)回答者	1 看護職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士
2)回答者の経験年数	1 3年未満 2 3年以上10年未満 3 10年以上
3)対象者の抽出条件	1 調査日に訪問看護を利用した 2 7月に訪問看護の利用を開始した 3 両方に該当
	「2」に の場合：10月5日時点で利用を継続していますか 1 はい 2 いいえ

10月5日時点で利用を終了している場合、以下の質問について、平成28年7月の利用開始時～終了時までの状況について、可能な範囲でご記入ください。

利用者の基本情報についてお伺いします。

4)年齢	( )歳
5)性別	1 男 2 女
6)貴事業所からのサービス開始日	西暦( )年( )月( )日
7)リハビリが必要となった原因の傷病名 (複数回答可)	1 高血圧 2 脳卒中 3 心不全 4 糖尿病 5 呼吸不全 6 脊椎・脊髄障害 7 腎不全 8 関節リウマチ 9 関節症・骨粗鬆症 10 進行性の神経筋疾患 11 悪性新生物 12 うつ病 13 認知症 14 パーキンソン病 15 廃用症候群 16 肺炎 17 骨折(圧迫骨折を含む) 18 その他( )
8)利用者が受けている医療的処置・ケア等で該当するもの (貴事業所外で受けている医療的処置・ケアも含む) (複数回答可)	1 点滴の管理 2 中心静脈栄養 3 透析 4 ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の処置 5 酸素療法 6 人工呼吸器 7 気管切開の処置 8 疼痛の管理 9 経管栄養 10 持続モニター測定(重度の心機能障害、呼吸障害等) 11 褥瘡の処置 12 カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテルなど) 13 常時頻回の喀痰吸引 14 創傷処置 15 洗腸・摘便 16 インスリン注射 17 導尿 18 精神症状の観察 19 心理的支援 20 服薬援助(点眼薬等を含む) 21 いずれもなし
9)適用保険	1 介護保険 2 医療保険 (a 特掲診療料別表7 b 特別訪問看護指示書)
(aの場合)別表第七の疾病等の該当の有無 (複数回答可)	1 末期の悪性腫瘍 2 多発性硬化症 3 重症筋無力症 4 スモン 5 筋萎縮性側索硬化症 6 脊髄小脳変性症 7 ハンチン病 8 進行性筋ジストロフィー症 9 パーキンソン病関連疾患 10 多系統萎縮症 11 プリオン病 12 亜急性硬化性全脳炎 13 ライソゾーム病 14 副腎白質ジストロフィー 15 脊髄性筋萎縮症 16 球脊髄性筋萎縮症 17 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 18 後天性免疫不全症候群 19 頸髄損傷 20 人工呼吸器を使用している状態
10)要介護度	直近 1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5 8 申請中 利用開始時 1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5 8 申請中 9 不明

11)障害高齢者の日常生活自立度	現状	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2 10 不明
	利用開始時	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2 10 不明
12)認知症高齢者の日常生活自立度(現状)		1 自立 2 a 3 a 4 b 9 不明 5 a 6 b 7
13)過去1年以内の入院の有無		1 有 直近の退院日( )月( )日 2 無 3 不明
	「1 有」の場合：直近の入院病床	1 一般病床(2,3以外) 2 回復期リハビリテーション病棟 3 地域包括ケア病棟 4 療養病床(2,3以外) 5 その他
14)過去1年以内の外来でのリハビリテーションの有無		1 有 2 無 3 不明
15)過去1年以内に医療機関(入院または外来)でのリハビリテーションを利用した場合：リハビリテーションの種類(複数回答可) (廃用症候群リハビリテーションは2016年4月の介護報酬改定で新設された項目であり、それ以前は脳血管疾患等リハビリテーションに含まれます。)		0 医療機関(病院・診療所)ではリハビリテーションを実施していない 1 心大血管疾患 2 脳血管疾患等 3 廃用症候群 4 運動器 5 呼吸器 6 摂食機能療法 7 難病 8 がん 9 認知症 10 その他( ) 11 不明
16)医療機関からどのように情報提供を受けましたか(複数回答可)		1 診療情報提供書 2 リハビリ職種での情報提供 3 看護職種での情報提供 4 介護支援専門員間での情報提供 5 クリニカルパスを活用 6 その他( ) 7 特になし
17)居宅サービス計画(ケアプラン)の目標(複数回答可)		1 健康管理 2 心身機能の維持 3 心身機能の向上 4 意欲の向上 5 療養上のケアの提供 6 ADL維持 7 ADL向上 8 IADL維持 9 IADL向上 10 閉じこもり予防 11 社会参加 12 家族の介護負担軽減 13 その他( )
18)他に利用している介護保険サービス(複数回答可)		1 訪問介護 2 訪問リハビリテーション 3 通所リハビリテーション 4 通所介護 5 福祉用具貸与 6 住宅改修 7 ショートステイ 8 その他( ) 9 なし
	「2 訪問リハビリテーション」に を付けた場合：利用理由(複数回答可)	1 自事業所では必要な回数のリハ職の訪問ができないため 2 自事業所では、利用者の都合がよい時間にリハ職の訪問体制が作れないため 3 自事業所には言語聴覚士がいないため 4 より専門性の高いリハを実施しているため 5 その他( )

利用者の受療状況

19)通院の有無 (複数回答可)	1 指示書を発行している病院・診療所に通院している 2 他の病院・診療所に通院している 3 通院はしていない 4 不明
20)訪問診療の有無	1 指示書を発行している病院・診療所から訪問診療をしている 2 他の病院・診療所から訪問診療をしている 3 訪問診療は利用していない 4 不明

貴事業所からのサービスの提供状況等についてお伺いします。

21)訪問回数 (2016年10月)	理学療法士 回	作業療法士 回	言語聴覚士 回	
22)看護職員の訪問回数(2016年10月)	20分未満 回	30分未満 回	30分以上1時間未満 回	1時間以上1時間30分未満 回
23)緊急訪問の有無・回数・理由(2016年10月分)	1 有 ( )回、理由( ) 2 無			
	うち、1日につき複数回の訪問を行った日の有無・日数		1 有 ( )日 2 無	
24)訪問看護の加算等の状況(2016年10月分)	複数回答可			
	1 特別管理加算	2 複数名加算 (a 看護師 b リハビリ職 c 准看護師 d 看護補助者)		
	3 緊急時訪問看護加算	4 長時間訪問看護加算	5 退院時共同指導加算	6 看護体制強化加算
	7 ターミナルケア加算			

25)平日の日中以外の計画的な訪問の有無	1 有 訪問した日程 (a 土曜 b 日曜 c 祝日 d 早朝・夜間・深夜) 2 無
----------------------	---

他の職種との連携状況 (2016年10月)

【訪問看護指示書を交付する医師との連携状況】	
26)医師の所属について	1 同一法人 (同系列を含む) 2 他の法人
27)医師の所属について	1 病院 2 診療所 3 介護老人保健施設
28)リハの目標について指示医から指示を受けましたか	1 はい 2 いいえ
29)リハの頻度について指示医から指示を受けましたか	1 はい 2 いいえ
30)指示医がリハビリの実施を指示した職種 (複数回答可)	1 理学療法士 2 作業療法士 3 言語聴覚士 4 指示はなかった
31)摂食嚥下障害への対応	0 摂食嚥下障害はない 1 摂食嚥下障害がある 指示内容 (複数回答可) 11 指示はなかった 12 摂食嚥下障害の評価 13 口腔ケアの指導・実施 14 摂食・嚥下機能に関する訓練の指導・実施
32)指示医から受けた指示事項 (複数回答可)	1 リハビリテーション実施の有無のみ 2 訓練開始前の留意事項 3 運動負荷量 4 訓練中の留意事項 (転倒、低血糖等) 5 中止基準 6 リハビリテーションの目的 7 その他 ( )
33)指示医への報告内容 (複数回答可)	1 病状変化の報告 2 訓練中の留意事項に対する報告 3 訓練内容の報告 4 訓練実施後の効果に対する報告 5 その他 ( ) 6 なし
【訪問看護師との連携状況】 あなたがリハ職で、かつ、利用者に対して看護職員 (他事業所でも可) による訪問が行われている場合のみご回答ください。	
34)訪問看護師にリハビリの状況を連絡することはありますか	1 よくある 2 ときどきある 3 ほとんどない 4 まったくない
35)訪問看護師から病状や医療的処置の状況について連絡を受けることはありますか	1 よくある 2 ときどきある 3 ほとんどない 4 まったくない
36)訪問看護師とリハビリの方針等を共有していますか	1 詳しく共有している 2 共有している 3 共有していない
【訪問介護員との連携状況】 訪問介護員による訪問が行われている場合にご回答ください。	
37)訪問介護員に専門の見地から助言を行いましたか	1 有 2 無

看護業務の一環であるリハビリテーションについて

38)リハビリテーションについて、本人の希望を確認していますか	1 はい 2 いいえ
39)リハビリテーションについて、家族の希望を確認していますか	1 はい 2 いいえ
40)訪問看護を提供した職員の職種 (複数回答可 (2016年10月の訪問分))	1 保健師・助産師・看護師 2 准看護師 3 理学療法士 4 作業療法士 5 言語聴覚士 6 その他
41)リハビリテーションを提供した職員の職種のうち、もっとも提供時間が長い職員の職種1つに、その他は ( ) は複数回答可 (2016年10月の訪問分)	1 保健師・助産師・看護師 2 准看護師 3 理学療法士 4 作業療法士 5 言語聴覚士 6 その他
【アセスメントについてお伺いします】	
42)問題のある心身機能 (複数回答可)	1 運動機能障害 2 感覚機能障害 (聴覚、視覚等) 3 関節拘縮 4 疼痛 5 口腔機能障害 6 摂食嚥下機能障害 7 失語症・構音障害 8 精神障害 (BPSD) 9 見当識障害 10 記憶障害 11 その他の高次脳機能障害 12 栄養障害
43)認知機能の評価	1 無 2 有 HDS-R ( ) 点または MMSE ( ) 点

44)Barthel Index での評価	利用開始時 ( ) 点	現状 ( ) 点	
45)Frenchay Activity Index での評価	利用開始時 ( ) 点	現状 ( ) 点	
【計画についてお伺いします】			
46)設定した日常生活上の課題の領域全てに を付けてください。			
1 歩行・移動	2 姿勢保持	3 姿勢の変換	4 移乗
5 入浴	6 整容	7 更衣	8 トイレ動作
9 食事	10 食事の用意	11 食事の片づけ	12 洗濯
13 掃除・整頓	14 家や車の手入れ	15 買い物	16 交通手段の利用
17 コミュニケーション	18 対人関係	19 日課の遂行	20 趣味や社会活動
21 選択と実行 <sup>注)</sup>	22 同時解決 <sup>注)</sup>	23 健康管理	
24 その他 ( )			25 なし

注) 21 選択と実行: 複数の物や事象、課題から選択し実行する  
22 同時解決: 問題や状況を同定し、解決法を見出し、結果を予測し、実行する

47)46)で設定した日常生活上の課題領域のうち最も優先順位が高いもの1つの番号をご記入ください。	
48)47)で選んだ最も優先順位が高い課題の達成期間	1 1か月以内 2 1か月超～3か月以内 3 3か月超～6か月以内 4 6か月超～12か月以内 5 12か月超
49)47)で選んだ最も優先順位が高い課題に対して、実施しているもの1つに	1 機能回復訓練 2 基本的動作訓練 3 応用的動作訓練 4 社会適応練習 5 コミュニケーション訓練 6 自己訓練練習 7 マッサージ

注) 機能回復訓練: 呼吸機能訓練、体力向上訓練、浮腫等の改善訓練、関節可動域訓練、筋力向上訓練、筋緊張緩和訓練、筋持久力向上訓練、運動機能改善訓練、痛みの緩和訓練、認知機能改善訓練、意欲の向上訓練、構音機能訓練、聴覚機能訓練、摂食嚥下機能訓練、言語機能訓練

基本的動作訓練: 姿勢の保持訓練、起居・移乗動作訓練、歩行・移動訓練、階段昇降練習、公共交通機関利用練習  
応用的動作訓練: 一連の入浴行為練習、一連の整容行為練習、一連の排泄行為練習、一連の更衣行為練習、一連の食事行為練習、一連の調理行為練習、一連の洗濯行為練習、一連の掃除・整理整頓行為練習、家の手入れ練習、買物練習  
社会適応練習: 対人関係改善練習、余暇活動練習、仕事練習

50)短期目標達成後のサービス移行の予定 (主な1つに )	1 リハ職による訪問を継続する 2 通所リハに移行 3 外来リハに移行 4 通所介護に移行 5 介護予防事業等地域支援事業に移行 6 スポーツ施設に移行 7 サロン等住民主体の通いの場に移行 8 趣味等の教室に移行 9 移行せずに終了 (サービス等不要) 10 その他 ( ) 11 目標達成後のイメージは特になし
51)長期目標達成後のサービス移行の予定 (主な1つに )	1 リハ職による訪問を継続する 2 通所リハに移行 3 外来リハに移行 4 通所介護に移行 5 介護予防事業等地域支援事業に移行 6 スポーツ施設に移行 7 サロン等住民主体の通いの場に移行 8 趣味等の教室に移行 9 移行せずに終了 (サービス等不要) 10 その他 ( ) 11 目標達成後のイメージは特になし
52)他の事業所の従業者と利用者の居宅に同行訪問を行い、リハビリテーションに関する専門的な指導・助言を行いましたか	1 行った 2 行っていない
「1」の場合 他事業所のサービス	1 訪問介護 2 訪問看護 3 通所介護 4 その他 ( )

以上で質問は終わりです。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、ステーション票とあわせてご返送ください。ご協力ありがとうございました。

# 結果概要



# (1) 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業 (結果概要)

## (1) 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業

### 1. 調査の目的

- 通所リハビリテーション(以下、通所リハ)、訪問リハビリテーション(以下、訪問リハ)については、平成27年度介護報酬改定において、リハビリテーション(以下、リハ)の質の向上や社会参加を促すような見直しが行われたところである。通所リハと訪問リハにおける介護報酬改定後の効果を検証する。
- 維持期リハに関する平成28年度診療報酬改定も踏まえつつ、中重度者に対するリハ内容の実態を把握し、診療報酬・介護報酬同時改定に向け、今後の通所リハ及び訪問リハに関する検討の資料とする。
- 理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)が提供するサービス(訪問リハと訪問看護ステーションのリハ職訪問)における機能と役割の違いについても検討を行う。

### 2. 調査方法

	調査方法・調査対象・回収状況
①通所・訪問リハビリテーション等の事業所調査	【調査方法】調査票を用いた郵送調査。厚生労働省より提供を受けた全国の事業所名簿をもとに対象事業所を抽出。ただし通所リハビリテーションは、平成27年度調査の対象事業所に対する追跡調査
通所リハビリテーション事業所票	【母集団】全国の通所リハビリテーション事業所7,047事業所 【発出数】平成27年度調査において無作為抽出により対象となった955事業所(被災地域を除く、以下同じ) 【回収数】521事業所【回収率】54.6%【有効回収数】507事業所【有効回収率】53.1%
訪問リハビリテーション事業所票	【母集団】全国の訪問リハビリテーション事業所3,871事業所 【発出数】無作為抽出の1,500事業所 【回収数】885事業所 【回収率】59.0% 【有効回収数】878事業所【有効回収率】58.5%
訪問看護ステーション票	【母集団】平成28年5月分でPT等訪問の実績があった4,489事業所【発出数】無作為抽出の1,000事業所 【回収数】628事業所【回収率】62.8%【有効回収数】619事業所【有効回収率】61.9%
②理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が提供するサービスについての利用者調査	【調査方法】調査票を用いた郵送調査。①の事業所調査の対象事業所の利用者から抽出。抽出方法は、調査日当日の利用者のうち、10分の1の抽出率で無作為抽出した利用者、および平成28年7月に利用開始した利用登録者全数。(訪問看護はリハ職による訪問の利用者に限定)
通所リハビリテーション利用者票	【回収数】2,181人【有効回収数】2,119人 【参考値:調査時点の利用登録者に対する抽出率】7.4%
訪問リハビリテーション利用者票	【回収数】2,688人【有効回収数】2,669人 【参考値:調査時点の利用登録者に対する抽出率】12.4%
訪問看護ステーション利用者票	【回収数】2,684人【有効回収数】2,564人 【参考値:調査時点の利用登録者に対する抽出率】8.2%

# (1) 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業

## 3. 調査結果概要

### 1) 事業所の基本情報

○通所リハ事業所に配置されている理学療法士・作業療法士・言語聴覚士(以下、リハ職)の常勤換算数は1事業所あたり平均2.6人、訪問リハ事業所で調査期間の1週間に訪問リハに従事した職員数は2.3人、訪問看護ステーション(以下、訪問看護)に配置されているリハ職は2.8人であった。

図表2-2-113より抜粋 職員体制(常勤換算数)(回答事業所の平均)

回答事業所数	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	小計
通所リハ 500事業所	1.6人	0.8人	0.2人	2.6人
訪問リハ 798事業所	1.6人	0.5人	0.1人	2.3人
訪問看護 559ステーション	1.8人	0.8人	0.2人	2.8人

注)通所リハビリテーション事業所、訪問看護ステーションは10月5日時点の配置状況、訪問リハビリテーション事業所は、10月24日～30日に訪問リハビリに実際に従事した職員数をたずねた。

○調査日時点の利用者数は、通所リハは平均59.0人、訪問リハは平均25.3人、訪問看護(リハ職訪問)は平均55.1人であった。

図表2-2-188 利用者数

回答事業所数	平均値	標準偏差	中央値
通所リハビリテーション 500事業所	59.0人	51.0	42.5人
訪問リハビリテーション 863事業所	25.3人	35.3	13.0人
訪問看護ステーション 599ステーション	55.1人	55.4	38.0人

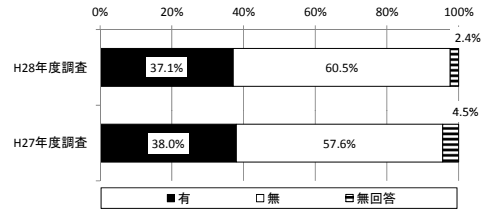
注1)訪問リハビリテーションは医療保険利用者も含む  
 注2)訪問看護ステーションはリハ職訪問利用者(介護保険・医療保険)のみを集計  
 注3)通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションは10月5日時点、訪問看護ステーションは2016年10月分の利用者数

注)リハビリテーションマネジメント加算について  
 利用者の状態や生活環境等を踏まえた多職種協働による通所リハビリテーション計画の作成、当該計画に基づく適切なリハビリテーションの提供、当該提供内容の評価とその結果を踏まえた当該計画の見直し等といったSPDCAサイクルの構築を通じて、継続的にリハビリテーションの質の管理を行った場合の加算である。  
 リハビリテーションマネジメント加算IIの算定にあたっては、多職種によるリハビリテーションマネジメント会議の開催や医師による利用者・家族への通所リハビリテーション計画の説明等が要件である。

### 2) リハビリテーションマネジメント加算II等の届出等の状況

○通所リハ事業所で、リハビリテーションマネジメント加算IIを届け出ている事業所は平成28年度調査では37.1%、平成27年度調査では38.0%であった(両年回答事業所による分析)。

図表2-2-69 【通所リハ】リハビリテーションマネジメント加算IIの届出状況(H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所)(n=337事業所)



○リハビリテーションマネジメント加算IIの届出をしていない事業所において、加算を算定しない理由は、「医師のリハ会議への参加が困難」が65.6%、「医師からの説明時間が確保できない」が60.8%、届出をしている事業所で算定していない利用者がある場合その理由は、「利用者の経済的な負担が大きくなる」が56.5%、「本人・家族が意義・必要性を理解できない」「毎月のリハ会議が負担である」がそれぞれ46.1%であった。

図表2-2-76 【通所リハ】リハビリテーションマネジメント加算IIの届出の有無別リハビリテーションマネジメント加算IIを算定していない利用者がある理由(2016年10月分)(複数回答)

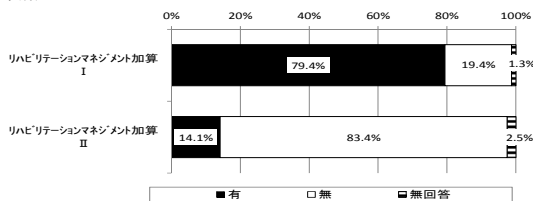
	合計	医師のリハ会議への参加が困難	医師からの説明時間が確保できない	毎月のリハ会議が負担である	本人・家族が意義・必要性を理解できない	利用者の経済的な負担が大きくなる	支給限度額を超えてしまう	介護支援専門員の理解が得られない	その他	無回答
全体	452	254	224	237	144	196	137	78	51	8
	100.0%	56.2%	49.6%	52.4%	31.9%	43.4%	30.3%	17.3%	11.3%	1.8%
有	154	57	41	71	71	87	68	45	23	3
	100.0%	37.0%	26.6%	46.1%	46.1%	56.5%	44.2%	29.2%	14.9%	1.9%
無	291	191	177	162	71	107	66	33	28	5
	100.0%	65.6%	60.8%	55.7%	24.4%	36.8%	22.7%	11.3%	9.6%	1.7%

注)表中にはリハビリテーション加算IIの届出の有無について無回答の場合の記載を省略した。

# (1) 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業

○訪問リハ事業所では、リハビリテーションマネジメント加算IIを届け出ている事業所は14.1%であった。

図表2-2-70 【訪問リハ】リハビリテーションマネジメント加算IIの届出状況(2016年10月分)(n=878事業所)



○リハビリテーションマネジメント加算IIの届出をしていない事業所において、加算を算定しない理由は、「医師のリハ会議への参加が困難」が82.2%、「医師からの説明時間が確保できない」が61.1%、届出をしている事業所で算定していない利用者がある場合その理由は、「医師のリハ会議への参加が困難」が62.1%、「医師からの説明時間が確保できない」が46.0%であった。

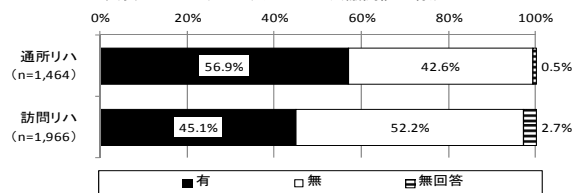
図表2-2-79 【訪問リハ】リハビリテーションマネジメント加算IIの届出の有無別リハビリテーションマネジメント加算IIを算定していない利用者がある理由(2016年10月分)(複数回答)

	合計	医師のリハ会議への参加が困難	医師からの説明時間が確保できない	毎月のリハ会議が負担である	本人・家族が意義・必要性を理解できない	利用者の経済的な負担が大きくなる	支給限度額を超えてしまう	介護支援専門員の理解が得られない	その他	無回答
全体	789	625	466	460	90	216	128	71	53	13
	100.0%	79.2%	59.1%	58.3%	11.4%	27.4%	16.2%	9.0%	6.7%	1.6%
有	87	54	40	33	25	23	15	13	12	0
	100.0%	62.1%	46.0%	37.9%	28.7%	26.4%	17.2%	14.9%	13.8%	0.0%
無	684	562	418	416	60	186	110	57	40	11
	100.0%	82.2%	61.1%	60.8%	8.8%	27.2%	16.1%	8.3%	5.8%	1.6%

注)表中にはリハビリテーション加算IIの届出の有無について無回答の場合の記載を省略した。

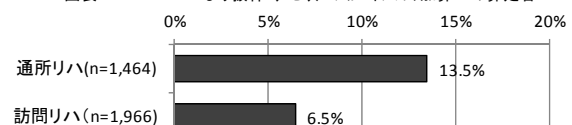
○リハビリテーション会議の開催状況について、通所リハでは「有」が56.9%、訪問リハでは45.1%であった。

図表2-3-117 リハビリテーション会議開催の有無



○リハビリテーションマネジメント加算IIの算定率は、通所リハの利用者では13.5%、訪問リハの利用者では6.5%であった。

図表2-3-67・2-3-73より抜粋:リハビリテーションマネジメント加算IIの算定率

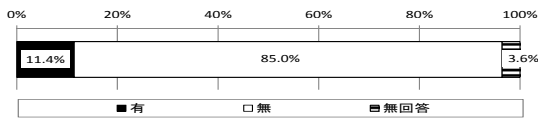


# (1)通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業

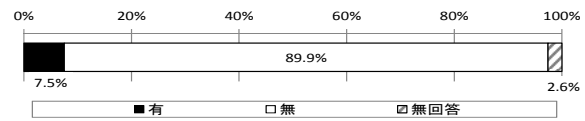
○社会参加支援加算の届出は、通所リハは11.4%、訪問リハは19.2%であった。  
○通所リハで届出をしていない主な理由は「利用者が通所リハの継続希望が強い」が69.8%、「家族が継続希望が強い」が57.5%であった。

○生活行為向上リハビリテーション加算の届出は、7.5%であった。

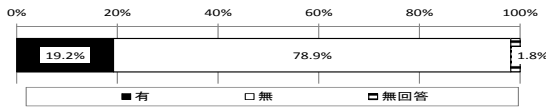
図表2-2-80 【通所リハ】社会参加支援加算の届出状況(2016年10月分)(n=507事業所)



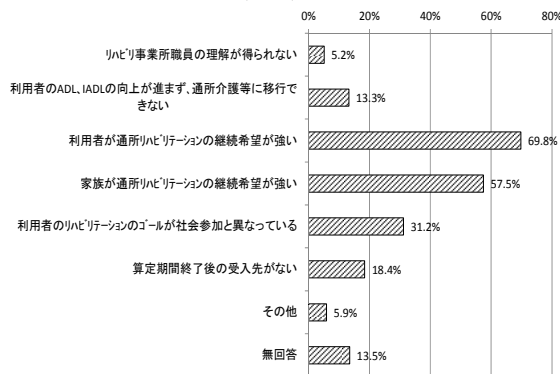
図表2-2-86 【通所リハ】生活行為向上リハビリテーション加算の届出状況(2016年10月分)(n=507事業所)



図表2-2-82 【訪問リハ】社会参加支援加算の届出状況(2016年10月分)(n=878事業所)



図表2-2-84 【通所リハ】社会参加支援加算届出をしていない理由(2016年10月分)(n=407)



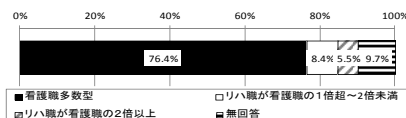
# (1)通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業

## 3)訪問看護ステーションにおけるリハ職訪問の体制等

○訪問看護ステーションにおいて、リハ職員数が看護職員数より多い事業所の割合は13.9%で、これらの事業所の開設主体は営利法人が72.1%であった。

○リハ職が訪問している利用者に対して、看護職員による訪問も行われている場合、リハビリの状況に関する連絡をすることは「よくある」が60.9%であった。

図表2-2-120 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況(2016年10月5日時点)(n=619ステーション)

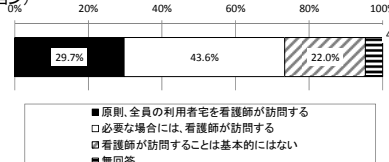


図表2-2-25 【訪問看護】看護職員とリハ職員の配置状況別 開設主体

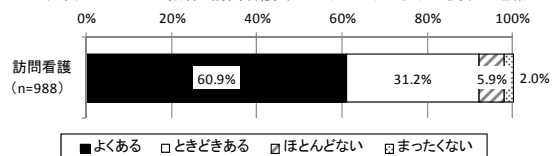
	合計	医療法人	営利法人	社会福祉法人	医師会	看護協会	その他の社団法人	協同組合	地方公共団体	その他	無回答
全体	619	189	252	45	15	6	36	24	13	35	4
看護職員多数型	473	156	165	41	14	6	32	24	10	22	3
リハ職多数型	86	12	62	3	1	0	1	0	0	0	0
うち、リハ職が看護職の1倍超～2倍未満	52	11	33	3	1	0	1	0	0	3	0
うち、リハ職が看護職の2倍以上	34	2	29	0	0	0	0	0	0	3	0

○訪問看護ステーションで、リハ職のみが訪問のサービスを提供している利用者に対して、別途、看護師が利用者の状況を確認したり、アセスメントを行うための訪問を行うかをたずねたところ、「原則、全員に行っている」事業所が29.7%、「必要な場合に行う」事業所が43.6%、「基本的には行っていない」事業所が22.0%であった。

図表2-2-30 【訪問看護】リハ職による訪問のみを提供している利用者について、看護師が利用者の状況を確認したり、アセスメントをするために利用者宅を訪問するか(n=619ステーション)

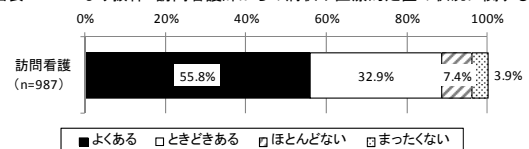


図表2-3-112より抜粋 訪問看護師へのリハビリの状況に関する連絡



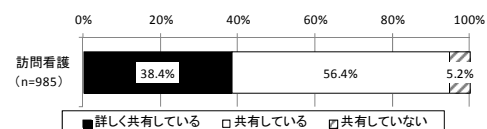
○訪問看護師からリハ職に対して、病状や医療的処置の状況について連絡を受けることは「よくある」が55.8%であった。

図表2-3-113より抜粋 訪問看護師からの病状や医療的処置の状況に関する連絡



○リハ職と訪問看護師がリハビリの方針等を「詳しく共有している」利用者は38.4%であった。

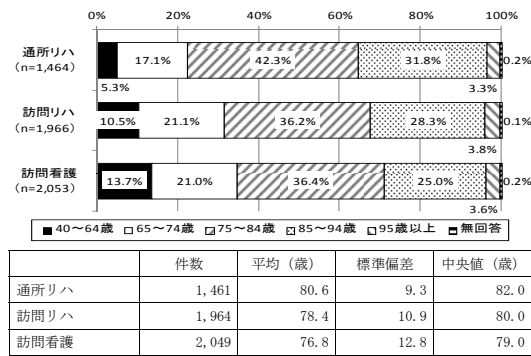
図表2-3-114より抜粋 訪問看護師とリハビリの方針等の共有



# (1)通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業

## 4) 利用者の年齢・サービスの利用状況等

○年齢について、通所リハの利用者は平均80.6歳、訪問リハは78.4歳、訪問看護は76.8歳であった。 図表2-3-5 年齢



注)表中の件数は、年齢について無回答だった事業所を除いた件数である。

○平均要介護度について、通所リハは1.85、訪問リハ、訪問看護は2.55であった。 図表2-2-197 要介護度別 利用者数

	通所リハビリテーション (500事業所分合計)		訪問リハビリテーション (865事業所分合計)		訪問看護ステーション (600ステーション分合計)	
	合計値 (人)	構成比	合計値 (人)	構成比	合計値 (人)	構成比
要支援1	2,999	10.2%	876	4.0%	1,990	4.5%
要支援2	4,400	14.9%	2,289	10.5%	4,183	9.5%
要介護1	7,180	24.4%	3,433	15.8%	7,817	17.8%
要介護2	7,269	24.7%	5,064	23.3%	9,843	22.4%
要介護3	4,042	13.7%	3,792	17.5%	6,822	15.5%
要介護4	2,435	8.3%	3,303	15.2%	6,405	14.6%
要介護5	1,082	3.7%	2,896	13.3%	6,562	15.0%
申請中	76	0.3%	54	0.2%	257	0.6%
合計	29,483	100.0%	21,707	100.0%	43,879	100.0%
平均要介護度		1.85		2.55		2.55

注)表中の事業所数は、要介護度別利用者数について無回答だった事業所を除いた件数である。

○通所リハの利用者で、訪問リハも利用している割合は5.0%であった。訪問リハの利用者で、訪問看護の利用率は31.6%、通所リハは15.3%、通所介護は32.8%であった。訪問看護の利用者で、通所リハの利用率は14.0%、通所介護は33.6%であった。

図表2-3-57 他に利用している介護保険サービス(複数回答)

	合計	訪問介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所リハビリテーション	通所介護	福祉用具貸与
通所リハ	1,464	303	165	73	204	660	
訪問リハ	1,966	709	621	301	645	1,117	
訪問看護	2,053	758	80	287	689	1,262	
	100.0%	36.9%	3.9%	14.0%	33.6%	61.5%	

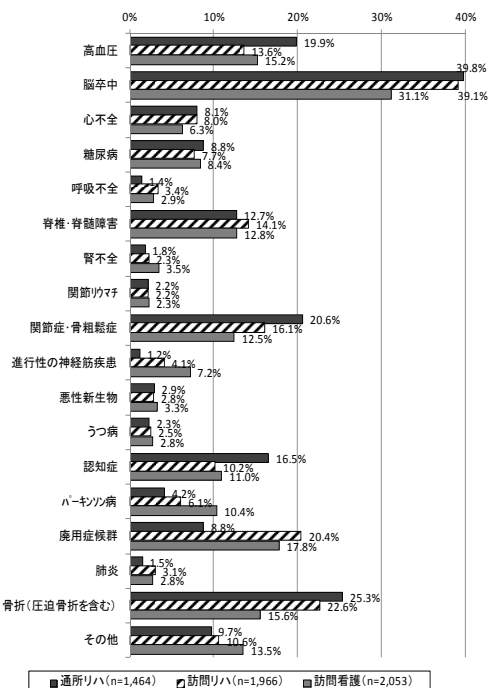
	合計	住宅改修	ショートステイ	その他	なし	無回答
通所リハ	1,464	128	221	36	398	33
訪問リハ	1,966	277	210	106	181	16
訪問看護	2,053	291	197	143	214	48
	100.0%	14.2%	9.6%	7.0%	10.4%	2.3%

# (1)通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業

## 5) 利用者の傷病・リハビリテーションの課題

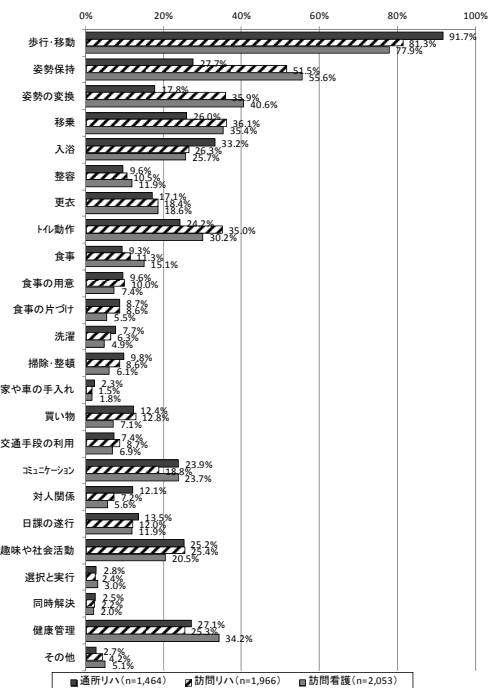
○リハビリが必要となった原因の傷病は、「通所リハ」では「脳卒中」「骨折」「関節症・骨粗鬆症」「高血圧」「認知症」の順に多かった。「訪問リハ」では「脳卒中」「骨折」「廃用症候群」「関節症・骨粗鬆症」「脊椎・脊髄障害」の順に多かった。「訪問看護」では「脳卒中」「廃用症候群」「骨折」「高血圧」「その他」の順に多かった。

図表2-3-9 リハビリが必要となった原因の傷病(複数回答)



○設定した日常生活上の課題の領域は、「通所リハ」では「歩行・移動」「入浴」「姿勢保持」「健康管理」「移乗」の順に多かった。「訪問リハ」では「歩行・移動」「姿勢保持」「移乗」「姿勢の変換」「トイレ動作」の順に多かった。「訪問看護」では「歩行・移動」「姿勢保持」「姿勢の変換」「移乗」「健康管理」の順に多かった。

図表2-3-144 設定した日常生活上の課題の領域(複数回答)

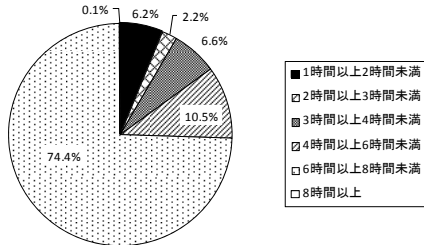




# (1)通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業

○通所リハの1回あたりの提供時間別の利用回数は、6時間以上8時間未満が74.4%であった。1時間以上2時間未満は6.2%であった。

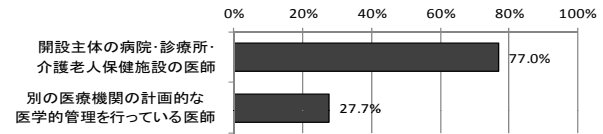
図表2-3-66より抜粋 【通所リハ】提供時間別利用回数の構成比 (回答者1,220人の合計 n=10,460回)



## 6)リハ職と指示医との連携

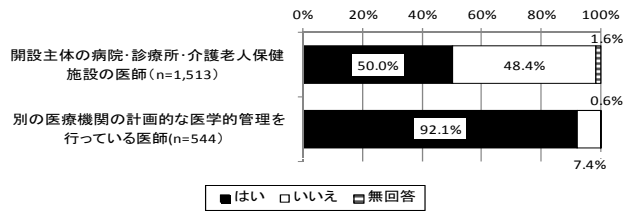
○訪問リハの利用者について、リハの指示を出している医師は、「開設主体の医師」が77.0%、「別の医療機関」が27.7%であった。

図表2-3-98から抜粋 【訪問リハ】利用者のリハビリテーションの指示を出している医師の所属(複数回答)(n=1,966)



○利用者のリハビリテーションの指示を出している医師が開設主体の病院等の医師だった場合、他の医療機関等の医師からの情報提供があった利用者は50.0%であった。

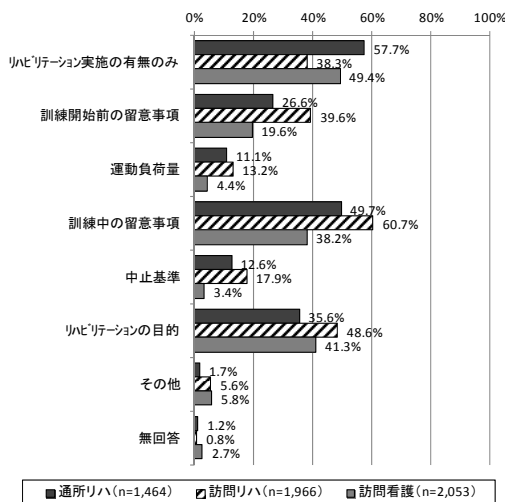
図表2-3-102 【訪問リハ】利用者のリハビリテーションの指示を出している医師の所属(複数回答)別 他の医療機関等の医師からの情報提供の有無



# (1)通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業

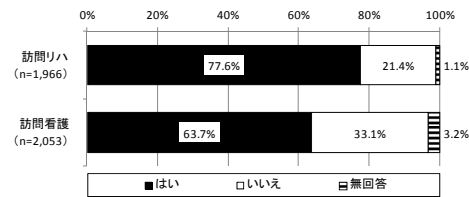
○指示医からうけた指示事項(複数回答)は、通所リハの利用者では「リハビリテーションの実施の有無のみ」が57.7%、訪問リハでは38.3%、訪問看護では、49.4%であった。「訓練中の留意事項」が通所リハで49.7%、訪問リハで60.7%、訪問看護で38.2%であった。「リハビリテーションの目的」が通所リハで35.6%、訪問リハで48.6%、訪問看護で41.3%であった。

図表2-3-103 指示医から受けた指示事項(複数回答)



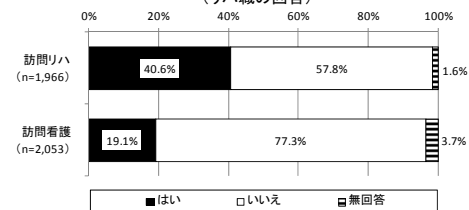
○リハの目標についての医師からの指示は、訪問リハでは「あり」が77.6%、訪問看護では63.7%であった。

図表2-3-104 【訪問リハ・訪問看護】リハの目標について指示医からの指示の有無(リハ職の回答)



○リハの頻度についての指示は、訪問リハでは「あり」が40.6%、訪問看護では19.1%であった。

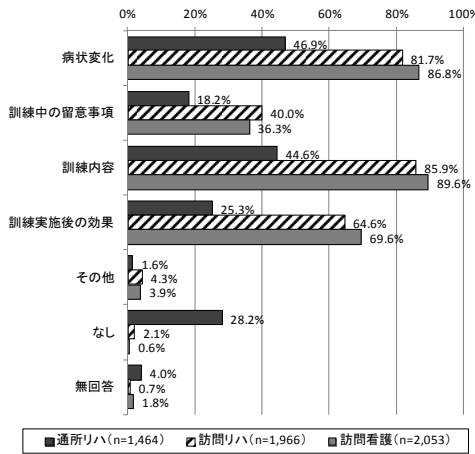
図表2-3-105 【訪問リハ・訪問看護】リハの頻度について指示医からの指示の有無(リハ職の回答)



# (1)通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業

○指示医への報告内容として「訓練内容」と答えたものは、通所リハでは44.6%、訪問リハでは85.9%、訪問看護では89.6%であった。報告「なし」と答えたものは、通所リハでは28.2%、訪問リハでは2.1%、訪問看護では0.6%であった。

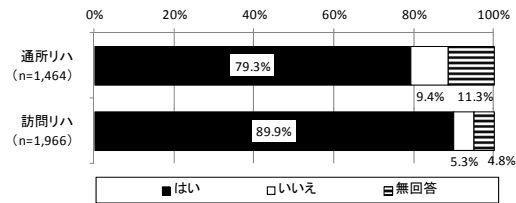
図表2-3-111 【訪問リハ・訪問看護】指示医への報告内容(リハ職の回答)



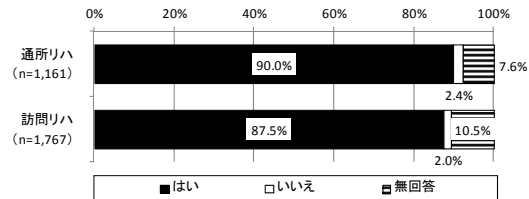
## 7)長期目標について

○通所リハでは長期目標が79.3%で設定され、その90.0%で介護支援専門員に適切に情報提供され、86.4%でケアプランに反映されていた。訪問リハでは、それぞれ、89.9%、87.5%、81.9%であった。

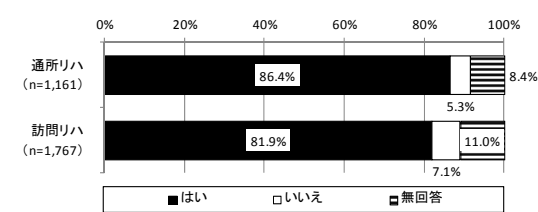
図表2-3-123 長期目標を設定しているか



図表2-3-124 (長期目標設定)介護支援専門員に適切に情報提供されているか



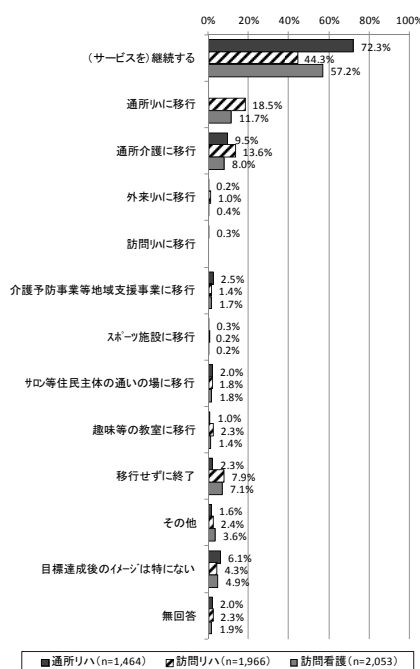
図表2-3-125 (長期目標設定)設定した目標はケアプランに反映されているか



# (1)通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業

○長期目標達成後のサービス移行予定として、通所リハでは「サービスを継続する」が72.3%、訪問リハでは44.3%、訪問看護では57.2%であった。訪問リハでは、「通所リハに移行」が18.5%、「通所介護に移行」が13.6%であった。

図表2-3-167 長期目標達成後のサービス移行予定



注)「(サービスを)継続する」は「通所リハ」は「通所リハを継続する」、「訪問リハ」は「訪問リハを継続する」、

○サービス利用を終了した利用者の転帰は、通所リハでは、通所介護等の通所・訪問系サービスが17.7%、訪問リハでは22.2%、訪問看護では8.6%であった。

図表2-2-232 終了後の転帰

対象期間(終了時期)	通所リハ <sup>1)</sup> リハビリテーション		訪問リハ <sup>1)</sup> リハビリテーション		訪問看護 <sup>1)</sup> リハビリテーション	
	2016年7月～9月	2016年4月～9月	2016年4月～9月	2016年4月～9月	2016年4月～9月	2016年4月～9月
事業所数	448事業所の合計		705事業所の合計		529事業所の合計	
終了後の転帰	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
訪問リハビリテーション	45	1.6%			74	1.6%
通所リハビリテーション			695	13.2%	179	3.8%
通所介護等の通所・訪問系サービス	484	17.7%	1,167	22.2%	408	8.6%
介護老人保健施設	356	13.0%	196	3.7%	198	4.2%
居住・入所系サービス	273	10.0%	320	6.1%	391	8.3%
介護予防事業等地域支援事業	22	0.8%	31	0.6%	16	0.3%
医療機関への入院、外来リハビリテーション	742	27.1%	1,092	20.8%	1,146	24.2%
死亡	320	11.7%	788	15.0%	1,089	23.0%
その他	137	5.0%	316	6.0%	546	11.5%
不明	78	2.8%	56	1.1%	152	3.2%
サービス利用なし	262	9.6%	547	10.4%	480	10.1%
無回答	21	0.8%	53	1.0%	52	1.1%
全体	2,740	100.0%	5,261	100.0%	4,731	100.0%

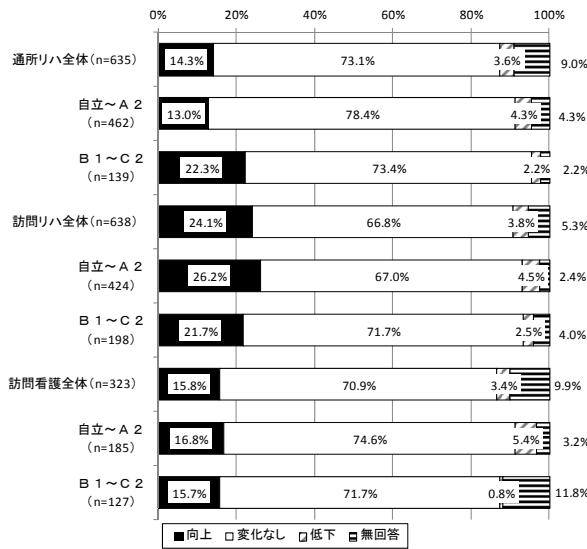
注)表中の事業所数は、終了後の転帰の設問について、1人以上の回答があった事業所数を記載した。(本設問について無回答だった事業所を除く)

# (1)通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業

## 8) サービス利用後の変化

○調査時点の約3カ月前の平成28年7月に利用開始した利用者について、調査開始時点と調査日で障害高齢者の日常生活自立度の変化をみたところ、通所リハのB1～C2で「向上」が22.3%、訪問リハの自立～A2で26.2%であった。

表2-3-37 利用開始時の障害高齢者の日常生活自立度別  
障害高齢者の日常生活自立度の変化(7月利用開始者)

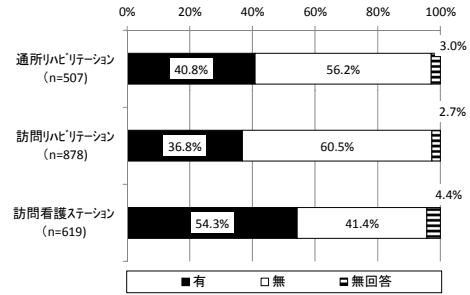


注) 図中には利用開始時の障害高齢者の日常生活自立度について無回答の場合の記載を省略した。

## 9) 地域との交流活動の実施状況・連携状況

○地域との交流活動の実施状況について、介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村、地区組織との連絡会議の開催は、通所リハで40.8%、訪問リハで36.8%、訪問看護で54.3%であった。

図表2-2-135 介護支援専門員や介護サービス事業所、市町村、地区組織との連絡会議の開催の有無



○通所リハで、介護予防教室、サロンなどの地域の通いの場の支援をしている事業所は、平成27年度調査では19.6%、平成28年度調査では25.2%であった。(両年回答事業所による分析)

図表2-2-155【通所リハ】介護予防教室、サロンなどの地域の通いの場の支援 (H27年度、H28年度ともに調査回答した事業所) (n=337)

